1	事業の概要	成果	目	煙

1 事業	の概要	・成果目標									
	其太日村	悪 (音) 1 協働でつ	くる希	望あふれるまち(市民参画・行	財政運営)						
施策	基本施第	新 (節) 1 — 1 市	早 協	働・市民参加の推進 ュニティ活動の推進 事業		担当課	環境産業部	R 商丁組	光		
区分	個別施第	本(店) 1 1 9	- C 000	ラースタがある光光		177 71 MV	水処圧木口	1 1 1 1 1 E/U	/LI/K		
	1回万小地方		<u> </u>	ユーノイ伍勁の推進		1	 5				
	事務!	事業名 市民夏ま	つり.	事業		事業	平成	2 0	年度	\sim	
区分	1 新	月 2継 続		→ 継	続	期間					
目的	市民や市	内立地企業、各種国	団体な	よど様々な主体が協働し	、共にさる	さえあうこ	ことにより、	自分の信	主む地域?	を活性化さ	
及び	せ、市民	の連帯感や郷土意記	戦を高	弱める。							
背景											
17 AV	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	人类 芦丛 夕廷	리 / /-/	なにトス本日時ルナ町亜	上さり云い	トンティンスル	4 土足の	> / db	رمان الله	<i>4</i> √ 18	
事業	メインは	企来、子仪、 	刊本台	等による市民踊りを駅西	八囲りじ	ゅこなり 11	世、川氏の	ュンリー	ト、1日2人7	150	
内容											
1 7 1											
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度 (まで	での)実績値	H23(まで	での)目標値	
	目標	市民夏まつり来場	고 나	20年度立坦老粉		人		人	1	人	
	設定	者数(年)		20年度未物有数 100人×120%	96,	000	80, 7	750	99	3, 000	
成果	事業		00, 0	100 /C ^ 120 %	90,	000	00,	100	00	5,000	
目標	数值	最終目標									
	目標	H22年度(までの)実績									
	以外	104(11)									
	事業										
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの			での実績値+H23実績値	/最終目標値 ④H	123(までの)実績値	直/最終目標値	
	H23事業費 H23実施内容										
		7.000	メイ	ンは企業、学校、各種	団体等によ	くる市民窟	りを駅西大	通りでお	こなら作	也、市民参	
		7,000		コンサート、花火など。			, , , , , , , , , , , , ,		_ 0. / 12		
	数値		l .			単年度達	战度	全休計	面におけ	る達成度	
実施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		平一及是 算定式			算定式		
施	設定				休用身	1 化八	(1)	休用!	早	4)	
状	事業	85,000		88,000		97	0./		89		
況		·	人	人			%			%	
	数值	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度	
	目標 1120天順 1120日標 1120中一及足成及 1120中										
	以外						0/			0/	
-	事業 % % % % % % % % %										
日桓泽日	成状況の評	亚価 はは日標米各	八釵	を達成することができて	いる。						
口尔廷	W4V(DL*>1	1 11111									
3 事務	事業の	評価									
		の必要性が高い事	堂か								
評価	a 必要!		1010								
			th lat %	C.州ルのために 以西づち	ブ						
判断	川氏参加	空の余りであり、『	巴埃有	5性化のために必要である。	る。						
理由											
② 主体	体性:市が	ご主体的に実施すべき	き事	と							
評価	a 市が言	主体的に実施すべき									
判断				E体であるが、主な予算	を市補助や	金で運営し	しているたる				
理由				, , ,				~			
	. . #14	ことといの出田、	が L -	がっているか(新規事業の	カ担人みも	1 ; 7)					
				アフトいつが(利风尹耒)	ノ <i>物</i> 口 (より						
評価		した通りの成果があ		- W 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	.h to '	L. 10 - 15 -	H 19.3: 1				
判断	多数の参	川者かあり、来場を	ゴカジー	-日楽しめるイベントで	めり、かり	よりの成り	^卡 かあった。				
理由	<u> </u>										
④ 効率		とを変えずに、経費:	を下り	げる方策はないか							
評価		な積算に基づく経費									
判断				<u>。</u> 進を図るうえにおいて、	最低限の領	宣伝手法"	である。				
理由	1 .14 2 /4	AND THE WORLD	. , , , , ,		- IA PANA */]	_ 1	00				
	지나 변기 선 소사나 변기 선	シスタボナッチャー	Α.								
		に実施すべき事業									
評価		実施しなければなら									
判断	市民参加	型の祭りであり、は	也域活	5性化のために必要であ	る。		<u> </u>				
理由											
4 総合	評価及7	び 今後の 事 終 事 き	業の	方向(総合評価に対	するみ	姜箫笺)					
総合評		<u> </u>	A	<u> </u>	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	コバザノ					
小心口叶	іш —	古民参加の手		 による北茨城市独自のイ	ベントレ	ーア継续	ナス				
今後の	方向性	川氏参加の手	IF り	による北次級甲独目のイ	・・・・・・・・	レト胚が	y W ₀				
<u>₩</u> _}	<u> </u>	(企画政策課記入	.欄)								
☑ 現状	通り	□拡充		改善		□ 統合					
休止		□ 廃止		完了	択	_					
		· · · ·									

_1 事業	の概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 1協働でつ	くる希	望あふれるまち(市民参画	• 行財政運営)					
施策	基本施筑	策(節) 1-1市	民協	動・市民参加の推進		担当課	都市建設部	『 建設課		
区分	個別施第	策(項) 1-1-4	市民	協働・市民活動の支持	爱、促進					
			首路!	里親制度事業		事業	平成	17	年度	$\overline{}$
区分	1 新	<u>- </u>	X - PH -	<u></u>	継続	期間	1 /3/2	11	1 1	
			スボニ				■ ■動を通して	で市と協信	新) + 批 +	献に ふさわ
目的 及び		うくりを進めるための				水光大口	主動を通じ		助し、心に	数(に20-20-42)
背景		() Exemples	/143	05110						
日从	・ 道致の海提及	び除草の実施に関すること。								
事業	街路樹の軽易	な剪定、緑地帯等の維持管理。								
内容	植栽等の企画道路施設等の	定期的な巡視。								
		美化に関すること。 					,			
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	ぎの) 実績値	H23(まて	での) 目標値
	目標									
成果	設定 事業									
目標	数値	最終目標	道恕	環境の美化活動					.1	
1	目標			3,993mの道路美化	江卦					
	以外			,	位 劉					
	事業	H23目標	14, 8	13m						
2 事業	実績		值 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23)				/最終目標値 ④	H23(までの)実績値	直/最終目標値
		H23事業費			I	H23実施内	卜容			
		1, 179	1 /	,813mの区間の道	首取得倍の羊	ル活動に	デ協力を頂	ハており	ます	
		1,179 千円	1 4	, 6 1 5 111 (7 区間 (7 万)	巨阳垛况少天	101日到10	ここことは、	7 . (43 9	۵ % و ا	
実	数値	1100(ナズの) 安体	法	1100(ナベの) 口無点	₽ H23	単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
施	目標	H23(までの)実績	(旭	H23(までの)目標値	採用算	章定式		採用	算定式	
状	設定						_			
況	事業						%			%
	数値 H23実績			H23目標	H25	3単年度達	武度	全休計	画におけ	る達成度
					115	- 1 X A	-/4///	<u></u>		
	以外 延長14,813mの道 事業 化活動			14,813m		100	0/			0/
	尹未	道路美化に貢献					%			%
目標達成	戊状況の評	平価		· · • · •						
		*** /***								
	事業の									
<u> </u>		の必要性が高い事	集か							
評価	a 必要性									
判断	道路美化	この経費を縮減する#	こめに	こも、地域住民との協	動活動の必要	要性は高く	く求められる	5.		
理由										
② 主体	性:市か	ジ主体的に実施すべき	き事業	Ě か						
評価	a 市が i	主体的に実施すべき								
判断	市が主体	となって実施すべき	きであ	っる。						
理由										
③ 有效	カ性:期待	fしたとおりの成果	が上れ	ぶっているか(新規事	業の場合は見	1込)				
評価	a 期待〕	した通りの成果があ	る							
判断	協力団体	も年々増えており、	道路	各環境の美化に成果が	「上がっている	るものと見	思われる。			
理由										
4 効率	⊠性:成果	!を変えずに、経費	を下り	げる方策はないか						
評価		な積算に基づく経費								
判断		限の経費である。		<u>-</u>						
理由										
	L 1性・竪 <i>生</i>	息に実施すべき事業	ት s							
評価		実施しなければなら								
				E民との協働による道	1821年11日本	を推進する	ろ必要がある	5		
判断 理由	/生具 と 州	ロック・ショニックリーロ、ド	⊔ <i>~≫</i> , []	」→√ C → M 1991(- み つ た	:呵犬 네印勁	こり圧火圧りで	v zu·女//* (8) (ν ₀		
	<u> </u>	バム仏の市改古*	どの	七点 (※△≕左):	ナナナフュル・	主体 公\				
		<u>い气仮り争務争</u> 		方向(総合評価に	-刈りつ欧	晋 東寺)				
総合評	価 →	切 土口 生 の 学	A hn)z.	ったボスDD江毛ナ业:	仕 1 夕 典 へ	(佐)上)ァガ	ル フ			
今後の	方向性	協力団体の増	NT (C	つながるPR活動を推済	せし、栓質の	が 例に分	める。			
		/ A ===================================	TBB/							
<u> </u>		(企画政策課記入		71.34	÷ 1					
現状		□拡充	=		a小	□ 統合	•			
休止		□ 廃止		完了	「採択					
1										

_1 事業	の概要	・成果目	標										
	基本目標	票(章)	1 協働でつ	くる希	i望あふれる	まち (市	5民参画・行り	財政運営)					
施策	基本施第	新(節)	1 - 2 j	、権の	尊重			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	担当課	市民福祉部	まちづ.	くり協働課	
区分	[1 – 2 –	人権	の尊重				3		0. 3	. > 500 1500 1511	
		乗 (項)		多面	光光車型	ė.			中米	4.17	1 4	左座 -	
ΗΛ	事務事		•		推進事業	₹	VIIIV (idi	事業 期間	平成	1 4	年度 ~	
区分	1新		2継 緩		 	→ ++- >	継続			20 20 116 1	2 . 2 . 3)	/ 777 A A - *** \\L	A 7
目的											「ため、写	と習会や、講演	会な
及び							ため、正確				·証/元	ポニン(の日吉)) 7 ⊞→
背景	り知まる	いはりさ	为	沙 四。	ノフン」	に基づ	さ、具件は	りな肥束り	ク 夫他认り	1、7、達成度の	が評価、ノ	プランの見直し	に出
1		開催(年	4 回位)	、 PR	の実施								
事業													
内容													
	数値	ΤĔ	目	1		定式	T	是紋	目標	H99年度 (すで	の) 宝績値	H23(までの)目	趰储
	目標			夕冶	智会参加		4E0 / ~	以小	人	1122-72 (3. 0		1123(3 (4)) [1	(示)
	設定	学習会年					数目標10		, ,		人		八
成果	事業	加。	人数		十百云	刑性凹刻	久日 1示10	50	00	221		400	
目標	数値	最終	· 目標								J		
	目標	H22年度(3		±									
	以外			Į									
	事業	H23	目標										
2 事業	実績	※採用算定式:①		標値 ②(1	H23までの実績値	-H22までの実績	績値)/(H23までのE	標値-H22までの目	目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)/	最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値	É
		H23事業費	費					I	H23実施内	內容			
		550		27	7 <u>1</u> 2 7 7 3	***	4 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I						
		770	千円	4 F	2習会・詩	溝 須会 △	1 回開催						
	数値							H23	単年度達	成度	全休計	画における達成	度
実 施	日標 日標	H23(ま	での)実	責値	H23(3	までの)	目標値	採用算		~/~ (1)	採用算	,,,	
施 状	設定							沐川乡	平足八	(I)	冰川乡		Ð
況	事業 2						400		74	%		59	%
1/1	数値			八									
	日標	H	I23実績			H23目標		H2:	3単年度達	成度	全体計画における達成度		速
	以外												
	事業									%			%
	7 7.1	目標	人数には	届いて	いない状	況であり)、参加人	数の増加を	と図りたい。				
目標達成	戊状況の割	平価											
0 年初	- 本米の3	TT /TT											
1 1/1	事業の記		10 d	* NII									
	E性:実施		か高い事	・美か									
評価	a 必要性												
判断								おいても	男女共同参	◉画推進ブラ	ンを制定	ぎしていること	カュ
理由	ら、男女	共同参画	社会の確	立に打	推進 しな	ければ	ならない						
② 主体	性:市が	主体的に	実施する	き事	業か								
評価	a 市がヨ	主体的にま	尾施すべる	<u> </u>									
	関係する	市民団体	や市民活	動の液	舌発化を	図るた	め、市が耳	取り組ま?	なければな	よらない。			
理由													
③ 右於	か性・描待	こたしお	りの成里	がト	がってい	スカ」(辛	新規事業 <i>の</i>	提会は	1 X F				
評価	a 期待し				14 · J C V	ω ω * (π	小儿尹木り	<i>- 70</i> 0 口 (u <i>ki)</i>				
					ナスァル	ファト M	成果がある	スレ田~」	h Z				-
判断	毋 十多く	vノ 沙川伯.	いるりり、	小仏形冗	ッること	により)	以木がめる	って (回4)	いくろ。				
理由	aul N PP	1 Jr -th- 2 ""	1) - (·	. IV -y -J . A-L),),	7						
	区性:成果					はない	カュ						
評価		な積算に基											
判断	学習会の	開催にあ	っては、	ボラ	ンティア	団体に	協力して	もらうな。	ど、経費領	 う減に努めて	いる。		
理由													
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施す	べき事業	きカュ									
評価		実施 しなけ			1								
判断	男女協働					高い、							$\overline{}$
理由	1 2 2 2 2 3 1 - 2 3		, -			. 0							
		で入公の	1 車	業の	古白 (松△き	平価に対	するみ:	美 等 耸 \				
		<u>バラ 1安り</u>	尹労争		<u>'刀川</u> (心口 日	†1川(〜刈	9 公以	当 不 寺 /				
総合評	価 →	عر الــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	. (主 Ł)	A A KK è	なナ. 88 ル	<u> </u>	ナロコとスタルや	さ去渉へ	古[沙園	カフトニケ ・	、たい、		
今後の	方向性	引き	・舵さ、	省会	寺を開作	Eし、参	・加有か増	ス 息識の	回上か凶	れるよう行い	()/こ ()。		
<u>*</u>		企画政策	策課記)	入欄)									
☑ 現状:	<u></u> 通り	□ 拡充			改善		□ 縮小		□ 統合				
□ 休止		□ 廃止			完了		□ 不採	沢					
													$\overline{}$

1	事業の概要	•	成果	日起	Ħ

	1/2/	· <u> </u>											
	基本目標	票(章) 1協働でつ	くる希望あふれるまち(市民参画・彳	亍財政運営)									
施策	基本施第		財政の効率的運営	担当課	市長公室 企画政策	課							
ル 区分	田田井左		効率的な行政運営の推進	1空 司 休	アムム土 上凹以水	- HAIV							
巨刀	1回万11 他习	(項) 1−4−1	効率的な行政連名の推進										
	事務事	事業名 全庁的グ	ループウェアの構築(1人1台PC)	事業	平成 16	年度 ~							
区分	1 新	規 2継 続	→ á	¥続 期間									
			ープウェア環境について、出	-,,, -	りに軟件するとした	トル 夕岸的に桂却							
目的	本月音の	み金佣されたグルゴル	ーノリエノ 環境について、II でき、事務の円滑化・効率化	1兀隊関と加ん主川日 ルテトス士日井 バラ	りに登開りることに	より、土川町に開報							
及び	の共有化	なとを図ることか	じさ、事務の円屑化・効率化	による印氏サービス	いり国上に奇子する。	0							
背景													
	宁内情報	系パソコン250台の	リース契約										
事業		トラネット環境の勢											
内容	地域イン	アノヤン 下塚妃の	主 /用										
1 3-11													
	数值	項目	算定式	最終目標	H22年度 (までの) 実績値	₫ H23(までの)目標値							
	目標	- X H	弁だが	%	%								
	設定	配備率	配備済台数/必要台数	/0	/(70							
成果	事業		10000000000000000000000000000000000000	100	95	100							
目標													
口 1示		最終目標											
	目標	H22年度(までの)実績											
	以外	H23目標											
	事業	П23日 保											
_2 事業	美実績 一	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	傾値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	の目標値-H22までの目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)/最終目標値 ④)H23(までの)実績値/最終目標値							
	I	H23事業費		H23実施内	容								
		7 7172 1	リース代支出(8,198千円)										
		8, 474	リーク代文山(8,198下円)	日伯田井戸がき米郊	チシ (070 T III)								
		干円	H23.10月保健センターとの	四線切骨に伴り業務	· 安託 (276十円)								
#	数值	1100 () D	*/* W00 (\h. < 0) D \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	H23単年度達月	成度 全体計	·画における達成度							
実 施	目標	H23(までの)実績	賃値 H23(までの)目標値	採用算定式	 (1) 採用 	算定式 ④							
旭	設定			1/1/11/#/CZV	(T) 1W/11	発化 れ : ⑤							
状	事業	98	100	98	0/	98							
況			% 100 %		%	%							
	数值	H23実績	H23目標	H23単年度達	成度 全休計	·画における達成度							
	目標	1110人順	1120日小八	1120年 及足	7///X	四位初步步是从及							
	以外												
事業 % %													
平成24年度中に中部・南部サービスセンターとのイントラ回線を整備し、地域公共イントラネットが完了することにより目標達成													
目標達原	成状況の評	7価 となる。											
3 事務	事業の記	平価				-							
	- W W		₩ı .										
① 必要性:実施の必要性が高い事業か													
			美刀,										
評価	a 必要性	生が高い しょうしょう											
	a 必要性	生が高い しょうしょう	^{業の・} し、業務効率、サービ向上を	:目指すためには、Po	C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価	a 必要性	生が高い しょうしょう		:目指すためには、Po	C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由	a 必要性 市の機関 る。	生が高い 全体が情報を共有)	し、業務効率、サービ向上を	:目指すためには、Po	C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべ	し、業務効率、サービ向上を き事業か	:目指すためには、Po	C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体 評価	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が主	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべ 三体的に実施すべき	し、業務効率、サービ向上をき事業か	:目指すためには、Po	C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体 評価	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が主	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべ	し、業務効率、サービ向上をき事業か	:目指すためには、Po	C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体 評価	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が主	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべ 三体的に実施すべき	し、業務効率、サービ向上をき事業か	:目指すためには、Po	C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体 評価 判断 理由	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が当 市の情報	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべ 三体的に実施すべき システム整備の一段	し、業務効率、サービ向上を き事業か 景 である		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体 評価 判理由 ③ 有交	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が自 市の情報 动性:期待	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべ E体的に実施すべき システム整備の一野	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体 評価 判断 理由	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が自 市の情報 动性:期待 a 期待し	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一野 したとおりの成果 したとおりの成果があ	し、業務効率、サービ向上を き事業か		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判断 理由 ② 主体 評価 判理由 ③ 有交	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が自 市の情報 动性:期待 a 期待し	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一野 したとおりの成果 したとおりの成果があ	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判理 主体 評価 判理 有 3 評価	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市が自 市の情報 动性:期待 a 期待し	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一野 したとおりの成果 したとおりの成果があ	し、業務効率、サービ向上を き事業か		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判理 主体 乳 評判理 有 3 評判理 到理 相 期	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が a 市がま 市の情報 効性:期待 a 期待し 事務の効	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき システム整備の一野 したとおりの成果 た通りの成果があ 率化、市民サービン	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判理 主体 判理 所由 有 部 所由 有 部 所由 分 和 不	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が 市の情報 が性:期待し 事務の効 を性:成果	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 た通りの成果があ 率化、市民サービン	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判理 主体 乳 評判理 有 3 評判理 到理 相 期	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が 市の情報 が性:期待し 事務の効 を性:成果	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき システム整備の一野 したとおりの成果 た通りの成果があ 率化、市民サービン	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか		C配備、ネットワー	ク整備が必要であ							
評価 判理 主価 判理 有 3 評判理 4 評価	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が 市の情報 あ性:期待し 事務の効 率性:成果 a 適正な	生が高い 全体が情報を共有し 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 したとおりの成果がある。 本他、市民サービン を変えずに、経費 は積算に基づく経費	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか	の場合は見込)									
評価 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判 ④ 評判	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が報 市の情報 あ性:期待し 事務の効 率性:適取取 の取り	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 したとおりの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達経費 であれば調達経費	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である	の場合は見込)									
評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理④ 評判理	a 必要性 市の機関 る。 本性:市が報 a 市の情報 か性:期待し 事務の効果 を性:適取リー	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果 したとおりの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 な積算に基づく経費 であれば調達経費 スが適当である。	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である よ削減されるが、保守・修緯	の場合は見込)									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 事業 ⑤	a 必要関 市の。 本性:市情 a のの 事性:前が報 を性:適取り を性:適取り 緊性:適取り いの。 気性:適取り いの。 気性:あり のの。	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果 した過りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費費 であれば調達ある。 に実施すべき事業	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修緯	の場合は見込)									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 事業 ⑤	a 必要関 市の。 本性:市情 a のの 事性:前が報 を性:適取り を性:適取り 緊性:適取り いの。 気性:適取り いの。 気性:あり のの。	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果 したとおりの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 な積算に基づく経費 であれば調達経費 スが適当である。	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修緯	の場合は見込)									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評価 (5) 評価 ○	a 必機関 市が報 本性:市情報 市の情報 事務 成正の 野り 乗車 は 適取り 緊急 は 変換 は 至急性 は 変換 は 至急 は またり こう ない こう ない こう は またり こう は またり こう は またり こう かい こう は またり こう きゅう は またり こう は またり またり こう は またり こう またり こう は またり こう は またり こう またり こう は またり またり こう は またり こう またり こう またり こう またり こう またり こう またり こう またり またり またり こう またり こう またり またり こう またり またり またり またり またり またり こう またり またり またり またり またり またり こう またり	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 た通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達経費に スが適当である。 に実施すべき事業 で施しなければなら	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修練 か	の場合は見込) を を を が必要になった場合									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判 □ ○ 評判 ○ <t< td=""><td>a 必機関 市が報 本性:市情報 市の情報 事務 成正の 野り 乗車 は 適取り 緊急 は 変換 は 至急性 まる まる は できる は に できる は に できる は できる は できる は できる は いきる は に できる は できる は に に できる は に に できる は に できる は に に できる は に に に できる は に に に できる は に に に に に に に に に に に に に に に に に に</td><td>生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 た通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達経費に スが適当である。 に実施すべき事業 で施しなければなら</td><td>し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修緯</td><td>の場合は見込) を を を が必要になった場合</td><td></td><td></td></t<>	a 必機関 市が報 本性:市情報 市の情報 事務 成正の 野り 乗車 は 適取り 緊急 は 変換 は 至急性 まる まる は できる は に できる は に できる は できる は できる は できる は いきる は に できる は できる は に に できる は に に できる は に できる は に に できる は に に に できる は に に に できる は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 た通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達経費に スが適当である。 に実施すべき事業 で施しなければなら	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修緯	の場合は見込) を を を が必要になった場合									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理	a 必機 市る。 本性:市情 期の 成	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達経費であれば調達を費しなければなら に実施すべき事業 に対応するにはF	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である よ削減されるが、保守・修約 か ない で配備、ネットワーク整備が	の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理	a 必機 市る。 本性:市情 期の 成	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 た通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達経費に スが適当である。 に実施すべき事業 で施しなければなら	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である よ削減されるが、保守・修約 か ない で配備、ネットワーク整備が	の場合は見込) を を を が必要になった場合									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理	a 必機 市る。 本性:市情 a の 本性:市情 a の な な な な な は ま な な な な な な な な な な	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果が を変えずに、経費 を変えずに、経費 であれば調達経費に スが適当である。 に実施すべき事業 には対応するにはF	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である よ削減されるが、保守・修約 か ない で配備、ネットワーク整備が	の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。									
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 4 評判理 ⑤ 評判理 4 正 日本 日本 <td< td=""><td>a 必機 市る。 本性:市情 a の 本性:市情 a の な な な な な は ま な な な な な な な な な な</td><td>生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果があ 本化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達ある。 に実施すべき事業 に施しなければなら 化に対応するには が今後の事務事</td><td>し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業) る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修練 か ない C配備、ネットワーク整備が 業の方向(総合評価に対</td><td>の場合は見込)</td><td>う契約や迅速な復旧</td><td>が困難ため、保守付</td></td<>	a 必機 市る。 本性:市情 a の 本性:市情 a の な な な な な は ま な な な な な な な な な な	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果があ 本化、市民サービン を変えずに、経費 であれば調達ある。 に実施すべき事業 に施しなければなら 化に対応するには が今後の事務事	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業) る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修練 か ない C配備、ネットワーク整備が 業の方向(総合評価に対	の場合は見込)	う契約や迅速な復旧	が困難ため、保守付							
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 4 評判理 ⑤ 評判理 4 正 日本 日本 <td< td=""><td>a あた。 本性 a の : 市情 期の : ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果があ でした通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費費であれ適当である。 に実施すべき事業 に対応するには が今後の事務事</td><td>し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業) る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修緯 か ない C配備、ネットワーク整備が ない C配備、ネットワーク整備が ない 用は、もはや業務に必要不可</td><td>の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。 対する改善策等) 可欠なものであり、</td><td>う契約や迅速な復旧</td><td>が困難ため、保守付</td></td<>	a あた。 本性 a の : 市情 期の : ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果があ でした通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費費であれ適当である。 に実施すべき事業 に対応するには が今後の事務事	し、業務効率、サービ向上を き事業か 環である が上がっているか(新規事業) る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である は削減されるが、保守・修緯 か ない C配備、ネットワーク整備が ない C配備、ネットワーク整備が ない 用は、もはや業務に必要不可	の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。 対する改善策等) 可欠なものであり、	う契約や迅速な復旧	が困難ため、保守付							
評判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 ※ 今価断由主価断由有価断由効価断由緊価断由総合後のである。	a 市る。 本性 a 市の 性 a 那の 成 m m が m m m m m m m m m m m m m m m m	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果 心を変えずに、経費 であれば調達経費である。 に実施すべき事業 であが適当である。 に実施しなければなら 化に対応するには が今後の事務事	し、業務効率、サービ向上をき事業か 環であるが上がっているか(新規事業 るとを下げる方策はないかである は削減されるが、保守・修繕 かない で配備、ネットワーク整備が ない で配備、ネットワーク整備が ない の方向(総合評価に対 A 用は、もはや業務に必要不可 的なコンピュータネットワークを	の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。 対する改善策等) 可欠なものであり、	う契約や迅速な復旧	が困難ため、保守付							
評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評別理 ○ ○ 評別理 ○ <td>a 市る。 本性 a 市の 性 a 那の 成 m m が m m m m m m m m m m m m m m m m</td> <td>生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果があ でした通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費費であれ適当である。 に実施すべき事業 に対応するには が今後の事務事</td> <td>し、業務効率、サービ向上をき事業か 環であるが上がっているか(新規事業 るとを下げる方策はないかである は削減されるが、保守・修繕 かない で配備、ネットワーク整備が ない で配備、ネットワーク整備が ない の方向(総合評価に対 A 用は、もはや業務に必要不可 的なコンピュータネットワークを</td> <td>の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。 対する改善策等) 可欠なものであり、</td> <td>う契約や迅速な復旧</td> <td>が困難ため、保守付</td>	a 市る。 本性 a 市の 性 a 那の 成 m m が m m m m m m m m m m m m m m m m	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき を体的に実施すべき システム整備の一見 したとおりの成果があ でした通りの成果があ 率化、市民サービン を変えずに、経費費であれ適当である。 に実施すべき事業 に対応するには が今後の事務事	し、業務効率、サービ向上をき事業か 環であるが上がっているか(新規事業 るとを下げる方策はないかである は削減されるが、保守・修繕 かない で配備、ネットワーク整備が ない で配備、ネットワーク整備が ない の方向(総合評価に対 A 用は、もはや業務に必要不可 的なコンピュータネットワークを	の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。 対する改善策等) 可欠なものであり、	う契約や迅速な復旧	が困難ため、保守付							
評判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 4 総 今※ 4 一次 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	a 市る。 本 a 市 b t a あ a 下 b t a あ c i 市 情 期の 成	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果が でしたとおりの成果が 率化、市民サービン を変えば基づく経費であい適当である。 に実施すべき経費であい適当である。 に実施しなければである。 に対応するには が今後の事務事 がいたもの事務事 がいたもの事務事	し、業務効率、サービ向上をき事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である よ削減されるが、保守・修練 か ない のこ配備、ネットワーク整備が ない の方向(総合評価に対 A 用は、もはや業務に必要不可 的なコンピュータネットワー	の場合は見込) 唇が必要になった場合 が必要である。 対する改善策等) 可欠なものであり、付 一クの構築を図る。	う契約や迅速な復旧	が困難ため、保守付							
評判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 4 総今※✓	a 市る。 本 a 市 。 本 b a 市	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果がある。 た通りの成果がある。 を変えずに、経費であれ適当である。 に実施しなければなりである。 に実施しなければならればなければなければなければなければなければない。 できたがある。 に対応するには が今後の事務事 がりの東親記入	し、業務効率、サービ向上をき事業か 環である が上がっているか(新規事業) る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないかってある よ削減されるが、保守・修緯 かない ので配備、ネットワーク整備がない ので配備、ネットワーク整備がない ので配備、ネットワーク整備がない との方向(総合評価に対 A 用は、もはや業務に必要不可的なコンピュータネットワークを構 側) 、横)	の場合は見込) お必要になった場合 お必要である。 する改善策等) 可欠なものであり、 一クの構築を図る。	う契約や迅速な復旧	が困難ため、保守付							
評判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 4 総 今※ 4 一次 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	a 市る。 本 a 市 。 本 b a 市	生が高い 全体が情報を共有 主体的に実施すべき と体的に実施すべき システム整備の一段 したとおりの成果が でしたとおりの成果が 率化、市民サービン を変えば基づく経費であい適当である。 に実施すべき経費であい適当である。 に実施しなければである。 に対応するには が今後の事務事 がいたもの事務事 がいたもの事務事	し、業務効率、サービ向上をき事業か 環である が上がっているか(新規事業 る ス提供の向上が図られる を下げる方策はないか である よ削減されるが、保守・修練 か ない のこ配備、ネットワーク整備が ない の方向(総合評価に対 A 用は、もはや業務に必要不可 的なコンピュータネットワー	の場合は見込) お必要になった場合 お必要である。 する改善策等) 可欠なものであり、 一クの構築を図る。	う契約や迅速な復旧	が困難ため、保守付							

1	中米の押用		H 44		
1	事業の概要	•	成果	日悰	

T 1. \/\	· / M/ 5	PAZE H VA					T				
	基本目標		る希望あふれるま		f財政運営)	Let VIV am	L	^ 	am		
施策	基本施第		財政の効率的過			担当課	市長公室	企画政策	课		
区分	個別施第 東茲軍	マ(頃) 1-4-19 ま 光 夕 ・	効率的な行政資 体推進事業	単名の推進		中米	귟仕	1 5	左庄 -	_	
区分	事務 1 新		平推進事業	<u>√</u> %N		事業 期間	平成	1 5	年度 ~)	
目的		進するIT改革戦略	(IJ-TAPAN戦略)			7,741.4	 要な基盤薬	を備及びシ	ステムを構	築し、	
及び		用を進める。	(e gin in pang)	(-)4/2 / 3/2	2 7 11 11 11	1117/61-20	× 0.21mm	2011/200	. ,	<i>></i> /C 0 (
背景											
事 ***		BBNの利用維持に係									
事業 内容		・届出システム運営 BBN接続機器の借上		(11. 74.	主致 台 扣 怎	. 子 / 二、二		C.461			
									1		
	数値 目標	項目	算氣	三式	最終				H23(までの	り目標値 回	
	設定	障害発生回数				口		回		Щ	
成果	事業	(年)]	L			
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
0 年業	事業	H23目標									
<u> 4 争</u> 業	手業実績 ※採用草だ式: ①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ②H23(までの)実績値/最終目標値										
7,990 _{千円} LGWAN, IBBN, 電子申請届出サービスの負担金拠出											
実	数值	H23(までの)実績	値 1193(ま)	での)目標値		単年度達	成度	I	画におけるラ	達成度	
施	目標	1123(よくの) 天順	匝 1125(よ		採用算	算定式	1	採用第	章定式	4	
状 況	設定 事業		口		100	%		100	%		
171	数値	 H23実績		<u>回</u> 23目標	1109	3単年度達		- 会体制で	画におけるi		
	目標	1120天順	112	.3日保	1120	9年十及ほ		土件川	回になりの)	主队及	
	以外 事業						0/0			%	
H23年度は住民基本台帳法改正による法務省とのネットワークを問題なく開通できた。 目標達成状況の評価											
日標達用	火状況の 割	² 1曲									
	寄業の語										
		の必要性が高い事業	美か ニューニー								
評価	a 必要性	Eか高い BBNは国・地方自治	休むはどう…	トローカでなし	1 国の准	ン ン ス T T ボ	空にトスオ	のでなる			
判断 理由	LOWAII, I	DDIN(A国·地力自任	中で加るイン	ry y Cay	7、国 70 / 匝	(のの11以	水によるも) V) (W) W	0		
	<u> </u>	主体的に実施すべき	き事業か								
評価	a 市が主	E体的に実施すべき									
判断	市の情報	システム整備の一環	とである。								
理由	- I (I	1	W 1 20) / ½r [n -+- 4k	- II A 11 E	1.77.					
(3) 有效 評価		したとおりの成果だ した通りの成果があ		が(新規事業)	<i>八</i> 場台は見	L1스)					
判断		BBNは国・地方自治		トワークであり	0、他自治	体と共同	で運用する	システム	維持のため	には広	
理由		ットワークが不可欠			, ,,	,,, ,,,,,	1,2,11		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. ,	
④ 効率		を変えずに、経費を	と下げる方策は	はないか							
評価		は 積算に基づく経費	である								
判断	入札によ	る契約									
理由 ⑤ 緊急	当州 . 馭刍	に実施すべき事業な	15								
評価	1	を施しなければなら									
		あり、必要不可欠で									
理由											
		バ今後の事務事 第		合評価に対	tする改	善策等)					
総合評	価 ⇒	国・県のシスプ	A テルの利用のも	- WIS 141 CHIAN	. TDDMAS A	/ 曲オゴ 4	ナレナン・ ブニ	tan Ass	いけたみよ	- ビフの	
今後の	方向性	国・県のシスプ より一層の充乳								-ヒスの	
<u></u>	次評価 (企画政策課記入					2.6.				
✓ 現状			改善		`	□ 統合					
一休止		□ 廃止	完了	一不採							
1											

1	事業の概要	战里	日煙
1		1JX/TC	口 //示

_1 事業	医の概要	・成果目標									
施策	基本目標基本施第	ઈ (節) 1-4行	くる希望あふれるまち 財政の効率的運物 効率的な行政運物	<u> </u>	財政運営)	担当課	市長公室	企画政策	課		
区分	個別施第	ママック マンス (大 A 手) (A 大 A 大 A 大 A 大 A 大 A 大 A 大 A 大 A 大 A	効率的な行政連行 ISの整備運用	写の推進			₩.4	0.1	左広		
区分	事務 1 新		15の整備連用	継	结	事業 期間	平成	21	年度	\sim	
目的		パー 2 極 祝 9年8月に施行され	た物理空間情報			27411.4	は休け 「批刊	甲空間信義	の活用	を推進する	
日的 及び 背景	責務」を	負うこととなったこ 備運用し、導入・網	ことから、茨城県	及び県内市	町村により)「茨城県	域統合型(
事業内容		共同システム整備道 空間情報の電子化、								拡充、紙	
	数値	項目	算定式	ŧ	最終	目標	H22年度(まて	での)実績値	H23(ま	での)目標値	
成果	目標 設定 事業	未搭載情報の搭載 率	統合型GIS空間情 未搭載空間情報		10	0		%		% 20	
目標	数值	最終目標									
	目標	H22年度(までの)実績									
	以外 事業 H23目標										
2 事業	美実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H22まっ	での実績値)/(H23までの	目標値-H22までの目	標値) ③(H22まで	の実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④H	23(までの)実績	直/最終目標値	
	手来夫視 ※採用算定式: ①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H23までの実績値・H23実施内容 H23事業費 H23実施内容										
	システム利用に伴う負担金の拠出 61 千円 (情報の搭載はH22雇用対策事業により作成したデータ搭載を実施)										
実 施	数値 目標 H23(までの)実績値 H23(までの)目標値 採用算定式 H23単年度達成度 採用算定式 全体計画における達成度 採用算定式										
状 況	設定 事業	20	%	20 %		100	%		2	0 %	
	数値 目標 以外	H23実績	H23	目標	H23	単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度	
	事業 % % %										
目標達用	成状況の評		は基盤地図の拡充 れていない状況で		の搭載、操	作方法の研	肝修を進めて	きたところ	ろであり、	既存情報	
	5事業の語										
		の必要性が高い事	業か								
評価	a 必要性		した トル 甘葉	で り動性	0101/75	-) +# //c)-	1 \ 14	ム日散供と	= 4= 1- la	フェル 1代	
判断 理由	コストで	型GISを導入するこ 整備することができ	きる。	ノーグ 登開、	G1327/	(4 件架に	_*JV * C (4.5	七川登伽(C1] 424 U	るため、仏	
		主体的に実施すべる	き事業か								
評価		E体的に実施すべき 展開に活用するた&	みの 体 把 で な N	目の仲古し	の井戸門を	&でなっ?	* 古八の4	五相 14.77日	五でなる		
判断 理由							. 5 ND 77 V/J	マ1年(よ北)多	z (Ø) Ø,		
③ 有效 評価		したとおりの成果が した通りの成果があ		1(新規事業(ソ場台は見	120)					
<u> </u>	本事業で	を備されるのは基本 を開きれるのは基本 に利用が可能となる	に情報のみである	が、今後各	担当課で作	す成したラ	ータが入っ	力・蓄積で	けること	により、多	
		を変えずに、経費	-	21.171							
評価		は 復んりに、 経質で よ 積算に基づく経費		* 4 :1/1							
判断理由		内市町村の共同整備		:なっている。	0						
		に実施すべき事業が	<i>β</i> ₂								
評価	1	尾施しなければなら									
		情報活用推進基本法 内外の情報活用、提							#、未更:	新の地図が	
4 総合	評価及で	び今後の事務事美	業の方向(総合	合評価に対	する改善	季策等)					
総合評			A								
今後の	方向性		有する空間情報を統合 能となるため、新たた て利活用できる。								
※ _}		企画政策課記入	.欄)								
1 2 現状		□拡充	改善	編小		□ 統合					
			□ 完了	□不採	灯						

1 事業	の概要	• 成果目	標								
	基本目標	*:	L	くる希望あふれるま		f財政運営)					
施策	基本施領	6(節)	1-4行	財政の効率的週	臣営		担当課	市民福祉部	7 市民課		
区分	個別施第	6(項)	1-4-1	効率的な行政週	■営の推進						
	事務事			化推進事業			事業	平成	17	年度	\sim
区分	1 新	規	2継 続	-	→ 総	 上続	期間				
目的				とは、平成16年							
及び				までの5年間の		的をした。	機器の更	新にあわせ	て、新し	いソフト	ウェアー
背景	も導入し	、戸籍事	務の充実化	とをはかってい	る。						
	戸籍シス	テム機器」	更新作業及	及び業務改善ソ	フトの追加導	入費用を	含む機器の)賃貸借契約	りを締結し	ノ、 5 年	間(60回
事業	払い)の	支払い計画	画によりま	と出する。							
内容											
	数値	項	· E	算定	式	最終	. 目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(まて	での)目標値
	目標			21,7	<u> </u>					,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
D. FFF	設定										
成果	事業	П.//	- 1-	- lake 11							
目標	数値 目標		目標	電算化システ.		-					
	以外	H22年度(ま	ミでの)実績	電算化システ.	ムの維持が図	られ、円泡	骨に諸証明	を交付する	ことがて	ぎきた。	
	事業	H23	目標	電算化システ.	ムの維持及び	諸証明のF	円滑な交付	•			
2 事業	実績	※採用算定式:①	H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H22	までの実績値)/(H23までの)目標値-H22までの	目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④F	123(までの)実績値	红/最終目標値
H23事業費 H23実施内容											
		0.054		最常儿》,以 面。	A +666 中 の 11	コナルニー	<u>. </u>				
		9, 254	千円	電算化に必要を	は機器のリー	人を仃つ/	٥,				
実	数値	H00 (3-)	マの) 皮質	H 1100 (3)	(4) 日本は	H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
施	目標	H23(E	での)実績	1値 H23(まっ	での)目標値	採用領	算定式		採用領	算定式	
状	設定			JI/10717CF V							•
況	事業									%	
	数値 H23実績 H23目標 H23単年度達成度						成度	全体計	画におけ	る達成度	
	目標						<u> </u>	.14X1.X			
	以外 事業	電鼻化シスプ れ、円滑に諸	るの維持がB 番証明を交付す	PB#10 < /			100	%		10	0 0/
	事業 ずれ、円滑に諸証明を交付するこ び諸証明の円滑な交付 100 % 100 %										
目標達成	成状況の評		とができて		0	-100,17	117/14/17/20	> HB HTT->1.51.1	16.6211	_ , , , н и	(C XE/AX)
0 +3/7	· - -	≕ / = =									
, .	事業の記	. ,, .	20 士 , , 士 3	Щ47							1
	要性:実施		か高い争う	美刀 3							
評価	a 必要性		F∏ (/A) テート //) 稼働している	ンコニノズキ	り三体	事 3分 kn πm) :	これの名のも	のづま	7	
1.31-21	現 任、 (機)	 石頁頁情急	笑がによ!	/ 核側している	ンステムでめ	り、尸精・	事務処理に	-は必須のも	500 000	o.	
理由	ЬИ. + 2°	(H-4/L-)	+++ + » ·	* 本类 /							
	体性:市が			き事業か							
評価		上体的に実		三体の子が切り	光弦のお売り	3 m 3 -	1 1- 1- 10	=#: o ===	1+1.2.2.	2.1 🖼) w.l.=-
判断				「籍の正確性、 にり、市民サー				戸籍の誤詞	に載をなく	、し、ス・	ムースな証
理由											
				が上がっている	か(新規事業	い場合は身	礼込)				
評価		ンた通りの バスの中									
判断	巾氏サー	ビスの向_	上に貝献し	している							
理由		→ 11: > 1")	ナージットがい	25157						
				を下げる方策は	、はいか						
評価		は積算に基									
判断	見積もり	金額による	る 週上なる	定領							
理由	7 [r] 125-7 5-) = e t- 2	2 7 - 10	,							
	急性:緊急										
評価		を施しなけ									
1 1001	22年度か	りの継続!	事業である	0 .							
理由	⇒ = !	. A	→ → - `	IIA - 1 - 1 - 12 - 12 - 1	\ \ == \ \ :	1 1	Arta fata E-1-\				
		ブ今後の	事務事	業の方向 (総	<u>:台</u> 評価に対	けする改	善策等)				
総合評	価 →			A		1	-tm // \	10 SID	hi / \		· · · · · ·
今後の	方向性			については終了	し、長期に	よる賃貸借	学約によ	り、業務を	執行して	いる。H2	7年度に契
			更改があ								
<u>* _7</u>		企画政策									-
☑ 現状		拡充		改善	縮小		□ 統合				
□ 休止		廃止		□ 完了	□ 不採	火択					
□ N•II											

1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標	票 (章) 1協働でつ	くる希望あふれるまち(市民	と参画・行財政運営)							
施策	基本施第	領(節) 1-4行	財政の効率的運営		担当課	市民福祉部	市民課				
区分	個別施第	(項) 1−4−1	効率的な行政運営の排	進進	•••						
	事務事	¥名 外国人住	民に係る住民基本台嶋	長制度への移行	事業	平成	23	年度	\sim		
区分	1 新	•	\rightarrow	新規	期間	平成	23	年度			
目的			民基本台帳法等の改正					1 0 4	ろため		
及び			主民票を作成すること						. 27200		
背景	施行期日	平成24年7月9		. 3. 7 . 7			, , , , , , ,	J. 20			
日水	企民甘未	ム帳シュニュのみん	女 分兄弟,仍然必结	の様士亦軍 お	-甘ラ し r	フェカ 。 の 這	強ない回さ	わ た			
事業			冬、住民票・印鑑登録 录システムに反映する				2傍か凶り	10/Co			
内容	外国八江		メンハノムに反映する	ため関係で味る	. IFI 和Vノ バ イ	日で囚りた。					
	数值	項目	算定式	最終	終目標	H22年度ま	での実績	H23年度	ま目標値		
	目標										
成果	設定 事業										
目標	数値	最終目標	平成24年7月9日からのタ		主	┃ 割磨への移行	のためのこ	/マテム砂/	体の宝施		
H W	目標		十成24年1万9日から077	「国人圧以に係る」	工八巫平口恆	(山) 反 、 (0) (多月)	071207070	八八五以	多の天旭。		
	以外	H22年度までの実績									
	事業	H23年度目標	平成24年7月9日からのタ	ト国人住民に係る	主民基本台帳	制度への移行	のためのシ	/ステム改作	修の実施。		
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	(H23までの実績値-H22までの実績値	()/(H23までの目標値-H22まで	の目標値) ③(H22ま	での実績値+H23実績値)/	撮終目標値 ④H2	3(までの)実績値/	最終目標値		
	H23事業費 H23実施内容										
	945 住民記録システムの改修を行った。										
		945 千円	仕氏記録ンステムの	以修を仃つに。							
/	数値			. Н	23単年度達	 成度	全体計画	面における	5達成度		
実施	目標	H23実績値	H23目標値	∃ l	算定式		採用算				
ル 状	設定			1/1/14	JT/L-1	-	DK/14 21	-/	•		
況	事業			%			%				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	数値	1100位体	1100日抽		00 光 左 库 法		스 사람교	ニューナンハナ コ			
	目標	H23実績	H23目標	H	23単年度達		至仲計四	可における)		
	以外	平成24年7月9日からの	外国人 平成24年7月9日からの外 度への に係る住民基本台帳制度		100			100			
	事業	移行のためのシステム改	文修 のためのシステム改修	の実施。		%			%		
日神泽	戊状況の評		ステム改修を行い、タ	ト国人住民に係ん	る住民基本	台帳制度移行	テへの準備	帯を整える	ることが		
日保建用	又小がいけ	一価 できた。									
3 事務	事業の記	平価									
1 1/1	7 / 1 7 1	の必要性が高い事	業 か								
評価	a 必要性										
判断			民基本台帳法等の改正	に伴い 外国人	住民も住民	2.基本台帳#	度の適用	対象とな	ろため		
理由	71 11 7 32		NE PERENT SEE			· (金)	1/2 1/2/1	1711 200 - 0	. 0/2*/0		
		主体的に実施すべ	き事業が								
		生体的に実施すべき									
評価		三体的に美麗りへき 台帳事務(自治事務									
1.31-31	住氏基本	口帐事份(日佰事份	() じめるにめ。								
理由											
			が上がっているか(新	児事業の場合は	見込)						
		た通りの成果があ									
1 1001	外国人住	民にとって負担の軸	坐 减が凶られる。								
理由											
4 効率	区性:成果	を変えずに、経費	を下げる方策はないカ	7							
評価		は積算に基づく経費	である								
判断	見積によ	る、適正な金額。									
理由											
⑤ 緊急	9性:緊急	に実施すべき事業	か								
判断		正に基ずく業務では									
理由			, 40								
4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等)											
4 総合評 総合評		<u>バオ後</u> ツ尹伤事。 		三月 (一分) 3 日	(台界守)						
心口计	ш →	亚出9 4年 7	A 月9日に施行され、第	*数な泌行して!	ハス						
今後の	方向性	一八八八十八	万 9 日 (に肥1) ご 4 し、 身	マ彷と炒1」しくり	1.00						
· - ·	₩ = 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10	<u> </u>	14月/								
×/		企画政策課記入		<i>₩</i>							
現状		□ 拡充 □ 索 :	□ 改善 [╛縮小	□ 統合	•					
□ 休止		□ 廃止	☑ 完了 [不採択							

1	事業の概要		战里	日煙
1		-	11X 7K	口 1示

<u></u>	が、概要	<u>・ </u>								
	基本目標	票(章) 1協働でつぐ	くる希	望あふれるまち(市民参画・行	財政運営)					
施策	基本施第	策(節) 1-4行	財政	の効率的運営		担当課	総務部 税	務課		
区分	個別施第	策(項) 1-4-1	効率	的な行政運営の推進						
	事務事	事業名 土地管理				事業	平成	23	年度	~
区分	1 新			→ 新	規	期間	平成	23	年度	
目的	地番図は		くれて	いることから、図とし		が低く、同				各算定の弊
及び				E資産管理システムを導						
背景	を行い、	価格決定の根拠を明	月確に	こする。						
1,7,7,	納税者に	対する価枚決定の料	3.加.咨	 資料として、精度の高い:	州釆図なり	を成する き	ーレに上り	冬地の	歯成立を 日	自動的に質
事業		地評価替え時の評価			田田口で	FAX 7 S		- G 7E V 71	市及工工	コメルバー弁
内容			4 100	200,20						
	*** /**	五口		<i>bb</i> → →	目幼	□ 1 ==	1100左阵 /士	ズの) 皮は	1100 / -	:a) 口無仕
	数値 目標	項目		算定式	最終	日倧	H22年度(ま	での)美顔	H23 (£ 7	ぎの) 目標値
	設定									
成果	事業									
目標	数值	最終目標	固定	資産税の適正な課税。						
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外	H23年度目標	++	情報をシステムより管理	用1. 固定	?答帝誣侃	其準におに	トス滴正ナ	な 評価 質 完	また行う
2 事業	事業_ (実績	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
<i>△</i> 尹未	*/ *///	※採用算定式:①H23実績値/H23目標 [H23事業費	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		- 123実施戊 - 123実施戊)/最終目標値 ④	H23(までの)実績値	[/最終目標値
	<u> </u>	口40尹未复	ㅁ근	次文は却然四、コニュニ		2 ****		- M: m - 1- 7	· > 1	/\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	4, ()10		資産情報管理システムレ な課税業務を行う。	こおいて、	評価資料	を一元的に	-官埋する	5 2 2 6,	公平かつ
	State P. C.	十円	心山口	は味忱未伤と117。	1100		- A-rt-	A (4-3)	=== 1 = .b< 1.b	マキ小点
実	数值	H23 (までの) 実	績値	H23 (までの) 目標値		3単年度達	灰 度		画におけ	る達成度
施	目標 設定				採用算	津 疋式		採用	算定式	į
状	事業						0/			0/
況	数値						%			%
	■ 数値 ■ 目標	H23実績		H23目標	H23	H23単年度達成度 全体計			画におけ	る達成度
	以外	適正な評価基準算	定が	土地情報をシステムより管理し、						
	事業	できた。		固定資産評価基準における適正な 評価算定を行う。		100	%		100	%
固定資産情報管理システム導入により、土地情報を把握し、効率的に固定資産評価基準における										
日標達用	目標達成状況の評価 適正な評価算定を行うと共に、価格決定の根拠を明確にする。									
3 事終	事業の記	平価								
		iの必要性が高い事績	差か							
評価	a 必要性		14							
判断			2.固分	ご資産評価基準における。	適正な評価	 一覧定を行	〒う。			
理由		3,2,2 ° (),, (), (), ()	— /-			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	• > 0			
② 主体	上 本性・市が	主体的に実施すべる	き事き	<u></u> <u> </u>						
評価		上体的に実施すべき と体的に実施すべき		KN						
		主体である。								
理由	1100 700	Z11 (0) 0°								
	<u> </u> 	こたとおりの成里。	55 F 7	がっているか(新規事業の	り担合け目	1 7 7)				
評価		したこれりの成果があ した通りの成果があ		, ノ (* * * * * * * * * * * * * * * * * *	<i>- *//</i> // ロ (より	1K2)				
		ができ成果ができ成果が 価管理ができ成果が								
判断 理由	過上な計	画 B 左 / へ C / 以木 /	· (x) '	•						
	<u> </u> 	:を変えずに、経費	シ下に	ずる方筈けないか						
評価		は積算に基づく経費								
		参考とし、適正な経								
判断 理由	19年1女川で	少つこし、適止は能	E貝 (. U./ つ0 o						
	1	17字歩子 ごと声楽。	4.							
		に実施すべき事業が								
評価		尾施しなければなら			フィーショナ フィ	文笙の「戸	といまがま	1ァトフ」	オエジ 1 /	ンチュなもの
判断 理由	固定貿 価管理が		• `	「その他の宅地評価法」	にわりる1	ロ事ツー	口地左毕衣」	による1	州上が十分	リな価恰評
			ш- ~	上上 (44 人 ユー / ナー) - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	노 ㅋ ㅋ/ =					
		<u> プイ俊の事務事</u>		<u>方向(総合評</u> 価に対	する改善	善束等)				
総合評	価 ⇒		Α							
今後の	方向性									
	※ 二次評価(企画政策課記入欄)									
現状		□ 拡充		改善		□ 統合				
休止		■ 廃止	√	完了	択					
<u> </u>										

1	事業の概要		战里	日煙
1		-	11X 7K	口 1示

<u> 1 争</u> 亲	砂焼安	・放朱日悰							
	基本目標			望あふれるまち(市民参画・行	f財政運営)				
施策	基本施策	兼(節) 1-4行	財政	の効率的運営		担当課	総務部 税	務課	
区分	個別施第	兼(項) 1-4-3	財政	基盤の確立	•••••	1			
	事務			¥料作成業務委託(緊急雇用	創出事業)	事業	平成	23	年度 ~
区分	1 新				 f規	期間	平成	24	年度
目的			勿が有	・ 使用され、長い間更新を		かった。			
及び	存場所の	確保や情報検索の利	1便性	生が問題となっていた。	今回それ	った。。 らを電子5	データ化し、	一元管理	理をすることによっ
背景	て、確実	な資料の保存やデー	一夕見	更新作業の簡略化、情報	検索の利	便性の向」	上が期待で	きる。	
日爪									4) 空息延年次到
事業				上地情報システム上で活 として、固定資産情報管					
内容				Lして、固足負産情報で K年保存資料の適正な管			C \\ \rac{\rac{\rac{\rac{\rac{\rac{\rac{	目埋りる、	ことで、公子かり適
			- \ /.				_		
	数值	項目		算定式	最終	·目標	H22年度(ま	での) 実績	H23(までの)目標値
	目標								
成果	設定								
日標	数値	最終目標	土和	価家屋の把握と課税資	料の海扣4	2答理			
H W	目標			一個多座の追渡と味慣貝	作り週別な	1日生			
	以外	H22年度(までの)実績							
	事業	H23年度目標	未評	価家屋の把握					
2 事業	美実績 (※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23まで	り目標値-H22までの	目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)/最終目標値 ④	H23(までの)実績値/最終目標値
		H23事業費				H23実施卢	羽容		
	00	016	航空	写真画像を活用して家屋評価情	報(家屋平面	1図・家屋所	在図等)を電質	- 算管理システ	ム化し、資産の的確な把
	20,	916 千円	握と	その適正・公平な評価に努める	とともに課税	2資料(永年1	保存)のシスラ	- ム管理を行	· 5 。
#	数値		/ / [.	/	H2	3単年度達	成度	全体計	画における達成度
実施	目標	H23 (までの) 実	績値	H23 (までの) 目標値	L	章定式	.,,,,,,,		算定式
状	設定				1/17/14 5	T/C-1	:	2/10/10	17674
況	事業						%		%
, , ,	数値	1100安体		1100 🗆 🚟	110	0 出 左 南 古		<i>∧ 1</i> +⇒1.:	
	目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達		至仲訂	画における達成度
以外 未評価家屋の把握 未評価家屋の把握 100 0/						60			
	事業						%		%
家屋図データを作成したことにより課税家屋の所在が明確となり、固定資産情報管理システムにお 目標達成状況の評価 いて 課税家屋及び未評価家屋を的確に押握することが可能となった									
目標達成状況の評価 いて、課税家屋及び未評価家屋を的確に把握することが可能となった。									
3 事務	事業の記	評価							
① 必要	要性:実施	iの必要性が高い事	業か						
評価	a 必要性	生が高い							
判断			折の复		屋評価情	報のスキュ	ァニングをタ	行い、固定	定資産管理システム
理由	において	一元的に管理できる	成失っ	けることがない。					
② 主体	<u> </u> 	ご主体的に実施すべき	き事	 と か					
評価		主体的に実施すべき	C 1.	10.14					
判断		業主体である。							
理由	1111/2 3	木工件である。							
	┃ 3h싽 · 餠/4	11 たしむりの出田	がトー	がっているか(新規事業	の提合ける	1 (Z ; E			
		- したとわりの成果があ した通りの成果があ		アフトいるが(利风尹耒	∨ノ′勿 口 (よケ	uと)			
評価				 					
判断	回足頁生	日垤ノヘノム―兀1	山 (ス	八十休け/ 州凶り40亿。					
理由		マボミ 単に 一切書	→ → ·	エット体: ユュー・					
		を変えずに、経費							
評価		な積算に基づく経費							
判断	隣接市を	参考とし、適正な組	全費で	ごめる。					
理由	1								
	T .	に実施すべき事業							
評価		実施しなければなら							
判断			到料	又集整理、家屋所在図ス	キャニン	グ等) する	ることによ	り、今後の	の震災等が起きても
理由	水年保存	が可能になる。							
4 総合	評価及7	び今後の事務事	美の	方向(総合評価に対	対する改	善策等)			
総合評			Α						
<i>∧ //// ~</i>	→ / LU.	固定資産情報	管理	システムにより未評価質	家屋を的確	に把握し	、公平で適	正な課税	に努める。
一 学後の	方向性								
<u>* _ ;</u>	次評価 ((企画政策課記入	欄)						
現状		拉克	- INA)	改善	`	□ 統合			
休止		□ 廃止	H	完了					
1									

1	事業の概要	成果	目	煙

争美	ミの 概要	・成果目標								
施策 区分	基本施第	基本目標(章) 2いのち輝くぬくもりのあるまち(健康・医療・福祉) 基本施策(節) 2-1健康・医療の充実 個別施策(項) 2-1-1健康づくりの推進 事務事業名 予防接種事業(麻しん風しん混合ワクチン予防接種3期・4期)						保健セ	ンター	
EA	事務事	事業名 予防接種事業	(麻しん風しん混合ワク	チン予防接種 3		事業 期間	平成	20	年度	~
区分		規 2継 続	→ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	継			平成	24	年度	t Noote . H
目的 及び 背景	から予防技	10代から20代の年齢 接種法施行令が一部改 対象に予防接種を実施	正され、麻しん発生	を2012年ま	でに排除す	る計画が第	ぎ定され、平 月	成24年度ま	ミで中学1年	年生及び高
事業内容	事業名事業費	★:市が医療機関へ委 :麻しん排除計画によ :8,987,000円 麦:平成20年度から平	る麻しん風しん混合		3期及び4期	の定期予防	方接種			
	数值	項目	算定式		最終	目標	H22年度(まて	での)実績	H23 (まっ	での)目標値
成果	目標 設定 事業	接種率	接種者/対象者	⊤×100	9	% 95		%		% 95
目標	数值	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外 事業	H23年度目標								
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	by @(1199+ standstable 1199)	(中体体) //四のナッニー	1種房 Hooナベニコ	極樹) ②(1100) 5-	ingesig poores	品领日播译 ②"	00/+~~~~\ctoc**	★ / 显 - 64 日 + 18 + 14
		※採用算定式:UH23美額個/H23目標 H23事業費	E WULDSCU天顧他TEZまでの	大横胆//(N20までのE		#個 3(H22まで 123実施内		axiscotistill (4)H	いしょ ビジノ夫頼1	12/ 収 / (17 任)
	 		中学1年生・高	校3年生料				麻しん・	風しんの)流行を予
		111	防する目的で、ワ	クチンの接	接種を実施					る達成度
実施状	目標 設定	H23 (までの) 実	績値 H23(までℓ		採用算	定式	1		章定式	4
況	事業 数値	90. 6	%	95 %		95. 4	%			%
	数iii	H23実績	H23 E	標	H23	3単年度達	成度	全体計画	画におけ	る達成度
	事業						%			%
□ (=)+	D 115 Not = 30		での目標値は91%				92.6%。平月			標値は
目標達用	成状況の評		は99.2%。目標値	と達成度か	ら事業の	達成状況	は目標を超え	えて達成	されてい	たと評価
3 事務	事業の記	<u>できる</u> 平価								
		<u> </u>	業 か							
評価	a 必要性		10.77							
判断	1	省からの予防接種活	生の改正により実 が	色						
理由 ② 主体	┃ 本性:市が	主体的に実施すべる	き事業か							
評価		E体的に実施すべき								
判断理由		法に基づく予防接種	重の実施主体は市町	丁村にある。						
③ 有刻		したとおりの成果だ		(新規事業の)場合は見	込)				
評価		した通りの成果があ		# A A # F	1) 本小					
判断 理由	95%以上	の予防接種率であれ	いは、麻しん排除	T凹の成果が	い達成					
④ 効率		:を変えずに、経費?	を下げる方策はない	ハカン						
評価	a 適正な	よ積算に基づく経費	である							
判断理由		をすることで麻しA 高く、経費は削減さ		ぶできるたと	め、予防技	接種は欠か	<i>ъ</i> せない。ま	た、3期	は集団接	種により
		に実施すべき事業/ ミ施しなければなら								
評価 判断		e 施しなければなら により 5 か年計画で								
理由		10 A AA =	III I	37 /m \ ' '	1 1	4 fefer 61.				
4 総合 総合評		ゾ今後の事務事 <u>達</u>	<u>業の方向(総合</u> A	評価に対 】	する改善	善策等)				
	方向性	麻しん風しん できる。	予防接種を二十歳	以下の年齢	層に2回	接種する	ことにより、	流行の	蔓延を防	ぐことが
<u>* _;</u>	次評価 (企画政策課記入	.欄)							
✓ 現状		□ 拡充	□ 改善	□ 縮小		□ 統合				
□ 休止		□ 廃止	□ 完了	□ 不採	択					

		(X)
1	事業の概要・成果目標	

_ 1 尹未	が、「「「「「「「大学」」	・						
	基本目標		くぬくもりのあるまち(健康	・医療・福祉)	les de em	I. → I → I. I. I.	- 10 14	
施策	基本施第		康・医療の充実		担当課	市民福祉部	『 保健セ	ンター
区分	個別施第		健康づくりの推進	(年本本でロア)			0.0	大京
区分	事務: 1 新		業(子宮頸がん等ワクチン接 →	継続	事業 期間	平成	23	年度 ~
目的			<u>ー</u> 雄膜炎の原因の6割を占めるヒン			球菌感染はワク	クチンでほほ	確実に防ぐことができ
及び			かり、年間20~30人が死亡、1 05歳以上は接種しない。また、					
背景	とができる。		73成以上は1女性しない。また、	丁呂琪がんソクノ	ノセ心体別り	ノダ丁に1女性り	2 C C C L I	当項が心の惟忠を切くこ
-1- -14-			ンは 生後2か月から5歳未満	子宮頸がんワクラ	チン中学1年生	上~中学3年生		
事業 内容		に委託し個別接種						
1 374	・接種率 8	-		T		1		
	数値 目標	項目	算定式	最終	目標 %	H22年度(まて		H23(までの)目標値 %
	設定		%	% 80 80 80				
成果	事業			頸がん ヒブ 肺炎	80 80			80 80
目標	数値 目標	最終目標						
	以外	H22年度(までの)実績						
0 単紙	事業	H23目標						
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H		1標値) ③(H22まで 123実施内		/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値
		エロッナ小只		1	120 /CNET	4:H		
		千円						
実	数值	H23(までの)実績	 値 H23(までの)目標	· 信 H23	単年度達	成度	全体計画	画における達成度
施	目標	-		採用算		1	採用算	
状 況	設定 事業 崩炎 34.0 % 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80			78 36 36				
171	数値						全体計画	<u>43 %</u> 画における達成度
							土件可以	画におりる足成皮
	以外 事業					%		%
予防接種をすることで、重症感染症の罹患を防ぐことができる。								
目標達成状況の評価 子宮頸がんワクチンを接種することで子宮頸がんを予防できる。								
	多事業の語							
		の必要性が高い事	業か					
評価	a 必要性	Eが高い 症を予防できる。						
判断 理由		がなすめてきる。 んを予防できる。						
② 主体	<u> </u>	主体的に実施すべ	き事業か					
評価		i 住体的に実施するこ						
判断	予防接種	法により、予防接種	重は市が実施することと	なる。				
理由	-L. kit	1 2 1 15 16 - 15 11	20 20 1 1 1 1 1 1 1 -		1)1)			
③ 有效 評価		・したとおりの成果だ した通りの成果があ	が上がっているか(新規) ス	尹耒の場合は見	L1스)			
判断			る 탑症感染症を防ぐことが	できる。				
理由			, - -	- -				
			を下げる方策はないか					
評価		な積算に基づく経費						
判断	対象者の	接種率により積算し	した。					
理由	<u> </u> 	に実施すべき事業	<u></u>					
評価		を施しなければなら						
判断		接種での効果が高い						
理由	<u>L</u>							
		び今後の事務事	業の方向(総合評価	に対する改	善策等)			
総合評	価 ⇒	교수아무류가	A 知伝库しまり、国からの	、揺叫人ぶよっ	<i>ジ</i> ルケ	声は七戸マ	キフ コ	A、1 マルセチェ
今後の	方向性	半成23年度が 継続は必要で	初年度となり、国からの ある。	/	か、次年	度は未定で	める。し	かし、予防接種の
<u>* _}</u>	次評価 (企画政策課記入						
現状		<u>正画以来味能入</u> □ 拡充		縮小	統合			
一休止		□ 廃止	完了	不採択				

1	事業の概要		战里	日煙
1		-	11X 7K	口 1示

施策区分	基本目標	票 (章) 2いのち輝						
		基本施策(節) 2-1健康・医療の充実 週別施策(項) 2-1-1健康づくりの推進			担当課	市民福祉部	保健セ	ンター
					- - - -	4-17	0.1	左曲
F: /\	事務事		推進争来 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	◊Ν/ ◊±	事業 期間	平成	21	年度 ~
区分	1新		→ → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	継続がたたち死亡者数に	7 7 4 1 1 4	平成	26	年度
目的			っ死に原囚の弟1位であり、 世早期発見及び早期治療が重					
及び	年齢に達した	た方に対して、子宮頸が/	ん、乳がん及び大腸がんに関	する検診手帳及び無料	斗クーポン券	を送付し、がんね		
背景			普及啓発を図り、もって健康					
事業内容	腸がんは	40~60歳までの5歳 ともに、大腸がん材	頁がんは20〜40歳までで刻み男女3,544人を対 刻み男女3,544人を対 食診受診者には検査キ	象者とし、兼新	手帳、無料	∤クーポン券	、受診第	と内等を一括してi
	数值	項目	算定式	最終	目標	H22年度 (までの	の) 実績値 %	H23(までの)目標値
	目標 設定	がん検診	亚头 北北 /山岳 北北 /	100	%	C		
成果						30		30
目標	数値	最終目標		I				
	目標	H22年度(までの)実績						
	以外	1 34 (1) 7 7 3 3						
	事業	H23目標						
2 事業	1,2,1	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)	/(H23までの目標値-H22までのE		の実績値+H23実績値)/昇	とというとというというというというというというというというというというというとい	23(までの)実績値/最終目標値
	I	H23事業費		I	H23実施内]容		
		4, 709	女性特有のがん検診丼	#進事業(子宮巠	盾がん検診	、乳がん検討	診)	
		千円	NE11110101010101					
実	数值	H23(までの)実績	f値 H23(までの)目		単年度達			画における達成度
施	目標	1120 (\$ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(IE 1120(よくの)日	採用算	章定式	1	採用算	章定式 ④
状	設定	28	3	0	94		56	
況	事業	20	%	%	01	%		90
	数值	H23実績	H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画における遺	
	目標							
	以外 事業					0/		C
事業 % % % % % % % % %								
目標達成状況の評価がる。								
	事業の記	- 10	alle,)					
① 必要性:実施の必要性が高い事業か								
評価 a 必要性が高い								
	a 必要性	上が高い			m*141 > 2 = 14.			
判断	a 必要性	上が高い	こよる死亡者数の減少	を図るため、必ら	要性は高い	と思われる。	0	
判断理由	a 必要性 年々増加	生が高い 傾向にある、がんに	こよる死亡者数の減少	を図るため、必	要性は高い	いと思われる。	0	
判断 理由 ② 主	a 必要性 年々増加 本性:市が	とが高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべ	こよる死亡者数の減少さ	を図るため、必り	要性は高い	いと思われる。	0	
判断 理由 ② 主体 評価	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が主	上が高い傾向にある、がんに主体的に実施すべき三体的に実施すべき	こよる死亡者数の減少を				0	
判断 理由 ② 主体 評価 判断	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が主	上が高い傾向にある、がんに主体的に実施すべき三体的に実施すべき	こよる死亡者数の減少さ				0	
判断 理由 ② 主体 評価 判断 理由	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が主 市が実施	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき E体的に実施すべき している健康診断・	こよる死亡者数の減少さ事業か・健康相談の一環とし、	て実施すること	が望ましい		0	
判断 理由 ② 主体 評価 判断 理由 ③ 有效	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が主 市が実施 动性:期待	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規	て実施すること	が望ましい		0	
判断 理由 ② 主体 評価 判断 理由 ③ 有交	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が実施 市が実施 か性:期待 b 成果に	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果だ は少ないが、今後向	こよる死亡者数の減少さ事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがある	て実施することだ	が望ましい 1 込)	١,	0	
判断 理 主体 評価 判断 理 由 ③ 有多 評価 判断	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が実施 市が実施 か性:期待 b 成果に	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果だ は少ないが、今後向	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規	て実施することだ	が望ましい 1 込)	١,	0	
判断 理 主体 評価 判理 有 3 評価 判断由	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が宝 市が実施 か性:期待 b 成果に 実施率が	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続	て実施すること; 見事業の場合は見 していくことでの	が望ましい 1 込)	١,	0	
判断 理 主体 評価 判理由 ③ 評価 判理由 4 効率	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が主 市が実施 か性:期待 b 成果に 実施率が	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき とないる健康診断 している健康診断 したとおりの成果。 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で	こよる死亡者数の減少さ事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないか	て実施すること; 見事業の場合は見 していくことでの	が望ましい 乱込)	١,	0	
判理 主体 ② 評	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が実施 か性:期待 b 成率が 実施率が 率性:成果	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費。 は賃算に基づく経費	こよる死亡者数の減少さ事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである	て実施することだる事業の場合は見	が望ましい 乱込) の受診者均	加を図る。		
判理 主体 乳	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が実施 か性:期待 b 成率が 実施率が 率性:成果	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費。 は賃算に基づく経費	こよる死亡者数の減少さ事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないか	て実施することだる事業の場合は見	が望ましい 乱込) の受診者均	加を図る。		
 判理 ② 評	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が実施 か性:期待 b 成率 を性:成率 を性:成率 を性:成率 を性:成率	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果だけないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費で な積算に基づく経費で 費は医療機関委託料	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。	て実施することだる事業の場合は見	が望ましい 乱込) の受診者均	加を図る。		
 判理 ② 評価 判理 ③ 評判理 ④ 評判由 ⑤ [⑤] 	a 必要性 年々増加 本性:市が a 市が実施 か性:規等に 支施率が を性:成果が 主たる経 主たる経 急性:緊急	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費 は積算に基づく経費 費は医療機関委託*	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。	て実施することだる事業の場合は見	が望ましい 乱込) の受診者均	加を図る。		
 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評価 	a 必要性 年々増加 本性:市が主 市が主 市が主 り 成率 が 実施 本性: 成率 は : 滅る を性: 適るる と 主た : 緊急 は : 至急	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費で な積算に基づく経費で 費は医療機関委託料 に実施すべき事業 に実施すべき事業	こよる死亡者数の減少さ事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 み及び電算委託料とないない。	て実施することだ 見事業の場合は見 していくことでで るため、既に現れ	が望ましい 記込) の受診者堆 伏において	別を図る。	である。	
 判理 ② 評価 判理 ③ 評判理 ④ 評判由 ⑤ [⑤] 	a 必増 年々増 年々 市が 本性:市水 市が a 市が 生:成率 皮性:適る 薬性:適る 本性:至検急 a た:至検急 a がん場	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費で な積算に基づく経費で 費は医療機関委託料 に実施すべき事業 に実施すべき事業	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。	て実施することだ 見事業の場合は見 していくことでで るため、既に現れ	が望ましい 記込) の受診者堆 伏において	別を図る。	である。	
判理 ② 割理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評別 平 ※ ※ <tr< td=""><td>a 必増加 年々増加 本性:市市実 a がが b 成率 が上: 適る 実性: 適る 薬性: 適る 薬性: 変検ぐ なんぐな ないなった。</td><td>生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費さ 費は医療機関委託料 に実施すべき事業 に実施すべき事業 に実施しなければなら 受診率の向上により とができる。</td><td>こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないない。</td><td>て実施することだれます。 見事業の場合は見していくことではない るため、既に現る</td><td>が望ましい 記込) の受診者地 状において</td><td>別を図る。</td><td>である。</td><td></td></tr<>	a 必増加 年々増加 本性:市市実 a がが b 成率 が上: 適る 実性: 適る 薬性: 適る 薬性: 変検ぐ なんぐな ないなった。	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費さ 費は医療機関委託料 に実施すべき事業 に実施すべき事業 に実施しなければなら 受診率の向上により とができる。	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないない。	て実施することだれます。 見事業の場合は見していくことではない るため、既に現る	が望ましい 記込) の受診者地 状において	別を図る。	である。	
判理 ② 割理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ④ 事 冊 日本 日本 日本	a を	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果さかないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費さ で変えずに、といるによりのはなら できるののもによりの。	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないかない。	て実施することだ 見事業の場合は見 していくことでで るため、既に現れ	が望ましい 記込) の受診者地 状において	別を図る。	である。	
判理 ③ 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理	a 年 年 本性 : 市 本性 : 市 市 実 期 果 が 果 正経	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき 上体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費 費は医療機関委託 に実施すべき事業 に実施すべき事業 に実施しなければなら とができる。 「今後の事務事」	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないかない。 の、がんの早期発見・一業の方向(総合評価A	て実施することだれます。 日事業の場合は見していくことではるため、既に現なるため、既に現なるため、既に現なるとではない。 日本期治療につなるといることでは、 日本のは、 日本のは、	が望ましい 乱込) の受診者地 伏において ぐことで、 善策等)	、 動かを図る。 「経費は適正 死亡者数の	である。	が健康の維持増進 じ
判理 ③ 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理	a を	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費で 費は医療機関委託 に実施すべき事業 に実施すればなら とができる。 下今後の事務事	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないかない。	て実施することだれます。 記事業の場合は見していくことでいる るため、既に現なるため、既に現なる 本関治療につなる まり、受診率を	が望ましい 乱込) の受診者地 伏において ぐことで、 善策等) 向上し、	、 動かを図る。 「経費は適正 死亡者数の	である。	が健康の維持増進 じ
判理 ③ 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理	a 年 年 a 市 性 b 施 ま は a がつ 評価 方 m 性 a が 果 が 異 a がつ 評価 方 m 性 a がの 評価 方 m は m は m は m は m は m は m は m は m は m	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果 は少ないが、今後向 未だ伸びない状況で を変えずに、経費で 費は医療機関委託 に実施すべき事業 に実施すればなら とができる。 下今後の事務事	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないかがない。 かないり、がんの早期発見・一業の方向(総合評価名。 続的に実施することに数の減少及び健康の維	て実施することだれます。 記事業の場合は見していくことでいる るため、既に現なるため、既に現なる 本関治療につなる まり、受診率を	が望ましい 乱込) の受診者地 伏において ぐことで、 善策等) 向上し、	、 動かを図る。 「経費は適正 死亡者数の	である。	が健康の維持増進 じ
判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 4 総 今 番 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	a 年 性 a 市 性 b b 施 : 適る	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果に は少ないが、へ後ではない状況で を変えずに、経費す で変えずに、経費す で変えずに、経費す で変えずに、経費す で変えずに、経費す で変えずに、経費す で変えずに、経費す で変えがない状況で を変えがないまさしたとができる。 が、で、の事務事す がんで、死亡者	こよる死亡者数の減少き事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないかがない。 かないり、がんの早期発見・一業の方向(総合評価名。 続的に実施することに数の減少及び健康の維	て実施することだれます。 記事業の場合は見していくことでいる るため、既に現なるため、既に現なる 本関治療につなる まり、受診率を	が望ましい 乱込) の受診者地 伏において ぐことで、 善策等) 向上し、	、 動かを図る。 「経費は適正 死亡者数の	である。	が健康の維持増進 じ
判理 ③ 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評別 ⑥ 計	a 年 年 1 本 4 本 4 本 4 本 4 本 5 本 4 本 5 本 5 本 5 本 5	生が高い 傾向にある、がんに 主体的に実施すべき と体的に実施すべき している健康診断 したとおりの成果に は少ないが、今後の 未だ伸びない状況で を獲算に基づく経費で できる。 できる。 できる。 で後の事務事 がんで、 がんで、 を継述とが、 に実施すべきまざら とができる。 できる。 がんで、 がんで、 で、 を継述を 企画政策課記入	こよる死亡者数の減少さき事業か・健康相談の一環としが上がっているか(新規上の見込みがあるではあるが、今後継続を下げる方策はないかである。 科及び電算委託料とないないの、がんの早期発見・発の方向(総合評価をいるではあるが、のと対して、対しのは、対しのとび健康の組織的に実施することに数の減少及び健康の組織)	て実施することだれます。 記事業の場合は見していくことでいるといる ことのいるため、既に現る ことがいる ことがいる	が望ましい 記込) の受診者地 伏において ぐことで、 善策等) 向る。	、 動かを図る。 「経費は適正 死亡者数の	である。	が健康の維持増進 じ

1	事業の概要	成里日煙	

施策区分	基本施第	き(節) 2-1健 き(項) 2-1-1 ⁻	康・医療 健康づ	くりの推進	(を)	担当課事業	教育委員会 平成	生涯学 21	習課 年度 ~
区分	1 新		4 G 14-1	************************************	続	期間	7/100	21	一 及
事業内容	またメタ: う支援し	ボリックシンドロー 、健康寿命を延ばす	ーム等な	↑粗しょう症による骨 ☆ど生活習慣病の予防 ☆目的に「健康いきい	・改善を図き体操教室	図り、市日 室」を開催	民が生涯にお 量する。40才	たり健身	₹な生活が送れるよ
事業内容	市民ふれ	あいセンターと平線	릥町公臣	2館において「健康い	きいき体持	噪」を実施	百する。		
	数値 目標	項目		算定式	最終				H23(までの)目標値
成果	設定事業	参加延人数 (年あたり)	参加登 開催回	録人数× 数	84	人	1, 15	52	人 840
目標	数値 目標	最終目標							
	以外	H22年度(までの)実績							
2 事業	事業	H23目標							
△ 事来					I		·····································		
		1 009		れあいセンターでエィ 公民館でステップ台タ	イサークラ	ラス、	·		
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23	単年度達成	成度	全体計画	画における達成度
状 況	設定 事業	876	人	840 人		104	%		104 %
1/4	数値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計画における達成度	
	以外 事業						%		%
21年、22年は登録人数80人、23年からはスタッフ確保の都合で開催回数が減少したため、70人を目標としている。今後、参加者の健康への意識と自主運営に向けての意識の高揚が課題となっている。									
3 事務	事業の詩	平価							
		の必要性が高い事業	業か						
評価 判断 理由	a 必要性 今後も市	民の健康維持のため	り、必要	を性がある。					
		主体的に実施すべる	き事業な),					
評価				・住民団体等)が主体				- 10	
	体による	運営に移行していく	ことか				とで老人会	ミやスポー	-ツ団体など市民主
		したとおりの成果が た通りの成果があ		っているか(新規事業の	り場合は見	L込)			
評価 判断 理由	健康維持	1 -1 - 17 17 17 17	_	成果であるが、毎年	50~70人の	の市民が参	参加登録し、	定期的に	:活動をしているの
		を変えずに、経費を		る方策はないか					
評価 判断 理由		は積算に基づく経費 営では適切な経費で							
	a性:緊急	に実施すべき事業が	<i>j</i> ,						
評価	a 至急第	E施しなければなら	ない						
判断 理由	市民の健	康維持のため、継続	売実施か	「望ましい。					
		ド今後の事務事		向(総合評価に対	する改	善策等)			
総合評総合評		A	A						
今後の			たので、	運営を市主体から住	民主体に	移行してい	いく。		
<u>* _7</u>	欠評価 (企画政策課記入	欄)						
✓ 現状:	通り 	□ 拡充 □ 廃止	□ 改□ 完	善 ☐ 縮小 了 ☐ 不採		□ 統合			

1	事業の概要	成果	目	煙

1 尹未	が版安	放朱日倧				
	基本目標	票 (章) 2いのち輝	くぬくもりのあるまち(健康・	医療・福祉)		
施策	基本施第		康・医療の充宝	担当課	市立総合病院新病	にはままま
区分		在(塔) 2 1 0	康・医療の充実	177 71 16/4	114 77 140 17 11 11 11 11 11 11 11 11	TIPL XE BX BX
巨刀	個別施第	東(<i>頃)</i> 2-1-2	地域医療の充実			
	事務事	事業名 医師修学	資金貸与事業	事業	平成 21	年度 ~
区分	1 新	規 2継 続	\rightarrow	継続期間		
			在学する者で、将来、北茨城	11-10-	して地域医療に音酔し	ようとするものに対
目的	八子の記し、修学に	■子で履修する味性に で要する資金を貸与す	ることにより、有能な人材の	育成を図り もって市	して地域区原に負献! 民の医療福祉の向上!	ア客与することを目的と
及び	する。	- 女 / 心貝亚と貝 / /		HAZEM / U J CID.	人。	
背景		足解消策の側面もある	_			
	修学資金		0			
事業		200,000円/月				
内容		取得者の研修計画等	ウに共分し マよさ ことはの耳(を)・・・・	- ドニュヨーの体ウ		
		並を返退することなく∃P	完に勤務してもらうための研修プロ	107ム計画の東正。		
	数值	項目	算定式	最終目標	H22年度 (までの) 実績	値 H23(までの)目標値
	目標			人		<u> </u>
	設定	貸与人数	人/年	12	4	5
成果	事業	勤務人数		6	0	0
目標	数值	最終目標		•	•	•
	目標					
	以外	H22年度(までの)実績				
	事業	H23目標				
2 事業	実績					a
			値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23ま			④H23(までの)実績値/最終目標値
		H23事業費		H23実施	门谷	
		12,000	修学資金の新規貸与者	名、継続者 4名 言	十 5名に貸与	
		千円	修子員並の利焼貝子有 !		1 3名に貝子	
	米石古			H23単年度達	成 全休	計画における達成度
実	数値	H23(までの)実績	値 H23(までの)目標値	L		
施	目標			採用算定式	② 採月	月算定式 ④
状	設定	5	. 6	. 50)	42
況	事業		入 .	人	%	%
	数値	H23実績	H23目標	H23単年度達	b.此座	計画における達成度
	目標	口20天限	II23日保	口23年中及月	E风及 主体i	計画にわける達成及
	以外					
	事業				%	%
	7 7/4	亚成94年度6月	末現在に修学資金を貸与	〕た貸与者数 8名	70	70
目標達成	成状況の割		者が当院に魅力を感じるよ		計画の第定が必要	にかってくる
1		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		、ノな明じノロノノロ	可固の水にかむ女	124 2 6 7 30
3 事務	事業の語	评価				
		[の必要性が高い事]	坐 か			
			£17			
評価	a 必要性		- 1 V			
判断	医帥个	足に対応した施策で	であり、問題が顕著化して	いる時点で実施する	ことが有効	
理由						
② 主体	k性・市が	主体的に実施すべる	き事業が			
		上体的に実施するこ				
				ナロ1 12次 A ユ 42 L		T. + 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
判断			こ、国・県・市町村・民間		し、医療を志す医師	『を育成することが望
理由	ましい。	また、地域医療のた	とめ市が主体的に実施する	争か望ましい。		
③ 有效)性:期待	したとおりの成果が	が上がっているか(新規事	業の場合は見込)		
評価		た通りの成果があ				
—				のため出田がまわて	ノスナベル料圧の#	11囲が 27 声でもフ
判断	十/以21	十段かり夫虺したも	事業で貸与者がまだ医学生	いたの成未か衣利し	くるまでに数年の界	別則が必安じめる。
理由						
④ 効率	怪:成果	を変えずに、経費	を下げる方策はないか			
評価		な積算に基づく経費				
			Z総合病院に限定しており	医学出たしって社	力的の制度しせてき	・
判断			476日7円円に以たしてわり	、四十生にこつ(歴)	/プロコッンが間及とりの/シ	_奶、坑仕の貝子餌を
理由	雅打り つ	必要がある。				
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業が	<u></u>			
評価	a 至急事	実施しなければなら	ない			
			であり、問題が顕著化して	いる時占で宝塩する	^{>} レが右効	
判断	四即个	たに刃心した旭界(、50.7、回極が蝦有恒しし	v つ时点し大肥りつ	C C N*1月7/J	
理由						
4 総合	評価及び	び今後の事務事業	業の方向 (総合評価に	対する改善策等)		
総合評			A			
1,5 11 11		当陰に尾師		全年を 15年者アの在学年数学	を老庸1 沖完十	ス必要がある ま
今後の	方向性		と 女足 医品 するために、 』 対し初期研修後のスキルア			
				ノノツにめがが形と	ロノノムの水足が	心女しなる。
<u>* } </u>	<u> 欠評価</u> ((企画政策課記入	.欄)			
✓ 現状		拡充		小	`	
		廃止	= =	採択		
— \\\				ル レカノ		
1						

1	事業の概要	成果	目	樰

_ 1 事 美	その概要	・成果目標								
施策 区分	基本目標 基本施第 個別施第			もりのあるまち(健康・医療 医療の充実 医療の充実	ま・福祉)	担当課	市立総合病	际新病院	定建設課	
	事務事	事業名 新病院建	設事	業 		事業	平成	22	年度	~
区分		規 2継 続	ニ ひり			期間	平成	25	年度	1 1 1 > 1.4
目的 及び 背景	ら、安全	・安心な医療を継続	売して	〔提供するため、新病院			ア政1浦り2七年	716 • 3天图	並化が者	UV1_ 2 // ¹
事業内容		年度開院に向けての ンクリート造(一部 造								
	数值	項目		算定式	最終		H22年度(まて	での) 実績値	H23(まて	での) 目標値
成果	目標 設定 事業	事業進捗率	(累記 1 0	計事業費/総事業費)× 0	10	%	1.8	%	40	% 0. 00
目標	数值	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業	美実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	(世 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値	直/最終目標値
	<u> </u>	H23事業費			ŀ	H23実施内	可容			
		208,036 千円	実施	設計、解体工事(第二期		W -	NL.	A /I.=1.=		~ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23 採用算	単年度達. 第定式	成度 ②		画におけ 算定式	る達成度 ④
況	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									%
	数値 目標 以外 H23目標 H23目標 H23目標 H23単年度達成度 H23単年度達成度 全体計画における達成度									
	事業						%			%
目標達用	成状況の評			こ基本設計を完了、平成 け準備中。平成25年度			設計及び解	体工事完	了。平成	2 4 年度
3 事務	5事業の語	平価								
① 必要	要性:実施	の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性				, ,					
判断 理由	柄院施	設の老朽化は著しく	〈、 而	対震性にも問題があるこ	とから、「	早急な対応	ぶが必要。			
-		主体的に実施すべ		美か こうしゅう						
評価 判断		E体的に実施すべき 院であり、市が主体		ニ実施する以外にない。						
理由 ③ 有效	】 动性:期待	したとおりの成果	がトナ	ぶっているか(新規事業の	り場合は見	Li入)				
評価		た通りの成果があ				/				
判断理由	医療環	境他安全性が向上し	ン、 地	地域医療を支援する。						
④ 効率	率性:成果	を変えずに、経費	を下に	げる方策はないか						
評価		は 積算に基づく経費								
判断 理由	茨城県	の積算基準及び単位	断に基	いて積算している。						
⑤ 緊急 評価		に実施すべき事業; ξ施しなければなら								
判断理由				付震性にも問題があるこ	とから、「	早急な対応	ぶが必要。			
4 総合		ド今後の事務事		方向(総合評価に対	する改善	善策等)				
総合評金後の	価 → 方向性	平成25年 り組む。	A 度開		す。また	、新病院	病院の運営	や現病院	の収支改	善にも取
<u>* _}</u>			擱/							
☑ 現状		<u> </u>		改善		□ 統合				
一休止		□ 廃止		完了						

1	事業の概要	成果	目	煙

_ <u>l </u> 事業	<u> (の概要</u>	・成果目標						
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	き (節) 2-1健	くぬくもりのあるまち(康・医療の充実 地域医療の充実	健康・医療・福祉)	担当課	市立総合病	病院総務 護	Į.
	事務事		械設備整備事業	••••••	事業	平成	23	年度 ~
区分	- ///	規 2継 続	\rightarrow	継続	期間	平成	23	年度
目的 及び 背景	日々進歩する対し安心ある	る医療技術と患者のニー	対応することが困難な高度 ズに合わせて、必要な医療 こうしたことから、茨城県 るよう努める。	機器類を整備するとと	:もに既存の各	種医療機器類(の適切な維持	持管理を徹底し、市民 は
事業内容	医療器	械の新設及び維持勢	整備最新の医療技術に	こ対応する研究及	びそれらし	こ対する技行	析の導入	
	数值	項目	算定式	最終	終目標		での) 実績値	H23(までの)目標
成果	目標 設定	医療機器購入率	医療機器年間購入額 ÷年間購入予算額		% 100	_		100
目標	数値 目標	最終目標						
	以外	H22年度(までの)実績						
	事業	H23目標						
2 事業			値 ②(H23までの実績値-H22までの実績	(H23までの目標値-H22までの)/最終目標値 ④l	123(までの)実績値/最終目標値
	I	H23事業費	打 → 	1 +17 -2 \ \ \ \ \ \ \ \	H23実施内		カケーノドロ	1
)V/ /	13,918 千円	超音波画像診断装置セット、パラパック	、体外型心臓ペ		一等		モニタートロリ、
実施状	数値 目標 設定	H23(までの)実績		目標値 採用	算定式	1		章定式 ④
況	事業	46	%	100 %	46	%		46
	数値目標	H23実績	H23目標	H	23単年度達	成度	全体計	画における達成度
	以外 事業					%		
目標達成	-	:価						
	-							
	5事業の記 要性:実施	<u> 予価</u> の必要性が高い事	業 か					
評価	a 必要性							
判断理由	毎年度		(旧型の更新を含む。 である。)する必要があ	る。新病院	完の建設を置	踏まえ、『	事業計画に計上す
② 主体	本性:市が	主体的に実施すべ	き事業か					
評価		E体的に実施すべき						
判断 理由	市民に	適切な医療サービス	スを提供するため、「	自治体病院として	実施すべる	きである。		
			が上がっているか(新	f規事業の場合は	見込)			
評価		は少ないが、今後向		三皮な 担併 牛 かい	(出田は [13	いてし日コー	th z	
判断 理由	医燎用	茂砳と有宜しなか 	ら適宜購入し、最新日	<u>∽源で従供すれ</u> に		ァると兄込る 	ま4Uる。 	
			を下げる方策はない	<u></u>				
評価		所減を検討する余地 世 3 に火なっていた。		ミッキッのハルツ	-146 EE ~ 127 -	54 /m v	# 7 /	トロ(売)~かつ・一・
判断理由	が、機種	等は医師の希望に。		つできる限り復数	【機種の選集	ビを行い、 則		り圧縮に努めてい
		に実施すべき事業						
評価 判断 理由		E施しなければなら た予算のなかで、(ない 吏用不能となったもの	のから購入してい	いる。			
<u> </u>	<u>l</u> 評価及で	ド今後の事務事	業の方向(総合割	☑価に対する改	(善策等)			
総合評			В			76 77	///. → ^	har Maria de la companya della companya della companya de la companya de la companya della compa
	方向性	収益の確保及	を踏まえ、経営の健び経常経費の縮減を		め、不良債	務及び一時	借入金の	解消に向け、医業
× = 7		企画政策課記入						
┃ ☑ 現状 ┃ ☐ 休止		□ 拡充□ 廃止	□ 改善□ 完了	□ 縮小□ 不採択	□ 統合			
		□ 疣业	□元1	□ 小林八				

1 事業	の概要	• 成果目標								
	基本目標	票(章) 2いのち輝	くぬく	、もりのあるまち (健康・医療	퇅・福祉)					
施策	基本施第	ઈ (節) 2-2地	域福	祉の充実		担当課	市民福祉部	『 社会福祉	业課	
区分	個別施領	策(項) 2-2-2	児童	福祉の充実						
	事務事			全育成事業		事業	平成	1 2	年度 ~	
区分	1 新	規 2継 続		→ 維	続	期間				
目的				4年の児童を対象に、家			5における』	必要な生活	5習慣や遊びな	ごどを
及び	家庭的な	雰囲気の中で学習っ	ナる、	また児童の安全を守り	児童健全	育成する。				
背景										
 - 사노				E)を毎週月曜日〜金曜	目まで、	また土曜日	3、長期休日	ヨ(夏休み	*等)を各クラ	ブで
事業 内容	遊びや学	習をし保護者と共に	こ帰り	ごする。						
L 1/4										
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	での)実績値	H23(までの) 目	標値
	目標	学童クラブ	50人	.×24日×12月		人		人		人
成果	設定 事業	受入人数 (年間延人数)	$\times 47$	施設=57,600人	57,	600	48, 0	000	57, 600	
目標	数値	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外	H23目標								
0 車業	事業 実績	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>							
4 事未		※採用算定式:①H23実績値/H23目標 - 123事業費	値 2 (H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		^{目標値)③(H22まで} H23実施内)/最終目標値 (4)H:	23(までの)実績値/最終目標	値
	-		亚. ロ	 、土曜日、夏休み等長!			1.17.			
		19, 257		、工曜日、夏杯の寺長9 とも、活動内容はそれ‐			いる。			
, 	数値					3単年度達		全体計画	画における達成	
実施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		算定式	(1)	採用算		<u>4</u>)
状	設定	F7, 000		F7. C00	\$10,143			2147143	•	
況	事業	57, 288	人	57,600 人		99	%		99	%
	数值	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画	画における達成	戈度
	目標 以外	2 3.01		1			,,,,,,,			
	事業						%			%
		利用人数は年々	増加	しており、最終目標達成を	期待する。		70			
日標達用	戊状況の 評	′ 恤								
3 事務	事業の記	平価								
		の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性	生が高い								
判断	共働き世	帯及び核家族の増加	川にこ	こり、放課後児童の安全	を確保す	るためにに	は、必要な₹	事業であり)	
理由	今後も利	用人数が増えるとす	きえら	られる。						
② 主体	性:市が	主体的に実施すべ	き事	業 か						
評価		E体的に実施すべき								
判断	市内全域	での放課後児童の気	安全を	と確保するため、現在の	4 園実施	は必要でも	らる。			
理由										
				がっているか(新規事業の	の場合は見	見込)				
評価	. ,	ンた通りの成果があ ・************************************		NH 11 12 2 2						
判断	牛々利用	人数は増加しており	ノ、万	以果は上がっている。						
理由	* # P =	ナ.本.シーン の曲・	⊁. → `	ギス十年はみいい						
		を変えずに、経費								
評価		よ積算に基づく経費 課終ヱビゎプランキ		る 『業費補助金交付要綱に	並べく					
判断 理由	八州宗队	床仮 1 こ もノ ノグげ	出进与	▼未負 冊別並文刊 安禰に	巫 ノ\。					
	 	に実施すべき事業	λs							
評価		に美胞リハさ事業を施しなければなら								
判断		援体制の整備の観点								
理由										
	·評価及7	「今後の事務事	業の	方向(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評		<u> </u>	A			ロハサノ				
		今後も引き続		放課後児童の安全確保の	ため、継	続実施す	べきである	0		
今後の	力问性									
<u>₩</u> _₩	欠評価 (企画政策課記入	.欄)							
☑ 現状:		□拡充		改善	ı	□ 統合				
□ 休止		□ 廃止		完了	択					

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標		くぬく	(もりのあるまち (健康・医療	・福祉)						
施策	基本施領	後(節) 2-2地	域福	祉の充実		担当課	市民福祉部	『 社会福	祉課		
区分	個別施第	受(項) 2-2-2	児童								
	事務事	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	てヤ	ンター事業		事業	平成	1 7	年度	\sim	
区分	1 新		(_	→ # 継	結	期間	T-73X	Ι /	十汉		
			トスま	基盤形成を図るため、子			▲ な杏胆不安な	さについて	ての相談・	り 会 引	って
目的 及び		クルへの支援を行		B、	月~外处。	子(ころ) りっ	リ月ルバタマ	→ (C)(.	こ リノイロ 即人	ル里へ	, 1
背景	[,	//・ い入版とIT.	0								
月月	, XII.7.0	Mr. or full-sky flex.									
事業		等への相談指導 一クル等の育成・指導									
	3 特別保育	事業の積極的実施・普及									
1 7 1	4 家庭的保	音を行う者への支援									
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	での)実績値	H23(まで	の) 目標	票値
	目標		87	×20人×12月		人		人			人
н4-	設定	年間利用者数		施設=3,840人	3, 8	340	2, 5	73	3, 8	340	
成果 目標	事業	日加口车	/-	(A)	-, -		_, -	-	-, -		
日 1宗	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業	実績	※	値のか	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	日標値-1199 ま ベハロ	煙値) ② (Uooチ っ	での宝績値+II99電線 <i>は</i> へ	/最終日搏結 ①	123(までの)実績値/掲	最終日搏結	
<u>- </u>		H23事業費				H23実施内		, and the Gr	、5、 、*// 水根肥/		\neg
			り拡き	設で地域子育て支援セン							-
		14, 982 ≠□		金7, 491, 000×2施設を3		一。					
	¥/. / -1·	1 17	1111-5	/並1, 101, 000 ハ 10 mix と ク		単年度達	北	全体 針	画における	、 法 出 F	在
実 施	数値	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値			······				
施	目標 設定				採用算	早 正 八	(1)	採用具	算定式	(4)	
状	事業	2,081		3, 840		54	54		0/		
況	数値		人	人			%				%
	製値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における	達成原	叓
	以外										
	事業						%				%
	7 //4	利用人数が年々	減少	しているが、実施メニュー	を工夫し利	用者増加り		う			70
目標達成	成状況の評	『価 指導。今後の増	加に	期待。							
0 串致	古光の言	亚									
	事業の記		44. Y.								
		の必要性が高い事	乗 // 1								
評価	a 必要性		/. = D	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
判断	核家族か	一般的な中、就園園] (/) 'J	見童とその母親を中心と	した親子の	り父流の場	易として必要	異である。			
理由											
② 主体	性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か							
評価	a 市が主	E体的に実施すべき									
判断	次世代育	成支援の観点から	5, F	方が実施すべきである。							
理由											
③ 有效	か性:期待	したとおりの成果	が上	がっているか(新規事業の	り場合は見	L込)					\neg
評価		は少ないが、今後向				-					\dashv
				実施メニューを工夫し	利用者増加	加に取り糸	見かよう指述	草。			-
理由		ルに期待。	\		1 4/ 14 日・日ハ	DC / /		• •			
		を変えずに、経費	を下り	ずる 方筈け かいか							_
											—
評価		c積算に基づく経費 経存は全悪網に其る		る							\dashv
判断	丁月〔又	援交付金要綱に基っ	ノヘ								
理由	7 [r] pt- 2:)	,								
		に実施すべき事業									
評価		を施しなければなら									
判断	子育て支	援体制の整備の観点	気から	らも不可欠である。							
理由	<u> </u>										
4 総合	評価及び	ブ今後の事務事	業の	方向(総合評価に対	する改善	善策等)					
総合評			A			• /					
		今後も引き続	き、	実施すべきである。							\Box
今後の	万冋性			- •							
<u></u> ※ = ?	欠評価 (企画政策課記入	楣)								
現状		<u>正國</u> 以永昧記八 □ 拡充	<u> </u>	改善		統合					\neg
□ 休止		□ 旅儿 □ 廃止	H	完了		רון עאָנ דו					
		山水土	Ш		ハイ						

1	事業の概要	成果	目	樰

1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標		くぬく	(もりのあるまち (健康・医療	寮・福祉)						
施策	基本施第	後(節) 2-2地	域福	祉の充実		担当課	市民福祉部	3 社会福	祉課		
区分	個別施第		児童	福祉の充実		, _,,,,,					
	事務事		を成れ	重業		事業	平成	1 3	年度	\sim	
区分	1 新		月灰		続	期間	一次	1 0	十尺	-	
		., ., ., ., ., .,	コスヸ	環境づくりを目指し、子			<u> </u> 新い (田 5 0	の個件める	6	W O H	h.E.
目的 及び				R児づくりを日相し、子 肖や親子のスキンシップ					2.77、社会	生のり	リ文
背景	- M - C		< /1∓ II	1 (100 1 00) (0 0 0 0 0	2 10 C		// 6/1	× / D ₀			
月月	1) III Arts	7 182 a # 4 # H 1	\r			~ Ju==V +	□ → □	<u> </u>	e. ~ l± +n	attenda	Jol
事業			/、ガ	閏2~4回ひろばを開設し	て子育ての	り相談・ 着	見子同士のろ	ご流・子 育	すて情報・	講坐•	料
内容	埋なとと	実施している。									
1 3 1											
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	ぎの) 実績値	H23(まで	の) 目標	票値
	目標	母親クラブ				F		目			日
н4-	設定	年間活動日数		4日×12月×8団体	38	34	38-	4	38	34	
成果 目標	事業							_			
日伝	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業	実績	※採用篇定式:①H93宝鑄值/H93日増	値 ②印	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H29 * での E	[標値] (3)(H22+7	*の実績値+H93宝縁値\	/最終目標値 (不)日	23(までの)宝績値/	最終目標値	
7 //		H23事業費				H23実施内					
			市内	に6団体活動実績あり。		2 -7-21					\dashv
		189	189.	000円の補助金を支給。							
	*L (±	111	100,	00011:2 11193至6 20148	Поз	単年度達	北	全 休 計	画における	、	苷
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	採用算		·····		画における 算定式		
施	設定				休用身	1 化八	(1)	休用身	⊉ 化 八	(4)	
状 況	事業	130	П	384 日		34	0/		34		0/
亿	数値		月				%				%
	目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における	達成四	度
	以外										
	事業						%				%
			(8団]体→5団体)により、目標	数値変更。		7-1				
目標達用	成状況の評	が価 新規団体の活動	促進	を図る。							
0 中郊	古光の言	₩ (III									
	事業の記		此								—
		の必要性が高い事	乗//3								
評価	a 必要性		4 - 11)) A D		- 1 1 V	F b - 7			
判断	核家族か	一般的な中、就園園	1] (/) 'y	見童とその母親を中心と	した会員の	の父流の場	易として 必多	要である。			
理由											
② 主体	性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か							
評価	a 市が主	E体的に実施すべき									
判断	市とクラブ	がともに実施すべき	き事業	きである。							
理由											
③ 有效	动性:期待	したとおりの成果	が上ス	がっているか(新規事業の	の場合は見	L込)					
評価		た通りの成果があ			-						\neg
判断											-
理由	. , , , , , , ,	, ц с счо.	• /*								
	L 	を変えずに、経費	を下に	ずる方策けかいか							
評価		は積算に基づく経費									
				る 事業費等補助金交付要綱	に其べく						
判断 理由	/ヘク以 ポゾロ	巫外党 ノヽリ巫溢1	上川	- 木貝 寸冊切亚久円 女剛	に坐ノく						
	九山 町ヶ	た中本ナッキュー	۲.								
		に実施すべき事業									
評価		尾施しなければなら		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
判断	十育て支	援の観点から、継続	元す~	べさ事業と考える。							
理由											
4 総合	評価及び	<u>バ今後の事務事</u>	業の	方向(総合評価に対	する改	善策等)				_	-
総合評	価 ⇒		Α								
AM A	七点州	今後も引き続	き、	実施すべきである。							
今後の	刀門性										
<u>* _}</u>	欠評価 (企画政策課記入	欄)								
☑ 現状		<u> </u>	1,7,4/	改善		統合					
		□ 廃止	Ħ	完了							
				, _ , _ L I I I I I I I I I							

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

1 事業	の概要・	・成果目標									
	基本目標	票(章) 2いの	ち輝くぬ・	くもりのあるまち(健康・医療	寮・福祉)						
施策	基本施第					担当課	市民福祉部	7 社会福	补課		
区分	個別施第	き(項) 9-9-	- 9 児童	福祉の充実		3	11. Z (III III III II	• шдіш	1221/10		
L-23	主	* (*ダ) 2 2事業名 出産初	2元量	車 業		事業	平成	2 0	年度	\sim	
17 八	1 新		続			事業 期間	平成	20	干及	\sim	
区分							女子したも	ナフナナ	3 / h D	よび加	^
目的			-以降の	出産を奨励祝福し、次付	てを担り児	重の健全	育成と活刀	めるまり	つくりの	ため仇	金
及び	を支給す	る。									
背景											
+ *	第3子	100,000円									
事業	第4子	300,000円									
内容	第5子以降	≨ 500,000円									
	数値	項目		算定式	最終	月橝	H22年度(まて	の)実績値	H23(まで	での) 目標	覃値
	目標		+		70.71	人	, , , , , , , ,	人	1120 (5.)	> / 🛏 //	人
	設定	年間出産祝金 支給者数		平成20年度実績	8		50			60	
成果	事業			61人	0	U	50	'		00	
目標	数値	最終目標									
	目標	H22年度(までの)写	 丰績								
	以外	H23目標									
0 単紙	事業	7. 54.									
2 事業	実績		23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④I	H23(までの)実績値	/最終目標値	
	l	H23事業費			ŀ	H23実施内	可容				
		7,000	出済	E祝金支給対象者に対し、	祝金をも	7給					
		- 1,000	-円 四/3		, 7032.67	С /ГН					
宔	数值	H23(までの) 乳	医生活	1109 (オズの) 日挿店	H23	単年度達	成度	全体計	画における	る達成点	度
実 施	目標	H23(\$ C()))	た 傾他	H23(までの)目標値	採用算	章定式	(1)	採用領	算定式	(4))
状	設定		10	20		77 50					
況	事業		46 人	60 人		77	%		58	3	%
	数値	1100年年		1100日抽	110	光左库法		스 /+⇒Li	呼にかりす	フキ中ロ	
	目標	H23実績	Į	H23目標	HZ.	3単年度達	:	至平訂	画における	つ 達成/	支
	以外										
	事業						%				%
口無法	TE	出生数の減少	少から第	3子以降の出生数も減少、	目標数値を	変更。					
日悰莲	成状況の評	-1曲									
3 事務	事業の記	亚価									
		<u> </u>	車業か								1
	a 必要性		事未7								
評価		まか同V・ 策の一助として	4 心面~	で な ス							
判断	少丁化剂。	泉の一切として	も少安	(W) 0°							
理由											
② 主体	*性:市が	主体的に実施す	べき事	業か							
評価	a 市が主	E体的に実施す~	(き								
判断	子育て世	帯の負担軽減の	ために゛	も市が実施すべきである	0						
理由											
③ 有效	动性:期待	したとおりの成	果が上	がっているか(新規事業)	の場合は見	L込)					
評価		た通りの成果か									
判断				成果は上がっている。							
理由		<u></u>	- 1								
	k 性 · 라田	を変うずに 奴	弗た下	 げる方策はないか							
評価		よ積算に基づく組 山奈知 A 素公久									
判断	北次城市	出産祝金支給条	別に基づ	J\							
理由											
(5) 緊急		に実施すべき事									
評価		ミ施しなければな									
判断	少子化対	策の一助として	も必要で	である。 							
理由											
4 総合	評価及7	ド今後の事 経	事業の	方向(総合評価に対	する改善	善策等)					
総合評		- 1 A - F-3/J	A		. , 😈 🛼						
		今後も引き		実施すべきである。							
今後の	方向性	1 12 0 31 0	1) L (, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
<u>%</u> →	炉部压 /	人而 	1 7 11 11 1								
<u>₩ _}</u>		企画政策課記	_ノヽイヤ則 <i>)</i>	北羊 □ 姫 ι							
1 現状		□ 拡充		□ 離小		□ 統合					
休止		□ 廃止		完了	:						

1 事業	をの概要	・成果目標									
	基本目標	票 (章) 2いのち輝	くぬく	もりのあるまち (健康・医療	寮・福祉)						
施策	基本施第	策(節) 2-2地	域福	祉の充実		担当課	市民福祉部	『 社会福	祉課		
区分	個別施第	휷(項) 2-2-2	児童	福祉の充実							
	事務事	事業名 中郷子ど	すの?			事業	平成	2 2	年度	~	
区分	1 新	<u>- </u>	0 47;	が日本子 木	結	期間	1 /3/2	2 2	T/X		
			タイタ	 定等の交流を促進する			<u> </u>				
目的	加氏の子	月(を文仮し、丁)	目 しる	(姓寺の父派を促進する)	旭政と政則	≛.₀					
及び 背景											
月月	<i>-</i>		2 -	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	\dagger_	H =6 3 M6 1					
事業	在宅の子	育て家庭の保護者	や子と	ごもが気軽に集まり、交	流できる場	易所を常に	こ提供する。				
内容											
1 3 1											
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	での)実績値	H23(まて	ごの)目標値	
	目標	年延べ利用者数	初年	度(H22年度)利用者		人				人	
ш.4_	設定	(大人・子ども		305人×132%	7, 0	000	5, 3	05	5.	983	
成果	事業	計)	3,XO,	000/€/102/0	.,,		0,0		٥,	000	
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業	実績	WAS DEED TO DEED THE TO DEED T	i bek 🚳 (III	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	District Hoods at an D	ARE SHOWN TO CHING AND	s a strét hir Hanstrét hir		100(才不の) 京徳は	· / E - 64 - D - 100 febr	
		H23事業費	ELE WILL	33までの天瀬旭-1122までの天瀬旭//(1123までの		123実施卢		/政府日振胆 生	123(までの) 天瀬旭	/ 取於日保胆	
	<u> </u>	1110千木貝	1 THE F	日、中郷子どもの家を開		120) () []	171				
		4,536		ョ、中郷子ともの家を開 6人の利用があった。	武 。						
	No. 11.	<u> </u>	1, 13	の人でクネリカカル・タブ・フィニ。	HOO	出左座法	- 上 庄	<u> </u>	亜リンナバナ	フキ仕座	
実	数值	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達					
施	目標				採用算	定式	(1)	採用乳	幕 定 式	(4)	
状	設定 事業	7, 196		5, 983		120			103	3	
況		,	人				%	%		%	
	数値	H23実績		H23目標	H23	単年度達	成度	全体計画における達成		る達成度	
	目標 以外										
	事業						%			%	
	1.714	利用者数は年々	増加	しており、今後のさらなる	増加を期待	1	70			70	
目標達用	成状況の評	呼価									
0 + 76	г - - - - - - - - - - 										
	事業の		ul s								
		の必要性が高い事	乗か								
評価	a 必要性										
判断	子育て家	庭に交流の場を常り	こ提供	せできる事業として必要	である。						
理由											
② 主体	本性:市が	主体的に実施すべ	き事業	美 カュ							
評価	a 市が言	E体的に実施すべき									
判断	利用率も	高く、費用対効果を	も十分) 。							
理由											
③ 有效	动性:期待	したとおりの成果	が上た	ぶっているか(新規事業の	り場合は見	.込)					
評価		た通りの成果があ				-					
		の成果である。	-								
理由	1,,,,,,,,,	,,,, 90									
		を変えずに、経費	を下げ	ずる方筈けかいか							
評価		は積算に基づく経費									
判断		高く、費用対効果									
理由	小山山土石	问人、負用的別本	ひース	J o							
	7 LIL ET 2) - 	,								
		に実施すべき事業									
評価		実施しなければなら									
判断	利用率も	高く、費用対効果を	5 十 5) 。							
理由											
4 総合	評価及で	び今後の事務事	業の	<u>方向(総合評</u> 価に対	する改善	善策等)					
総合評	価 →		Α								
A 44 ~	→	今後も引き続	き、	実施すべきである。							
一 学後の	方向性										
<u>₩</u> =?	次評価 (企画政策課記入	(欄)							<u> </u>	
☑ 現状		拉充		改善		□ 統合					
		□ 烧儿 □ 廃止	=	完了							
L - 11-1L					* `						

1	事業の概要	成果	目	樰

<u> </u>	V 1965	700 H 100								
施策	基本施第	票(章) 1 協働でつ 策(節) 2 — 2 地	域福祉	止の充実	(市民参画・行	f財政運営)	担当課	図書館		
区分	個別施第	き(項) 2-2-2	児童和	国祉の充実						
	事務事		ター		-		事業	平成	22	年度 ~
区分		規 2継 続	⊓ <i>=#:</i> + /	→ 		と続いる ユー	期間	· 14-7 - 1-3		コ.ttm)
目的		生した赤ちゃんとん 、将来読書に親しむ				心を連わっ	せる機会を	と作る。ま7	こ、乳幼り	見期に本に親しむ、
及び 背景			- ت د	77000	<i>`</i> ⊌∘					
	市内の生	後1歳未満の赤ちゃ	んをタ	対象に絵本の	のセットを見	増呈し、赤	ちゃんと	保護者が絵	:本を介し	てゆっくりと心ふ
事業	れあうひ	とときを持つきった	かけを	作る。配布	する絵本、	ブックス	タートバッ			
内容	健センタ	ーの協力を得て、信	呆健帥	が行う2カ	月児の訪問	の際とする	る。			
	数値	項目		算定式	Ċ	最終	目標	H22年度(まで		H23(までの)目標作
	目標 設定	配布率	出生	児数÷配布勢	数×100		%		%	100
成果	事業	,,,,,,,				10	00	97	(100
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
0 車型	事業	H23目標								
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	「値 ② (H2:	までの実績値-H22まで	の実績値)/(H23までの		H23実施内		/最終目標値 ④I	23(までの)実績値/最終目標値
			044) - 77-4-			120 人》图1	3-11		
		600 千円	244 /	に配布						
実	数值	H23(までの)実績	盾值	H23(までの	の)目標値	1	単年度達			画における達成度
施	目標 設定	1120 (01 (12))	\ II		- / H MIE	採用第	算定式	1)	採用領	章定式 ④
状 況	事業	89	%		100 %		89	%		89
	数値	H23実績		H23			3単年度達		全体計	画における達成度
	目標 以外									
	事業							%		(
日樗達F	成状況の割	配布率は高く、	目標に	はほぼ達成して	ている。					
	5事業の記	半価 [の必要性が高い事	坐か							
評価	a 必要性		木が							
判断	> ()-	度に開始した事業で	であり	、継続が必	要である。					
理由										
	1 .	主体的に実施すべ		きか						
評価		E体的に実施すべき まれたすべての赤り		レ促雑者を	対象にして	シスをめ	出生出河	アの押場な	じの占から	、老庸すると 市
判断 理由		実施すべきである。		こ 小殴石で	が多にして	V - 20 / C 00 \	, ш±ил	□ ヘン1円1万五 (字 (_ 02/11/01/	プラ 個 チ 切 C 、 1117
③ 有效	動性:期待	したとおりの成果	が上か	っているか	(新規事業	の場合は見	且込)			
評価		は少ないが、今後向								
判断	平成22年	の6月より配布を開	始し	こ。今後継続	売して行うこ	ことにより	効果が見	込まれる。		
理由	▼ 	:を変えずに、経費	た下戸	でる七竿けた	ン しいカン					
評価		:で多んりに、経賃 よ積算に基づく経費			V '//'					
判断		タートパックに含る			NPO法人	より購入	しているカ	、定価より	り割引がえ	大きく現在の経費:
理由	適正であ	る。								
		に実施すべき事業								
評価		₹施しなければなら 度に開始した事業~		(水谷よど)	声でもフ					
判断 理由	平成22年	及に開始した事果	じめり	、作をがなりまとい	安じめる。					
	<u>-</u> ↑評価及で	び今後の事務事	業のこ	方向 (総合		する改	善策等)			
総合評			Α							
今後の	方向性						子どもの	温かい交流	のきっか	けとなる点から考
		えて、今後も		- 4ノ/こ り 部本的	ルリ ゙^さ 争え	たてめる。				
※ 二		<u>(企画政策課記入</u> □ 拡充		改善	□ 縮力	`	□ 統合			
		□ 廃止		完了	一不採					
1										

_1 事業	の概要	・成果目標								
	基本目標	票 (章) 2いのち輝	くぬく	(もりのあるまち (健康・医療	ぼ・福祉)					
施策	基本施第		域福	祉の充実		担当課	市民福祉部	了 高齢福		
区分	[高船	者福祉の布宝		,,,,,,	11.2 4124	1.461161		
		策(項) 2-2-3 東業夕 地域与兵	4. 位	者福祉の充実 センター運営事業		車光	平成	18	年度	\sim
ΗΛ	事務事	•	义1仮		(r±:	事業 期間	平成	18	干皮 ′	
区分	1新		tlata a	→ 継			1 1 1 H 1 L	±(± 44.)	- LH /II. (-).	w 1 >
目的				E高齢者を対象に、介護 [・]	予防事業?	や予防給付	」が 効果的、	効率的に	-提供され	るよう
及び	に、週切	なケアマネジメン	トセイ	丁 つ 。						
背景										
				ジメント ②介護予防事						
事業	制度等の	多面的にわたる総合	}相能	炎業務 ④包括的・継続	的ケアマス	ネジメント	、支援事業	⑤成年後	&見制度支持	援業務
内容										
	数値	項目	Ī	算定式	最終	日輝	H22年度(まて	の)宝績値	1193(まで <i>a</i>	7)日煙値
	目標	65歳以上の要介護		弁に八	以小公	9/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5	1122772 (3. (%	1120(4 (0)	<u> </u>
	設定	100成以上の安月 曖 100成以上の安月 曖	平点	20年度実績 13%		•		, -		, -
成果	事業	及い安久版名の司	1 /%		1	0	15		12	2
目標	数值	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外									
	事業	H23目標								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最	終目標値
]	H23事業費				H23実施内				
		24 024	△>#	予防・包括的支援・任意	- 車光					
		34,924 千円) 1 酸	: 17例・包括的又抜・仕席	計 来					
/	数値			())	H23	単年度達	龙度	全体計画	画における	達成度
実 施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	採用算		(1)	採用算	,,,	(4)
光	設定				DV/11 →	FAL PU	<u>U</u>	1/K/11 ∌	•	<u> </u>
況	事業	16	%	12 %		75	%		63	%
<i>V</i> L	数値		/0	·				A 11.31-		
	目標	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達	成度	全体計	画における	達成度
	以外									
	事業						%			%
- 1	D 11. No		とし	た施策の展開により、要介	護状態とな	さ高齢者の	り減を図るこ	とを目標と	こいている。	
日標達用	戊状況の 評	4価								
3 事務	事業の語	亚年								
1 1/1	7 / 1 7	TIIII 「の必要性が高い事	と み、							
			表 //*							
評価	a 必要性									
判断	必要性の	高い事業である。								
理由										
② 主体	性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か.						
評価	b 市が主	E体的に実施するこ	とが	望ましい						
判断	民間委託	も可能であるが、	とちえ	しり調査の権利行使にか:	かる業務に	こついてに	は、委託でき	きない。		
理由										
③ 有交		したとおりの成果	が上ス	がっているか(新規事業の	り場合は見	L込)				
評価		た通りの成果があ				-				
判断				予防事業おいて効果があ	がってい	るように	受けられる	5.		
理由	/4/ 14	,= 154 BF B (= 24) 0)	. н.х.	1 1 1 NC40 + C WINKW . 00)	()	<u> </u>		- U		
	L k M ,	を変えずに、経費	たて)	ギス七等けわいか						
評価		よ積算に基づく経費			о А поз	2 _{51 5} 1 m 1	- la 7			
1.41-51	配直を義	務化された人件質), 土7	は経費であり、経費削減	の余地は7	よいと思わ	つれる。			
理由										
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業	カュ							
評価	a 至急第	尾施しなければなら	ない							
判断	介護保険	法第115条の39の規	定に	基づく事業である。						
理由										
4 総合	·評価及7	下今後の事務事	単の	方向(総合評価に対	するみ	姜策 筌)				
総合評		<u> </u>	A	<u> </u>	/ J W]	コ/八寸/				
시1년 11		介護予防を重		 した施策の展開により、	更介護州	能レかス:	喜齢者の減	を図る		
今後の	方向性	1 殴 1 約で 里	/IIV C	した地水ッな団により、	女川 唆仆	見て、そろし	11日 八八八	다 [의 '&) (
<u>√</u> → √	万元 / □		抽口/							
<u>₩</u> _/		企画政策課記入	·順 <i>)</i>	北 莽 □ 歴 ·						
☑ 現状		□拡充	닏	改善		□ 統合				
□ 休止		□ 廃止	Ш	完了						
Ī										

_1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標	票 (章) 2いのち輝	くぬく	くもりのあるまち	(健康・医療	ぼ・福祉)					
施策	基本施第	(節) 2-2地	域福	祉の充実			担当課	市民福祉部	『 高齢福神	让課	
区分	個別施領	€(項) 2-2-3	高齢	者福祉の充実							
	事務事	事業名 在字介護	支援	センター運営す	5.託事業		事業	平成	18	年度 ~	
区分	1 新	<u> </u>	<i>/</i>	<u> </u>	継	<i>続</i>	期間	1 /9%	10	1 12	
		P接護高齢者、要援護	lr to	スセそれがある』				と介護に関す	ス相談業務	め名種の促健	福祉
目的 及び		び設しいでし、女は良い総合的に受けられる							2 11 KX 7K 17.	八口怪少你是	IH.1117
背景											
月月	+ + A	生 1 z 目目 ユト フ シハ ヘ 土口 シ/k	- 사사 -는	*/中华加州 人=	# /口 P公上I. 各	月の古典サ	シェムニュー	L-14%			
事業		びに関する総合相談、 『の展示紹介(任意)			隻保険对象:	外の局断石	に対するス	く仮。			
内容	(委託先)	子。2012年11月11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日1									
)杜、おはよう館、の	ぞみ		-			•			
	数值	項目		算定式		最終	目標	H22年度(まて		H23(までの)	
	目標 設定	相談件数	平成	20年度相談件	数2,725		件		件		件
成果	事業	(年間)	件×	110%		3, 0	000	2, 6	25	2,835	
目標	数値	最終目標									
1	目標	H22年度(までの)実績									
	以外										
	事業	H23目標									
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実	Ŗ績値)/(H23までの∣				/最終目標値 ④H2	23(までの)実績値/最終目	標値
	I	H23事業費				I	H23実施内	7容			
		10, 380	左字	:介護に関する	総合相談	宣齢者 争	能扣据	介業保險☆	象外に対	する支援	
		千円	11.7	川暖に関りる	心口们吹、	미메미크	くぶ]口)圧、	月度体医/5	J 多入 / 「(C <i>N</i>]	9 公人1反。	
寉	数値	H23(までの)実績		1100 (+ ~0)	口捶法	H23	単年度達	成度	全体計画	画における達	成度
実 施	目標	H23(まじの)美績	11旦	H23(までの)	日悰旭	採用算	章定式	1)	採用算	定式	4
状	設定	0 (20		0	005		0.0	_		00	
況	事業	2, 638	件	Δ,	,835 件		93	%		93	%
	数值	H23実績		H23目札	画	H2:	3単年度達	成度	全休計區	画における達	成度
	目標	1120 人//		1120 🖂 1	<i>/</i> //	112	一个一人还	:19X1X		3(C401) D.E.	19,01,00
	以外							0/			0/
	事業	会議子、はおまち	ا با ا با	上 た施策の展開に。	トル 西介	雑仏能した	2て 古齢 孝/	%	した日挿し	コンプレンス	%
目標達成	戊状況の評			に旭州の展開に	より、女川	受小なしる	と 名 国 国 日 人	710Kで 121公 C	こで口伝く	- v · C v · D °	
1 1/1	事業の記	·									
		の必要性が高い事	美か								
評価	a 必要性										
判断	必要性の	高い事業である。									
理由											
② 主体	体性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か.							
評価	a 市が主	E体的に実施すべき									
判断	法定組織	ではないが、その征	と割に	は重要な意味を	もってお	り、実施	主体は市と	:判断される	5.		
理由											
③ 有交	协性:期待	したとおりの成果だ	が上れ	がっているか()	新規事業0	り場合は見	見込)				$\neg \neg$
		た通りの成果があ									
判断		つの地区に分け、高		針の実態把握や	サービス	基本台帳の	の整備に多	子めるととも	らに、在宅	三介護の連絡記	凋整を
	図ってい			,	Ì				— -		_ =
(4) 効		を変えずに、経費	を下り	ずる方策はない	・カ ュ						
評価		よ 積算に基づく経費									
判断	年度委託			る 箇所当り)×3	8箇所=10	380千円					
理由		. 0,100 []	(<u>ши</u> ши, ли	· ഥ,//I 10,	200 11					
	 	に実施すべき事業	5.								
		に美脆りへさ事業を									
評価		対象外高齢者に対す			古怪にへ	ハイの利用	田御夢のも	ロ狄光ダル	大 夕	古伝わいた	- の主
		対象外局断有に対す 的となっている。	(a)	竣 」′炒 ・ 生活	又仮につ	V・CVノ不明)	市硐金~↑	ロ欧耒務は、	14七月18	を又仮ピング	一の土
· <u>1</u>			II/. ~	1 (&) A =	## / #)	1 7 7/-	}				
		び今後の事務事		万回(総合語	評価に対	する改	善束等)				
総合評	価 →	\(\Lambda \) \(\frac{\partial}{2}{2} \) \(\frac{\partial}{2} \) \(\part	A)). Ll. hrb 1-1	B) = 1 . ' .	and A 344 115	Ab) ,		<u> </u>		
今後の	方向性	介護予防を重	点と	した施策の展開	割により、	要介護状	態となる	島齢者の減	を凶る。		
<u>*</u>		企画政策課記入	.欄)								
☑ 現状:		□ 拡充		改善	□ 縮小		□ 統合]
□ 休止		□ 廃止		完了	□ 不採	択					

1	事業の概要	成果	目	煙

<u> 1 尹</u> 来	が、概要	・成果目標									
	基本目標			(もりのあるまち (健康・医療	・福祉)						
施策	基本施第					担当課	市民福祉部	祁 高齢福	社課		
区分	個別施領			者福祉の充実		丰米	Ti 4	1.4	左车		
区分	事務 1 新	•	さか	い対策事業 → 継	続	事業 期間	平成	1 4	年度 ~		
目的			[を供	足進させるとともに、ひ				立感の解消	当及び自立生活の助		
及び	長に寄与										
背景											
事業	健康づくり。	活動、高齢者の地域活動の振 スポーツ、娯楽活動、健康増	進活動	の推進							
内容	· 社会奉仕活		開催								
	事業主体:社会	会福祉協議会 項目		算定式	最終	日煙	H22年度 (まっ	での)実績値	H23(までの)目標値		
	目標	年間利用者数	平式	20年度利用者数8,275	20,110	人	7,52,121	人	人		
成果	設定 事業	(人)		110%	9,	100	8, 1	.02	9, 100		
目標	数值	最終目標					<u>l</u>				
	目標	H22年度(までの)実績									
	以外 事業	H23目標									
2 事業	実績		値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの)/最終目標値 ④ E	23(までの)実績値/最終目標値		
	I	H23事業費			I	H23実施内	7容				
		24,705 千円	三世	:代の集い・健康づくり	スポーツナ	く会・、社	:会奉仕活動	か・生きが	い講座等		
	数值			())	H23	単年度達	成度	全体計	画における達成度		
実施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	23(までの)目標値 採用算定式 ① 採用算定式						
状	設定 事業	7, 348		9, 100		81	81				
況	数値	·	人				%		%		
	目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画における達成度		
	以外 事業						0/		0/		
	尹耒	目標値を達成で	きる	<u>よう努力している。</u>			%		%		
目標達成	成状況の評	一									
3 事務	事業の記										
		の必要性が高い事	業か								
評価	a 必要性										
判断 理由	必要性の	高い事業である。									
	<u> </u> 	主体的に実施すべる	き事業	 業か							
評価				O・住民団体等)が主体	は的に行う	べき					
判断	社会福祉	協議会が主体で実施	直して	こいる。							
理由	-L. ku. ++0.<-+	1 + 1 + 1 o + 1 :	28 [い マルフュ (如用事業)	ᄭᄪᄼᅜ	1 > 1 \					
評価		- したとおりの成果が - た通りの成果があ		がっているか(新規事業の	7場合は5	上达)					
判断				□を促し、高齢者がいき	いきとしア	た豊かな生	上活を送る:	ことができ	きる。		
理由											
		を変えずに、経費を									
評価		よ積算に基づく経費 算に基づく経費であ		<u>ර</u>							
判断 理由	週1147年	弁に坐 ノ、吐貝(0) (J) o								
		に実施すべき事業が	32								
評価		尾施しなければなら									
判断	ひとり暮	らし高齢者の社会的	り孤式	Z感の解消を図る。							
理由		7.4.4.0 市政市	生の	七尚 (総合証年)7年	ナスル	美学堂)					
4 総合 総合評		<u>アコ後の事務事</u> 。	<u>耗り</u> A	<u>方向(総合評</u> 価に対	9 る以言	当 不 寺 /					
			や地	域の中で豊かな経験と技		し、社会	参加するこ	とによっ	て生きがいを見出		
今後の				ているので、今後も継続	きする。						
		企画政策課記入		71.*							
☑ 現状□ 休止		□ 拡充□ 廃止	님	改善□ 縮小完了 □ 不採		□ 統合					
□ NNIT		□ /元址	<u> </u>		ν×						

1 事業	の概要	・成果目	標										
	基本目標		2いのち輝	iくぬく	もりのあるまち	5(健康・医療	寮・福祉)						
施策	基本施第	・ (節)	2-2地	域福	祉の充実			担当課	市民福祉部	高齢福	祉課		
区分	個別施第	〔項〕	2-2-3	高齢	者福祉の充実	:							
	事務事	事業名	配食サー	ビス	事業			事業	平成	1 4	年度	\sim	
区分	1 新	//-	2継 続		\rightarrow		続	期間					
目的	近年、	社会家庭	環境の変化	匕等に	より一人暮	らしの高齢	者が増大	しているた	こめ、このよ	こうな高値	齢者が安	全安心に	に生
及び					いる。この								安否
背景	雌認を定	期的に行り	い、地域・	ぐるみ	で高齢者を	見守る「地	域ケア体	制」の甲科	後として 位置	重付ける さ	ものであ	る。	
 अर					5齢者のみの ⁻								
事業 内容	否確認を	行う。事	業は市社会	会福祉	と協議会に委	託し、弁当	の配布及	び回収は9	4人(平成2	4年3月)	の配食は	ドランテ	`イ
11 4	アが担当	している。	>										
	数値	項	目		算定式		最終	·目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(ま	での) 目	標値
	目標	4.1 H 4.4		平成	20年度実績3	× 人 00		人		人			人
成果	設定 事業	利用者数	女 (人)	110%		, •	3	30	28	1		330	
日標	数値	- 最終	目標										-
	目標		ロ (ボ までの) 実績										\dashv
	以外												
0 + 44	事業	H23	目標										
2 事業	実績			票値 ②(H2	23までの実績値-H22まで	の実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④	123(までの)実績	値/最終目標値	
		H23事業費						H23実施内	1谷				
		12, 633	т.m	週1回	回の弁当配布	と回収を通	じて高齢	者の安否	潅認を行う。				
)k/, /-+	ı	千円				поз	単年度達	北曲	会体 社	画におけ	て法式	亩
実施	数値 目標	H23(ま	での)実績	憤値	H23(までの))目標値					.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
施状	設定	採用算定式 採用算定式								(4)		
況	事業		264	. ,		330		80	%		8	30	%
<i>V</i> ^L	数值		100安建	/\	IIO2 E	1 4 3 1	110	0 出 左 库 法		<i>∧ (</i> + ⇒1.	正 ノァ よいけ	フェー	
	目標	Н	[23実績		H23 	は 保	H2	3単年度達		至平計	画におけ	つ 達成	及
	以外												
	事業	市	が抽ばに	1.禾1	登録者が増加	旧傾向になる	が 古齢さ	4.企業協訓(<u>%</u> の並及1× トル	オパタ・オラ	正学が増せ	加してい	% z
目標達用	成状況の割				がみられる。						ガ 1日 ル・1日 A	л С С С С С С С С С С С С С С С С С С С	3
0 +35	- 	T. /TT											
, .,	事業の記	. ,, .	18±1. ±	MK- 2									
	要性:実施		か高い事	美か									
評価	a 必要性		~. + 7										
判断	必要性か	高い事業	じめる 。										
理由	- Lui → . 13	· (4-44) -	## + »	ケキカ	K).								
	体性:市が					- k*\ _2 × → L	トカムファ <i>な</i> ご, こ						
評価			.,		O・住民団体 の委託事業と				/ 力	育まいる ロッ	て地はた	マは別	₩;
判断 理由		とのはれた 必要があ		我云 い	安託尹未こ	CCVOM	、地域已:	白又1友ピン	/ グ 一VJ1日や	子を思し	し地域ク	ノ神明い	171114
				λ: L.	ジェアハスか	(如田事業)	カ担人はE	1					
		しにとお した通りσ			ぶっているか	(利风争系)	ノ物 ロ はり	山心)					
評価					こもりを防	止するし#	厂 配合	ボランテ	アを涌じっ	· 安不碑 =	7. 日立	りが行う	hh
判断 理由	ている。	り レ同脚′	ロの氷、バ	ル闭し	/こむりを例.	止りるこ共	(二、) []	いノイノイ	/ で埋し(、久口唯品	心:九丁	<i>→ N</i> *114	1246
		を変うず	に 奴弗	を下り	げる方策はな	レンカン							-
評価		で変えり よ積算に基				v '/J"							-
判断		が傾昇に差 算に基づ											-
理由	スピーエム・み 作具	>+ (► /	、心里 人(~ J · W O									
	_ 急性:緊急	に宝施す	べき車業	カゝ									-
評価		に 天旭 9											\dashv
判断					、暮らしや高	齢者のみの	世帯のた	め、地域と	rア体制のす	実け竪	急に整備	される	
	がある。	·· /c < _L1		J)	··□· ユ ○ \ 1 1	41. M 47.41.47	→ 111 ×2 / C !	· / \ ~ \ /	/ TEID1/2/	コノマトのオスト		-40.01%	<u>ا</u> ح
		が今後の	事終重	業の	方向(総合	評価にも	するみ	盖 箫笙)					
総合評		ン / 久 V /	サ切ず	来り. A	くろ しょ (小の 口		17 公以	ロバサノ					
		高齢	者の安否		を定期的に行	い、高齢 ²	等の自立	と生活の	質の向上を	図る。			
今後の	方向性		,, ,	,	,,								
<u>* _7</u>	欠評価 (企画政策	(表課記入	(欄)									
☑ 現状		拡充			改善	□ 縮小		□ 統合					
		□ 廃止	<u>: </u>		完了	□ 不採	択_						
			_	_	_		_			_		_	-

1	事業の概要	成果	目	煙

<u>l 事業</u>	*************************************	・成果目標								
施策 区分	基本目標 基本施第 個別施第	受(節) 2-2地 受(項) 2-2-3	くぬくもりのあるま 域福祉の充実 高齢者福祉の充		•福祉)	担当課	市民福祉部	『高齢福	祉課	
	事務事	F業名 介護用品	給付事業			事業	平成	1 3	年度	~
区分	1 新	規 2継 続	\rightarrow	糸比糸	売	期間				
目的 及び 背景		高齢者を介護してい 在宅の介護を必要と				ことにより)、その家族	医の経済的	り負担の	軽減を図る
事業内容		険で要介護4また <i>N</i> を給付する。	は5と認定された	と高齢者を介護	もしている	家族に対				
	数值	項目	算定:		最終	目標	H22年度(まて		H23(まで	での) 目標値
成果	目標 設定 事業	利用率	平成20年度給付 /要介護4・5の 人×110%		45	5	43	%		44
目標	数値 目標 以外	最終目標 H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業		※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H22ま	での実績値)/(H23までの目				/最終目標値 ④F	23(までの)実績[直/最終目標値
	I	H23事業費				[23実施内				
		6,438 千円	要介護4、5とする。	認定された高		-				
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	f値 H23(まで	の)目標値 …	目標値 H23単年度達成度 全体計画にお 採用算定式 ① 採用算定式					
状 況	事業数値	44	%	44 %	%					0 %
	目標 以外	H23実績 	H23	目標	H23	単年度達	る達成度			
	事業						%			%
目標達用	成状況の評		護保険事業計画に	こよるものであり)、おおむ	ね達成し、	ている。			
	寄業の記									
① 必要		の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性									
判断 理由	必要性の	高い事業である。								
		主体的に実施すべ								
評価 判断		E体的に実施すべき が、家族の身体的、		りな負担の軽減	成であり、	市が実施	色せざるを 後	导ない。		
理由 ③ 有效	┃ 効性:期待	したとおりの成果	が上がっているス	か(新規事業の	場合は見	込)				
評価		た通りの成果があ								
判断理由	目標値に	近い給付者がある。								
④ 効率		を変えずに、経費	を下げる方策はた	ないか						
評価		:積算に基づく経費								
判断 理由	全額補助	ではなく、紙オムジ	ソ代の一部補助で	である。						
5 緊急 評価		に実施すべき事業; E施しなければなら								
判断理由		老人の数は施設入所		下傾向にあるか	ぶ、本事業	きを利用っ	上る需用は 福	寄く、引約	売き実施*	すべきと考
4 総合 総合評		バ今後の事務事	業の方向(総 ⁻ A	合評価に対	する改善	善策等)				
	方向性		- A 増加により在宅(ると思われるの)					化率の上	昇と共に	一定の給
<u>*</u>	火 評価 (企画政策課記入				/				
☑ 現状		<u>正國</u>	改善 改善	□ 縮小		統合				
		□ 廃止	□ 完了	□ 不採 技	7					

1	事業の概要	成果	目	煙

1 T/N	. ,, ,	////N H ///								
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	き (節) 2-2地	は福ね	もりのあるまち(健康・医療 业の充実 考福祉の充実	(そ・福祉)	担当課	市民福祉部	高齢福	企課	
·	事務事		援助	本学の元実 者福祉の充実 事業		事業	平成	16	年度 ~	
区分	1 新			→ 継		期間				
目的 及び 背景	重要とな	っている。このため	り、 E	いらも、高齢者が要介護 日常生活上の各種サービ	スを提供	し、高齢福	番組の向上を	・図る。		
事業 内容		ね65歳以上の単身† 軽微な修繕等のサ-		高齢者のみの世帯及び を提供する。	これに準	じる高齢者	行に対し、家	「屋周り⊄)手入れ、外出時の	
	数値 目標	項目		算定式	最終		H22年度(まで		H23(までの)目標値	
成果	設定 事業	利用者人数 (人)	利用	実績により推計	5	人 5	48	人	55	
目標	数値	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業実績 ※採用算定式: ①H23実線値/H23目標値 ②(H23までの実線値-H22までの実線値)/(H23までの目標値 H22までの目標値) ③(H22までの実線値+H23実線値)/最終目標値 ④H23(までの)実線値/最終目標値 H23事業費 H23実施内容										
		326	字田	りのチブカの幼 出時のは						
		526 千円	豕问	りの手入れや外出時の技						
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達 算定式	成度 ①	全体計画 採用算	国における達成度 算定式 ④	
状 況	事業	53	人	⁵⁵ 人		96	%		96 %	
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達	成度	全体計画	画における達成度	
	事業						%		%	
	成状況の評		てい	5.						
	事業の記		Щ. Э							
① 必要 評価	a 必要性	の必要性が高い事業	美刀³							
判断		高い事業である。								
理由		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
		主体的に実施すべ	き事業	巻か						
評価		E体的に実施すべき	アナル	見野に入れる必要はある:	が 任名士	りかっ 書れ	なる古怪な	宇佐士ス	こためには 租左の	
判断 理由				、市が主体的に実施す				天肥りる	このには、先任の	
				ぶっているか(新規事業の	り場合は見	L込)				
評価		た通りの成果があ		シャフロのエコトゲュー)) ~ / 	, La	(4) ET + (2) = (4)	.1L .8.	, 28 + 4+ .6 1	
判断 理由				なじる庭の手入れ等を中 その継続を促進している。		レ、幅広↓	小川田石かり	ッーヒン	いか又持されてい	
		を変えずに、経費								
評価		は積算に基づく経費					r. Sar	_		
判断 理由	市シルバ	一人材センターとの	つ委割	E契約で実施している。	現在のと、	ころ算定基	長準は適切と	思われる	·	
	<u></u> 急性 : 緊急	に実施すべき事業	<i>ξ</i> 2							
評価	a 至急第	尾施しなければなら	ない							
判断 理由	要援護高	齢者の自立した生活	舌を総	^{₭続させると共に、介護}	保険への利	多行を防止	こする。			
		バ今後の事務事		方向(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評	価 →		A 左宅/		右熱わ車	業でな N	利用老の~	ーーブない	的確に押場し	
今後の		サービスの幅	を広り	土店を継続させるための ずるともに事業のPRを強		未じめり、	17月1日の-	- ^ ~ で	1774年(〜1 <u>に1</u> 至 し、	
※ 二次 現状		企画政策課記入		改善□ 焼⊥		□ 統合				
□ 保止		□ 拡充 □ 廃止		改善		□ 杌合				

争美	*************************************	・成果目標									
施策 区分	基本目標 基本施第 個別施第	票 (章) 2いのち輝		もりのあるまち(健康・医療 此の充実 ぎ福祉の充実	寮・福祉)	担当課	市民福祉部	『 高齢福	社課		
区分	事務 1	事業名 徘徊高齢 規 2継 規 2	者等》	家族介護支援サービス事	F業 続	事業 期間	平成	1 6	年度 ~		
目的			印症高	齢者等が穏やかな日常			<u></u> 介護する》	家族の精神	申的・経済的な負担		
及び背景	の軽減を	図る。									
事業 内容		高齢者等が徘徊した コセコム)	を場合	に、位置検索システム	を活用し、	早期発見	見・早期保証	護に努める	る。(使用機器:セ		
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	ごの) 実績値	H23(までの)目標値		
成果	目標 設定 事業	利用者数 (人)	利用実績数により推計 5 人 4 5								
目標	数値 目標	最終目標									
	以外 1122 年度(までの) 美瀬										
2 事業	事業 美実績	H23目標									
△事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 - 123事業費	E値 ②(H2:	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		標値 ③(H22まで -123実施♪		/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値		
		8	位置	検索システムを活用し、							
実施	数値 目標	千円 H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23 採用算	単年度達 算定式	成度 ①		画における達成度		
状況	設定 事業	1	人	5 人		20	%		20 %		
	数値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成度		
	以外 事業						%		%		
目標達用	成状況の割		されて	ていることに意味があるが	、今後にお	いては携	帯電話等GPS	機器普及の	推移もみながら啓発		
	5事業の語										
		の必要性が高い事	業か								
評価 判断	b 必要性が 必要性が										
理由	2 7 12 7										
② 主体	本性:市が	主体的に実施すべ	き事業	きか							
評価		と体的に実施すべき 本体の関係は 10 kg	La , , , , L		BB F WA	18 1 2 2 4 4	<i>b</i> ⇒m ± <i>b</i> 1 × 1 × =	F	- 1 . 2 1 . 2		
判断 理由	的に実施	すべき事業である。	· ·	族だけでは限界があり			品調整か必5	どめる!	_ とから、巾か土体		
③ 有效 評価		したとおりの成果だ は少ないが、今後向		ぶっているか(新規事業© ■込みがある	り場合は見	上込)					
判断理由	平成16年		るが、	啓発は行っても利用者	数は減少	している。	しかし、	今後は革業	所的に小型化が進む		
		を変えずに、経費		でる方策はないか							
評価	b 経費領	が減を検討する余地	がある	3							
判断 理由	現在のと	ころは本システムだ	が最も	安価である。							
		に実施すべき事業									
				おいては、予期せぬ事	態が生じる	るため、)	人命尊重の勧	見点から	事業継続は必要であ		
4 総合	<u>·</u> `評価及≀	バ今後の事務事		方向(総合評価に対	する改	善策等)					
総合評	価 → 方向性				が少ないた	め、他に	有効なシス	テムが開	発された場合は転		
		換を視野に入		公要がある。							
※ 二 切 現状		<u>企画政策課記入</u> □ 拡充		改善		□ 統合					
		□ <i>陸</i> 止		完了							

争亲	* の概要	・成果目標								
施策 区分	基本目標 基本施第 個別施第	票(章) 2いのち輝 策(節) 2-2地	域福祉	もりのあるまち(健康・医療 近の充実 者福祉の充実	いい (事件) (事件) (事件) (事件) (事件) (事件) (事件) (事件)	担当課	市民福祉部	了 高齢福	祉課	
区分	事務事	事業名 戦没者追 規 2継 規 2	悼式	実施事業 → 継	佐	事業 期間	平成	20	年度 ~	
目的		., ., ., ., ., .,	軍属	→ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			 と追悼し、F	方を挙げて	て恒久平和を祈	念す
及び背景	毎年開催	するようになった。	本事	11回の開催であったが 1業により戦没者の追悼	と平和祈念	念意識を幅	温広い市民 は	こ呼びかり	ける。	
事業内容	議員、市	議会議員、中学生作	弋表に	- 午後1時30分に市民ふれ ほか約150人。内容は、全 年、献花ほかである。						
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	での) 実績値	H23(までの)目	標値
成果	目標 設定 事業	参加者数 (人)	参加	実績による推計	18	入	17	人 3	180	人
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
2 事業	事業	H23目標		and he are stated the standard and the s	m let the way but at a	1 = 40	ar ar ethéte (de voorthéte (de)			-
△ ず 禾		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	HE (2) (H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		標値 ③(H22まで 123実施内		/ 政終日標値 ④	23(までの)実績値/最終目標値	<u>#</u>
		379 千円	戦没	者を追悼し、市を挙げて	て恒久平和	つを祈念す	るために式	典を実施	iした。	
実 施	数値目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23 採用算	単年度達 第定式	成度 ①		画における達成 算定式 ②	文度 ①
状 況	設定 事業	142	人	180 人		79	%	79		
	数値 目標 以外	H23実績 ————————————————————————————————————		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成	度
	事業						%			%
目標達用	 成状況の評		行事と	重なっていたり、毎年遺放	矣会員の高 [齢化が進み	参加人数が)	載少の傾向	にある。	
	5事業の記									
① 必要 評価	要性:実施 ┃b 必要性	の必要性が高い事	業か							
判断	必要性が									
理由										
2 主体 評価		主体的に実施すべき		巻か						
判断		に併せて市主催で気		- る。						
理由 ③ 有效	か性・期待	:したとおりの成果:	がトナ	ぶっているか(新規事業の	の場合け見	1				
評価		した通りの成果があ)) () (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	<i>> 700</i> 11 (3.71	1,2)				
判断理由				見催であったため、市民 『可能となり、市民に浸				5、全国韩	改没者追悼式に	併せ
	- 率性:成果	:を変えずに、経費	を下に	げる方策はないか						
評価		は積算に基づく経費のよれたません			笠ォエル:	0 万年		ルルベルト	見羊の七汁 1. 田	to to
判断 理由	る。			アンターを利用し、祭壇	守も子作!	v (110)	、いる。 現界	又呼 じは真	双晋四月伝と思	4ンなし
5 緊急 評価		に実施すべき事業を しなければなら								
判断理由	戦没者遺		追悼	車と平和祈念の意識が希 「望ましい。	薄化してい	いる。 国際	祭情勢の不知	定要素素	いらも次世代の	平和
4 総合		び今後の事務事		方向(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評合後の	価 → 方向性		A 願い	 は今後とも強まると思わ	かれるので	、戦没者	追悼と平和	祈念イベ	ントとして定着	を
※ □		図る。 企画政策課記入	擱)							
☑現状		<u>企画以来保証人</u> □拡充		改善 編小		□ 統合				
休止		□ 廃止		完了	択	=				

1 事業の概要・成果目標

施策 区分	基本目標 基本施第 個別施第	ラ (節) 2-2地	域福	、もりのあるまち(健康・医療 祉の充実 者福祉の充実	・福祉)	担当課	市民福祉部	高齢福祉	止課	
	事務事	事業名 ねんりん		ク記念俳句実施事業		事業	平成	20	年度	~
区分	1新	., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., .	ـ علاد ــ	→ 継		期間	**************************************	/II. C \ \	* L - A - 28 II.:	#1.5-
目的 及び 背景	開催され 在宅高齢	たことを記念し、4 者の福祉向上に資す	今後 <i>0</i> けるも		の振興を	図ると共に	こ、高齢者を	中心とし	た異世代	間交流と
事業内容	蓮寺)に俳	 「句ポストを設置して	投句:	スト大賞」を創設。市内観 を募る。大賞ほかの入賞者 福祉協議会との共催で「エ	を表彰する	。大賞の「	、ロフィーはF	 行役所ロビ	ーに展示し	/、大賞作
	数值	項目		算定式	最終		H22年度(まで	の)実績値	H23(までの	の)目標値
成果	目標 設定 事業	投句数 (句)	計画	iによる推計値	2, 5	句 500	2, 09	句 0	2, 5	500
目標	数值	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 -H23事業費	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		^{1標値) ③(H22まで} H23実施内	での実績値+H23実績値)/i 引容	最終目標値 ④H2	3(までの)実績値/最	设終目標値
		229 千円	北茨	城俳句ポスト大賞・ねん						
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達) 算定式	成度 ①	全体計画 採用第	■における 〕定式	達成度 ④
状 況	設定 事業	2, 197	句	2,500 句		88	%		88	%
	数値目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計画	画における	達成度
	以外 事業						%			%
目標達成	戈状況の評		のイ	俳句ポスト大賞を創設して メージアップになるような						
	事業の記	平価 の必要性が高い事	生か							
評価	b 必要性		₹/J							
判断理由	必要性が									
② 主体	性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か.						
評価		E体的に実施するこ				- 1.	I - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	titi at tit		
判断 理由	る必要が	ある.		はあるが、将来的な位置			会福祉協議会	等に移管	すること	も検討す
				がっているか(新規事業の	り場合は見	見込)				
評価		は少ないが、今後向			业 体制 <i>类</i> 。	よした少さ	地本の行列	台 [.)ァ 板	フルナハフ	
判断 理由				透明な部分があるが、異 	世代间父(元と仕七信	前脚有 少価似	門上に多	500 (VO)	0
		を変えずに、経費 は積算に基づく経費								
評価 判断 理由				ているので経費削減す	ることは	不可能。				
	息性:緊急	に実施すべき事業	ζı							
評価	a 至急第	ξ施しなければなら	ない							
判断 理由	継続実施	事業である。ただし	ン、	事業の位置付けについて	は今後検討	討する必要	見がある。			
4 総合 総合評		バ今後の事務事	美の B	方向(総合評価に対	する改	善策等)				
今後の				設と連携した点では初て 等など検討する必要があ		用対効果	を考えると画	画期的と	もいえる。	23年度
× _7		企画政策課記入		71.25						
☑ 現状	通り	□ 拡充 □ 廃止		改善 ☐ 縮小 完了 ☐ 不採		□ 統合				

_1 事業	の概要	・成果目	標											
	基本目標	票 (章)	2いのち	輝くぬ・	くもりのあ	るまち	(健康・医	医療・福祉)						
施策	基本施第	・ (節)	$2 - 2 ^{1}$	也域福	祉の充実	₹			担当課	市民福祉部	社会福祉	沚課		
区分	個別施第		2-2-	5 障害	者福祉σ	充実								
	事務事	事業名	難病患者	者福祉	見舞金支	た給事業	 		事業	平成	1 5	年度	\sim	
区分	1 新		2継 約			\rightarrow		継続	期間	. , , , ,				
目的	平成10	年5月か	ら医療法	改正に	こより、	特定疾			制度が見直	直され、重症	度により	医療費	の一部へ	負担
及び	導入とな	った。長	期入院に	半う	費用、ま	た退院	経後の定期	朝的通院、	健診等患者	音の経済的負	担は、ナ	こきなも(のがあ	り、
背景	この負担	の軽減及	び患者の	心身の	の安定を	図る目	的で見刻	舞金を支給	する。					
	市内には	2 5 2 人	の難病患	者(5	平成24年	3月末耳	現在)が	おり、14	生あたり年	額15,00	0円			
事業	支給する		7,127,137		1 // 1	- / • / - /	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , _ ,	1 -2 , - 2 ,		- 1 4			
内容														
	数値	頂	目	I		定式		- 最終	冬目標	H22年度(まで	の) 宝績値	H93(まっ	での) 日 :	煙値
	目標		₹ Н					月又小	× н иж %	1122 72 (3 (%	1120(3.	(V) H	<u> </u>
	設定	利力	用率	支約	合者数/タ	付象者	数×100		·	99	, -		100	70
成果	事業								100	82			100	
目標	数值	最終	8目標											
	目標 以外	H22年度(3	までの)実績	漬										
	事業	H23	目標											
2 事業	実績	※採用算定式:①	Duoosatatata /uoo F	日搏信 ②()	1992までの宝徳値。	_U00 ± 75 75 TE	☑線値)/(U09まっ	の日搏信_U99までの	5日類(4) ②(Hooまっ	での実績値+H23実績値)/	是数日搏信 (All)	23(までの)実績値	古/是故日搏結	
<u> </u>		H23事業費		11:E © (120よくの天順旧	11224 (17)4	<映匝// (1123よ (- 07日休胆 1122よ (0	H23実施内		政府(日孫胆 使用	のなくの大概』	巴/ 政 称《口 6余 旧	
		3, 054	千日	口 対象	食者 2 5 :	3人の	うち、甲	請に基づ	き201人	に見舞金を	支給した	0		
-	数値			1				Н2	3単年度達	成度	全体計画	画におけ	る達成	度
実 施	目標	H23(ま	での)実	績値	H23 (ਭੋ	までの)) 目標値		算定式	(1)	採用算		(4	
ル 状	設定							1/1/11			DK/11 J			
況	事業		7	'9 %			100 %	6	79	%		7	9	%
	数値	т :	H23実績	,,,		H23目相	•		23単年度達		今休 料で	画におけ	ス法式	
	目標	1.	120天順			1123 日 1	际	11.	20年十尺庄	以及	土件川	可(これ)()	つ连灰	泛
	以外													
	事業	\	` 0 0 Æ	年パポー	田泰10	0.0/.0	カロ揺び	+ 1 7 0 0	/ **		2.00/121	1. ナ. 北江	し、ナフ	%
目標達成	戊状況の割	呼価 一一の	(234)	支 (よ个!)	用学工U	0 700	グロ徐に	対し19万	10 Casos 100	の外午及はの	5 0 %以。	上で 1日伝	(C 9 W	0
	事業の記													
	要性:実施		が高い事	事業か										
評価	b 必要性													
判断	難病患者	の心身の	安定に寄	うし、	福祉の	増進を	図るたる	めに必要で	ある。					
理由														
	*性:市が				業か									
評価	-	E体的に 美												
判断	難病患者	の経済的	負担を軽	減する	るために	実施す	べきでる	ある。						
理由														
					がってい	るか(新規事業	どの場合は	見込)					
評価	a 期待し													
判断									らめ、平成2	2年度の制度	利用者に	t82%で	あった。	, 23
	年度は79							~						
	怪:成果					はない	1カ1							
評価		は積算に基		-	る									
1 4.77	近隣市と	比較して	相応であ	る。										
理由														
	急性:緊急													
評価		尾施しな に												
判断	難病患者	の福祉の:	増進のた	めに	実施すべ	きであ	る。							
理由														
		び今後の	事務事	業の	方向(総合	評価に	対する改	(善策等)					
総合評	価 →			Α										
今後の	古向州	平成	₹24年度	6周知	に努め、	利用者	者の増加	を図る。		·				
フ仮り	カロゴ 													
※ 二½	欠評価 (企画政策	策課記	入欄)										
☑ 現状	通り	□ 拡充			改善		□ 縮/		□ 統合	·				
□ 休止		□ 廃止	<u>: </u>		完了			采択						

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

1 事業	の概要	・成果目標							
	基本目標	票 (章) 2いのち輝	くぬくもりのあるまち(健康・医	療・福祉)					
施策	基本施第	ઈ (節) 2-2地	域福祉の充実		担当課	市民福祉部	社会福祉	业課	
区分	個別施第	毎(項) 2-2-5	暗宝者福祉の充宝	1			_,,,,		
	事務事	E 業夕 担	域価値の元英 障害者福祉の充実 害者等情報支援緊急基盤整例	# 車 类	事業	平成	23	年度	~
巨八	1 新	#		# # 来 「規	期間				, 0
区分				–		平成	23	年度	/ la +n バケ
目的			って欠かせない大切なものが						
及び		ために、公共機関に のバリアフリー化を	こ専用の設備を整備して、視 な保護する	『見 程 音 /	白か日夕(ンスムースに	用報を伝	\$ O ⊂ C /	い (うるよ
背景	フ、情報	のハッテフッ <u>ー</u> 16で	と作用する。						
	地域での	障害者に対する情幸	Wバリアフリーを促進するた	め、公的	幾関等に愉	青報支援機器	を整備し	/、視聴的	覚障害者等
事業	への情報	支援の充実を図る。							
内容									
	数値	項目	算定式	是紋	·目標	H22年度 (まて	の)宝績	H03 (すっ	での)日煙値
	目標	グロ	并 た八	月又 小ミ	日伝	1122十及(よく	. */) 天順	1120 (4)	(7) 口标吧
	設定								
成果	事業								
目標	数值	最終目標	公共施設に、視覚障害者の	ための拡力	て読書機を	・設置する。	<u>_</u>		
	目標	H22年度(までの)実績		****	-10-11-17-1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	以外			ا با ما ما	=+	30.EE 1 7			
1 : 5114	事業	H23年度目標	公共施設に、視覚障害者の	ための拡力	て読書機を	設置する。			
2 事業	実績		値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				最終目標値 ④H	23(までの)実績値	直/最終目標値
	I	H23事業費		I	H23実施内	內容			
		000	古犯正 古立然入庁院 図	事約の3巻	なまだった十	きちませんと	里 1 た		
		829	市役所、市立総合病院、図	青串の3回	国別に払入	. 武士機を取	直した。		
/	数値			H2:	3単年度達	成度	全体計画	画におけ	る達成度
実 施	目標	H23 (までの) 実	績値 H23(までの)目標値		章定式	: :	採用算		1
ル 状	設定			DV/119	+ / /	-	1/K/11 7	PAL PA	:
況	事業					%			%
DL	数値								
	目標	H23実績	H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計画	ചにおけ	る達成度
	以外	拡大読書機3台を	・購 公共施設に、視覚障害		100			1.0	0
	事業		设置 者のための拡大読書機		100	%		10	0 %
		市内3箇所	の公共機関に拡大読書機を認	2置して、	視覚障害	者の役所や病	病院での-	手続等に	
目標達成	戊状況の 評	4価 ている。	勿論図書館では利用も多く、	視覚障害	者に喜ば	れている。			
2 車数	・古光の≒	₩ (III							
	事業の記	半価 の必要性が高い事	# 4.						
			業 が						
評価	a 必要性								
判断	10割の国	庫補助が今年度のみ	みである。						
理由									
② 主体	性:市が	主体的に実施すべる	き事業か						
評価	a 市が主	E体的に実施すべき							
判断	機械を設	置する場所が市の加	色設である。						
理由									
	カト性・期待	こたとおりの最里。	が上がっているか(新規事業)	の場合け目	1.沃)				
評価		た通りの成果があ		- <i>m</i> ப (க)	u~_/				
			る まどではないが、病院では期		到 書館 ベル	† 期待円上で	ある		
判断 理由	IN IZPI	∨ノイヤリ/四(また込ん)にに	女こ (はなV・//・、/内/元 (は対	11年世リ、	四百四〇〇	が対け込上し	0 6 CN		
		· 赤 ≥ . 12) - 67 + 11	ナーボット体によいい						
			を下げる方策はないか						
評価		・積算に基づく経費							
判断	この機械	は、障害者の日常生	上活用具給付事業の給付種目	になって	いるが、そ	その給付基準	額のとま	3りであ	る。
理由									
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業7	<i>ħ</i> ²						
評価	a 至急第	ミ施しなければなら	ない						
判断		庫補助が今年度のみ							
理由			· · · · ·						
	一部 ボック	『人谷の重致車	紫の古向 (公本証年)	ナナスル	美笙华)				
		<u>バイ 仮りノ事務争え</u> 	業の方向(総合評価に対	190以	当 不 寺 /				
総合評	価 →	士勿ごべって	A Land Land A	s 30. PE. 10	配(電力)	ト 1 P比 1 ×	\	17 + + :	1 12 7
今後の	方向性	甲俊州での利	用が思ったほどではないので	、、	が、現代に	11限ロビー) WPR	.にリセノ	へれいる。
			(HH)						
		企画政策課記入							
団 現状:	通り	□ 拡充	□ 改善□ 縮小		☐ 統合				
□ 休止		□ 廃止	☑ 完了 □ 不採	択					

1	事業の概要	战里	日煙
		11X. X	

<u> 1 争</u> 来	が灰安										
	基本目標			もりのあるまち (健康・医療	療・福祉)						
施策	基本施第		会保险	章の充実	••••	担当課	市民福祉部	『 保険年	金課		
区分	個別施第	兼(項) 2-3-1≒	社会例	保障の充実							
		•	医療技	失助事業(所得オーバー		事業	平成	17	年度 ~		
区分	1新	1 774 11 174			続	期間		· 左 4)			
目的				ノたまちづくり。市民が 一育て家庭への経済的支			うせることを	ど懓先し、	少于化对束の允夫		
及び 背景	(C EN .0 1 C	(A) / J. L. Lind Let G. 10V/9.	Z, ,	月、今於 沙瓜切りへ	1反でロック。	r					
日外	小子化分	一筆の一環として小り	見医瘡	で福祉費制度(小児マル	垣) が拡	去されてき	キたが 制度	年の所得制	即限によりマル福を		
事業				「独自に所得制限を撤廃 「独自に所得制限を撤廃							
内容	2				- ,				, = 0		
	数値	項目		算定式	最終	·目標	H22年度(まて	ぎの) 実績値	H23(までの)目標値		
	目標			小児医療福祉制度におけ		人		人			
成果	設定 事業	受給者数	る所得3年生	得制限を超える0歳~小学 E児の見込数	39	90	29	6	390		
目標	数值	最終目標	<u> </u>	Jusa Jusa 300	1		<u> </u>		<u> </u>		
	目標	H22年度(までの)実績									
	以外										
2 事業	+ 木										
	#										
		2,092	小児	マル福制度の所得制限は	世帯に対し	助成を実	描				
		千円	/4 /4	· /* 田田(文 ·/ /) 日田(本)							
実	数值	H23 (までの) 実	績値	H23 (までの) 目標値	I	3単年度達	·		画における達成度		
施	目標 設定				採用身	章定式	(1)	採用!	算定式 ④		
状 況	事業	290	人	390 人		74	%		74 %		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	数值	H23実績			H2'	3単年度達		- 全休計			
	目標	1120 大//貝	\longrightarrow	1140日15	114)平下汉 <i>元</i>	://X/又	土件山			
	以外 事業			1			%		%		
		所得制限を撤	<u> </u>	小学3年生までの全世	帯を小児で	マル福の受		「る目標に			
目標達用	 成状況の割	序価									
3 事務	多事業の記	平価									
	要性:実施	回の必要性が高い事 ^業	業か								
評価	a 必要性										
判断	少子化対	策の一環として行っ	ってい	いる事業であり、必要性	は高い。						
理由	±.til. →.2:	* \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	r 中4	LA Y							
		ジ主体的に実施すべる 主体的に実施すべき		きか							
評価 判断				市が事業主体となって	宝施すべ	き					
理由	>11. a > 11.17~	CIMPCION PROJ	<i>J ,</i> ,	川州, 尹承上厅 (1677)		0					
		よしたとおりの成果が	が上が	ぶっているか(新規事業の	の場合は見						
評価		は少ないが、今後向									
判断	短期間で	成果が上がる事業で	ではな	く、継続して実施する	ことで向し	上が見込め	りる 。				
理由		Con the									
		とを変えずに、経費を									
評価		な積算に基づく経費 業務系託 消耗具		る 『料等最小限の経費で実	141 アお	n -hr	コレの奴夷と	山中に	t/ .		
判断 理由	电异观性	耒伤安 乱、 旧	刘促	科寺取小阪の経負し大	他しており	り、これしと	人上り延負日	川伽パム四天	ែ		
	<u> </u> 	は実施すべき事業/	カュ								
評価		実施しなければなら									
判断				いる事業であり、早急に	実施すべき	きである。					
理由											
		び今後の事務事	業のこ	方向(総合評価に対	する改	善策等)					
総合評	価 ⇒	ロレール・サント・オ	A	``		- m 1 1 1 .	·115-1-1-7	V == 10 &	- 1: 1: 1: h h l .		
今後の	方向性			が、少子化対策及び子育 めには、県単位での実施			て拡充する	必要かあ	る。また、より大		
				ノには、芥ギ四、ツズル	型が主ょし	V '0					
※ 二		<u>(企画政策課記入</u> □ 拡充		改善		□ 統合					
公 先 人		□ 廃止		完了							
				20.							

_ 1 事 美	との 概要	・成果目標									
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	(節) 2-3社(項) 2-3-1	会保	保障の充実	いまず (事件)	担当課	市民福祉部	保険年	金課		
	事務事	事業名 小児自己	負担	市助成医療扶助事業		事業	平成	20	年度 ~		
区分		規 2継 続	は年1	<u>→</u> 継 レたまちづくり。市民が		期間	これるこした	· 原 生 ì	小乙宮齢ル対策な		
目的 及び 背景	実施する	ことで人口増を図る	5.								
事業内容	少子化対 施する。	策の一環として、ノ	小学校	ጲ3年生までの医療費の−	一部自己負	担金をj#	訓することに	こより、日	医療費の無料化を実		
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まっ	での)実績	H23 (までの) 目標値		
成果	目標 設定 事業	受給者数	0歳^	0歳~小学3年生児の見込数 人 人 3,350 2,264							
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
O 事業	事業	H23年度目標									
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの目	標値 ③(H22ま* H23実施内	での実績値+H23実績値)/	最終目標値 ④I	123(までの)実績値/最終目標値		
			, ,,					@ EL . N. 2	177 H-		
	16,878 小児マル福制度で支給対象外となっている一部自己負担金の助成を実施。										
実施	数値 目標 設定	H23 (までの) 実	績値	H23(までの)目標値	H23 採用算	3単年度達 算定式	成度 ①		画における達成度 算定式 ④		
状 況	事業	3411	人	3, 350		102	%	102			
	数値 目標	H23実績		H23目標	H25	3単年度達	成度	全体計	画における達成度		
	以外 事業						%		0/0		
目標達用	成状況の割	小学3年生まで は達成してい	での医 る。	療費の一部自己負担金	を助成する	ることで、		料化を第	E施するという目標		
	事業の語										
		の必要性が高い事	業か								
評価 判断	a 必要性 少子化対		ってレ	いる事業であり、必要性	は高い。						
理由	. ,	,,,									
-		主体的に実施すべ	き事	業か							
評価		E体的に実施すべき で補えない部分でも	i N	市が事業主体となって	宝佐士べる	<u>+</u>					
判断 理由											
評価		*したとおりの放果/ は少ないが、今後向		がっているか(新規事業の 見込みがある	り場合は兄	L1 <u>C</u>)					
判断理由				きではなく、継続して実	施するこ。	とで向上な	が見込める。				
	▲ 	:を変えずに、経費:	を下げ	ずる方策はないか こうしょ							
評価		は積算に基づく経費			II. s			1	atr.		
判断 理由	電算処理	業務委託、消耗品、	郵便	更料等最小限の経費で実	施しており	り、これり	以上の経費削	減は困難	E .		
		に実施すべき事業									
<u>評価</u> 判断 理由		통施しなければなら 策の一環として実施		ている事業であり、早急	に実施する	べきである	5.				
	<u>.</u> `評価及で	び今後の事務事	業の	方向(総合評価に対	する改	善策等)					
総合評			Α				佐してわり	△ ₩ 1	外佐して宝サ ユフ		
今後の		必要がある。		育て支援の一環として医	が質の無	科化を表	加しくおり、	一分後も	継舵して美胞する		
※ 二/ 現状		<u>企画政策課記入</u> □ 拡充		改善		□ 統合					
□ 休止		□ 旅元	_	完了		□ WILE					

1 事業	の概要	• 成果目標									
	基本目標	票 (章) 2いのち輝	くぬく	もりのあるまち (1	健康・医療	・福祉)					
施策	基本施第	後(節) 2-3社	会保	障の充実			担当課	市民福祉部	保険年	金課	
区分	個別施領	後(項) 2−3−1	社会	保障の充実							
	事務事	事業名 妊産婦市	助成	医療扶助事業			事業	平成	21	年度	~
区分	1 新			\rightarrow	継	続	期間			,	
目的		7月1日に妊産婦医療	養福 有	上費支給制度(マ			り、助成の	■ ○対象が妊済	E婦特有の	り疾病に	限定された
及び		り、対象外の疾病に									
背景	環として	市の単独事業で実施	包する) ₀							
	対象外疾	病の医療費の一部の	自相有	かかがまする。	(下記の	金額を超	える分を則	मह्ये)			
事業		担外来病院ご						*//**/			
内容] 3,000円を限度							
	数値	項目	1	算定式		是效	·目標	H22年度(ま	での)宝績	ПОЭ (丰·	べの) 日趰症
	目標	スロ	単の	ガルス 妊産婦医療福祉費	支給制	以小	人	1122十尺(よ	人	1120 (4	(V) 口1示ii
	設定	受給者数		対象外疾病で医療		4	80	249			480
成果	事業		受診	する妊産婦の見込	.数	4	50	24:	9		400
目標	数値	最終目標									
	目標 以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23年度目標									
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	(位 ②(H	23までの実績値-H22までの宝績	値)/(H23までの	目標値-H22までの!	目標値) (3)(H22まっ	での実績値+H23宝績値)	/最終目標値 @F	123(までの)実績(直/最終目標値
2 710		H23事業費			25.5.72		H23実施内				, and a second
		55.4	妊,産	婦医療福祉費支	給制度(マル福)タ	対象外の疾	病で受診し	た場合の	一部負担	1金の一部
		774 千円	を助		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	.,,,		>	
孛	数値				D 17 /4	H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
実 施	目標	H23 (までの) 実	績値	H23 (までの)	目標値		章定式	<u>(1)</u>		算定式	(4)
状	設定	404			100						4
況	事業	404	人	2	180 人		84	%		8	4 %
	数值	H23実績		H23目標	Į.	H2	3単年度達	成度	全体計i	 画におけ	る達成度
	目標	11=0,20,50		11=0 [[]	`		• 1 1 2 2	./44/2	J211 H11		0 ~ / / / ~
	以外 事業							0/			%
	于未		第の	一環として、妊娠	産婦が従	キンおり	必要とす		易に受け	られると	
目標達成	戊状況の評	価 は達成してい)KC 0 (1 /4/		2714 C 4- 7	220	o marcini	31-217	3,,000	. , , ,
0 車効	- 本 米 小 き	π/π'									
, .	事業の記	<u>半畑</u> の必要性が高い事	光よ、								
	a 必要性		表//								
評価		Eが高い 経済的負担を軽減 [、]	トスト	・レベルスル対等	4の一環	レ位署付	ナナセリ	ツ 亜州 けき	宝し、		
判断 理由	灯生焼り	性併り貝担を軽減	900	- 2 (少丁)[2)(牙	マリー泉	乙址直刊	けてわり、	少安性は	1 ('°		
	- 나바 . + + - 소양	******	を事力	%							
		主体的に実施すべ		₹/J³							
評価		E体的に実施すべき で補えない部分でる		古が東米ナ休り	+ + 2 = T	宝歩すべ	キ				
判断 理由	州の門及	て	09、	川が事業土体で	- 45 C	大旭 ダ゙	Ċ o				
		ことしたりの出田	as La	ジェアレンス か、(空	. 田事类/	カ担 夕け E	1 ; z)				
評価		したとおりの成果 は少ないが、今後向			况尹耒 ⁰	ノ勿口はり	山心)				
		診の公費助成の導			ケルトリ	(学生)	て宝塩する	くこしで出り	見が目はな	カス	
判断 理由	水山生炉))	ツソム貝別 別以号/	V/X C	一 公原貝 ツ	ナルムリ	、水色形にし	く大心りる		トル・九火()	ン つ 。	
	<u>【</u> ☑ 佐 · 战 甲	を変えずに、経費	を下り	ドス古筆けない	ትን						
		:を変えりに、経賃 よ積算に基づく経費			, -						
評価		ド傾昇に基づく経賃 診の公費助成の導。			生に トロ	継続し、	て宝協する	くこ レで出り	見が 目 ネス メ	カス	
判断 理由	/エ/エ/印度	www.お貝切りWV/詩/	\/X \	, 四原貝ツ程例で	TICA 9	、 PERVL U	、 		ベル・プロ 及≥0	∠. અ ∘	
	 	に実施すべき事業	ት s								
評価		にたんりいる事業									
		策の一環として、好		品の医療費に係る	(経済的	負担の軽	はを図る キ	- め 引き紅	まき宝協+	ぶ必要	
判断 理由		/K	工/王州	pッピル目(こぼる	UIII HU	スパツ性(m с Б (J /	ニック、 ソーご 形	んご 大心な	元'女₀	
	 新年12.7	『人公の市政古	歩の	七亩 (烩△缸	(年)テゼ	ナスル	美築堡)				
4 総合 総合評		び今後の事務事		刀門 (松石畔	「 (こと)	19 る以:	当 不 寺 /				
心口計	ш →	継続して宝塩	A する		果の向し	が見みめ	ス				
今後の	方向性	州西州して大旭	7 °W		ハマンドリエ	-14 · JULES (K.)	∾ 0				
<u>* _7</u>	を動揺 (擱/								
現状		<u> </u>	/ 駅 <i> </i>	 改善	編小		□ 統合				
		□ 旅儿 □ 廃止	H	完了	□飛须						
			Ш	/U 1		ν×					

1	事業の概要		成果	日煙
1	# * V/W/*	•	IIX AC	口 /元

「本学年学年 技術 2-2-1 社会保险の元素	施策	基本目標 基本施第	策 (飦	i) 2 —	3 社会	会保障	もりのある? iの充実		ま・医療	• 福祉)	担当課	市民福祉部	部 保健セ	ンター		
	区分								•••••		古光	元 会	20	年 庄		
及び、	区分					가니 기기	-	. 471/476	継糸			十八	20	中及	, 0	
登録																
・ 本条外: 妊婦・利児一般健康診査 1人当たり97,950円・乳児健康診査5,350円・審査支払手数料1件87円 数値		妊娠・出	産に任	系る経済的	勺負担 ~	旦の軽液	減を図る	とともに	、少子	化対策	の一環とし	して、安心	して妊娠	出産が		
数値 日報		・事業	名: 如	妊婦・乳リ	11 一船	ひ健康:	診査								1件8	37円)
展表		数値		項目			算定	式		最終	:目標	H22年度(ま	での)実績値	H23(ま	での)	目標値
日標	成果	設定	妊婦		受診				d数	1			%			
リスター	目標															
2 事業実績			H22年		実績											
H23事業費	0 ##	7 /15		H23目標												
大田 報館	2 事業				/H23目標	値 ②(H23%	までの実績値-H22。	までの実績値)/(E	H23までの目	票値-H22までの 			[)/最終目標値 ④ H	23(までの)実績	値/最終目	漂値
日標 投入 投入 投入 投入 投入 投入 投入 投			32,	595	千円	実人数	枚485人	延3,460	人の妊				人受診し	た。		
接換	施	目標	H23	3(までの)	実績	値	H23(まて	ぎの)目標	[値				1		る達	
日標達成状況の評価 3 事務事業の評価 ① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 a 必要性が高い 判断 理由 出 近端とでは、氏を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 遊性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 遊を使いたおいては、医療機関にいるときもあり健康診査の定期受診に結びついている。 ② 変換性: 実施の必要性が高い 判断 市が主体的に実施すべき事業か 理由 の 数学性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 遊を使いたおいては、医療機関にかかる費用が軽減され妊婦健康診査の定期受診に結びついている。 ② 変換性: 成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 遊を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 遊を機関へは事前に周知していることもあり健康診査費用は適正である。 判断 母権の方においては、医療機関にかかる費用が軽減され妊婦健康診査の定期受診に結びついている。 ② 変換性: 成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 産産実施しなければならない 判断 母権の登録を表現は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 企業が面 会	沢				70	%		100	%		70	%		7	70	%
事業		目標		H23実	績		H2:	3目標		H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達	成度
目標達成状況の評価												%				%
3 事務事業の評価 ① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 a 必要性が高い 判断 国より妊婦健康診査の望ましい健診の在り方、公費負担について通達があり、茨城県としても県医師会と調整検 討、全市町村に説明があり実施しているところである。 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 a 市が主体的に実施すべき 判断 市が主体的に実施するものである。 理由 ③ 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 妊婦の方においては、医療機関にかかる費用が軽減され妊婦健康診査の定期受診に結びついている。 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 医療機関へは事前に周知していることもあり健康診査費用は適正である。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない 判断 母体の健康管理を保持するためには、妊婦健康診査は不可欠のため経費削減は健診の未受診につながる。 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ◇ 後の方向性 必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) ② 現状通り 」 故光 □ 改善 □ 縮小 □ 統合	口抽净		τi έπ:	妊娠届出の	週数	がはや	くなり、女	壬婦健康 言	多査の 🤊	き診が定期	期的に受け		<u>!</u>			
① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 a 必要性が高い 判断 国より妊婦健康診査の望ましい健診の在り方、公費負担について通達があり、茨城県としても県医師会と調整検 理由 討、会市町村に説明があり実施しているところである。 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 a 市が主体的に実施するものである。 判断 理由 ② 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 医療機関へは事前に周知していることもあり健康診査費用は適正である。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない 判断 母体の健康管理を保持するためには、妊婦健康診査は不可欠のため経費削減は健診の未受診につながる。 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 徐合評価 → 今後の方向性 健全な母体より健全な児は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) ② 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合		-														
評価				要性が高い	ハ車達	生力										
理由 討、全市町村に説明があり実施しているところである。 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 a 市が主体的に実施すべき 判断					· +/	10.14										
評価 a 市が主体的に実施すべき										ついて	通達があり)、茨城県	としてもり	具医師会	と調整	整検
判断 理由						き事業	カュ									
理由 ③ 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 妊婦の方においては、医療機関にかかる費用が軽減され妊婦健康診査の定期受診に結びついている。 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 医療機関へは事前に周知していることもあり健康診査費用は適正である。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない 判断 母体の健康管理を保持するためには、妊婦健康診査は不可欠のため経費削減は健診の未受診につながる。 理由 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 今後の方向性 健全な母体より健全な児は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) ☑ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合						ゔなス										
評価 a 期待した通りの成果がある 判断 理由	理由															
判断							っている	か(新規	事業の	場合は見	見込)					
 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 医療機関へは事前に周知していることもあり健康診査費用は適正である。 ③ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない 判断 母体の健康管理を保持するためには、妊婦健康診査は不可欠のため経費削減は健診の未受診につながる。 理由 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 今後の方向性 健全な母体より健全な児は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) ☑ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合 							かかる費	用が軽減	されを	-婦健康	診査の定集	関受診に結	びついてい	いる。		
評価 a 適正な積算に基づく経費である	理由									2711000000	#2 H. 12 /IC/	77,210 (- 7/14				
判断 医療機関へは事前に周知していることもあり健康診査費用は適正である。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない 判断 理由 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 今後の方向性 位産な母体より健全な児は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) ☑ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 旅合								ないか								
理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない 判断 母体の健康管理を保持するためには、妊婦健康診査は不可欠のため経費削減は健診の未受診につながる。 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 体合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 健全な母体より健全な児は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) 」統合								り健康診	:査費月	は適正	である。					
評価 a 至急実施しなければならない 判断 母体の健康管理を保持するためには、妊婦健康診査は不可欠のため経費削減は健診の未受診につながる。 理由 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 今後の方向性 健全な母体より健全な児は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) ☑ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合	理由															
判断 理由 日体の健康管理を保持するためには、妊婦健康診査は不可欠のため経費削減は健診の未受診につながる。 理由 4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 日本の方向性 日本の方向性 日本の負担をなくすことがら、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) 日本 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の		T														
4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等) 総合評価 ⇒ A 今後の方向性 健全な母体より健全な児は出生することから、妊娠初期より医療機関の管理下において健康管理が必要なため、費用の負担をなくすことで定期的な受診を継続するものと思われる。 ※ 二次評価(企画政策課記入欄) ☑ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合	判断						は、妊婦の	建康診査	は不可	「欠のた	め経費削減	載は健診の	未受診につ	つながる	0	
総合評価 ⇒ A			7 K /\ /	然の事数	4年 分	₩. .	→ 	△≕圧)ァ 歩	ナフル	学 体 (公)					
今後の方向性			<u> グライ</u>	及り事務	j 尹		川川(総		(CX)	9 る以	当 界 寺)					
☑ 現状通り	今後の	方向性													康管	理が
					記入											
			=							5	□ 統合		_	_		
	☐ NYIL		<u> </u>	// 11-11-		<u> </u>	_ 1		1.11/1/1	`						

1 事業	の概要	・成果目標												
	基本目標(章)3 文化が香るはつらつ学びのまち(教育・文化)施策基本施策(節)3 - 1 学校教育等の充実担当課教育委員会 教育総務課													
施策	基本施第						担当課	教育委員会	教育総	務課				
区分	個別施領	受(項) 3-1-2	義務教	育の充実										
E /	事務事	71711	设耐震化		vino	/c-t:	事業	平成	21	1 /2	~			
区分	1 新	規 2継 続		\rightarrow	継	統	期間	平成	28	年度				
目的		は、日常は学習活動等の												
及び 背景	耐農化の推攻 年度末までの	単は喫緊の課題となってい りできるだけ早い時期に、	いる。東京 耐震化を	ロ平人展火俊、J を完了させるとの	人科有では「 り方針を示し	旭設登佣基∕ ている。	平力計」を以	.止し、公立の新	E務教育 肥市	[については、-	平成27			
1120	耐震化に	取り組む施設												
事業	①小学校	3校(校舎1棟・屋戸												
内容	②中学校	3校(校舎3棟・屋戸	卜運動 場	易1棟)										
	数値	項目		算定式		最終	目標	H22年度(まで	の) 実績値	H23(までの)目標値			
	目標	1.500.500.00	(補強	完了棟数/対	l 象棟		%		%		%			
成果	設定 事業	事業進捗率	数)×			1	00	13		25				
目標	数値	最終目標						l						
,	目標	H22年度(までの)実績												
	以外	H23目標												
2 事業	事業 実績	7 . 24.												
2 事未		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 -123事業費	値 ②(H23ま	での実績値-H22までの実	(横値)/(H23までの		^{目標値)③(H22まで} H23実施卢		最終目標値 (4)	23(までの)実績値/最終	冬目標値			
	ロ郷ロ学校校全耐雲補鉛工事(鍋蛄)A=2 302㎡													
	113,996													
宇	1100岁万亩朱仓库 人伊利亚(大约)47 朱仓库													
実施	目標	H23(までの)美績 	[旭	H23(までの)	日標個	採用算	算定式	1	採用第	草定式	4			
状	設定	25			25		100			25				
況	事業	20	%		25 %		100	%			%			
	数値 目標	H23実績		H23目札	票	H2	3単年度達	成度	全体計	画における	達成度			
	以外													
	事業							%			%			
日樗達日	成状況の評	早期完了に向	け、計i	画に沿って進	生んでいる	0								
	事業の記													
		の必要性が高い事	美か											
評価	a 必要性	Eか高い 生徒生徒の安全を硬	左/早 1	生性のは≪	抽占し)	ての機能	強ルのたと	ト 日色に高	+電ルなど	まみて 八田子	ド			
判断 理由	九里*	土灰土灰の女主で	世帯し、	地域切例火	拠点とし	しり (及化)	1997日 0 2 7 こ 0	ノ、干心にIII	長化なり	きのる必要な	1400000			
	 	主体的に実施すべ	き重業を	ስኔ										
評価		上体的に実施すべき		y .										
判断		学校施設であるため		ぶ実施すべき	事業であ	る。								
理由														
③ 有效	物性:期待	したとおりの成果	が上が〜	っているか(タ	新規事業の	り場合は見	見込)							
評価	//*! * -	た通りの成果があ												
判断	児童・	生徒の安全が確保る	され、り	5災拠点とし	ての強化	も図られ	ている。							
理由) <u> </u>		- 1 6d:										
		を変えずに、経費		る方策はない	ンクァ									
評価		は		ビ☆[甘 ※生 メート	リテ 沙井 払用 コ	当几当「チュ	年 - ナハコ	,						
判断理由	人科省	、国交省、茨城県の	ノ設計打	日軒・ 基準等	に単拠し	、政計を	11つ (いる	O 0						
	理由 ⑤ 緊急性: 緊急に実施すべき事業か													
評価		に美麗りへき事業/ E施しなければなら												
判断		害から児童・生徒を		こめ、凍やか	に実施し	なければ	ならない							
理由			_ , 2/1	- · · · · · · · ·	. , , , , , ,	, , 0100								
	<u>·</u> 評価及で	バ今後の事務事	業の方	:向(総合語	評価に対	する改	善策等)							
総合評			A	. • (J.S. H. F		, = >(
今後の	古向州	早期に耐震	化を完	了させるよう	、整備計	・画に沿っ	て進めて	いく。						
一方仮の														
<u>*</u>		企画政策課記入												
☑ 現状		□ 拡充		(善	編小		□ 統合]			
休止		□ 廃止	□完	了	□ 不採	択								

1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標	票(章) 3 文化がる		らつ学びのまち	(教育・ス	(化)					
施策	基本施第	新(節) 3-1学	校教育等	の充実			担当課	教育委員会	教育総	務課	
区分							- 		10	FF	
区分		事業名 学校施設 1 規 2 継 続	耐農診断	「争業 → ■	継続		事業期間	平成 平成	18 23	年度 ~ 年度	,
目的		1 焼 2 極 脱 準法に基づき、旧	计震基准	8 8		17					耐震性
及び		持しているかを把握									11117/12/11
背景											
事業		小学校:校舎3棟					東、屋内運		計16村		
事業 内容		、中妻小、華川小、 学校の校舎のうち1						P、常北中、	関本中、	磯原中」※	22年度
			1/K / Z / / / / / /					1100 F F (-)	~ n)	1100 (1h = 10)	
	数値 目標	項目	→ A 11	算定式		東約	· 目標		での) 美績	H23 (までの)	日標値 %
	設定	事業進ちょく率	診断完	了棟数/診断対 数×100	* 象棟	1	.00	63	, -	81	/0
成果	事業	日本日本		数 ^ 100		1	.00	0.)	01	
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
0 単紙	事業	H23年度目標									
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23まで	の実績値-H22までの実績値)	/(H23までの目標値		^{Ⅱ標値)③(H22ま・} H23実施卢	での実績値+H23実績値) マン	/最終目標値 ④	H23(までの)実績値/最終	目標値
	-										
		10,605	関南小学	学校:校舎、関	曷本中学 核	: 校领	舎・屋内運	動場			
実	数値	H23 (までの) 実	建荷 III	99 (までの) F	1 挿 店	H2	3単年度達	成度	全体計	画における達	述成度
施	目標	日23 (までの) 美	預旭 口2	3 (X (O) F	は保恒	採用	算定式	1	採用	算定式	4
状	設定 事業	81	0/	8	1 0/		100	0/		81	0/
況	数値		%		1 %			%			%
	目標	H23実績		H23目標		H2	3単年度達		全体計	画における達	E 成皮
	以外 事業							0/			0/
	尹未	平成23年度目	標として	いた学校につ	いて実施	済み		%			%
目標達用	成状況の評	平価		• • • •							
3 事務	事業の										
		の必要性が高い事	業か								
評価	a 必要										
判断		は、児童生徒が1日 早急に行う必要があ		を過ごす生活の	の場である	ると同	時に、地域	或の避難場 持	所の役割。	も果たすこと	から、
理由 ② 主体		主体的に実施すべ									
評価		主体的に実施すべき		'							
判断		校施設のため、市場		る以外にない。							
理由											
③ 有效		すしたとおりの成果 だ		ているか(新規	見事業の場	合は見	見込)				
評価		した通りの成果があ									
判断	耐震性能	を把握して必要に反	いじて補	強・改修工事を	を実施する	5 Z E	が最良では	ある。			
理由	なが・ 出里	!を変えずに、経費:	た下げる	古笙けないか							
評価		な積算に基づく経費		刀飛ばないが							
判断		え見積、積算に基づい		している。							
理由											
		に実施すべき事業									
評価		以内に実施する必要									
判断	磯原中の	改築計画に合わせ等	実施する								
理由 4 総合		((人仏の事效声	との士:	fi (公本)	파가누나	スコケ	主 生 生 生 \				
4 総合 総合評		び今後の事務事	<u> </u>	句(総合評価	Ⅲ(CX) 9	公以	台 界寺)				
		磯原中(校舎2		 運動場) の改	築計画に	合わせ	して調査を	実施する。			
今後の											
<u>* _ </u>		(企画政策課記入									
現状		□ 拡充	□ 改善	_] 縮小		□ 統合				
✓ 休止		□ 廃止	□ 完 つ	J	」不採択						

1 事業	をの概要	• 成果目標								
施策	基本目標基本施第			(つらつ学びのまち (教育 育等の充実	・文化)	担当課	教育委員会	教育総	務課	
区分	個別施第					323,610	W11 XX	42(11/10)	123 H21C	
区以	事務事	事業名学校トー規2継	ノレ洋	式化改修事業 →	迷続	事業 期間	平成 平成	20 25	年度 年度	\sim
区分 目的				<u> </u>						_
及び背景)老朽化対策とともに力 性出来ない児童・生徒に						ない、或い
事業内容	に取り組			中学校4校について、	校舎の各関	背層ごとに		置を目標 小学校7校		
	数値	項目		算定式	最終	8目標				での)目標値
成果	目標 設定 事業	事業進捗率	(完 ×10	了数/目標数) 0	1	.00	43	%		% 62
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績 H23目標								
2 事業	事業 実績	7 - 54	値 ②(H:	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23まで	の目標値-H22までの	目標値) ③(H22まっ	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④I	123(までの)実績(直/最終目標値
7 //		H23事業費				H23実施内				
		2,650 千円	小学	校7箇所、中学校3箇						
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		3単年度達 算定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④
状 況	設定 事業	62	%	62 %)	100	%		6	2 %
	数値 目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	以外 事業		, 1	51			%			%
目標達用	成状況の評	平期完」に同	け、i	計画通りに進んでいる。						
	寄業の記									
① 必要 評価	と性: 実施a 必要性	の必要性が高い事	業か							
判断理由			であり	、児童生徒の健康を気	子るために	も必要であ	ある。			
	▲ 本性:市が	主体的に実施すべ	き事業	巻か						
評価		E体的に実施すべき		5が実施すべき事業で <i>も</i>	7					
判断 理由	111 77.00	子仪旭畝であるため	9、11	Jが夫施りへさ 尹耒 じる	つる。					
				バっているか(新規事業	の場合は	見込)				
判断 知知	//***	ンた通りの成果があ 負担が軽減され、例	-	iにも良い影響を与えて	こいる。					
理由 ④ 効 ²	 	:を変えずに、経費:	を下げ	ザる方策はないか						
評価	a 適正な	な積算に基づく経費	であ	る						
判断 理由	文科省	、国交省、茨城県の	り設計	指針・基準等に準拠し	た設計で	ある。				
-		に実施すべき事業								
判断	1			『を考慮し、迅速に対応	ぶしなけれ	ばならない	١,			
		び今後の事務事	業の	方向(総合評価に対	対する改	善策等)				
総合評	価 ⇒ 方向性	早期完了に	A 向け	て事業を進めていく。						
		 〔企画政策課記入	榴/							
※ 二次型 現状	通り	□ 拡充		改善		□ 統合				
休止		□ 廃止		完了	采択					

_1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標	票(章) 3 文化がる	§るに	はつらつ学びのま	まち(教育	・文化)					
施策	基本施第						担当課	教育委員会	教育総	答課	
区分			差終	教育の充宝	•••••		7——#11	2117 21712	20111112	23 MIC	
	個別施第			教育の充実 AN敷儒事業	•••••		車光	平成	1.6	年度 ~	
ΗΛ	事務事		(PJL	AN整備事業	VMV	/e±:	事業		16	1 12	
区分	1 新	規 2継 続		\rightarrow	継	初	期間	平成	31	年度	
目的	「工字	改革戦略」に基づき	٠ \$	か音の情報化を	けかるた	め コン1	ピュータの	の配借や核に	hi ANの構	築に向け 取締	組み
及び		以手敬唱」に坐って のである。	ः , च	X FI V / IFI + K I L C	14111010	<i>/</i> /,		ZHLIM VIXI	1円111102月4	来(CIPI()、以()	πс
背景	~= ~> ~> 0	·> (u) v ₀									
	①IT環境の整体		77 - x (FE)	7946 BB 1. 1 2° 11/246	oc/> (#+#o/>)	an.pox J.J. ài	t = #400 /\	(左 松 宁	5a) DU#44	70 / \ / /2 +trc / \ \ \ 10+tr)	#7/#:J-
事業	専用教室への	コンピュータ配備374台(12校)、	及い向	辺機奋として、/ リンク。	30日(合仪3日)	設直。また世	計进教至188日	(合教至2日×94)	74) 、別教至((2古(合仪6古×12仪)	四乙1用 79
内容	②LANの構築	ソー 1 南は 46									
	数値	ソフト整備他 項目		算定式		最終	日趰	H99年度 (まっ	での) 宝績値	H23(までの) 目	1
	目標		200	コン教室386台	ユ / 作	以小公	台	1122 - 12 (3.	台	1123(3 (4)) =	台
	設定	パソコン		コン叙宝360 c (室6台×12校)			• •				
成果	事業	配備台数		(室0日へ12仅) (室2台×90クラ		63	38	38	6	386	
目標	数値	最終目標	IIII 32	<u> </u>	///				J		
	目標	H22年度(までの)実績									
	以外										
	事業	H23目標									
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実	収績値)/(H23までの ₽	目標値-H22までの目	標値 ③(H22ま~	での実績値+H23実績値	/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標	値
	I	H23事業費					H23実施内				
		00.000	°	h (5)) . h . (+t/		/± Π Λ ⊃ Ι	0001 70	111111111111111111111111111111111111111			
		33,882	コンヒ	ュータのレンタル(巻	対即用・生	使用台計:	386台、7	リンタ機36台)		
	数値	113				Н23	単年度達	战度	全休計ī	画における達成	比使
実 施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの))目標値	採用算				,,,,	
施	設定					1木川 昇	7. 上八	(1)	採用算	7. (4)
状 況	事業	386	台		386 台		100	0/		61	0/
₹万℃	数値		<u> </u>		戸			%			%
	日標 日標	H23実績		H23目	標	H23	3単年度達	成度	全体計画	画における達成	戊度
	以外										
	事業										
	チバ	現在各校のパ	ソコ		てけ整備済	74.					
目標達成	戊状況の評			室については		/ 0					
0 -1-76											
1 1/1	事業の記										
① 必要		の必要性が高い事	まか.								
評価	a 必要性										
判断	情報教育	の充実のため、必勢	更な事	事業である							
理由											
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべる	き事	業か							
評価	a 市がi	E体的に実施すべき									
判断		学校であるため、同	コがほ	E施すべき事業	である。						
理由	111	1 100 00 0 10 00 0		C727							
		したしかりの代用。	AS L.	が - ナリンス かく	が 田 車 类 /	7相 夕 14 日	1 2 7 7				
		したとおりの成果がた		nつ (いるか)	利风争来(ノ物石 は兄	上心/				
評価		た通りの成果があ									
判断	効果的な	授業が行われている	o 0								
理由											
4 効率		を変えずに、経費を			\ カ >						
評価	a 適正な	は積算に基づく経費	であ	る <u></u>							
判断	実績等に	基づく価格である。									
理由											
		に実施すべき事業が	ζ,								
評価		を施しなければなら									
判断		対応する人材育成の			· であス						
理由	11111111	V1/m 1 2 / C/V1 H 1/V /	<i>>1</i> C0		, (0)						
	 新	で人公 の古が去さ	W ~	→	証(元)~ユリ	ートフョL=	子 <i>体</i> : (**)				
		ゾ今後の事務事	-	力回(総合)	半価に対	する改	 声束等)				
総合評	価 →		A								
今後の	方向性	校内LANの構築	を存	見野に、IT環境	の整備に勢	答める。					
7 収 7	ンソ I型 I正										
※ 二½	欠評価(企画政策課記入	欄)								
☑ 現状		□ 拡充		改善	□ 縮小		□ 統合				
休止		□ 廃止	靣	完了	□不採	択	_				
				<u> </u>							

_1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標	票(章) 3 文化が	香るに	はつらつ学びの)まち(教育	・文化)					
施策	基本施第						担当課	教育委員会	教育総	答課	
区分		,	差終	教育の充宝			7	2112271	201111121	23 12 14	
	個別施第 事務事			教育の充実 AN敕借恵業			車米	平成	18	年度	\sim
巨八				AN整備事業	440	少士	事業 期間				\sim
区分	1 新	規 2継 続		\rightarrow	术还	続	舟间	平成	28	年度	
目的	「工工業」か	革戦略」に基づき	数で	ぎの情報化を	けかスため	フンド	ュータの西	『備や校内』	ΔNの構筑	に向け	取組みを
及び		平	, 1X F	月 V / 1月 平X L で	127.21.00	, ->	_ / V/H		加沙州来	(Clei) ()	以加少人で
背景	~= ~> ~> 0	·> (u) v ₀									
	①IT環境の整体		Ara (s)	T - 10 EP 17 HW EE 1 E 1	's an ∋th page (and thus h A	(+tro /\) \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	***********	(// 本本中 o /) \	ν=α\ 4±ΠΠ±Ω	中の小/タ +	to (> > = +tr) ==
事業	専用教室への 備。	コンピュータ配備、計205台(各橋	父41台)	。及ひ周辺機器15年	3の設直 (/ リンタイ	r校3台)。ま7	二晋进教至82台	(合教至2台×41	クフス)、特別教	(至30台(合作	₹6台×5校)配
内容	②LANの構築	1 = 1 = 6 /# //-									
	数値	、ソフト整備他 項目	1	算定式	<u>.</u>	是敛	目標	1199年度 (まっ	の)宝結値	Поэ(年~	での)目標値
	目標		()	デルス パソコン教室4		以小	台	1122十及(よく	台	1120(2	台
	設定	パソコン		、ノコノ教皇4 〔6台)×5校 -			• •				
成果	事業	配備台数		30日) へがX ×43クラス	日世叙主	33	21	20	5		205
目標	数値	最終目標	1	A 4.1 7 7 7							
	目標	H22年度(までの)実績	3								
	以外		ŧ .								
	事業	H23目標	<u> </u>								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目	票値 ②(H	23までの実績値-H22まで	の実績値)/(H23までの	目標値-H22までの[目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④H	23(までの)実績	値/最終目標値
		H23事業費					H23実施内				
		10.000	_1.1.°	h miniba /	*************************************	(仕田 / =)	00E/2 ==°	11) / H-466 /-)			
		12,966	コンヒ	ュータのレンタル (教師用・生	使用台計	205台、7	リンタ機15台))		
	*** /古	11.	' !			Н23	単年度達	战度	全休計画	前におけ	る達成度
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	責値	H23(までの	り) 目標値		章定式 章定式				
施	設定					1木川 5	早足八	(1)	採用算	非化八	(4)
状 況	事業	205	· 台		205 台		100	0/		6	64
∜兀	数値		口		戸			%			%
	日標 日標	H23実績		H23 E	目標	H23	3単年度達	成度	全体計画	画におけ	る達成度
	以外										
	事業										
	1.71	現在各校⊄	パソ	コン教室につ	ついては整備	 済み。特	別教室と	普诵教室に	ついては	今後檢訴	t.
目標達成	戊状況の評	価		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7 (3 22)	, , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1.00		7 00 000	
0 -1-76	· \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	T. / T.									
1 1/1	事業の記										
① 必要		の必要性が高い事	業か								
評価	a 必要性	生が高い									
判断	情報教育	の充実のため、必	要なり	事業である							
理由											
② 主体	 性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か							
評価		E体的に実施すべき									
判断		学校であるため、		巨旃すべき事	業である						
理由	110 =====	1 12 (0) 0/2 () (.10.00	C/ME / C 4-	/C C G / D 8						
	 	こをしむりの中田	おし	がっていてム	(カ担人ひち	177				
		したとおりの成果		11つ Cいるか	(利风争系)	ツ蛎百 はり	上心)				
評価		た通りの成果があ		. 7							
判断	効果的な	授業の展開が図ら	ri C V	' 0.							
理由	<u> </u>	S 1. S -0		· · · · ·							
		:を変えずに、経費			いか						
評価	a 適正な	₹積算に基づく経費	であ	る							
判断	実績等に	基づく価格である	>			-	-				
理由											
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業	カュ								
評価		そ施しなければなら									
判断		対応する人材育成			終である						
理由	пдде	7176. 7 S 7 C 17 F 19X	•>/=•) /)()E(G)E(477 (67 6						
	. 新 <i>I</i> エコッ	で人公の古が古	** ~	+ th (40) ^	/ 弐元 /元) テ 上	Luly フロム・	半体(**)				
		<u>ブ今後の事務事</u>		刀川(総合	清半価に素	」9 る欧	晋				
総合評	価 ⇒	11. 1 146	A								
今後の	方向性	校内LANの構	梨を視	記野に、IT環境	境の整備に	労める。					
※ 二?	欠評価(企画政策課記入	(欄)								
✓ 現状:	<u></u>	□拡充		改善	□ 縮小		□ 統合				
□ 休止		□ 廃止		完了	□不採	択					

1 事業	の概要	・成果目標									
	基本目標			はつらつ学びのまち(教	対育・文化)						
施策	基本施第	き(節) 3 -	- 1 学校教	育等の充実		担当課	教育委員会	教育総務	5課		
区分	個別施領	・ (項) 3-	1-2義務	教育の充実							
	事務事	事業名 校務		ン整備事業		事業	平成	23	年度	\sim	
区分	1 新	//U — //II		\rightarrow	新規	期間	平成	23	年度		
目的				環境の整備が進めれる							
及び			を整備する	ることで教職員の事務	軽減を図り	、児童生徒	まと触れ合う	時間を確	保できる	る環境で	<
背景	りを進め	-									
事業				う時間をより多く生み							
尹耒 内容			進められて	ており、これに対応す	うるICT環境を	と整えるた	め、不足し	ている教服	職員用バ	ソコンの)
1 1/1	整備を進・平成23	のより。 <u>年 </u>	/ ― ト刑6								
	数値	項目		算定式	最終	· 目標	H22年度(ま [*]		H23 (まて		
	目標 設定	校務用パソコ	ン整校剤	タ用パソコン整備台数 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 	τ/	%		%		(%
成果	取止 事業	備率	-	平成22年度教職員数	1	00	60		:	100	
目標	数値	最終目標	[<u> </u>						
	目標	H22年度(までの									
	以外	H23年度目									-
0 単紙	事業	, , , , , ,									
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績(-123事業費	値/H23目標値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23		^{目標値)③(H22ま↑} H23実施卢	での実績値+H23実績値) マンク	最終目標値 ④H23	(までの)実績値	[/最終目標値	_
	1	120 学未負				1120天旭7	14				
		6,856	千円 校務	5用パソコン整備台数	69台						
	*/- /		1 17		Н9	3単年度達	战度	全体計画	il おけ	ス達成度	-
実	数値 目標	H23 (までの)) 実績値	H23 (までの) 目標	4白			採用算			
施状	設定				1休用!	异化八	U)	休用昇	足八	(4)	-
況	事業		100 %	100	%	100	%		100) (%
<i>V</i> ¹	数値	11004				3単年度達		ᄉᄺᇍᆵ	コーナンナ		/ 0
	目標	H23実	に利	H23目標	H2	3年十及廷		王冲計四	にもり	る達成度	
	以外										
							0./			,	
	事業		ロテパソコ	ンが敷借され 日博	を達成してい	, z	%			(%
目標達成	事業 成状況の評	全教職員	にパソコ	 ンが整備され、目標	を達成してい	る。	%				%
	成状況の評	価	にパソコ	 ンが整備され、目標	を達成してい	る。	%			(%
3 事務	成状況の評 事業の言	平価		 ンが整備され、目標	を達成してい	い る。	%				%
3 事務 ① 必要	成状況の評 事業の記 要性:実施	価 平価 の必要性が高		ンが整備され、目標	を達成してい	い る。	%				%
3 事務 ① 必要 評価	成状況の評 事業の記 要性:実施 a 必要性	価 平価 の必要性が高 上が高い	い事業か							(%
3 事務 ① 必要 評価 判断	成状況の評 事業の記 要性:実施 a 必要性	価 平価 の必要性が高 上が高い	い事業か	ンが整備され、目標 ンが整備され、目標 最員の事務軽減が図り							%
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由	成状況の評 (事業の (事業の (事業の (事性:実施 (事性:実施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施 (事性:ま施	平価 の必要性が高 が高い 境を整備する	い事業かことで教服	戦員の事務軽減が図り							%
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性 I T環 本性:市が	価 P価 P価 P価 P値 P値 P値 P値 P	い事業か ことで教耶 すべき事	戦員の事務軽減が図り							%_
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由 ② 主体 評価	成状況の評 事業の記 要性:実施 a 必要性 IT環 本性:市が a 市が自	平価 の必要性が高 が高い 境を整備する 主体的に実施 E体的に実施す	い事業か ことで教取 ことで表取 すべき事	戦員の事務軽減が図り 業か							%
3 事務 ① 必要 評価 判断 理 主体 評価 判断	成状況の評 事業の記 要性:実施 a 必要性 IT環 本性:市が a 市が自	価 P価 P価 P価 P値 P値 P値 P値 P	い事業か ことで教取 ことで表取 すべき事	戦員の事務軽減が図り 業か							//o
3 事務 ① 必要 評価 判理由 ② 主体 評価 判理由	成状況の評 事業の記 要性:実施 a 必要性 IT環 体性:市がヨ a 市以外	平価 の必要性が高 が高い 境を整備する 主体的に実施 に実施する機	い事業か ことで教 すべき事う でき 関はない。	戦員の事務軽減が図ら 業か	れるため必	要な事業で					%
3 事務 ① 必要 評価 判理由 ② 主位 評価 判理由 ③ 有效	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性 IT環 本性:市が a 市が到 市以外	平価 の必要性が高い 原を整備する 主体的に実施 に実施する機	い事業か ことで教耶 すべき事事 でき 関はない。 成果が上	戦員の事務軽減が図り 業か	れるため必	要な事業で					%
3 事務 ① 必要 評価 判理 主体 評価 判理 有 3 評価	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必下環 本性:市が当 a 市以外 か性:期待し a 期待し	平価 の必要性が高 上が高い 寛を整備する 主体的に実施 に実施する機 したとおりの に通りの成果	い事業か ことで教耶 すべき事う べき 関はない。 成果が上れ	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事	れるため必	要な事業で	である。	ンの整備だ	を進めた		
3 事務 ① 必要 評価 判理由 ② 主位 評価 判理由 ③ 有效	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性 i 市以外 本性:市が当 a 市以外 か性:期待し a 期待し 平成21	平価 の必要性が高 が高い 寛を整備する 主体的に実施 に実施する機 したとおりの た通りの成果 年度学校情報	い事業か ことで教耶 すべき事 対はない。 成果が上 表がある 通信技術野	戦員の事務軽減が図ら 業か	れるため必 業の場合は!	要な事業で 見込) 、100台程	である。	ンの整備を	と進めた		
3 事 必 要 平	成状況の評 事業の記 を性: 必正 I T 電 を性: 市が当 本性: 市が引 か性: 期成発 の は、 期待 は、 期待 は、 期待 は、 の は、 期待 は、 の は、 の は、 の は、 の は、 の は、 の は、 の は、 の	平価の必要性が高いでは、 でが高いででは、 でを整備するで、 主体的に実施するで、 に実施する機にで、 に実施する機にで、 に実施する機にで、 に実施する機にで、 に実施する機にで、 に実施する機にで、 に実施する機にで、 にまいるで、 にまいるで、 にまいるで、 にまいるで、 にまいるで、 にないないるで、 にないないるで、 にないないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないるで、 にないないない。 にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	い事業か ことで教耶 すべき事う 一べき 関はない。 成果が上っ 最がある 様パンコン	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 ノの持ち込みが減少し	れるため必 業の場合は!	要な事業で 見込) 、100台程	である。	ンの整備を	を進めた		
3 事 終 ① 評 判理 主 任 判理 有 所 由 有 面 断 由 有 面 断 由 有 面 断 由 有 面 断 由 有 面 断 由 列 到 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可	成状況の評 事業の 事性:必下 は、下では、市が対 本性:市が対外 が性:期がは 事件に対する。 本性:ボールがは、期待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現待しい。 ないでは、現代には、現代には、現代には、現代には、現代には、現代には、現代には、現代に	平価 の必要性が高 に変を整備する 主体的に実施する を変えずに、 を変えずに、	い事業か ことで教耶 すべき 関はない。 成果が上 ² ² ³ ⁴ ⁶ ⁶ ⁷ ⁷ ⁸ ⁸ ⁸ ⁸ ⁸ ⁸ ⁸ ⁸ ⁸ ⁸	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 ノの持ち込みが減少し ずる方策はないか	れるため必 業の場合は!	要な事業で 見込) 、100台程	である。	ンの整備を	を進めた		
3 事務 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ③ 評判理 ④ 評価	成状況の評 事業 実 実 実 実 生 : 必 下 本 性 : 市 以 期 成 軽 : 別 が 当 本 性 : 期 成 軽 に 成 取 が 当 な 軽 に 成 正 な と は 適 正 な と は こ に な ま か ま か き は こ に な ま か ま で は こ に な ま か ま で は こ に な ま で は こ た ま で は こ た ま で は こ た ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な に な に な に な に な に な に な に な に な に	平価 の必要性が高 上が高い 境を整備する 主体的に実施 体的に実施する機 したとおりの た通りの成果 年度学校情報 化のほか、個 を変えずに、 な積算に基づく	い事業か ことで教耶 すべき 関はない。 成果が占 利に そ 関連人 経費であ	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 ノの持ち込みが減少し ずる方策はないか	************************************	要な事業で 見込) 、100台程	である。	ンの整備を	を進めた		
3 事務 ① 評判理 ② 評判理 全個 》 有個 》 有個 》 有個 》 有個 》 有個 》 類 ② 可用的 ② 可用的 ② 可用的 ③ 可用的 ③ 可用的 ③ 可用的 ③ 可用的 ③ 可用的 ③ 可用的 ③ 可用的 ④ 可用的 ⑥ 可用的的 ⑥ 可用的的的 ⑥ 可用的的 ⑥ 可用的的 ⑥ 可用的的 ⑥ 可用的的 ⑥ 可用的的的 ⑥ 可用的的 ⑥ 可用的 ⑥ 可用的的 ⑥ 可用的 ⑥	成状況の評 事業 実 実 実 実 生 : 必 下 本 性 : 市 以 期 成 軽 : 別 が 当 本 性 : 期 成 軽 に 成 取 が 当 な 軽 に 成 正 な と は 適 正 な と は こ に な ま か ま か き は こ に な ま か ま で は こ に な ま か ま で は こ に な ま で は こ た ま で は こ た ま で は こ た ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な ま で は こ に な に な に な に な に な に な に な に な に な に	平価 の必要性が高 上が高い 境を整備する 主体的に実施 体的に実施する機 したとおりの た通りの成果 年度学校情報 化のほか、個 を変えずに、 な積算に基づく	い事業か ことで教耶 すべき 関はない。 成果が占 利に そ 関連人 経費であ	戦員の事務軽減が図ら 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 との持ち込みが減少し ずる方策はないか る	************************************	要な事業で 見込) 、100台程	である。	ンの整備を	を進めた		
3 事必要 1 評判理 2 評判理 3 評判理 4 評判理	成状況の評 要性:必T 要性:必T 市が外 本性:市が外 は、期成軽成 のででは、現代を は、では、期の軽は、適一ス を性にある。	平価 の必要性が高 上が高い 境を整備する 主体的に実施 体的に実施する機 したとおりの た通りの成果 年度学校情報 化のほか、個 を変えずに、 な積算に基づく	い事業か ことで教耶 すべき 関は果かる 様がる 様がる 様がる 様とでである 経費が安く	戦員の事務軽減が図ら 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 との持ち込みが減少し ずる方策はないか る	************************************	要な事業で 見込) 、100台程	である。	ンの整備を	を進めた		
3 事必要 事必価 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理	成状況の評 要性:必丁 事業実際では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本	平価の必要性が高いでは、 でが高いでででである。 を整備する 主体的に実施するとは、 に実施する機に実施する機にまた。 とはののは果たまりのは、 を変えずに、 を積算に基づくます。 をするは、、	い事業か ことで教耶 すべき 関は果がる 様がある情が 経費が安く 経費が安く 事業か	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 との持ち込みが減少し ずる方策はないか る くなることが期待され	************************************	要な事業で 見込) 、100台程	である。	ンの整備を	を進めた		
3 事必要 事必価期理 事必価期理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評価 ● 日本 ⑤ 評価 ● 日本 ○ 計算 ● 日本 ○ 日本 ● 日本 ○ 日本 </td <td> 大大</td> <td>平価の必要性が高いでは、 でが高いででである。 を整備する 主体的に実施するとのに実施する。 に実施する機のでではないのは、 を変えているでは、できるではないでは、 を積算よりは、は、 に実施すべき。 にましなければ、</td> <td>い事業か ことで教耶 すべき 関は果が后が 展が信パー と 選が信パー と では と が と が と が と が と が と が と が と が と が と</td> <td>戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 との持ち込みが減少し ずる方策はないか る くなることが期待され</td> <td>業の場合は を活用して 、情報漏洩 る。</td> <td>要な事業で 見込) 、100台程 等のリスク</td> <td>である。 度のパソコ 7 が減った。</td> <td></td> <td></td> <td>結果、業</td> <td>160</td>	大大	平価の必要性が高いでは、 でが高いででである。 を整備する 主体的に実施するとのに実施する。 に実施する機のでではないのは、 を変えているでは、できるではないでは、 を積算よりは、は、 に実施すべき。 にましなければ、	い事業か ことで教耶 すべき 関は果が后が 展が信パー と 選が信パー と では と が と が と が と が と が と が と が と が と が と	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 との持ち込みが減少し ずる方策はないか る くなることが期待され	業の場合は を活用して 、情報漏洩 る。	要な事業で 見込) 、100台程 等のリスク	である。 度のパソコ 7 が減った。			結果、業	160
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判 例	The state of t	平価の必要性が高いでは、 でが高いででである。 を整備する 主体的に実施するとのに実施する。 に実施する機のでではないのは、 を変えているでは、できるではないでは、 を積算よりは、は、 に実施すべき。 にましなければ、	い事業か ことできない。 対べきない。 関成が信パ費費がよいなでは、 経費がかな報覧がな教職。	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 の持ち込みが減少し ずる方策はないか る くなることが期待され 員の業務を計量化を目	業の場合は を活用して 、情報漏洩 る。	要な事業で 見込) 、100台程 等のリスク	である。 度のパソコ 7 が減った。			結果、業	160
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥	大 本性 本性 本性 本性 本性 本性 市 一 一 一 一 一 一 一 一 一	呼価	い事業かことできますできない。 は、とできない。 は、とできない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、というない。 は、というないは、というないは、というないは、といないは、といないは、といいは、といない	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 の持ち込みが減少し ずる方策はないか る くなることが期待され 員の業務を計量化を目	************************************	要な事業で 記込) 、100台程 等のリスク	である。 度のパソコ 7 が減った。			結果、業	160
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥	成 事業 は a 市 は 期 成 軽 a リ に 至 城 ソ 及 実 要 は は a 市 は 期 成 軽 成 道 一	呼価	い事業かことできますできない。 は、とできない。 は、とできない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、とびきない。 は、というない。 は、というないは、というないは、というないは、といないは、といないは、といいは、といない	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 /の持ち込みが減少し ずる方策はないか る くなることが期待され 員の業務を計量化を目 となっている。	************************************	要な事業で 記込) 、100台程 等のリスク	である。 度のパソコ 7 が減った。			結果、業	160
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 ⑥ 言語	大 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	価	いません。 すべきない。 大では、果あ枝ソをでなく。 ながるでする。 ながら教課、業人 ながな、 ながるである。 ながない。 ながるでする。 ながない。 ながながない。 ながない。 ながない。 ながない。 ながない。 ながない。 ながながな。 ながない。 ながながながながながながながながながながながながながながながながながながなが	戦員の事務軽減が図り 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 /の持ち込みが減少し ずる方策はないか る くなることが期待され 員の業務を計量化を目 となっている。	************************************	要な事業で 見込) 、100台程 等のリスク 支援シスラ	である。 度のパソコ 7 が減った。			結果、業	160
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 ④ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 部份的 经证券的 经证券的 经证券的 医现代性 医电子性 医电子性 医电子性 医电子性 医电子性 医电子性 医电子性 医电子	大 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	価	いません。 すべきない。 大では、果あ枝ソをでなく。 ながるでする。 ながら教課、業人 ながな、 ながるである。 ながない。 ながるでする。 ながない。 ながながない。 ながない。 ながない。 ながない。 ながない。 ながない。 ながながな。 ながない。 ながながながながながながながながながながながながながながながながながながなが	業員の事務軽減が図ら 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 との持ち込みが減少し する方策はないか る くなることが期待され るの業務を計量化を同 となっている。 方向 (総合評価に	************************************	要な事業で 見込) 、100台程 等のリスク 支援シスラ	である。 度のパソコ 7 が減った。			結果、業	160
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 ⑥ 言語	大	価	い事業か 事業が とできない。 とできない。 は果あ信パ費費がかな報題の 配がる数課業A配配ののである。 配がる数課業A配配のである。 配がるがのである。 にながる数課業A配配のである。	業員の事務軽減が図ら 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 との持ち込みが減少し する方策はないか る くなることが期待され るの業務を計量化を同 となっている。 方向 (総合評価に	************************************	要な事業で 見込) 、100台程 等のリスク 支援シスラ	である。 度のパソコ 7 が減った。			結果、業	160
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 4 総 今 整必 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	大 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	価	い事業か ことできない。 されてきながるでは、とびきながるできない。 は、とびでは、果あ枝ソをでなり、なでは、果あ枝ソをでである。 ながるでは、とびでいるでは、というないでは、というないでは、というないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業員の事務軽減が図ら 業か がっているか(新規事 環境整備事業補助金等 の持ち込みが減少し する方策はないか る くなることが期待され ことが期待され されたパソコンを効っ されたパソコンを効っ されたパソコンを効っ	************************************	要な事業で 見込) 、100台程 等のリスク 支援シスラ	である。 度のパソコ かが減った。			結果、業	

1 事業	の概要	· 成果	目標									
	基本目標				つらつ学びのまち	。(教育	・文化)					
施策	基本施第		3 — 1 学校					担当課	教育委員会	教育総	务課	
区分	個別施領	〔項〕	3-1-2事	該務書	教育の充実							
	事務事	事業名	小学校教室	床	收修事業			事業	平成	23	1 /2	~
区分	1 新		2継 続		\rightarrow	新		期間	平成	24	年度	
目的					普通教室のカー							
及び					・懸念される状況 質系の床材に張春					えを終り	するので、	多目的
背景					貝ボの外的に放作	すん児生	が健康に	・阻思した	۷ ' ₀			
事業	多目的スペ H24 精動			٥٥Ш	=10,560,000円	H25	七油小学	☆ 704 m² \	<12,000円=8	2 449 000	ш	
内容					円=4,435,200円	H27			< 12,000円 = 3 < 12,000円 = 3			
	H28 関本			00円	=3,240,000円	H29			$n^2 \times 12,000 = 1$			
	数値 目標	J	項目		算定式		最終	目標	H22年度(まで		H23 (までの	
	設定	改修	· 済校数		小学校6校			m [*]		m		mž
成果	事業	9/10	70112232		7 7 1000		6, 0	075			3, 48	30
目標	数値	最終	終目標									
	目標 以外	H22年度((までの)実績									
	事業	H23年	 手度目標									
2 事業	実績	※採用算定式:	①H23実績値/H23目標値	② (H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までのE	目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)/	最終目標値 ④H:	23(までの)実績値/最	終目標値
7.71		H23事業						H23実施内			V-1 (mm. 795)	
		42, 39	Q	生	小、中妻小、華	, ,	と浄小 甲	1大笠二八	、並 海	 孙修		
		42, 39	千円	消華	小、甲安小、華	111/11/ ₂)	八年小、月	14年第一月	首地教室体	以修		
実	数値	цээ (·	までの) 宝緑	与活	H23 (までの)	日趰荷		3単年度達	成度	全体計画	画における	達成度
施	目標	П23 (,	までの)天型	刊旦	H23 (# (W))	日保旭	採用算	章定式	1	採用算	定式	4
状	設定		3, 480		3, 48	30 -		100			57	
況	事業		0, 100	m²	0, 10	m²		100	%			%
	数値 目標]	H23実績		H23目標		H23	3単年度達	成度	全体計画	画における:	達成度
	以外											
	事業								%			%
日種達	成状況の割	児 児	童の健康に酉]慮~	できた。							
日际连风	风小ルツ計	Г 1Щ										
	事業の語											
① 必要	要性:実施	の必要性	生が高い事業	か								
評価	a 必要性											
判断	児童の健	康に配慮	意したい。									
理由												
			こ実施すべき	事業	きか							
評価			実施すべき	-1 II								
判断	私立の学	校施設σ	フため、市が	改修	ぎする以外にない	0						
理由	d. Lil. Jan 21	.).).)	N M A A M M	, 1 ,	» — ; — ; /±	LD -L+ 3IIA	S LE A O F	1 > 7 \				
					ぶっているか(新	以事業 の	ソ場合は見	· 上达)				
評価			の成果がある Oアレルギー		おかできる							
判断 理由	プー、小	コッ寺の	<i>) , レル</i> キー	(K)	17世できる。							
	k / H · 出田	た亦らっ	ポレ 奴弗ナ	. 下ル	げる方策はないか	`						
			タ に、栓質を 基づく経費で			•						
評価			基つく栓質 より積算して									
判断 理由	コよじり	大順によ	トソ何界しく	v . Q	, o							
評価			ければなられ									
判断) 替えが最良		<u></u>							
理由	- 1 92/N/N	,, , ,, ,,, ,	H,CN KK	- u,	. 🕶 0							
	<u>.</u> :	下全径(の事務重型	\mathcal{O}	方向(総合評	価に対	するみ	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
総合評		<u>フラマ</u>	/ノザ/カザネ	<u>ξυ)</u> Α		ıш (<i>С Л</i>)	7 分以7	ゴバ 守り				
		児道	童の健康を考			りに実施	iしたい。					
今後の	方向性			un '	, , , , , , , , , , , , , ,	- · · / C//E	0					
<u>* _}</u>	欠評価 (企画的	策課記入	爛)								
☑現状					改善[縮小		統合				
		□ 廃」		=	<u> </u>	一不採						
					/ u + L		* `					

1 事業の概要・成果目標

<u> </u>		/2// H 1//							
施策	基本目标 基本施贷	新(節) 3 — 1 学·	いるはつらつ学びで 校教育等の充実		・文化)	担当課	教育委員会	学校教	育課
区分	個別施第	新(項) 3-1-2	義務教育の充実 導助手設置事業						
区分	事務 1 新		尊助手設置事業	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	続	事業 期間	平成	6	年度 ~
目的	- 10		語活動の充実のた		**	22411.4	】 2.名.小学校‡	日当2名カ	が配置されている。 し
及び	たがって,	小・中学校ともに計	画的に訪問できて	いる。平成2	3年度に全	面実施され	ιた小学校学習	图指導要領	頁では, 小学校5・6
背景	寄与してい	外国語活動が行われて いる。							
事業	中学校担	当が2名、小学校打	旦当が2名の4名	4体制で授業	を行うこ。	とによって	、中学校で	の週1時	時間(年間35時間
内容	すること	定期的な指導に当た により,充実を図る		>字校では,	5・6年2	王か週1月	宇間,年間3	5 時間档	産 皮指導時数を催保
	数値	項目	算定	式	最終				H23(までの)目標値
	目標 設定	外国語指導助手による年間 学習指導時間(1学級平	中:訪問回数×5h/1		中学校	時間 140	55. 1	時間 1	時間 55,00
成果	事業	均)※小学校は5・6年生の 1 学級平均	小:170回×5n/1日-	子椒剱	小学校	35	25. 7		35. 00
目標	数値 目標	最終目標							
	以外	H22年度(までの)実績							
0 車架	事業	H23目標							
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23までの実績値-H22ま	での実績値)/(H23までの		1標値) ③(H22まで 123実施内		最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値
		17 000	中学校2名,小	学校2名の関	配置である	ら。小・中	学校ともに	学校規模	に応じて訪問回数
		17,922 千円	を決定し勤務す	る。授業時	間と学校生	E活全般で	指導に当た	る。	
実	数值	H23(までの)実績	値 H23(まで	の)目標値		単年度達			画における達成度
施	目標 設定	中学校 37.27	THE THE COLUMN	55. 00	採用算	算定式 68	1)	採用算	章定式 <u>④</u> 27
状 況	事業	小学校 25.76	時間	35.00 時間		74	%		74 %
	数値 目標	H23実績		目標	H23	3単年度達		全体計画	画における達成度
	以外						0/		0/
-	事業	小・中学校と	した。 2名ずつ(の外国語指導	動手の訪	問回数を		広じて注	% 央定し勤務させ
目標達成	成状況の評		業時間での指導に						
	事業の記								
		近の必要性が高い事業	業か ニーニー						
評価	a 必要性 社会が要求	生が高い ドする「生きた英語に	慣れる」 また	外国語科の日	煙である「	コミューチ	アーション能-	カの其磁を	※ 養ら」ために - 萬語
判断 理由	に触れる根	幾会を計画的に設定し	なければならない						
		主体的に実施すべる	き事業か						
評価		主体的に実施すべき 導助手が計画的,気	マ期的に学校計則	目 投道の	効果なし	ギスた めに	r /t 古 / 学	校数去非	11 が主体的にあり
判断 理由		がある。小学校外国							
		したとおりの成果が		い(新規事業の	の場合は見	L込)			
評価		ンた通りの成果があ 年度から小学校にも		無活動だけ	でけかく	国際押備	2数音のため	ひ 小学材	が低学年から外国語
判断 理由		機会をもつことがで		3 HU 1U #// / C (/	(10/4	四水生剂	T9X H V/1CV/	101.7V	
④ 効率	- 	を変えずに、経費を	を下げる方策はた	よいか					
評価		と節減できる				Ha sterry 5			No. of the Nile
判断 理由		らの派遣受け入れる 図りたい。	と停止し,民間業	美者との契約	により経動	費削減をし	ンた。削減分	・+αによ	こり 事業のより一層
⑤ 緊急		に実施すべき事業が							
評価		実施しなければなら 2000円ではスパ		기전 개() 그 가 나는	4	k.,	+ * + *	Test 가는 u+ ㅠ	(,) N (H
判断 理由		名の配置であるが, て, 2名では対応で				ない。また	こ、 甲字校の	授美時委	びか週4時間に増え
		び今後の事務事		合評価に対	する改	善策等)			
総合評									ったちが数年後,選択肢
今後の		します。		能性を広げるた <i>8</i>	めにも欠かせ	ないものです	-。精査の上,包	本制の維持で	ではなく,拡充をお願い
※ 二次 現状		<u>(企画政策課記入</u> □ 拡充	·懶)			□ 統合			1
公		□ 旅元 □ 廃止	□ 完了	□ 不採					

1 事業の概要・成果目標

<u> </u>	V 100 5X	////N H //N								
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	策(節) 3-1学 乗(項) 3-1-2	校教 義務	教育の充実	・文化)	担当課	教育委員会	会 学校教 ⁵	育課	
区分	事務 1 新	事業名 特別支援	教育	支援員配置事業	続	事業 期間	平成	1 9	年度 ~	
目的 及び 背景	を配置す			5障害を有する児童・生 重・生徒の学校生活を支						
事業内容	面で特別が 別支援教育	な教育的支援を必要と	してい 政措i	全国実態調査では,小・中 いるものが約6%程度の割 置をした。それを受けて, うに対応すろ	合で存在す	る可能性が	ぶあるとみて	,各小・中	□学校に1名ず	つの特
	数值	項目	26	算定式	最終	目標	H22年度(まで	での)実績値	H23(までの)	目標値
成果	目標 設定 事業	員		1人×(小学校12校 学校5校)	1	7	9	人	12	人
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
2 事業	事業	H23目標								
<u>∠</u> 事果		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H:	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		^{標値)} ③(H22まで - 123実施内)/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目	標値
			平成	23年度当初は6名の間				の希望が	あり, また,	緊急
		14,775 千円	雇用	創出事業による財源の確						
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達 算定式	戎度 ①		画における達 算定式	成度 ④
状 況	事業	15	人	12 人		125	%		88	%
	数値目標	H23実績		H23目標	H25	3単年度達	成度	全体計画	画における達	成度
	以外 事業						%			%
目標達用	成状況の評		では	れに準ずる障害を有する児 十分とは言えない。(H2 ぅ			1 学級 6 %と			と,
	5事業の	評価		7 0						
		近の必要性が高い事 達	業か							
評価 判断	a 必要性 登達陪生		ドスリ	記童・生徒の出現率が <u>,</u>	全国でけ	1 学級 6	: %と言われ	h.ている	木市におい	てけ
理由				こより対応しているのが						(16,
② 主体	本性:市が	ご主体的に実施すべる	き事業	巻か						
評価		主体的に実施すべき).l. 7	五十 0 万亩 2 人 1 由兴林)	1 万子工1四	ナフしいさ	北株ナ 打ナ II		引声について	4 +m-
- 连田	村に委ねらる。	っれているが,障害のあ	る児童	平成19年度に全小中学校に ・生徒の状況に対応できて	いるとは言	い難い。そ	政策を打らり こで、市独自	日の事業とし	『計画について』 	であ
③ 有效 評価		fしたとおりの放果が した通りの成果があ		がっているか(新規事業の	り場合は兄	上心)				
判断理由	配置され	た学校・学級では,	落ち	っ着いた授業が実施でき きを継続することができ		章害による	5突発的な行	う動に特別	川支援教育支持	爰員が
		を変えずに、経費を								
評価		な積算に基づく経費		る 出等基金事業が終了す	スァレル	上的 人名	公子——如田杉	百/ァトスヨ	4.管世器が立	西でな
判断 理由	一 版 2 4 る。	一及ともりて新心症	E/11/H	山口 中 各 亚 宇 未 ル・ ド	20010	× 7 , 7 0	文(本 //J文於) 1/	W(C Y O)	开旧巨从"纪"	£ (W)
		に実施すべき事業な								
<u>評価</u> 判断 理由	教育のイ		^や イン	/クルージョンの理念を 枚育的支援を行うために				るなか,児	己童・生徒の 名	特別な
4 総合	評価及(方向(総合評価に対						
総合評	価→	日期虚容ショニ	A	り対象児童が発見され、継続	a的 43 也详。	が行われて	キアいス ナ	た一株町士	控学処が描述と	カブい
	方向性	るがすべての対象	象児が	:リ対家児里が発見され、継ば :入級しているわけではない。 			-			40 ()
※ 二		(<u>企画政策課記入</u> ☑ 拡充		改善		□ 統合				
一休止		□ 廃止	=	完了						

1	事業の概要	成果	目	樰

_ 1 尹未	ツ阪安								
	基本目標	票(章) 3文化がる	悸るはつらつ	学びのまち(教育	・文化)				
施策	基本施第		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			担当課	教育委員会	: 学校教:	
区分		た (型) : 0 1 0 ド (別) : 0 1 T	校教育等の	し ス と 古		1= -1 HVK	秋 月女只五	丁以扒	H HV
	個別施第		義務教育の						
	事務事	•	学習補助事業			事業	平成	1 2	年度 ~
区分	1 新	規 2継 続		→ 継	続	期間			
目的	市の施設で	であるマウントあかね	を利用して,	宿泊を伴う共同生	活学習を実	施すること	により、郷	土北茨城で	で自然体験をしたり、
及び	人と人との	り結びつきを深めたり	することがで	きる。平成11年	度までは茜	平青少年の)家を利用し	ていたが,	老朽化に伴い、マウ
背景	ントあかれ	aを利用するようにな	ったが,一般	成人向けの施設で	あり, 学習	の場として	の教育的環境	竟の整備が	5望まれていた。
月京									
								養者負担で	で全12小学校が利
事業	用できる	ように差額を補助し	_ン てきた。平	成24年度は,	施設利用料	斗全額を補	動する。		
内容									
	业/- /-±-	-# H	Á	*	F 44	→ Last		_ \ \	7700 (-1) > T- T- -
	数值	項目	9	章定式	最終		H22年度 (まで		H23(までの)目標値
	目標	各年度マウントあ	マウントあ	かね利用校/		%		%	%
H 45	設定	かね利用率	宿泊学習実		10	00	82		100
成果	事業	·	11117 1174						
目標	数值	最終目標							
	目標	H22年度(までの)実績							
	以外	H23目標							
	事業	□23日保							
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値	₫-H22までの実績値)/(H23までの			の実績値+H23実績値)/	最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値
]	H23事業費			I	H23実施内	容		<u> </u>
		0.40	1 1 14 18 71	田 /阿尔尔米 ~ -	#111.1 24.14	ナ 17人 ノヽ			
		848 千円	11役か利	用(隔年実施の	華川小字 校	で除く)			
	N/. I-I-	111			поэ	単年度達	北市	今 /★針i	画における達成度
実	数值	H23(までの)実績	f値 H23(までの)目標値					
施	目標				採用第	定式	(1)	採用第	章定式 ④
状	設定	100		100		100			100
況	事業	100	%	100 %		100	%		%
	数值	H23実績		H23目標	П 23	単年度達	战座	今休 計i	画における達成度
	目標	1120天順		112.5 日 1示	1120	4年代足	队反	土件印	当における足別反
	以外								
	事業						%		%
				12小学校が,維	継続的にマ	ウントあ	かねを利用	して宿泊	を伴う共同生活学
目標達用	成状況の評	『価 習を実施する』	>						
0 +3/	· 士 米 ふ =	ST /TT							
	事業の記		***						
		iの必要性が高い事	業か						
評価	a 必要性	生が高い							
判断	郷土教育	の充実は、北茨城市	方学校教育σ	努力事項の1つ	でもある。	体験活動	かを行いなが	ら郷土物	愛を育むことができ
理由	る宿泊を	伴う共同生活学習の	つ実施は欠か	せないものであ	る。				
	と外・古が	主体的に実施すべ	を事業が						
		E体的に実施すべき							
1.31001	市の活性	化,郷土教育を進ぬ	りるうえでは	、 市が主体的に	実施すべき	きである。			
理由									
③ 有交	か性:期待	したとおりの成果	が上がってレ	いるか(新規事業の	の場合は見	込)			
評価		た通りの成果があ							
				湯に上り 定治	を伴ら #15	11 上 汗 学 3	図の担レーマ	「マウい」	ト あかねは利用価値
判断 理由		ると思われる。	マロック只15円	シッスパームソ, 旧日	ヒアノガル	っ上は十月	ョック加し しし	・・ソイト	はノル・44/4千川円 Ш.旭
			· , » · · ·	···					
		を変えずに、経費		はないか					
評価		な積算に基づく経費							
判断	経費を節	減することは、保証	養者負担増加]につながる。ま	ずは、利用	目しやすい	、環境を整え	ることが	ぶ先決であり,利用
理由	価値が高	まれば、負担増にく	ついて検討す	ることもありう	る。			= .,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		に実施すべき事業							
評価		実施しなければなら							
判断							日を伴う共同]生活学習	引は必要である。学
理由	習プログ	ラム及び指導の充領	€と保護者の	負担軽減により	利用可能と	となる。			
4 総合	評価及7	び今後の事務事	業の方向	(総合評価にま	十十乙改宝	を第筌)			
総合評		<u> </u>	A	<u> </u>	, , , ,,,,,	コンドっす!			
心口口口	щ —	古の歩乳の左		<u> </u> -の数りお蚊よる	ラベルか	++ <i>t</i> al.ヽ車・	坐でなる ↓	生本の し	,予算計上願いま
今後の	方向性		が旧用と郷こ	しい誇りを増りり	えて欠か	ヒない争	未じめる。村	胃重ツエ	, ゾ昇矸上願いま
		す。							
<u>₩</u> _}	欠評価 ((企画政策課記入	.欄)						
☑ 現状		拡充	改善 改善	□縮小		統合			
		廃止	□ 完了	□不採					
					**				

1 事業の概要・成果目標

<u> </u>		,						1			
	基本目標			っつ学びのまた	う(教育	・文化)					
施策	基本施第	兼(節) 3-1学	校教育等	の充実			担当課	教育委員会	学校教	育課	
区分	個別施第	策(項) 3-1-2:	義務教育	の充実							
	事務事	事業名 稚魚飼育	放流体験	事業			事業	平成	22	年度 ~	~
区分	1 新	規 2継 続		\rightarrow	継	続	期間	平成	23	年度	
目的	豊かな自	然に恵まれた本市の)児童達	が、直接身近	な生物	に触れ育っ	てる体験を		然への関		環境を
及び		る心や生命を大切に						,			,,,,,,,
背景											
	2級河川	が流れる環境の中で	"生活!"	ている市内の)小学生	が淡水有	i (ヤマ)	メ) の稚角を	·飼育)	お流休騒を	>涌]
事業		科学や環境保全、生				W / DC/11/V	(1 /) 42 IEW G	Y-11-10	77711177700	0
内容	, n, m,	11 1 (20,00000	L F 12 / C	74 C - 14 C C 1	•5 6						
-	*** /=:	7F 17		<i>></i>	1	E 44	T-115	woote to the	\	voo (ch. = n)	
	数値 目標	項目		算定式		最終				H23 (までの)	
	設定	体験事業体験率	宝施校类	女/全小学校数	数×100		%		%		%
成果	事業	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	NE IN S	X/ ±/1 1 1X 9	X/\100	10	0	17		34	
目標	数値	最終目標						•			
	目標	H22年度(までの)実績									
	以外										
o + 11/	事業	H23年度目標									
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの)実績値-H22までの実績値	直)/(H23までの				最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終	目標値
		H23事業費				ŀ	I23実施内	7谷			
		600	小学校 2	2校でヤマメ	の飼育・	放流体験?	舌動を実力	施した。			
		千円	, , , , ,		23113						
実	数值	H23 (までの) 実		3 (すでの)	日煙値		単年度達	成度		画における遺	達成度
実施	目標	1120 (\$ (0)) \$	順 匝 112	0 (\$ (*))	日际吧	採用算	i定式	1	採用算	算定式	4
状	設定	34			34		100			34	
況	事業	01	%		%		100	%		01	%
	数値	H23実績		H23目標		H23	単年度達	成度	全体計i	画における遺	幸成度
	目標										
	以外 事業							%			%
	ず木	計画のとおり	正成 2 3	年度にり校	男卦 /	校宝施」、	t-	70			70
目標達用	成状況の評	呼価 一回のとねり	T 10%, 22 - 3	干及(C 2 仅、	水口す	(大元旭)	- o				
	事業の記										
L		[の必要性が高い事]	美か								
評価	a 必要性										
判断		目標や本市学校教育	育目標努力	力事項に謳れ	かれてい	る「郷土愛	を」を育む	いために、実	施の必要	E性が高い事	事業であ
理由	る。										
② 主体	体性:市が	主体的に実施すべる	き事業か								
評価	a 市が言	主体的に実施すべき									
判断	環境教育	・郷土教育を進める	ろうえでに	は、実施すべ	べきであ	る。					
理由											
③ 有效	動性:期待	よしたとおりの成果だ	が上がっ	ているか(新	規事業の	り場合は見	込)				
評価	a 期待し	た通りの成果があ	る								
判断	生き物を	育て、放流するとい	ヽう体験に	は、生命尊重	はもち	ろんのこと	:、教育:	郷土愛につ	ながると	さ考える。こ	これまで
理由		事においては、充実									•
(4) 効率		と変えずに、経費を	を下げる	方策はないか) 7						
評価		が減を検討する余地		23 2101001001111							
判断		事業ではあるが、具		計言次筆で け	経費節	減が見込す	= れる				
理由		+ /K (100) 0 // ()	1112/00	27 11 10 27 10	NIL A MI	/// / / / 0	1,000				
	┃ 5 ルト ・ 馭 셛	に実施すべき事業ス	h.								
-		以内に実施する必要									
評価		がに美施りる必要 孵化・飼育の技術が		なるために	小学坛	での事業は	1体が口#	雑た西 ト ケい	スポー	9. 从到学、世	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1
判断 理由		野化・助育の技術が の尊重等には十分な							·るか、E	コ巛付子・牙	农児体
		び今後の事務事刻		可(総合評	世に対	する改善	5束等)				
総合評	価 →	y come or	C) N 1 Hell 2	7 7	가지 나나 나 그 -	m alic acces	D() -2/17	b.π*. >ο →	1	++4t- · ·
今後の	方向性	ヤマメの孵化	・飼育等	か困難である	らため、	字校教育	の甲では	、別な教材を	ヒ取り入	れて目的を領	美施し しょうしょう しょうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしん しょうしん しゅうしゅう しゅうしゃ しゅん しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゃ し
		ていきたい。									
<u>* _}</u>	欠評価 ((企画政策課記入	.欄)								
□ 現状		□ 拡充	□ 改善		縮小		□ 統合			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
□ 休止		□ 廃止	□ 完丁	<u> </u>	✓ 不採	択					
1											

_1 事業	医の概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 3文化カ	i香る に	はつらつ学びのまち(教育	・文化)					
施策	基本施領	ઈ (節) 3-2/	生涯学	習社会の構築	••••••	担当課	教育委員会	: 生涯学	習課	
区分	個別施第			学習の振興		3	211,271	,,	H #14	
		甘光夕 ション	エエルニ	プロシ 瓜光 ど ガ 和 。 の 按 宝 行 禾 呂 △	、油田市宏	中米	平成	23	年度	~
ΗΛ	事務事	<u> </u>		ぶ平和への旅実行委員会		事業期間	平成	23	十段	\sim
区分	1新	77			規	7,741.4		. 1 10 11	\ \ 	
目的				1、戦争・原爆体験者か						
及び	相の大切	さを字い、豊かな	こ 人間性	生を培い、将来の人間形	が放り種と	よるよりん	41体験をし	. 6690	- とを目げ	りとする。
背景										
-1-5116	ヒロシマ	で学ぶ平和への旅	は、日	「お事業主体とし、小学	生80(対	₿\$ 5.6年	F生)名 団	長1名	引率者1	1名で、
事業	広島.愛媛	爰. 香川の3県を訪	られそれ	ιぞれ体験学習をする。						
内容										
	数値	項目		算定式	是紋	目標	H22年度(まて	の) 宝績値	H93(まで	の)日煙値
	目標		+	并 促入	月又 小ミ	人	1122-12 (3.0	人	1120(2)	V / 日 / 示 ii
	設定	新規参加者数				, ,		八		^
成果	事業	(年あたり)			8	30			1	30
目標	数值	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実	績							
	以外		150							
o + 11/	事業	H23目標								
2 事業	実績		目標値 ②(H	123までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値	/最終目標値
	I	H23事業費			I	H23実施内	內容			
		3, 842		5・6年生の80名が参加					島で「先	人の
		5,042 千月	円心」	、香川で「郷土料理」	を学び、2	泊3日の集	団生活を体	験した。		
*	数値	1100 (1b or n) dr	√± / ± •	1100(小一つ)日居仕	H23	単年度達	成度	全体計	画における	る達成度
実施	目標	H23(までの)実	領個	H23(までの)目標値	採用領	章定式	<u>(1)</u>	採用第	章定式	(4)
状	設定									
況	事業	8	30 人	80 人		100	%		100	%
_	数值	1100安建		1100 日 1冊	110	0 出 左 库 法		<u> </u>	型によれる	
	目標	H23実績		H23目標	HZ.	3単年度達		王 件 計	画における	3 建队及
	以外									
	事業						%			%
							70			
口摇法	1111年の一代411年			島を訪れ、戦争・原爆体駅		と聞き、遺品	品を見ること	により、単	战争の恐ろ	
目標達成	成状況の評			- 島を訪れ、戦争・原爆体駅 ことが、参加者の感想文が		≥聞き、遺品	品を見ること	により、単	战争の恐ろ	
		7価 和の大切さを				と聞き、遺品	品を見ること	により、単	战争の恐ろ	
3 事務	事業の記	平価 和の大切さを 平価	学んだ			2聞き、遺品	品を見ること	により、単	战争の恐ろ	
3 事務 ① 必要	等業の記 要性:実施	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事	学んだ			⋛聞き、遺占	品を見ること	により、単	戦争の恐ろ	
3 事務 ① 必要 評価	事業の記 要性:実施 a 必要性	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 まが高い	学んだ 事業 か	ことが、参加者の感想文が	いら伺えた。					しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判断	事業の記 要性:実施 a 必要性	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 まが高い	学んだ 事業 か		いら伺えた。					しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由	事業の記 要性:実施 a 必要性 今後も小	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 まが高い 学生の平和への意	学んだ 事業か 意識付に	ことが、参加者の感想文が	いら伺えた。					しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	事業の記 要性:実施 a 必要性 今後も小 本性:市が	平価 平価 の必要性が高い事 まが高い 学生の平和への意 主体的に実施すっ	学んだ 事業か (識付) でき事	ことが、参加者の感想文が	いら伺えた。					しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由	手業の記 要性:実施 a 必要性 今後も小 本性:市が a 市が自	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 まが高い 学生の平和への意 主体的に実施すっ を	学んだ 事業か 意識付 <i>i</i> *き事	ことが、参加者の感想文が	いら伺えた。					しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	手業の記 要性:実施 a 必要性 今後も小 本性:市が a 市が自	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 まが高い 学生の平和への意 主体的に実施すっ を	学んだ 事業か 意識付 <i>i</i> *き事	ことが、参加者の感想文が	いら伺えた。					しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	手業の記 要性:実施 a 必要性 今後も小 本性:市が a 市が自	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 まが高い 学生の平和への意 主体的に実施すっ を	学んだ 事業か 意識付 <i>i</i> き事	ことが、参加者の感想文が	いら伺えた。					しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判断 理 主体 評価 判期由	等業の記 要性:実施 a 必要性 今後も小 本性:市が a 市がヨ 平和学習	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 きが高い 学生の平和への意 主体的に実施すっ と集団生活体験の	学んだ 事業か (識付) *さ き うため ()	ことが、参加者の感想文が	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判理由 ② 主体 評価 判理由	等業の記 要性:実施 a 必要性 今後も小 本性:市が a 市が当 平和学習 か性:期待	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 きが高い 学生の平和への意 主体的に実施すっ と集団生活体験の	学んだ 事業か 意識付い さき うため写	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判理由 ② 評価 判理由 ③ 評価	事業の記 要性:実施 a 必も小 今後も小 本性:市が当 平和学習 か性:期待 a 期待	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 きが高い 学生の平和への意 主体的に実施すべ と集団生活体験の	学んだ 事業か (識付 / さき事) ささかため () よが上れ ある	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事務 ① 必要 評価 判理由 ② 主作 評価 判理由 ③ 有效	事業の記 要性:実施 a 必も小 今後も小 本性:市が当 平和学習 か性:期待 a 期待	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 きが高い 学生の平和への意 主体的に実施すべ と集団生活体験の したとおりの成果が した過りの成果が	学んだ 事業か (識付 / さき事) ささかため () よが上れ ある	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事務 ① 評例理 主体 ② 評判理 有 ③ 評判理 用 有 到理 用 有	事業の記 要性:実施 a 必も小 本性:市が当 平和学習 動性:期待し 参加者の	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事性が高い 学生の平和への意味を 主体的に実施すべき を集団生活体験の と集団生活体験の成果が、 したとおりの成果が、 感想文を読むと成	学んだ 事業か (議) (さき事) ため (まため () まため	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事務 ① 評判理 ② 評判理 主任 判理 有価断由 有価断由 有価断由 効料	事業の記 要性:実施 本性:実施 会後も小 本性:市が3 平和・野性:期待し 参加者の を性:成果	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 主が高い 学生の平和への意 主体的に実施すべ と集団生活体験の したとおりの成果が したとおりの成果が 感想文を読むと成 を変えずに、経費	学んだ 事業か 、 き き き き た め り た が る な え 果 が る え り た り え り た り よ り よ え り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事必要 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評	事業の記 要性:実施 本性: 東極 本性: 市が当 平和・一部 本性: 期待し 参加者の を性: 適正が	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 きが高い 学生の平和への意 主体的に実施すべき と集団生活体験の したとおりの成果が したとおりの成果が 感想文を読むと成 を変えずに、経費 は積算に基づく経	学んだ 事業か 、 き き き き た め り た が る な え 果 が る え り た り え り た り よ り よ え り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事 必 9 1 1 2 2 評 判 理 2 2 評 判 理 1 2 2 2 2 2 3 2 3 2 3 2 4 3 4 4 4 2 2 2 2	事業の記 要性:実施 本性: 東極 本性: 市が当 平和・一部 本性: 期待し 参加者の を性: 適正が	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事 主が高い 学生の平和への意 主体的に実施すべ と集団生活体験の したとおりの成果が したとおりの成果が 感想文を読むと成 を変えずに、経費	学んだ 事業か 、 き き き き た め り た が る な え 果 が る え り た り え り た り よ り よ え り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事務 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理	事業の記 要性:実施 自 必も 一 会後	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事性が高い 学生の平和への意 主体的に実施すべき と集団生活体験の したとおりの成果が、 である。 を変えずに、経費 正である。	学んだ 事業 (ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事必要 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ § ⑤	事業の記録を 事業の記録を 本性: 必も 本性: 市が当習 本性: 市が当習 本性: 崩積しの 本性: 適は るととしている。 本性: がは、 本性: 適は を性: 適は を性: 繁急	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事性が高い 学生の平和への意味を体的に実施すべき集団生活体験の と集団生活体験の したとおりの成果が、 感想文を読むと成 を変えずに、経費に基づく経 正である。 に実施すべき事業	学んだ事業 さきかり とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうない	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事必要 事必 1 事必 2 評判理 3 評判理 4 評判理 4 評別 4 事 5 評 5 評 5 評 5 評 5 評 5 評 5 評 5 評 5 計 5 計 5 計 5 計 5 計 5 計 5 計 5 計 5 1 5 2 5 2 5 3 7 4 5 5 7 6 7 7 7 8 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7	事業 () () () () () () () () () (平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事性が高い 学生の平和への意味を体的に実施すべき集団生活体験の と集団生活体験の と集団文を読むと成 で変えずに、経動では、となるでは、経動では、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	学んだ 事業 識付に ききかん いるな とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうな	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事必	事業 () () () () () () () () () (平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事性が高い 学生の平和への意味を体的に実施すべき集団生活体験の と集団生活体験の したとおりの成果が、 感想文を読むと成 を変えずに、経費に基づく経 正である。 に実施すべき事業	学んだ 事業 識付に ききかん いるな とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうな	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	、将来の	人間形成ℓ				しさ、平
3 事必価期理②評判理③評判理④評判理④評判理④評判理④評判理④評判理④证断由繁価断由繁価断由繁価断由繁価が出	事業 (ままま) では、 ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事業が高い 学生の平和への意主体的に実施すべき と集団生活体験の は、と集団文を読むとが、経動文をでは、経動である。 に実施すべきである。 に実施すべきである。	学がは、されているが、であり、という。	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	nら伺えた。 、将来の の場合は 見	人間形成の				しさ、平
3 事必価期理②評判理③評判理④評判理④評判理④評判理④評判理④評判理④证断由繁価断由繁価断由繁価断由繁価が出	事業 (ままま) では、 ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事業が高い 学生の平和への意主体的に実施すべき と集団生活体験の は、と集団文を読むとが、経動文をでは、経動である。 に実施すべきである。 に実施すべきである。	学がは、されているが、であり、という。	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	nら伺えた。 、将来の の場合は 見	人間形成の				しさ、平
3 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理	事業 実施 を は 本性 a 平 が は a が ま 要性 : 必も 市が が 習 が は a が は a が は a が は a が な は 。	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事業が高い 学生の平和への意主体的に実施すべき と集団生活体験の は、と集団文を読むとが、経動文をでは、経動である。 に実施すべきである。 に実施すべきである。	学がは、されているが、であり、という。	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	nら伺えた。 、将来の の場合は 見	人間形成の				しさ、平
3 事必価期理②評判理③評判理④評判理④評判理④評判理④評判理④部判理⑥評判理 6 評判理 6 合評	事業: 必も 事性 a 後 生 a 後 ・ 市 中 生 期 者 ・ 成 は ま で は a か は a で で で が す で が す で が す で は a で で で で で す で で で で で で で で で で で で で	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事性が高い学生の平和への意味が高い学生のに実施すべきと集団生活体験のは実施すべきである。 一を変えずに、経動では、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるである。	学んだ 事業 識付 に きかとがる がるが をであ をであ A	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か 実施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	い、将来のかの場合は見	人間形成の				しさ、平
3 ① 評判理② 評判理② 評判理④ 評判理④ 評判理④ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 言言 化断由 総	事業: 必も 事性 a 後 生 a 後 ・ 市 中 生 期 者 ・ 成 は ま で は a か は a で で で が す で が す で が す で は a で で で で で す で で で で で で で で で で で で で	平価 和の大切さを 平価 の必要性が高い事性が高い学生の平和への意味が高い学生のに実施すべきと集団生活体験のは実施すべきである。 一を変えずに、経動では、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるでは、となるである。	学んだ 事業 識付 に きかとがる がるが をであ をであ A	ことが、参加者の感想文が	い、将来のかの場合は見	人間形成の				しさ、平
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 4 総 今 整必 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業: 必も 事業: 必も 市が計習 本性 a 和 : 適は 本性 a 和 : 適は など : 市が計習 は a 費 : 至し 及 ⇒ は。 は 無差に	平価 和の大切さを 平価 であるいまはが高い 学生の中のでは、 主が高いでは、 主体的に実施すべきと集団生活体験のでは、 と集団生活がののでは、 となりのででは、 である。 に変しなが、 を変えによっては、 を変えによっては、 を変えによっていました。 を変えによっていました。 に変われていまが、 を変えによっていました。 を変えによっていまが、 を変えによっていますが、 を変えによっていまが、 を変えにないまが、 を変えにないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	学んだ 事 議 議 は き き た がる がる が を で か な の の の の の の の の の の の の の	ことが、参加者の感想文が	い、将来のかの場合は見	人間形成の				しさ、平
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理 ⑤ 評判理 4 総 今 ※ 4 会	事業: 必も 市が計習 特もの 果で	平価 和の大切さを 平価 である。 主体的に実施すべきと集団文を表情である。 を積算である。 に実施すべる。 を変えに基づく経済である。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に実施すべる。 に変えにある。 に変えにある。 に変しまがいる。 に変しまが、 に変しなが、 にななが、 になななななが、 になななななななななななななななななななななななななななな	学んだ 事 議 議 は き き た がる がる が を で か な の の の の の の の の の の の の の	ことが、参加者の感想文が すと豊かな人間性を培い 業か を施すべきである。 がっているか(新規事業 あると思われる。 ずる方策はないか る	xら伺えた。 、 将来の。 の場合は見 すする。	人間形成 <i>0</i> 是込)	つ糧とするが			しさ、平
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 4 総 今 整必 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業: 必も 市が当習 特もの 果 t a を は m は 価 は 価 は 価 は 価 は 価 は 価 は 価 は 価 は 価	平価 和の大切さを 平価 であるいまはが高い 学生の中のでは、 主が高いでは、 主体的に実施すべきと集団生活体験のでは、 と集団生活がののでは、 となりのででは、 である。 に変しなが、 を変えによっては、 を変えによっては、 を変えによっていました。 を変えによっていました。 に変われていまが、 を変えによっていました。 を変えによっていまが、 を変えによっていますが、 を変えによっていまが、 を変えにないまが、 を変えにないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	学んだ 事 議 議 は き き た がる がる が を で か な の の の の の の の の の の の の の	ことが、参加者の感想文が	xら伺えた。	人間形成の	つ糧とするが			しさ、平

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

<u> </u>	<u> (の </u>	・成果目標							
施策 区分	基本目標 基本施第 個別施第	き(節) 3-2生 き(項) 3-2-1	るはつらつ学びのまり 理学習社会の構築 生涯学習の振興	ら(教育・文化)	担当課	教育委員会	生涯学	習課	
E /\	事務事	•	中学校跡地利用	ለስ! ሌተ :	事業 期間	平成	20	年度 ~	
区分	1新		→ → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	継続	. ,	マントム 士	· H J. 25 A	トナや色にした「	Г曲
目的 及び 背景	業体験学	習」の場や、高齢者	fが昔の学校生活を 惇	いしむ「水沼お	もいで学	交」の教室と	しての利	刊用する。	
事業 内容		民館水沼分館の利用 、高齢者に昔を懐か	促進を図るため、そ 	この自然環境を利	用し、農業	Ě体験の乏し	い小学生	 に農業体験をさ	せ
	数値	項目	算定式	最終	8目標	H22年度(まて	ごの) 実績	H23 (までの) 目標	票値
成果	目標 設定 事業	農業体験学習・水沼 おもいで学校参加者 数 (年)	平成21年度参加者数 ×110%		人 85	189	人	175	人
目標	数値 目標	最終目標							
	以外	H22年度までの実績							
	事業	H23年度目標							
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	直 ②(H23までの実績値-H22までの実績			での実績値+H23実績値)/i	最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値	—
	I	H23事業費			H23実施内	1谷			
		74 千円	農業体験学習、水沼	おもいで学校					
実施	数値 目標	H23実績値	H23目標(百	3単年度達 算定式	成度 ①		画における達成原 算定式 ④	
状 況	設定 事業	165	人 1	.75 人	94	%		89	%
	数値 目標	H23実績	H23目標	H2	3単年度達		全体計	画における達成原	
	以外								
	事業	曲光仕転える	リンドウンドサング	イフ善ととにこと	→ 14V → X	%) -= 1	۸ ۵.	%
目標達成	成状況の評	 	して児童に作物を育る	(る 等さ を 伝え パ	-。	に音を懐かし	ンん C も	りつた。	
3 事務	事業の記								
		の必要性が高い事績	美 カュ						
評価	a 必要性								
判断 理由			ざもたちに、野菜づく がいづくりに寄与し		業の体験や	や食物のあり	がたさる	を認識させること	: が
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべる	き事業か						
評価			NPO・住民団体等) が主体的に行う	うべき				
判断 理由	農業体験	は、各学校でも実施	亘されている。						
③ 有效	动性:期待	したとおりの成果だ	ぶ上がっているか(新	規事業の場合は	見込)				
評価		た通りの成果があ							
判断 理由	貴重な体	験で事業価値がある	00						
	<u>-</u> 	を変えずに、経費る	を下げる方策はないた),7					\dashv
評価		は積算に基づく経費							$\overline{}$
判断 理由	必要最小	限の費用である。							
		に実施すべき事業な ほ施しなければなら							
評価 判断			~~~ 二継続的に実施する必	必要がある。					
理由 4 総合	 評価及7	「「今後の事経事	美の方向(総合評	価に対する改	善策等)				
総合評			A						
今後の	方向性	事業の見直し	を図っていきたい。						
<u> </u>		企画政策課記入							
現状		□ 拡充 □ 廃止	□ 改善□ 完了	縮小 不採択	□ 統合				
事業は継	<u></u> 続するが、	経常経費扱いとす	<u></u>						

1 事業	の概要	・成果	具目標									
	基本目標				はつらつ学びのまち(教育	・文化)						
施策	基本施第	もんりょう もんりょう もんしょう もんしょう もんしょう もんしょう もんしょう もんしょう もんしょう かいしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	3-2生	涯学	習社会の構築		担当課	図書館				
区分	個別施領	€(項)	3-2-1	生涯	学習の振興							
	事務事		インター	ネッ	ト予約システム事業		事業	平成	2 3	年度	\sim	
区分	1 新		2継 続			規	期間	. , , , ,		,		
目的	利用者が	自宅の		ノトカ	いら、貸出中の本に予約		れるように	こなるシスラ	テム。来館	官、またり	は電話で	での
及び					で職員に予約申し込みを							
背景	利用者の	利便性	が向上する。	近隊	#図書館ではすでに稼働	しており、	、利用者な	いらの要望だ	ぶ高かった	÷		
	現在図書	館シス	テムを委託]	てし	いる茨城計算センターに	業務委託	をし、業績	客を行う。多	を託内容!	t①シス [・]	テム使用	∄ .
事業			機器保守。		0////Apr 54 0 V	/C1/1 X HL		J C 11 7 8 9	K H G I 3 H I	S. C. V	/ - 1/2/	13 (
内容	0 174777		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
	数値	ı	項目		 算定式	具效	·目標	H22年度(まて	の)宝繕値	1100 (+ 7	での) 日 t	価估
	目標	全体の	予約数にイン			取心	%	1122千及(よく	ツ/ 天順胆	1123(3)	、777 日 1	宗胆 %
	設定	ターネ	ット予約の占	イン	ターネット予約冊数÷ の予約冊数×100	_	·				0	70
成果	事業	δ	める割合	至仲	の予約冊数×100	Ö	50				8	
目標	数值	揖	是終目標									
	目標	H22年月	度(までの) 実績									
	以外 事業	ŀ	H23目標									
9	実績			64 @ A	on house as etaleis like troop house as etaleis like //troop house as	m law late arrow house on a	TIME (A) (D) (Mana bar	er en etaleta late i voca etaleta late)		roo (b a) etakta	+ / B / 4 B # / 4	
	*/ *:1// 1	※採用算定 H23事		1E (2)(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		H23実施内		/ 厳終日標値 ④	123(までの)美積1	B/厳終日標値	
	,	120 +	不 只									
		6	597 千円	H22	2年3月補正で「住民に光	をそそぐ	交付金」	を充当。H2	23年度に	繰越実施	0	
	¥/. / - -	l	ΙĦ			поз	単年度達	北	全体 計	画におけ	る法は	庄
実 施	数値 目標	H23	(までの)実績	値	H23(までの)目標値					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
施	設定					休用身	章定式	(1)	休用。	算定式	(4))
状 況	事業	5.6		%	8 %		70	%		1	1	%
1/1	数値			/0	·		- >>		A 41			
	目標		H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成	度
	以外											
	事業							%				%
日禅泽	成状況の割	疝										
日保建	风小化り計	-1)Щ										
3 事務	事業の記	平価										
① 必要	要性:実施	の必要	極が高い事業	美か								
評価	a 必要性	生が高い	,)									-
判断	インター	ネット	が普及してレ	いるも	見在、図書館として必要	不可欠な	システムで	である。				-
理由												
② 主体	▲ 	主体的	に実施すべる	き事き	業 か							
評価			こ実施すべき									
判断			ことから。									
理由		, .										
	ト 計性・期待	したレ	おりの成果が	55 上7	がっているか(新規事業の	の場合けり	見込)					
評価			りの成果があ			· /// ப 15-7	/					-
判断					っていることから。							\dashv
理由		. / 1	- 1 V FW -		0 = 0 % 9 0							
	L 		・ ずに	を下し	 げる方策はないか							
評価			全計する余地									\dashv
判断					現在は茨城計算センタ	ーに季託	しなけれた	ぎからかい	契約 期	引(H96	7月 丰 -	で)
			社との比較権			1-×11	J - 5 1 / 4 U l	~ · ~ · ~ · · · · · · · · · · · · · · ·	ンヘルコフタル	., (1120.	./1 &	-/
*± FH			重すべき事業/		-							-
評価			ug へさ 要素/ なければなら									
			動し、今後も		お心更							
判断 理由	1120+12	/7 (二18	.側し、71次で	ノ小仏形	ル//·北文。							
	<u> </u> 	沙人公	の事が事と	4.0	十占 (外人部/元)~上	レーフュ	主体(*)					
		グ学後	び事務事		方向(総合評価に対	19 る欧	音 束等)					
総合評	価 ⇒		/ \	A	マめいった)とかがたり	A.MC. >	17 J 1 . 14	J 12.	4年12	ıL. 12⊶	+. tV = i	. 7
今後の	方向性			L ()).	予約システムを継続し、	一份さら	にインダ	ーイットを	州用した	テービス	を検討	し
			こいく。 	/ ed1								
<u>* } </u>			攻策課記入	<u>欄)</u>	-1.26							
1 現状		=	太充	닏	改善 編小		□ 統合					
□ 休止		□□厚	素 止	Ш	完了	択						
1												

1	事業の概要	成果	目	煙

1 事業	をの概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 3文化が	香るは	つらつ学びのまち(教育	・文化)					
施策	基本施第	ઈ (節) 3-2生	涯学習	習社会の構築		担当課	図書館			
区分	個別施領									
>3	事務事					中米	₩.	0.0	左座 -	
			科登集		T H	事業	平成	2 3	年度 ~	
区分	1 新	7,0			規	期間				
目的				ては、かねてから利用						
及び	の連携利	用が開始され、視耳	恵覚資	料を保有しないのは、	当館のみ	という状況	見だった。具	見在、基本	ご資料の整備に	加
背景	え、継続	して資料を購入する	ること	により、保有資料の内	容の充実	をはかりた	こがら、幅点	広い年齢 層	層の市民の要求!	に答
	193年度	に其木資料を整備	H24	年度以降、年間100~1	50占の相目	徳貴資料な	*継続して	苗入 1. 仁	学出資料 レーて	提供
事業	していく		1121	一次列件、一周100 1	001111.00	M JU PATIC	- ME/196 C X	H7 (U ()	REATICO	JAC IA
内容		0								
	数値	項目		算定式	最終	·目標	H22年度(まで	ごの) 実績値	H23(までの)目	標値
	目標	全体の貸出点数に	相酶	覚資料貸出点数÷		%		%		%
	設定	占める視聴覚資料		の貸出冊数×100	1	.0			2	
成果	事業	の割合		· A T III		. •			_	
目標	数值	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外	H23目標								
り年並	<u>事業</u> 美実績		1							
2 事業		※採用算定式:①H23実績値/H23目標	禁値 ②(H23	までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの E		の実績値+H23実績値	/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値	
		H23事業費			j	H23実施内]谷			
		330	住民/	こ光をそそぐ交付金を	左当 口・	3年産	縄り 11 11	2 協		
		千円	圧しい	に元をしてく文的金を、	/∟⇒₀ 11 2	3 千皮に	休り極 しき	<i>≈</i> лц ₀		
-	数値				H23	単年度達	龙度	全体計画	画における達成	度
実 施	目標	H23(までの)実績	[値	H23(までの)目標値		章定式	(2)	採用算		
光	設定				1/4/11 9	T AL AV	٧	1/1/11 9	+ XL 24 ; G	9
況	事業	1	%	2 %		55	%		11	%
10L	数値		70	70						70
	製値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成	度
	以外									
	事業						0/-			%
-	于人	貸出の基本とな	ンス容米	数は整備できたため、目	煙け達成で	できた 合名	/0	購入しなら	こに充宝させてい	
目標達成	成状況の割	「一」(これ)を作しる	· 2 只个	TO T	がはたが、	C/C0 / E	X1/1/1/15 1 T C	M47 C C .		
3 事務	多事業の語	平価								
① 必要	要性:実施	の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性	‡が高い								
判断			の高い	資料であり、利用者か	らの要求	が高い。				
理由	76,16,76,2	111001111111111111111111111111111111111	. 14	3(11 (3)) (11) 11 11	J - Z - 111	¥ 104 · 0				
	H. I.I 23	· (+-4-) - (+-4-) - »	ン 中米	<u>.</u> ,,						
	1	主体的に実施すべ		£7) 3						
評価	1	上体的に実施すべき								
判断	市が運営	する公共施設のたる	か。							
理由										
③ 有效	効性:期待	したとおりの成果	が上が	いているか(新規事業の	の場合は見	見込)				
評価		た通りの成果があ			»- ⊢ ·-·>·					
-				資料であり、幅広い層	の利田が	目みまわっ				
判断 理由	儿心见見	7つ (み77) 7D 7日 (C / \ X ()	. ∧ l⊟1 ∧ ,	東州へのソ、畑瓜V畑	マンイリノロリノ*!	ルルムないる	0			
	<u> </u>	> m, :- :- ::	· -	N may 1 . Andrew 1 . 2						
		:を変えずに、経費								
評価		な積算に基づく経費								
判断				市販されているものよ	り高額では	あるが、図	書館用と	しては適1	Eな価格である。	。貸
理由	山田の井	備 データーの内2	容も作	成されている。						
-	田用の装	hu / / / ^								
			カュ							
⑤ 緊急	_ 急性:緊急	に実施すべき事業								
⑤ 緊急評価	▲ 急性:緊急 a 至急乳	に実施すべき事業 実施しなければなら	ない	1109年帝に開払しを支	坐べぇ h	〜 (本)	/ 亜ベキフ			
⑤ 緊急 評価 判断	▲ 急性:緊急 a 至急乳	に実施すべき事業 実施しなければなら	ない	H23年度に開始した事	業であり、	、継続が必	公要である。			
⑤ 緊急 評価 判断 理由	急性:緊急 a 至急 平成22年	に実施すべき事業 実施しなければなら 度予算措置され、約	ない _{操越で}				必要である。			
⑤ 緊急 評価 判断 理由	急性:緊急 a 至急 平成22年	に実施すべき事業 実施しなければなら 度予算措置され、約	ない _{操越で}	H23年度に開始した事 ケ向 (総合評価に対			必要である。			
⑤ 緊急 評価 判断 理由	急性:緊急 a 至急 平成22年	に実施すべき事業 実施しなければなら 度予算措置され、約	ない _{操越で}				必要である。			
\$\begin{align*} \begin{align*} \beg	急性:緊急 a 至急身 平成22年 計評価及で 価 →	に実施すべき事業 医施しなければなら 度予算措置され、編 び今後の事務事	ない ^{操越で} 業のフ A		する改	善策等)				
\$\begin{align*} \begin{align*} \beg	急性:緊急 a 至急 平成22年	に実施すべき事業 医施しなければなら 度予算措置され、編 び今後の事務事	ない ^{操越で} 業のフ A	方向(総合評価に対	する改	善策等)				
⑤ 緊急 評価 判断 理由 4 総合 総合評 今後の	急性:緊急 a 至急身 平成22年 計評価及び 価 → 方向性	に実施すべき事業 医施しなければなら 度予算措置され、編 び今後の事務事 年間100~150	ない 操越で <u>業のプ</u> A 点程度	方向(総合評価に対	する改	善策等)				
⑤ 緊急 評価 判断 理由 4 総合 ※ 二〉	急性:緊急 a 至急身 平成22年 分評価及で 一方向性 次評価(に実施すべき事業 医施しなければなら 度予算措置され、編 が今後の事務事 年間100~150 企画政策課記入	ない 繰越で <u>業のプ</u> 点程度 【欄】	方向(総合評価に対 要の新規の資料を購入し	十する改造利用者の	善策等)				
⑤ 緊急評価判断理由4 総合会後の※ 見状	急性:緊急 a 至急身 平成22年	に実施すべき事業 医施しなければなら 度予算措置され、編 が今後の事務事 年間100~150 企画政策課記入	ない 繰越で 業 の 点程度 - 欄)	方向(総合評価に対 まの新規の資料を購入し 改善 □ 縮小	十する改	善策等)				
⑤ 緊急 評価 判断 理由 4 総合 ※ 二)	急性:緊急 a 至急身 平成22年	に実施すべき事業 医施しなければなら 度予算措置され、編 が今後の事務事 年間100~150 企画政策課記入	ない 繰越で 業 の 点程度 - 欄)	方向(総合評価に対 要の新規の資料を購入し	十する改	善策等)				

1 事業	をの概要	• 成果目標							
	基本目標	票(章) 3文化がる	季るはつらつ学びのまち(教育・文化)					
施策		策(節) 3-2生			担当課	図書館			
区分		策(項) 3−2−1	生涯学習の振興						
	事務事	•	上防水改修工事		事業	平成	23	年度	\sim
区分		規 2継 続	\rightarrow	新規	期間	平成	23	年度	
目的			こ開館したが、建物は旧り						52年に建
及び 背景	しんれに	もので梁33年を栓理	過しており老朽化による▽ どが見られている。工事/	下郁台か生し t建物の保護	くいる。 b という相。	Pじも座上り 5から老き~	り阞水ン ても見争	ートの老り に行う必ら	↑化による
育京						WW -9.17/C	- O 1 /E	(0)	27 07 00
事業	既設の防	水シートと撤去し、	下地調整調整後、ウレク	メン塗膜を行	つ。				
内容									
	数値	吞口	松井士	E 46	□ 1 ==	1100左岸 /ナ	~a) ##	# HOD / -	(の) 口無法
	日標 日標	項目	算定式	取於	目標	H22年度(ま	での) 美術	頁 H23 (まて	での) 目標値
	設定								
成果	事業								
目標	数値 目標	最終目標	屋上防水工事を行い図書	ド館の建物を 係	R護する。				
	以外	H22年度までの実績							
	事業	H23年度目標	屋上防水工事を行い図書	詩館の建物を 係	保護する。				
2 事業	美美績 一		値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23	までの目標値-H22までの	目標値) ③(H22ま	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④	DH23(までの)実績値	直/最終目標値
]	H23事業費			H23実施内	內容			
		5, 461	屋上防水工事実施。(エ	事実施期間	8/17~9) / 22) 請信	金額4.7	′25千円	
		千円	是工的水工						
実	数值		H23目標値		3単年度達	成度		·画におけ	る達成度
施	目標 設定		11=0	採用算	算定式		採用	算定式	1
状 況	事業					0/			0/
况	数値					%			%
	目標	H23実績	H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	·画におけ	る達成度
	以外	防水工事実施	屋上防水工事を行い		100			10	0
	事業		書館の建物を保護			%	1716 Also 3: HT		%
月標達B	成状況の評	屋上防水上事	を行うことにより、建物	を保護し、今	後も凶書	館としての	機能を集	たす。	
	事業の記								,
		の必要性が高い事	業か <u></u>						
評価	a 必要性		ケマの時の底へれじが日	`	口無の細。	ヒュ、とフ、テン	アタル	たむ かけ	b ばれされ
判断 理由	現住も附い。	残りによりる階争 ®	客室の壁の腐食などが見り	つれる。建物	木護の観点	はかりみ ()	も王志に	1142/51) 8	いれならな
-1.		主体的に実施すべ	シ 市 坐 か、						
評価	T	主体的に実施すべき							
判断			るため、市が主体的に行 ^い	うべきである					
理由	III CAK II		VIC-09(111 A THEFTICE))				
		したとおりの成果	が上がっているか(新規事	業の場合は見	見込)				
評価		た通りの成果があ)(C - 900 El (0.0)	2.07				
判断	防水工事	により、現在の建物	勿を保護することができる	5.					
理由									
④ 効率		を変えずに、経費	を下げる方策はないか						
評価		な積算に基づく経費							
判断	部分的な	修理では再度工事だ	が必要になることが考えら	られる。長期	的な建物的	保護を考えて	てこの方	法が最良で	である。
理由									
⑤ 緊急		に実施すべき事業							
評価		に施しなければなら							
1 31//1		洩りにより 3 階事績	客室の壁の腐食などが見 り	られる。 建物	保護の観点	気からみてい	も至急に	行わなけれ	ればならな
- 111	V '0	A .//		11.3 1) to belo tota				
		ブ 今後の事務事	業の方向(総合評価)	こ対する改	善策等)				
総合評	価 →		A						1
今後の	方向性								
<u>*</u>	かまずた /m	 	相						
※ 二		(企画政策課記入		虚 小	□ 纮△				
┃ □ 現状 ┃ □ 休止		□ 拡充 □ 廃止		宿小 不採択	□ 統合				
		□ /光.4.	ᆸᄹᅥ	川木八					

_1 事業	の概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 3文化がる	季るは	くつらつ学びのまち(教育	・文化)					
施策	基本施第					担当課	教育委員会	: 生涯学	習課	
区分		新(項) 3-2-3	文化	習社会の構築 ・芸術の振興			2112271	,,		
	個別施第 事務事	主菜夕 北茶城市	ナル	3.70~30.5cm 3.8会運営補助事業			昭和	59	年度	~
巨八		•	又化		华	期間	바다 수다	99	十段	\sim
区分	1新		, VT =		続					
目的	北次城市	文化協会加盟団体6	り活勇	カ強化等、自主運営を目	指した芸	術文化の同	可上を図る。			
及び										
背景										
-1-5116	美術文芸	展 芸能発表 芸術	뜃鑑賞	賞号 港まつりへの参加	協会誌	の発行等				
事業										
内容										
	数値	項目		算定式	最終	· 目標	H22年度(まて	の) 実績値	H23(すで	の)日煙値
	目標			弁ルバ	月又 小	口际	11111 72 (4 (口	1120(2)	可
	設定	芸術鑑賞号開催回				_				
成果	事業	数 (年)				3	2		•	3
目標	数值	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外									
	事業	H23目標								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H:	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/	最終目標値
]	H23事業費				H23実施内	习容			
		1,750	主法	文芸展、芸能発表、芸	长佛堂卫	洪まへり	~の参加	协会社の	水分	
		1, 750	夫 彻	人云辰、云肥宪衣、云1	们 <u></u> 與月万、	、俗ようり	~~00多加、	励云記 り	光1 J	
/	数値			()	H2:	3単年度達	成度	全体計画	画における	5達成度
実 施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		算定式	(1)	採用算	,,,	(4)
ル 状	設定				DIN/14;	<i>></i> -/-/		DK/113	F/C-V	. •
況	事業	4	口	3 回		133	%		133	%
<i>V</i> L	数値							A 11.31-		
	目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画における	達成度
	以外									
	事業						%			%
		文化協会加盟	団体の	の美術文芸展、芸能発表	き、港まつ	りへの参	加等は、毎	年行われ`	ており、芸	芸術鑑賞
目標達用	成状況の評	片価 号も毎年定期	的に	開催し、市民の芸術文化	江意識の 向	可上が図ら;	れている。			
0 車効	事業の記	证								
- 7 7/7	7 / 1 7	〒1回 この必要性が高い事	W- 2.							
			表儿							
評価	a 必要性		\							
判断	市氏の又	化店動の振興を図る	5001	こは実施すべき事業であ	る。					
理由										
② 主体	▶性:市が	主体的に実施すべ	き事業	美 カゝ						
評価	a 市が主	E体的に実施すべき								
判断	文化協会	を中心に事業展開る	トるた	こめには、市からの一定	の補助は	必要である	5.			
理由										
	か性・期待	したとおりの成果。	がトナ	ぶっているか(新規事業の	7周合け	見.认)				
評価		したともりの成果があ		ON (A)1/YL F TK	- /// LI (5)	/				
		しており資質の向」		見られている						
判断 理由	毋十大旭	して40ツ貝貝ツ川-	∟୷⁴⊉	ゴン40 イ 4						
	ый. ж	よ 赤 き 12)	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	10 7 1-140 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
		を変えずに、経費								
評価		な積算に基づく経費								
判断	平成20年	度から運営費補助る	£200	,000円減額し、適正経費	費である。					
理由										
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業	ð,							
評価		実施しなければなら								
判断				こは実施すべき事業であ	る。					
理由		, _ i _ e _ e _ e _ e _ e _ e _ e _ e _ e	1							
	対体なっ	バム仏の市改古*	坐の	七台 (松入河年)5年	+ナフコ ム	主 生 な い				
		<u>バッ仮の事務争</u> 		方向(総合評価に対	19 つ以	晋 宋 寺 /				
総合評	価 ⇒	home a to the	A	ルールカンコナーマン・マ	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	#4 to 17++ +	明日生さま	フ 以亜 バ・	+ 7	
今後の	方向性	川盟団体員の	局 節 ′	化、減少が目立っている	。今後、	幅 日 陸加	盟団体を募	る必要がる	める。	
※ 二?	欠評価(企画政策課記入	.欄)							
☑ 現状	通り	□ 拡充		改善		□ 統合				
		□ 廃止		完了	択	_				
│										

_1 事業	の概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 3文化が	季るに	はつらつ学びのまち(教育	・文化)					
施策	基本施第	策(節) 3-2生	涯学	習社会の構築		担当課	教育委員会	: 生涯学	習課	
区分	個別施第	휷(項) 3-2-3	文化	・芸術の振興						
	事務事	事業名 雨情の里	辛率	祭実行委員会運営費補助	h車業	事業	平成	16	年度 ~	
区分	1 新	•	p A		·続	期間	T-75%	10	一反	
			区口目			//	が患まわせ	アル連辛し	.) ケ 古兄自	与たぶ
目的	日本二八間保守る	里話时八の一八、第	タロド	NIFの心価まる里語下品 世代に引き継ぐと共に、	を、北次・	拠川か生/ の鮭力を□	いた貝里なう と/ 必信 ì	化退性と 地域サル	こして、川氏目	コロル
及び		自来気を通して何え 的とする。	KV) L	出しに引き極くと共に、	里뻐人儿	マンルエフテ で ル	ムく光頂し、	地域又们	」 り 1 放 契 に 1文 ユ	ムくる
背景		<u> </u>								
事業	「雨情の	里音楽祭実行委員会	会」に	こよる創作音楽劇等						
内容										
1.157										
	数値	項目		算定式	最終	:目標	H22年度 (まで	の)実績値	H23(までの)	∃標値
	目標		スほ	率【(入場者数/定		%		%		%
	設定	音楽祭入場者数		×100]	1	00	100	ຳ	100	
成果	事業		只/	, , 100 j			10.	9	100	
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
9	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	idek @/	nadora materiale Handora materiale) //Handora m	Diffiliate Hoods and an		s an etzétkék i Hancetzétkék		23(までの)実績値/最終目标	ant feets
		H23事業費	HE WIT	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		H23実施内		/取於日标祖 生几	23(までの) 天横恒/ 取終日旬	张IE.
		1120 子 木 兵					1.11			
		777 千円	音楽	経表会、オリジナルプチミューミ	バカルの開作	崔。				
	N/ / / .				1104	光左库法	- 上 - 庄	ᄉᄺᆌᇛ	ガルナハナフ 法に	4-4-
実 施	数值	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		3単年度達			画における達原 ***	
施	目標		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		採用	算定式	(1)	採用算	東定式	(4)
状	設定 事業	114	/	100		114			114	
況			%	100 %			%			%
	数値	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画	画における達成	龙度
	目標 以外									
	事業						0/2			%
	チバ	市民ふれあい	ヤン		(で対し)	過去5年	間で平均400	名の方が	来場している	
目標達用	成状況の評			のため維持・継続してレ					<i>></i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,
0 = + 76	- +	 								
1 1/1	事業の記		Mr. a							
		の必要性が高い事	乗か							
評価	a 必要性									
判断	子どもた	ちに童謡を通して	音楽0	D楽しさを実感してもら	える事業	として必要	更である。			
理由										
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か						
評価	a 市が主	E体的に実施すべき								
判断	実行委員	会を中心に事業展開	開する	るためには、市からの一	定の補助	は必要でも	ある。			
理由										
③ 有交	か性:期待	したとおりの成果	が上が	がっているか(新規事業)	の場合は『	見込)				
評価		た通りの成果があ		. 0 Opinge 1. XC	<i>∞-</i> ⊢ 1017	/				
判断		がっている。								
理由	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
	k 性・ 라里	を変えずに、経費	を下り	ずる方筈けかいか						
		は積算に基づく経費								
評価			(0)	る						
判断	週上な発	費である。								
理由	+ 1:1	No et al.								
		に実施すべき事業								
評価		尾施しなければなら								
判断	北茨城市	生涯学習推進計画の	の童話	第文化の風おこし事業と	して取組	んでいるた	こめ。			
理由										
4 総合	評価及で	び今後の事務事	業の	方向(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評			A							
		今後も生涯学	習の	基本となるような童謡ス	で化の風お	こし事業	として推進 [、]	する。		
今後の	万间性									
<u>* _}</u>	欠評価 ((企画政策課記入	欄)							
		<u>工画政界採記入</u> 「拡充	- IMJ/	改善	,	□ 統合				
		□ 旅儿 □ 廃止	H	完了						
		\square π \square		7□ 1 TIM	· 1/ \					

1 事業	の概要	・成果目標			4,0							
	基本目標	票(章) 3 文化がる	季るはつらつ学び	がのまち(教育	・文化)							
施策	基本施第	兼(節) 3-2生	涯学習社会の構	築		担当課	教育委員会	生涯学	習課			
区分	個別施第	兼(項) 3-2-3	文化・芸術の振 整理及び目録電	長興								
	事務事	事業名 歴史資料	整理及び目録電			事業	平成	22	年度	~		
区分		対 2継 続			^{搖続}	期間	平成	25	年度			
目的	北茨城の	民俗資料の整理なり	こめ人員を配置	し、台帳を作	成し、その	のデータイ	ベース化を図	引る。				
及び												
背景	Viet del - +te		- 1 - 1 - V r. 101 // -	D = 2	→ . [
事業	資料の整	理、データベースの	りための資料作	成、アータベ	一ス人刀							
内容												
	数値	項目	算定	· = -	- 早级	目標	H22年度(ま	での) 宝縛	1100 (3:5	この) 日播店		
	目標	快口	异儿		取形	百 伝	1122十尺(よ	(7) 大闹	1123 (2.1	. 77 户保恒		
	設定											
成果	事業	日本日本	ロ母系マルの	5.5								
目標	数値 目標	最終目標	目録電子化の気		IE 1							
	以外	H22年度までの実績										
	事業	H23年度目標	資料の整理、	台帳作成、台	帳のデータ	タベース化	í					
2 事業		※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H22	までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④	123(までの)実績値	1/最終目標値		
	-	H23事業費				H23実施内	7谷					
		4,880 千円	歴史民俗資料の	の整理及びパ	ソコンへの	ワデータ入	力					
	粉估	<u> </u>			Н2	3単年度達	武度	全休計	画におけ	る達成度		
実施	数値 目標	H23実績値	H23	3目標値		章 章 定式	- 17人/文		算定式	3 建风及		
ル 状	設定				1/1/119	F AL FU		1/1/11	# NL PV	:		
況	事業						%			%		
	数值	H23実績	H2	23目標	H2	3単年度達	並成度	全体計	画におけ	る達成度		
	目標					• 1 1 22	-/-/<	II HI				
	以外											
口压油		電子化すること	により、貴重な	資料を恒久的に			となった。な			は、新し		
日標達用	成状況の評	⊬価 い資料から着手	し、明治期の古い	ハ資料へ事業用	長開 したが、	判読困難`	で進ちょくに	遅れが生	じ、事業を	*1年延長し		
3 事務	事業の語	評価										
① 必要	要性:実施	iの必要性が高い事	業か									
評価	a 必要											
判断	貴重な民	俗資料を後世に伝え	えるためにも必	要性が高い。								
理由	- III	8 2. 14.14.) - 15.14.	۲ - ا ا اله ۱									
		ご主体的に実施すべ こた的に実施すべき										
評価		主体的に実施すべき 物の整理である。										
判断 理由	111 02/21/17	物の正性である。										
	▲ 5.性 : 期待	ましたとおりの成果:	が上がっている	か(新規事業)	の場合は見	見込)						
評価		した通りの成果があ		(0)1/22 7 210		2.07						
判断	資料整理	が順調に実施されて	ている。									
理由												
		を変えずに、経費		ないか								
評価		な積算に基づく経費										
判断	市の規定	に基づいた適正な約	全費である。									
理由	그 나 프로스	いななといれませ	2.									
		に実施すべき事業 実施しなければなら										
評価 判断		施すべきである。	14 V .									
理由												
4 総合	<u>·</u> 評価及で	び今後の事務事	業の方向(総	合評価に対	けする改	善策等)						
総合評		- 1 1 1 1 1 F)	A		• / • •	- 11. 14 /						
今後の	古白州	市史編さん時	から残されてい	る資料など電	電子化によ	ってより	活用しやす	くしてお	きたい。			
			(HH)									
×		(企画政策課記入		L. L								
□ 現状		□拡充	□改善	編小		□ 統合	•					
休止		■ 廃止	□ 完了	□ 不採	けい							
1												

1 事業の概要・成果日標

1 尹 🤊	モツル女	*											
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第 事務事	票(章) 4暮らし 衰(節) 4-1土 衰(項) 4-1-1	に安心幸せを感 地利用 計画的な土地利 住宅(中郷宿舎	用の推進		担当課事業	市長公室平成	企画政策 18	課 年度 ~				
区分	1 新		<u> </u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	尹未 期間	平成平成	3 2	年度				
目的			•						デルス 茨城市開発公社が市				
及び背景	に代わっ	て整備を行ったもの 備(平成11年11	つであり、市は、						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
事業内容	契約金額:262,8	532年度の15年間の割賦払によ 50千円(随意契約) 岡字下堂地110-1	: り代金支払										
	数值	項目	算定	式	最終		H22年度(まつ	での) 実績値	H23(までの)目標値				
成果	目標 設定 事業	事業進捗状況 (事業費ベース)	支払額		262,	千円 千円 千円 20,00 20			千円 20,000				
目標	数值	最終目標			I.				•				
	目標 以外	H22年度(までの)実績											
	事業 H23目標												
2 事美	2 事業実績 ※採用算定式:①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値+H22までの実績値)/(H23までの目標値+H22までの目標値)③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ④H23(までの)実績値/最終目標値												
	H23事業費 H23実施内容												
		20,000 千円	平成23年度分土	土地購入費を			D. L.						
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	.,,	の)目標値	H23 採用算	単年度達 定式	成度 ①		画における達成度 算定式 ③				
状況	事業	20, 000		20,000 千円		100	%		23 %				
	→ 数値 → 目標 → 以外	H23実績	Н23	3目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成度				
	事業						%		%				
目標達	成状況の割	目標どおりに進 	捗している。										
3 事	务事業の記												
① 必		[の必要性が高い事]	業か										
評価	a 必要性				> > = - >!!!		()) or () .						
判断 理由		の社会重要に応え、		依頼して実施	した事業で	であり、↑	Fが取得する。	る必要性だ	がある。				
-		主体的に実施すべ	き事業か										
評価		E体的に実施すべき の社会重要に応え、	古胆炎八牡戸/	お超し て宝佐	1 た事業。	たち コ	ロボン外かっ	がた 取得っ	トスナのでなる				
判断 理由							11/1・日然は	アり収付り					
評価		したとおりの成果だ した通りの成果があ		パ(材[枕争業(刀場官 は見								
判断理由		住宅入居者が現在場		用しているが	、利用者の	の利便性の	の維持が図り	られている	5.				
	<u>■</u> 率性:成果	:を変えずに、経費	を下げる方策は	ないか									
評価		は積算に基づく経費		•									
判断理由		価、造成工事費、氢 を差し引いた額とな		刊子等の合計	額から、ュ	P成 1 1 年	F度から1	7年度に前	義入のあった駐車場				
		に実施すべき事業											
評価		医施しなければなら		左砂井 バーマ	1 1= 75 /	5.40/2.32 3	- 訊力1 ~	\7 × 1 ?	いと「左外刊三コー				
判断理由	半成11り実施す		3 年度には所有権	権移転が完了	し、債務賃	負担行為を	で設定してい	いることだ	いら、年次計画によ				
		び今後の事務事		合評価に対	けする改善	善策等)							
総合計 今後の		平成32年度	_A までの債務負担	┃ 行為設定によ	こり、計画	的に支払	いを行う。						
, 54			4間)										
		<u> </u>	·順 <i>)</i>	─────── 縮小	`	□ 統合			1				
		廃止	完了	一不採									

1	事業の概要	出出	日	栖

施策区分	基本目標 基本施第 個別施第 事務事	ə (g ə (r	的) 4 − 1 ± : 頁) 4 − 1 − 2 :	地利 都市	心幸せを感じるまち(都 用 計画の推進 図作成事業	市基盤)	担当課	都市建設部平成	都市計	画課 年度	~	
区分	1 新			巫平		続	事業 期間	平成平成	23	年度 年度	, ,	
三 目 り び 背景	まちづく 年が経過 1年1月	りのま し現れ こ茨り	基礎となる市の Eに至っており、 成県統合型GI	、経 ⁴ Sで船	計画図は、平成3年に作成 手変化により現在の地形で 前空写真を撮影しており、	せされ平成 と反映して	いないのつ	京駅西の区画 で、更新すべ	整理地をき時期に	修正してい きている。		
事業 内容		基本	図図化1/2,500	図	化面積A=87.5K㎡							
	数値 目標		項目		算定式	最終		H22年度(ま		H23(まで		
成果	設定 事業		進捗率		F成面積/全体面積×		% 00	24.	6	75	5. 4	
目標	数値 目標		最終目標		計画区域(4,305ha)を							
	以外	_			計画基本図図化1/2,500							
2 事業	事業 実績		I23年度目標		計画基本図図化1/2,500							
2 尹禾	・ 未 夫 績 ※採用算定式:①H23早績値/H23目標値 ②(H23までの実績値+H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H23までの実績値)/最終目標値 ④H23(までの)実績値/最終目標値											
	26,828 都市計画基本図図化1/2,500 A=57 k m 都市計画既成図数値図化1/2,500 A=9 k m											
実	実 数値 H23(までの)実績値 H23(までの)目標値 H23単年度達成度 全体計画における達成度											
施 状	日標 設定 75.4 75 100 100 100											
況	事業 75.4 % 75 % 100 % 100 %											
	数値 目標 以外 H23目標 H23単年度達成度 全体計画における達成度 U外 #7+31 再日はの同じ 都市計画基本図図化											
	以外 事業 都市計画区域の図化 都市計画基本図図化 1/2,500 66.0 k m² 100 % 100 %											
	成状況の評											
	事業の記 要性:実施		要性が高い事業	業か								
評価	a 必要性											
判断 理由	既成の都	市計	画図は平成4年	巨に化	作成されたもので、更新	時期を過る	ぎていた。					
			的に実施すべる	き事	業 か							
評価			りに実施すべき 書である。									
理由				28 [パーテンフ 2. (か10 + 24)	7. II V 11. E	1 > 7 \					
部価			とおりの成果があ 通りの成果があ		がっているか(新規事業の	り場合は兄	5込)					
判断					市計画決定図書に活用	する。						
理由					20 - 1 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 1							
-			えずに、経費を なる なる なる なる なる は た と で と き に 基づく 経費		ずる方策はないか							
評価 判断 理由			金を活用した。	(0)	<u>්</u>							
		に実	施すべき事業が	<u> </u>								
評価			なければなら									
判断理由	既成図は	、更	新時期を過ぎて	て利月	目者からの更新に対する	要望があっ	った。					
4 総合	1 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等)											
総合評			今回の図化は [、]	A デジ		fが容易に	できる。					
今後の		,	1 D:== :	, page 1								
※ 二次 現状			可政策課記入 拡充	<u>欄)</u>	改善		□ 統合				- 1	
□ 焼水	地ソ		孤元 廃止	\Box	完了							

_ 1 事	ミの概要	・成果目標								
施策区分		票(章) 4暮らし		せを感じるまち(Manage	都市基盤)	担当課	都市建設部	『 地籍調	查課	
	事務事	事業名 地籍調査	事業			事業	平成	6	年度	~
区分		規 2継 続		\rightarrow	継続	期間	平成	未定	年度	
目的 及び 背景		及び保全並びにそのの実態を科学的且へ			ともに、併 [、]	せて地籍の	の明確化を図	図る		
事業内容	地番・地	法、地籍調査作業規 目を調査するとと 経て県の認証を受け	らに、境	界の確認・測量・	面積の測定	を行ない、		首		
	数值	項目		算定式	最終	·目標	H22年度(まて	での)実績値	H23(までの))目標値
成果	目標 設定 事業	地籍調査	第 I 期、 計画面和	第Ⅱ期 漬	20.	K m² 55	16. 2	K m² 28	0.9	Km² 1
目標	数值	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	B値 ② (H23まで	の実績値-H22までの実績値)/(H23ま	での目標値-H22までの	目標値) ③(H22ま~	での実績値+H23実績値))/最終目標値 ④	123(までの)実績値/最	終目標値
7.71		H23事業費				H23実施内				-
		22,804 千円	地籍調 借上げ	查事業事務委託、 科	基準点改測 (こ伴う事前	〕調査事業、			
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	f値 H	23(までの)目標値	I	単年度達 章定式	成度 ①		画における 算定式	達成度 ③
状況	事業数値	0.00	K m²	0. 91 _K		0	%			
	目標 以外	H23実績 ————————————————————————————————————		H23目標 ————————————————————————————————————	H2	3単年度達	成度	全体計	画における	達成度
	事業						%			%
目標達	成状況の評			カ年計画に基づき 遅れとなる。平成2					京改測により	り事業を
	8事業の記									
		の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性		Lucat at	7 49 0 11 - 11 11 - 17	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	// - H Hn /	41-			
判断理由		・課税の適正化、			消化、災害 [。]	俊の早期位	夏旧。			
		主体的に実施すべ		1						
判断		E体的に実施すべき 法による。								
		したとおりの成果		ているか(新規事業	業の場合は見	見込)				
評価 判断		ンた通りの成果があ 良事業、建築確認。		定資産税部門、一	般登記申請	等成果の利	刊活用件数 <i>6</i>	の増加。		
理由		ナボミエ) マ 物 物	+ T.n~	+4514-51						
		·を変えずに、経費 ・積算に基づく経費		力束はないか						
評価 判断 理由		『傾鼻に基づく経質 定は、茨城県地籍記		要領に基づくもの	であるため	適正である	3.			
⑤ 緊急		に実施すべき事業								
評価 判断	公共事業	を施しなければなら における用地調査 エル及び辞界会いる	• 土地取			用の削減。				
	_ }評価及(正化及び境界争い。 び今後の事務事				善策等)				
総合評				実施計画より多少の過						
学後の ※ 二:	方向性 次 評 価 (を検討し、市内: 企画政策課記入		いての調査完了の早期	実規を目指し	たい。その	ため人負及び	予算の確保	が必要となる	0.
✓ 現状		<u> </u>	改	善	小	統合				
		廃止	一完		採択					

1	事業の概要	战里	日	輝

<u> 1 争</u> 業	が、概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 4暮らし	に安心幸	せを感じるまち(都	市基盤)					
施策	基本施第					担当課	都市建設部	『 地籍調	査課	
区分	個別施領									
	事務事	事業名 地籍調査	成果復旧	事業		事業	平成	23	年度 ~	
区分	1 新	776 — 112 1176			規	期間	平成	25	年度	
目的				変動が生じたことに						
及び				果が全て使用不可能	となった	ため、地籍	普調査完了 [」]	也区の		
背景	基準点及	び筆界点を改測し液	則量成果の	の復旧を行なう。						
-1-54		完了地区の基準点、								
事業			点(図框	多角点・8,685点、	細部図根	点・3, 455	点)			
内容	筆界	点・106, 754点								
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まっ	での)実績値	H23(までの)目:	標値
	目標					Km²		Km²		Km^2
成果	設定	地籍調査	地籍調查	E完了地区	17.	08			6. 73	
日標	<u>事業</u> 数値	最終目標								
日派	目標									
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業	実績		値 ②(H23までの)実績値-H22までの実績値)/(H23までの)/最終目標値 ④H	123(までの)実績値/最終目標値	(
	I	H23事業費				H23実施内				
		38, 834		至完了地区の基準点		自点、細部	図根点) 及	び筆界点	(の改測作業の前	前払
		千円	い分・	《残分15,167千円は						
実	数値	H23(までの)実績	·····································	23(までの)目標値		単年度達	成度		画における達成	.度
実 施	目標	1120(よくジ) 天順		20(よくジ) 日保恒	採用算	算定式	1	採用算	算定式 ③	3)
状	設定	6. 73		6. 73		100			39	
況	事業	0.10	K m²	0.73 Km²		100	%	33		%
	数値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計画における達成		
	以外									
	事業						%			%
- 1	D 11. >			ら筆界点まで、全点	改測費用	の要望を	国・県へ働	きかけ、	平成25年度には	:復
日標達用	成状況の評	'価 旧完了する予	定である	0						
3 事務	事業の記									
		の必要性が高い事	業力3							\neg
評価	a 必要性		1017							
判断			上地取引.	及び公共事業の円滑	化、災害征	多の早期後	(日)			
理由					, ,,,,,					
	<u> </u> 	主体的に実施すべ	き事業か							
評価		E体的に実施すべき								
判断		事業の一環である/	とめ市が	実施すべきである。						
理由										
③ 有交	5性:期待	したとおりの成果	が上がっ	ているか(新規事業)	の場合は見	1.认)				
評価		た通りの成果があ		VV1/20 4: 2K	». □ 19·71					\dashv
判断			_	寺どおりの成果が見	込まれる。					\dashv
理由				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0					
		:を変えずに、経費	を下げる	方策はないか						\neg
評価		よ 積算に基づく経費								
判断		# 12 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		定要領に基づくもの	であるたと	め適正では	ある。			\neg
理由										
⑤ 緊急	• .	に実施すべき事業	<i>ჭა</i>							-
評価		尾施しなければなら								\neg
判断				等を円滑に推進する	ため、ま7	た、課税の	つ適正化及で	び境界紛争	争等の多様なト	ラブ
		するのため至急実施					. — . •			
	·評価及7	バ今後の事務事	業の方面	可(総合評価に対	する改善	善策等)				
総合評		<u>ノード(X * / サ /)カ ザ / </u>	A			口/下寸/				
		地籍調査完了			tるため、	国、県の	財源の確保	が必要。		$\overline{}$
今後の	方向性			2.4 C 1 /911 - 20 1 C C			TAMES TO PERSON	~ ~ ~ 0		
<u>* _7</u>	欠評価 (楣)							
☑現状		<u>正画以来味品入</u> 「拡充	·//駅//	≨ □ 縮小		統合				\neg
		□ <u>協</u> 児	完							
					***					—

1 事業の概要・成果目標

施策区分	基本施第	兼(節) 4-2都市	安心幸せを感じるまち(都 i基盤の充実 i路交通ネットワークの整備	担当	課 市民福祉	部 まちづ	くり協働課						
区分		事業名 市内巡回バ	にス運行事業	事 続 期間		14	年度 ~						
E B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	路線バ	ス事業者(日立電鉄)の退出に伴い、市内にお め、市内巡回バスの運行を	ける移動手段(-)を失う全	ての住民に対し、						
事業内容	・運行数 各・料 金 1	路線 朝1便、夕2便(南北線 "目中2便(磯原駅東西線 00円(1路線1回100円)	東西線、南中郷駅東西線、南北線) は1便)を月〜金曜日の毎日運行 は3便)を週2日運行 れた実績及び住民からの意見・要望を反	映させ、平成15年度より	本運行を実施。								
	数値 目標	項目	算定式	最終目標		での実績	H23年度目標値						
成果	設定 事業	年间延个利用有级	H20年度年間延べ利用者数 48,696人×110%	54, 000	人 41,	人 581	51,000						
目標	数値 目標	最終目標 H22年度までの実績											
	以外 事業	H23年度目標											
2 事業	事業実績 ※採用算定式:①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ②(H23はでの)実績値/最終目標値												
	H23事業費 H23実施内容												
		15,724 千円	刊用実績37,347人										
実施	数値 目標 設定	H23実績値	H23目標値	H23単年/ 採用算定式	度達成度 ①	全体計画 採用算	町における達成度 草定式 ④						
状 況	事業	37, 347	人 51,000 人		73 %		69 %						
	数値 目標 以外	H23実績	H23目標	H23単年』 (H23実績/		全体計画	画における達成度						
	事業				%		%						
目標達用	成状況の評	民間の路線バス評価だわらず、利用者検討を行っている	ヾが撤退した中で、交通手段を ₹の利便性に重点を置いた事業 う。	失う交通弱者のた を行っている。追	こめのバス運行で ではな数について	であり、料金 ては再評価才	全収入の増収にはこ 委員会等により毎年						
	事業の		.1.										
① 必須評価	要性:	iの必要性が高い事業 生が高い	<u> </u>										
判断理由	民間の	路線バスが撤退した	中で、地域交通網の確保や を確保するために、引き続				通弱者(高齢者、						
	T .	主体的に実施すべき	事業か										
評価 判断		E体的に実施すべき スの運行は公益的な	要素が強く、民間のバス事	業者が撤退して	しまった現状	を考慮する	っと、市が主体的に						
理由	実施しな	ければならない。				- V/LI.							
③ 有	1	Fしたとおりの成果が した通りの成果がある	上がっているか(新規事業の	の場合は見込)									
判断理由	利用者	の実績は年々減少傾	, 向にあるが、地域における 意向を随時受け付けている		確保・充実を	図る上では	は成果が上がってい						
		を変えずに、経費を											
評価 判断	指名競	な積算に基づく経費で 争入札により委託業	ごある 者を選定している。運賃収	入については、	委託費から相	殺して委託	と料を積算してい						
理由 ⑤ 緊急	る。	に実施すべき事業か											
評価		に											
判断理由			中で、地域交通網の確保や を確保するために、引き続				通弱者(高齢者、						
			の方向(総合評価に対	けする改善策等	等)								
総合評 今後の	·価 → ·方向性	今後も、苦情や	A										
<u>* = ;</u>	次評価((企画政策課記入村	闌)										
☑ 現状 □ 休止	通り	□ 拡充 □ 廃止	□ 改善		充合								

1 事業	ミの 概要	・成果目標										
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	票(章) 4暮らし 策(節) 4-2都 策(項) 4-2-1	市基道路	交通ネットワークの整位		担当課	市民福祉部	『 まちづ	くり協働課			
区分	事務 1 新		バス		 迷続	事業 期間	平成	16	年度 ~			
目的 及び 背景	民間の置 られた市民	A線バスが撤退したこ R意向や提言を再評価 Rの更なる利便性向上	委員: を図・	より、平成14年度から市内会で検討したところ、市内 るため、市内巡回バスの通 平成17年4月から本運行を	巡回バスを の各医療機 行ルートの	運行してい 関周りの過 他に、医療	重行が必要で 寮機関を経由	あるとい	う結果が出されたこと			
事業内容	・路線数 3・運行数 北中南		線) 木)			_ ('	o					
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(ま	での)実績	H23 (までの) 目標値			
成果	目標 設定 事業	年間延べ利用者数	H20	年度年間延べ利用者数 14,239人×110%	15,	000	12, 7	人 716	人 14, 950			
目標	数値目標以下	最終目標 H22年度(までの)実績 H23年度目標										
9	事業 H23年度目標 事業実績 ※採用策式:①H23実績値/H23までの実績値-H22までの実績値/(H23までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ③H23(までの)実績値/最終目標値											
		H23事業費	HE (2)(H	23までの美額値-H22までの美額値//(H23までの		123実施内		/取於日保阻 ④/	Z3(までの) 夫横恒/取於日保恒			
	4,555 千円 利用実績13,146人											
実施	数値 目標 設定	H23 (までの) 実	績値	H23 (までの) 目標値	H23 採用算	単年度達 定式	成度 ①		画における達成度 算定式 ④			
状 況	事業	13, 146	%		82 %							
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H23	H23単年度達成度			画における達成度			
	サスプト 事業 % % % % % % % % % % % % % % % % % % %											
目標達成	成状況の評		いら巡回	ゴバスを補完する「地域交通利用券								
3 事務	事業の記											
_		の必要性が高い事	業か									
評価 判断	a 必要性		- 由っ	で、地域交通網の確保や	小	E邸を生き	5 - レ <i>l</i> ァト1	0 生じる2	冷涌起孝 (
理由				全保するために、引き続 ななるないに、引き続					文面初日 (同間日、			
		主体的に実施すべ	き事	業 か								
評価		E体的に実施すべき スの運行は公共的な	マ亜ョ	長が強く、民間のバス事	業者が撤済	見してしる	よった钼化ス	5老唐才)	スト 古が主体的に			
判断 理由		ければならない。	人女力	くい-0g く、 17(旧) 07/ 17/ 手	*** 1		トラにがか	1. 7 偲) 1	ひこ、 川が土田町がこ			
				がっているか(新規事業	の場合は見	込)						
評価		ンた通りの成果があ の実績は年々減少値		こあるが、地域における	公	モ 四 の 確 心	2. 玄宝を	タストで!	+ 成里が上がってい			
判断 理由				- めるが、地域における 可を随時受け付けている		P-FX V/IEF	下・几天では	対の下 ()	よ成未が上がってい			
④ 効率		を変えずに、経費										
評価		は積算に基づく経費		る ≧選定している。運賃収	17/2011	て)は 禾章	て弗ふく 七つさ	肌 ト 丁禾 三	て料け、建管してい			
判断 理由	相名別る。	宇八化により安武	そ 白 で		.人にりい	(は、安正	七貨 から作札	ダレ (安計	七科を惧昇してい			
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業だ	3,7									
評価 判断 理由	少子高	€施しなければなら 齢化が進む中で、テ 行が必要となる。		つ福祉の向上を図るため	には、市内	内巡回バス	スでは回れた	ない医療権	幾関周りの地域巡回			
		び今後の事務事		方向(総合評価に対	けする改訂	善策等)						
総合評 今後の				 見については随時受け付け 市に適した公共交通のあり								
<u>* _}</u>	欠評価 (.欄)									
☑ 現状 □ 休止	通り	□拡充 □廃止		改善 ☐ 縮小 完了		□ 統合						

1	事業の概要	战里	日煙

1 事業	の概要	・成果目標											
	基本目標	票(章) 4暮らし	に安っ	心幸せを感じるまち(都	市基盤)								
施策	基本施第	節 (節) 4-2表	7.市基	盤の充実		担当課	市民福祉部	くまちづ	くり協働課				
区分	個別施第	度(項) 4-2-	道路	皿いたス 交通ネットワークの整備	± ∄	1—— H/K	~ 1 IIII IIII III	. 5. 2 2	A MALEST MAL				
	事務事			補助事業	H	中 **	平成	2 2	年度 ~				
F /\					ñ:	事業 期間							
区分	1新				続		平成	26	年度				
目的		ス事業者(日立電	鉄) 0)運行路線において、利	用者の減少	少に伴い、	連宮が困難	Eな路線に	こついて補助を行				
及び	う。												
背景													
	・運行補	助路線 南中郷駅	~常煌	B炭鉱									
事業		磯原駅	~常盘	&炭鉱									
内容													
	数値	項目	1	 算定式	最終	口抽	1100年第 /子本	の) 安建は	H23(までの)目標値				
	目標		士'///		取心				路線				
	設定	運行路線数(補助	りに巡	回バス路線以外の路線 磯原駅、中郷駅への通勤		路線		路線	·				
成果	事業	対象路線数)		者が利用する路線数	2	2	2		2				
目標	数値	最終目標		E 1 17/14 / S 2 E 1/17/2/			<u> </u>						
	目標	H22年度(までの)実統	±4										
	以外		貝										
	事業	H23目標											
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目	標値 2(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの目	標値) ③(H22まっ	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値				
]	H23事業費			I	H23実施内	7容						
		1 500	南中	郷~常磐炭鉱 707回/4	丰								
		1,500		駅~常磐炭鉱 3768回									
	数値		- 1		•	単年度達	战度	全休計ī	画における達成度				
実 施	日標 目標	H23(までの)実	漬値	H23(までの)目標値	採用算	単年度達		五件 III I	画における達成度 章定式 ④				
池	設定				沐川乡	1.	(1)	1木川 9	享定式 (4)				
状 況	事業		2 路線	2 路線		100	%		100 %				
况	数値	 											
	日標 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成度				
		以外											
	事業						%		%				
		路線維持に努	める。				, ,		, ,				
目標達用	成状況の割	益価											
0 单3	中米のま												
	事業の記	干1回 「の必要性が高い事	- AH2 .										
			*来//										
評価	a 必要性		-L-17-7-7		12 of -1-1-7-	17 Jay / Jay 16	· · → · · · ·	heles					
判断		網の催保や公共の 要がある。	父迪日	F段を失うことにより生	しる父連盟	뛍者(局 菌	節者、子ども)等) の7	こめに父迪手段を催				
理由													
② 主体	体性:市が	主体的に実施す〜	き事	業か									
評価		E体的に実施すべる	_										
判断	路線バ	スの運行は公益的	な要素	長が強く、民間のバス事	業者が撤え	退しない。	ように、市カ	ぶ主体的に	こ実施しなければな				
理由	らない。												
③ 有效		したとおりの成果	とが上7	がっているか(新規事業の	の場合は見	L込)							
評価		た通りの成果がる		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
判断				5、地域における公共交	通手段の研	雀保・充写	尾を図る上で	では成果に	tある。				
理由		• •											
	を性・成里	:を変えずに、経費	を下し	ずる方策はないか									
評価		よ積算に基づく経済											
		に基づき補助を行											
判断 理由	性巾頂盒	に坐して 1119月で11	J (V	`•∕ ∘									
	5 ML By 2	に存在すると子当	4.2.										
		に実施すべき事業											
評価		を施しなければない											
1.41-21	利用者が	少なからずおり、	連行を	ど打つている									
理由													
4 総合	・評価及で	ブ今後の事務事	業の	<u>方向(総合評</u> 価に対	けする改善	善策等)							
総合評	価 ⇒		Α										
<i>∧ ₩ ~</i>		利用者の減ら	ノは否	めないが、バス路線の存	戸続のため	継続して	いく。						
今後の	カ回性												
* = 7	欠評価 (企画政策課記	入欄)										
現状		<u>工画以来味品</u> /	<u> </u>	改善		統合							
		□ 廃止	H	完了									
		<i>//61</i> 44			· 1/ \								

1 事業	の概要	・成果目標											
	基本目標			心幸せを感じるまち(都市基盤)								
施策	基本施第	筍(節) 4-2都	市基	盤の充実		担当課	都市建設部	建設課					
区分	個別施領	簑(項) 4-2-1	道路	交通ネットワークの彗	Ě備								
	事務事	F業名 市道0230	号(関本下仁井田線)整備	事業	事業	平成	21	年度 ~	,			
区分	1 新	規 2継 続		\rightarrow	継続	期間	平成	24	年度				
目的				道6号と県道里根神									
及び	り、通過	交通が増大したたと	り、多	全対策として2車線	化や歩道の	整備を進め	りてきました	こが、いっ	そうの利便	性向上			
背景	を図ると	ともに、ネットワー	ーク党	住化のため、都市計画	道路「ニツ	島関本中総	泉」まで路線	限を延伸す	-るものです	0			
1	道路改良	工事〔改良〕											
事業	L=193m	W=9.0m (車道6.5m,	歩違	[/片側2.5m)									
内容													
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(ま)	での) 実績	H23(までの)	目標値			
	目標					%		%		%			
	設定	事業進捗率	(事	業費/総事業費) ×1	00 1	00	48		43				
成果 目標	事業	日 46 日 団			1		10						
日保	数値 目標	最終目標											
	以外	H22年度(までの)実績											
	事業 H23年度目標 H23年度日標 H23年度日標 H23年度日標 H23年度日												
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23ま	:での目標値-H22までの	目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④H2	23(までの)実績値/最終	目標値			
	I	H23事業費]	H23実施卢	內容						
	00	000	III liile	四 中 1 (4 7 7 8) 关 10 74	点 								
	20,	⁰⁰⁰ 千円	用地	買収1件及び道路改	艮工事L=135	m							
	数値		.	/>	н2	3単年度達	成度	全体計画	画における達	虚成度			
実 施	目標	H23(までの)実績	責値	H23(までの)目標値	<u> </u>	算定式	(1)	採用算		(3)			
状	設定				2117142			*******	•				
況	事業	29	%	43	%	67	%	77		%			
	数値	H23実績		H23目標	Н9	3単年度達	: 战 庶	全体計画における達成		自力量			
	目標	1120天順		1125日1示	112	0年十尺圧	沙人/文	土件可以	可になりのほ	3月及/文			
	以外						0/			0/			
	事業	1 押工事が今つ	↑]	渋滞の緩和や歩行者	の字合が確ね	ロケわ プ		*羊が回さ	h アルス	%			
目標達成	戈状況の評	☑価 ┃ □朔エザが元〕	U,	公佈以版作了多门有	♥ノ女 土が催し	木でもい、メ	く世界児グリ	番が囚り	140 (1.2)				
		7											
	事業の記												
		の必要性が高い事	美か										
評価	a 必要性		I 72		195)) -	/I. mt / I.) .	» .						
判断	北部幹線	直路から大准万面、	国追	16号へのアクセス道	.路として、	位置付けた	は増い。						
理由													
		主体的に実施すべ	き事業	きかっ									
評価		E体的に実施すべき											
判断	市が実施	すべき事業である。											
理由													
③ 有效	b性:期待	したとおりの成果だ	が上た	ぶっているか(新規事	業の場合は身	見込)							
評価	a 期待し	た通りの成果があ	る										
判断	東西方向	の道路連結が強化さ	され、	沿線土地の利用促進	や経済活動	の進展が図	図られる。						
理由													
④ 効率	区性:成果	を変えずに、経費	を下り	げる方策はないか									
評価	a 適正な	は積算に基づく経費	であ	る									
判断				は、不動産鑑定や茨城	県の補償基	準によりを	央定し、工事	事費の算出	は、茨城県	の積算			
理由	基準に基	づいて積算している	5。										
⑤ 緊急	9性:緊急	に実施すべき事業	ζ,										
評価	a 至急第	ミ施しなければなら	ない										
判断	北部幹線	道路から大津方面、	国谊	16号へのアクセス道	路として、	早急に改良	良の必要があ	らる。					
理由													
L	·評価及7	「今後の事務事	業の	方向(総合評価に	対する改	善策等)							
総合評		<u> </u>	A	<u> </u>	-/1 / 2 5	ロハサノ							
		平成25年の供		 6へ向けて作業を進&	うる。					$\overline{}$			
今後の	方向性	1,794=0 1 12 17	14 12 14 2	14.7 11 76 6 75 9	. • •								
<u>* _7</u>	を証価 (爛)										
☑現状		<u>正画以来味記八</u> □拡充		改善 編	小	統合							
公 先仏	WLL /	□ 城元 □ 廃止	_		77. 採択								
			-	7u + 🗀 🗇	ハレ ハ /								

1 事業	の概要・	・成果目標										
	基本目標	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		幸せを感じるまち(都	市基盤)							
施策	基本施第		市基盤の	の充実		担当課	都市建設部	7 建設課				
区分	個別施第	受(項) 4-2-1:	道路交流	通ネットワークの整備	i i							
	事務事	F業名 市道0103	号(関	田栗野線)整備事業		事業	平成	11	年度 ~	~		
区分	1 新	770 — 112 170			続	期間	平成	30	年度			
目的				南部と生活圏を共有して						る。ま		
及び	た、中跡と	: して名尚く、風元明 泉沢霊園へのアクセ	媚な「ク スや、E	勿来の関」は、休養文化 国道のバイパス的役割な	旭鼓の登幅 ど、当該市	iか進み、a j道にかかる	R助有の数も S期待は大き	増加傾用にく、利便性	- <i>の</i> る。 ‡向上ため、	交通環境		
背景	の整備がす	さめられている。										
事業	(県道塙大津港総	m 幅員W=9.5m 泉~いわき市勿来町)										
内容	2期工事(H11~ 2期工事(H22~ 3期工事(H26~											
				koke ++-+	E 44	1m	1100 F F (-)	- n) ###	1100 (.b a			
	数値 目標	項目		算定式	東終	目標 %		:の) 美額値 %	H23(までの	9)目標値 %		
	設定	事業進捗率		[事業費/総事業費)	4				0	70		
成果	事業		×100		1	00	42	4	2			
目標	数値	最終目標										
	目標 以外	H22年度(までの)実績										
	事業	H23目標										
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23ま	での実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの[目標値) ③(H22まて	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終	終目標値		
	I	H23事業費]	H23実施内	內容					
	36,000 (2期工区) 用地測量、一部用地買収、工作物補償、一部工事実施											
	十円											
実	数值	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達	成度		画における)	達成度		
実 施	目標	1120 (3. (**)		1120(よくジ) 日际値	採用算	章定式	1	採用算	算定式	3		
状	設定 事業	5	0/	2		250	0./		47	0/		
況	数値		%	2 %			%			%		
	目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画における	達成度		
	以外											
	事業						%			%		
目標達品	成状況の評		こより、	狭隘、屈曲箇所の解消が	が進み、安	全な走行が	可能になっ7	ే.				
, .	事業の記		IIA. 3									
		の必要性が高い事	美か.									
評価	a 必要性		- 壬亜ナ	は位置を占めており、	日与れ動	生ぶ去なさ	・トナいフ					
判断 理由	(1) S (1)	との連絡担始とし	、里安/。	が世色を白めてわり、	平心な登1	用かれのと	546 (1000					
	 	主体的に実施すべる	き 車 类 4	<u></u>								
評価		上体的に実施すべき 上体的に実施すべき	さず木ん	<i>-</i>								
判断			が置く	づけからも、市が実施	すべきで	ある.						
理由	11172 (0)	, Thursday C.	- حصر حدار ۰	1717 3 0 (1117) (112	, .	<i>-</i> , 0						
③ 有交		したとおりの成果を	が上がっ	っているか(新規事業の	の場合は見	見込)						
評価		た通りの成果があ				·						
判断				環境は改善されてきて	ている。ま	た、北部	幹線道路と	の連絡や	、いわき市	との連		
理由	携により	、道路網のいっそう	の強化	とが見込まれる。								
4 効率	室性:成果	を変えずに、経費	を下げる	る方策はないか								
評価		₹積算に基づく経費										
判断	用地買収	の単価設定は不動産	産鑑定に	こより決定し、工事費	の算出は、	茨城県⊄	う積算基準に	こ基づいて	行っている	5。		
理由												
		に実施すべき事業が										
評価		を施しなければなら		Small Parace	. / .	y		Ale	20 Hm (1: ()	- 1		
判断 理由		交通環境の改善や、 な改良が必要である		意園利用者の利便性の	向上、ま	た、6 号 バ	イバス的機	能の発揮	が期待され	てお		
4 総合 総合評		び今後の事務事	業の方 A	向(総合評価に対	する改	善策等)						
一を行った。		早期完成に向		 っそうの事業促進を図	る。							
			TBB /									
<u> </u>		企画政策課記入		**		□						
図 現状		□拡充	=	·善 編小·マ コ		□ 統合						
		廃止	ロデ	:了 □ 不採	が							

_1 事業	の概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 4暮らし	こ安	心幸せを感じるまち(都	市基盤)					
施策	基本施第					担当課	都市建設部	7 建設課		
区分	個別施領	毎(項) 4-2-1	道路	盤の充実 交通ネットワークの整備	E F					
	事務事	事業名 市道0104		窪田唐藤線)整備事業		事業	平成	21	年度 ~	,
区分	1 新	•	,, (続	期間	平成	28	年度	
			э Г р							玄带 。
目的				B本中子仪」から北上し Bを支援する道路として						
及び				(求められています。	里女は印	or Carry,	迪迪 文迪	臣 ひ ノヘザ田 い		'a) / _
背景			JA	(1000 0 40 C C C C C) 6						
事業	道路改良		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	/··· a = \						
内容	L=930m	W=10.0m (片側	歩追	/W=2.5m)						
1.350										
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	ごの) 実績値	H23(までの)	目標値
	目標		(男	積事業費/総事業費)		%		%		%
	設定	事業進捗率	×1(10	00	4		9	
成果	事業		/\1							
目標	数値	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
9	実績		(de @ (r)	on house as etaletalist troop house as etaletalists (1900) house as	m int life year burst on t	Time (de) (S) (man, h.,	an an arthráite falla i sean arthráite falla)			ra law felo
<u>2</u>		※採用算定式:①H23実績値/H23目標 - 123事業費	⊯ (2)(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		H23実施内		/ 政於日標個 ④H	い(まじの) 表積恒/厳終	口保阻
	1	120 事未貝				.120天/mr	144			
		66, 625	橋粱	設計、用地測量、補償領	算定、一部	羽用地買収	1、一部工事	施工		
		千円			HOC	兴年库法	-1- r -	A /L-=1 =	エル・トルトマ は	
実 施	数值	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達	·····		画における達	
施	目標			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	採用第	章定式	(1)	採用算	津定式	(3)
状	設定 事業	9		9		100			13	
況			%	9 %			%			%
	数値	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画	画における達	達成度
	目標									
	以外 事業						%			%
	尹术	計画に沿って準	備を	准めている			/0			/0
目標達成	戊状況の評		VIII C	C 1/2 C 1 D 0						
L										
	事業の記									
① 必要		の必要性が高い事	美か							
評価	a 必要性									
判断			する	幹線市道であり、通過ダ	を通量の大	:幅増加の	観点からも	安心安全	な道路の整備	前が求
理由	められて	いる。								
② 主体	 性:市が	主体的に実施すべ	き事	業 か						
評価	a 市がi	E体的に実施すべき								
	市道であ	り、幹線道路という	位置	置づけからも、市が実施	すべきで	ある。				
理由										
	1. 一	したとおりの成里。	53 F =	がっているか(新規事業の	り場合けり	[·]入)				
評価		た通りの成果があ		, ノ 、	ノ <i>*///</i> / ロ (みり	u <i>k</i> 2/				
				全が確保されるとともに	東東の:	角行が田 の	旦に ナンス			
判断 理由	少半坦刀	ME y ひしてにより、	女 =	ころは下げることの へいかん	、平門切	画川 いりば	日による。			
	- LL - LL	ナホミ型)- Mm + m + m + m + m + m + m + m + m + m	··	ガッ 十分 ルル・・・・						
		を変えずに、経費								
評価		は積算に基づく経費			rtr v		NIE ALE	+ 3/44	. hohol .	
1.41	用地、補	慣については一般 補	打賞	基準に従い、工事費の算	出につい	ては、茨坎	成県の積算基	を 準により	算定。	
理由	<u></u>									
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業	3,7							
評価	a 至急美	₹施しなければなら	ない			-				
判断	交通量が	増加している上にタ	通し	」の悪いカーブ区間が多	く、歩行	者の安全を	を守るために	こも早急な	よ対策が必要	· · ·
理由					·				-	
	・評価 及り	『今後の重数車	との	方向(総合評価に対	ト するみ:	盖第笙)				
総合評		<u> </u>	A		17、公以、	ロアオノ				
心口口口	іш —	見脚空成な日		 、事業促進を図る。						
今後の	方向性	一物元队を目	IH U	、尹末灰炬で囚る。						
	437 Fr /	<u> </u>	拍印/							
<u> </u>		企画政策課記入	<u>懶)</u>	-1.34						
図 現状		□拡充	닏	改善 編小		□ 統合				
□ 休止		廃止		完了	択					
1		·								

1 事業	の概要・	・成果目標										
	基本目標			心幸せを感じる								
施策	基本施策	き(節) 4-2都 き(項) 4-2-1	市基	盤の充実			担当課	都市建設部	建設課			
区分	個別施第	後(項) 4-2-1:	道路	交通ネットワー	-クの整備	: :						
	事務事	事業名 市道0113	号(i	高萩磯原線)喬	補装事業		事業	平成	18	年度	\sim	
区分	1 新			\rightarrow	継	続	期間	平成	31	年度		
目的		は、国道6号から北	部幹:	線に連絡し、「						1	結ぶ鼓	總
及び	市道です。	。沿線への大型店舗	前の進	世出や、関連道	路からの	充入によ.	る交通量の	つ増加、また	、車両の)大型化等	等によ	り道
背景		が激しく、安全で物										
14,741	舗装工事											-
事業		4,000m 幅員W=9.0	m (南	可中郷停車場線	~北茨城	大子線)						
内容	~~~	1, 000m /m/\(\text{m}\)	(11	3 1 /21/13 1 ///////	1017 (794)							
	数値	項目		算定式	1	旦.幼	口抽	H22年度(まで	の) 安徳値	1100 (+ 7	(a) H	i
	目標	- 現日				取於	·目標 %	11/24年度(まじ	9	H23(X)	(77) 日4	宗但 %
	設定	事業進捗率		積事業費/総事	事業費)		•	0.5			0	/0
成果	事業	7 7.1	$\times 10$	0		1	00	35		<u> </u>	8	
目標	数值	最終目標										
	目標	H22年度(までの)実績										
	以外 事業	H23目標										
2 事業	一一		the @ m	and have a state to the same as at	raderlah //www.h.mt.e.r	a last felte vices de contrar en	Time (de) (S) (man, h	et en ette fette felde van overtre fette felde).	BARRA ON	on (, b, and an) of refer for	. / 8 / 4 / 5 / 5 / 4	
		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 -123事業費	E 2 (H2	33までの美顔他-H22までの美	長柳(恒)/(H23までの)		H23実施内	での実績値+H23実績値)/ マ	取於日標但 (4)fi	23(までの)実績値	1/ 取於日保但	\neg
		1150 于 水黄										_
	0 東北地方太平洋沖地震の影響で事業を見合わせた。											
	**/古				1	Н23	3単年度達	战度	全休計區	画におけ	ス達成	庄
実	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)	目標値		算定式	1)	採用第		3 Œ/M	
施 状	設定					1/1/113	F/L / V		1/1/11/5			
況	事業	0	%		8 %		0	%		35	5	%
V-1	数値	1100字法	70	1100 日 #		110	3単年度達		△₩軕□	五リアナハナ	て法卍	
	目標	H23実績		H23目标	际	H2	3甲干及廷		王 冲 計	画におけ	つぼ风	及
	以外											
	事業	31 37 77 10 7# Lib 1	-der S	业士 ロハノロ > 1-	\ . \ \			%				%
目標達品	戊状況の評	計画通り進捗し	、争	美効未は侍りれ	(いる。							
1 1/1	事業の記											
① 必要		の必要性が高い事業	能か									
評価	a 必要性											
判断	交通量の:	増加に伴う舗装版多	分化を	と修繕し、円滑	な自動車	通行や通	学路の安全	と確保の面が	ら必要性	Eが求めり	られる。	
理由												
② 主体	性:市が	主体的に実施すべる	き事業	と と								
評価		E体的に実施すべき										
1 1001	市道であ	り、幹線道路という	位置	置づけからも、	市が実施	すべきで	ある。					
理由												
③ 有效		したとおりの成果な		ぶっているか(新規事業0	り場合は見	見込)					
評価	. , ,	た通りの成果があ										
1.31-31		間については、路面	前の世	1凸が解消した	ため、降	雨時にも	車両の通行	テが円滑とな	り、水に	はねの問題	題も改	きき
1	れている。											
		を変えずに、経費を			ノタァ							
評価		積算に基づく経費			- 1							
判断	目的達成	のためには、一般的	りかつ	の効果的な手法	である。							
理由												
		に実施すべき事業な										
評価		E施しなければなら										
判断		劣化の影響は歩行者	針にも	及び、事故を	・未然に防	止し、学	重の安全を	を確保するた	こめにも、	早急な対	付策が	必要
理由	である。											
		バ今後の事務事 簿	美の]	方向(総合記	評価に対	する改	善策等)					
総合評	価 ⇒		Α									
今後の	方向性	早期完成に向	け、「	ハっそうの事業	業促進を図	る。					_	
<u>* } </u>		企画政策課記入									-	
☑ 現状:		□ 拡充	=	改善	□ 縮小	_	□ 統合			_		
□ 休止		□ 廃止		完了	□ 不採	択						
		·										

1	事業の概要	成果	目	樗

1 事業	の概要	・成果目標										
	其木日極	医(音) 4 募らし	こ安	心幸せを感じるまち(都	市基盤)							
施策	基本施領	後(節) 4-2都	市基	出来ととぶりるよう (記 盤の充実 交通ネットワークの整備 板屋線) 整備事業		担当課	都市建設部	『 建設課				
区分	個別施領	毎(項) 4-2-1	首路	交诵ネットワークの整備	± Ħ							
	事終国	F業名 市道3061	号 (板屋線) 整備事業		事業	平成	21	年度	\sim		
区分	1 新	規 2継 続	,,, (,	以 上	続	期間	平成平成	28	年度			
		., ., ., ., ., .,) X ₂	・ 検監なため通行に支障を						テた可台	与1.~	
目的 及び	本のかは	果格内の追踪でめ <u>。</u> にも、道路の整備に	/ 、 u † 急系	(性なたの通りに文庫を をとかっています)	2 /L U C V	· 4 9 0 =	上伯で 久坂(ン、糸心中	可削りの地上	1 5 -11	E (C	
及い 背景	7 27 60	(CO、) ,	× 10.43									
月月	学品なるため	マキ 1 170 W	1 0									
事業	追路改艮	工事 L=170m W=	4.0m									
内容												
		_										
	数值	項目		算定式	最終		H22年度(まて		H23(まで	での) 目標		
	目標	± ** `# ++ ==	(累	積事業費/総事業費)		%		%			%	
成果	設定 事業	事業進捗率	×10		10	00	5			10		
目標	数値	最終目標					<u>. </u>					
HW	目標											
	以外	H22年度(までの)実績										
	事業	H23目標										
2 事業	実績		値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値	/最終目標値		
	I	H23事業費			I	H23実施戍	內容					
		647	みら	丁車 I-40m				-				
	647 千円 改良工事 L=40m											
宇	料は H93単年度達成度											
実 施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	採用算	定式	(1)	採用算	章定式	(3))	
状	設定			10	*******			******				
況	事業	7	%	10 %		70	%		12	2	%	
	数值	H23実績		H23目標	Н99	3単年度達	:	全 休 計 i	画における	ス達成	宇	
	目標	1120天順		112.0 日 1示	1120) 平十反圧	沙人又	土件印刷	可(((401))	ひぼ灰	又	
	以外						- 1				- 1	
	事業	7/ 4-1/ EE 28/10/44	(-)				%				%	
日標達R	戊状況の評	改良効果が期待	371	ている。								
I M.Z.	ν.γ.ν.υ. ₁ . γ. μ.	П										
	事業の記											
① 必要	要性:実施	の必要性が高い事	業か									
評価	a 必要性	Łが高い										
判断	狭隘なた	め日常通行や緊急耳	巨両0)通行に支障をきたして	おり、必見	要性が高レ	,					
理由												
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か								
評価		E体的に実施すべき										
		すべきである。										
理由												
	h性:期待	したとおりの成果	35 上 7	がっているか(新規事業の	の場合け見	(込)						
評価		た通りの成果があ			- /// LITS/I							
判断		行が円滑になり、野)改善につかがろ								
理由	- 1/1/4/2世	114 111116.47 7 7	ix∵クロ▽	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~								
	k 体 · 라里	を変えずに、経費	シ下に	ずる 方策け かいか								
		は積算に基づく経費										
評価				っ 基準に基づいて算定して	1/1/2							
判断	上ず頂の	开 山は、////////////////////////////////////	19年2	かがに坐 ノバ・5 昇比 しし	٥. ٩٠							
理由	소.ル. === ==	17 中华上 *** + 300	2.									
		に実施すべき事業										
評価		を施しなければなら		ひとは ロンサイ ツギ	1.1.							
判断	紫急車両	の通行など、生活を	ス援(oためにも早い着手が望	L110							
理由	<u> </u>											
		ゾ今後の事務事	美の	方向(総合評価に対	けする改善	善策等)						
総合評	価 →		Α									
今後の	方向性:	早期完成に向	けて	作業を進める。						_		
7 10 07	// IPJ I工											
<u></u>	欠評価 (企画政策課記入	.欄)									
✓ 現状		□ 拡充		改善 編小		□ 統合						
□ 休止		□ 廃止		完了	:択							
			-									

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

1 事業	の概要	・成果目標										
	基本目標	票(章) 4暮らし	こ安	心幸せを感じるまち(都	市基盤)							
施策	基本施第	策(節) 4-2都	市基	盤の充実		担当課	都市建設部	7 建設課				
区分	個別施領	新(項) 4-2-1	首路	盛の元英 交通ネットワークの整備 桶仕内線)整備事業	<u> </u>							
	車 落 国	其業名 - 市道1027	とここ 長 (A.C. , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		事業	平成	21	年度	\sim	_	
区分	1 新	規 2継 続	,, (続	期間	平成平成	29	年度			
) -	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						取点:	र सर्व	
目的				R登伽で狭隘なことから 道路の整備は緊急の課題			こしていまり)。生活を	ビ又抜し、		11円	
及び	の週刊を	HJREVE 9 る/こめ/にも) , , ,	担応の金属は糸心の味風	C 12 17 (1	· 4 9 °						
背景												
事業	道路改良	工事 L=380m W	= 4.	Om								
尹 夫 内容												
L 1/4												
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	ぎの) 実績値	H23(まで	の) 目標	票値	
	目標		(男	積事業費/総事業費)		%		%			%	
N 177	設定	事業進捗率	×1(1(00	3			2		
成果	事業		/\ I(1(,,,	Ü		·			
目標	数値	最終目標										
	目標 以外	H22年度(までの)実績										
		事業 H23目標										
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	结 小	99までの電線は_P00キベの電体は\ //P00キー	日搏信_1100ナー・	捕結 ② (1100 2	の実績は、田の中体とい	/是数日福建 〇□	99/まなの) 中価値。	是 敛日标件		
		- ※採用算度式:UH23美額個/H23目標 - H23事業費	1E 2 (H	23までの夫頼他-H22までの夫頼他)/(H23までの		H23実施内	での実績値+H23実績値) マン	/取於日標組 ④用	23(までの) 夫頼恒/	収 於日 [保恒]		
		0										
	千円											
実 施	数值	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値								
施	目標 設定				採用算	厚 正式	(1)	採用導	章定式	(3)		
状	事業	0	0 /	2		0	0./		3		0./	
況			%	2 %			%				%	
	数値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における	達成月	变	
	以外											
	事業						%				%	
	チバ	改良効果が期待	され	 ている。			/0				/0	
目標達成	成状況の評			•								
0 = + 76		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
	事業の記		117. 3									
		[の必要性が高い事]	まか.									
評価	a 必要性											
判断	狭隘なた	め日常通行や緊急車	巨両の	D通行に支障をきたして	おり、必要	要性が高い	, 。					
理由												
② 主体	▶性:市が	主体的に実施すべる	き事	業か こうしゅう								
評価	a 市が主	E体的に実施すべき										
判断	市が実施	すべきである。										
理由												
③ 有交		したとおりの成果フ	35 上 7	がっているか(新規事業の	の場合は見	L込)					\neg	
評価		た通りの成果があ			H 10171						-	
判断				也が残るが、道路を整備	するこ レル	こより ま	用率の向	上が見る	まれ る			
理由	111/2/1016	5.CIO/01主汉 ⁰ /5	× 171 ±	ロペ /A O M 、 旭四 C 正 M	, 2 – – – 1	- 5 - 7 \ 1	47 II → 47 III] □	LN /UK2 0	~ u ~ o ~ o			
	L & 株 ・	を変えずに、経費	も下)	ギス古筆けないか							\dashv	
											_	
評価		な積算に基づく経費			1 \ 7							
判断	工尹寅(/)	昇山は、次州界の利	貝昇さ	基準に基づいて算定して	v , つ。							
理由	+ 1:1	Vicebille 2 - 2 - 1 - 2 - 1 - 2 - 1 - 2 - 1 - 2 - 1 - 2 - 2										
		に実施すべき事業が										
評価		以内に実施する必要										
判断	秩序ある	宅地化を進めるため	りにも	5、早い時期の着手が望	ましい。							
理由	<u> </u>											
4 総合	評価及び	び今後の事務事業	権の	方向(総合評価に対	する改善	善策等)						
総合評		1	A		/ • 1	• • • •						
		早期完成に向	けて	作業を進める。							\Box	
今後の	万向性			- *								
※ − ½	· 二次評価(企画政策課記入欄)											
現状		<u>正画以来味品入</u>	11利 <i>/</i>	改善		統合						
□ 休止		□ 旅元 □ 廃止	님	完了		איני □						
		二 冼		<u> </u>	1/ \							

<u>1 事業</u>	の概要	・成果目標								
	基本目標	票(章) 4暮らし	に安	心幸せを感じるまち(都	市基盤)					
施策	基本施領	策(節) 4-2都	市基	盤の充実 交通ネットワークの整備		担当課	都市建設部	3 建設課		
区分	個別施領	६(項) 4-2-1	道路	交通ネットワークの整備						
	事務事	事業名 橋梁長寿	命化	修繕計画策定事業		事業	平成	22	年度 ~	_
区分	1 新	•			続	期間	平成	25	年度	
目的	当市が智	管理する橋長が15m以_	上の橋	は、現在53橋あり、この		50年を経過		喬は1橋で含		が、20
及び	年後には、	この割合が50%を超	え、	急速に高齢化橋が増加しま	す。このよ	こうな背景が	いら、橋梁の	修繕、架権	替に要する経費	貴に対
背景	し、可能な	よ限りコストの縮減に	努め	事後的な対応から計画的	かつ予防的	可な取組を進	 基めるため本	事業を行り	います。	
	対象は橋	長15m以上の橋梁/	١,	全てについて健全度の	把握(点)	検) を行い	ヽ. その結り	見を基に.	維持管理・	修繕・
事業				こめの計画を策定します		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , ,		**************************************	12 114
内容										
	数値	項目	ı	算定式	是 紋	目標	H99年度(す	での) 宝績	H23(までの))日煙値
	目標			サルン サルン	以小、	им %	1122 12 (5	%	1120 (2 (0))	%
	設定	事業進捗率	(事	工業費/総事業費)×100	1.	00	77		6	,0
成果	事業				1'	00	11		0	
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23年度目標								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	· 値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの	目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④H	123(までの)実績値/最終	目標値
7 /10		H23事業費		2004 (Ball / James (Br. 4-7-7)		H23実施内			The second second second second	
	0 (200	上去。河	日本人儿板送到三体点	# 7h	<u></u>				
	3, 0	100 千円	備祭	長寿命化修繕計画策定	美務の美術	也				
字	数値		+ /		H2	3単年度達	成度	全体計	画における遺	 達成度
実 施	目標	H23(までの)実績	貢値	H23(までの)目標値	採用領	章定式	(1)	採用領	算定式	(3)
状	設定	10			\$117,149			******	•	
況	事業	12	%	6 %		200	%		88	%
	数值	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全休計ī	画における遺	幸成度
	目標	1120人/原		1120 日 小八	112	0十十次圧	:19X1X			
	以外 事業						%			%
	尹未	北茨城市 橋	沙長	L 寿命化修繕計画の策定が	 京字上た		70			70
目標達成	戈状況の評	一個	/C.Z.		76,070	-0				
0 車数	事業でき	π/π*								
1 1/1	事業の記	<u>半価</u> の必要性が高い事	失る、							
			表川							
評価	a 必要性		- h	を繕・架替えコスト縮減	少 到面的。	かっるほか	5 +> 15g N ∜日フ	いが去みと	` h Z	
判断 理由	忌医に進	公同即仏術に刈し	C 、 15	が	マンヨー 回口が	// ₁ -7 1/6/10	リイスタッ形成の	ナルれめりと	24で る 。	
	- hth → .2.9	() 大块的大字状子。	٠. -	W 1 .						
		主体的に実施すべ		表 が						
評価		E体的に実施すべき ナジを裏業である。								
判断 理由	川が夫旭	すべき事業である。								
	나나 #02+	ことしわりの仕用。	28 [ジーブンスル(如田古光	고III V IZ E	3 \ 1 \ \				
		したとおりの成果があ		がっているか(新規事業)	// 物ではり	山心)				
				里費の縮減が期待できる						
判断 理由	順条の女	土土と作木し、椎が	4.目方	E負 V相側が捌付じるる	0					
	2W . H	ながらずい 欠曲・	t, T'	ギス七竿けわいふ						
		を変えずに、経費								
評価		は積算に基づく経費の見積を参考しまる			海正かに	故の管山):	マ奴みて			
判断	守门耒石	い兄恨を変有とする	り傾身	草となるため、慎重かつ	画上は価値	育い昇田(-劣める。			
理由	5.14. 医7.5	た中本ナッキュー	٨.							
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	に実施すべき事業								
評価		を施しなければなら の急激な増加が見る		コス市 少人糾チが厄上	フセリア	よ日与いけ	は 本土 ・・・・	ホナフ		
1 4171		の 忌 傲 な 瑁 加 か 見 ī	ひよ∤	いる中、安全性を確保す	っために	も平念に美	∈肥りべさつ	こめる。		
理由	<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ш. ~	<u> 上</u>	L. 上 → →1 ·	14 k/ k/ k/ \				
		<u>♪今後の事務事</u>		<u>方向(総合評</u> 価に対	丁丁 る改	善束等)				
総合評	価 →	D.长 A. M. A. 中 -	A	11. 巨士人儿	hh: -					
今後の	方向性	7橋の健全度の	ノ把握	屋と長寿命化修繕計画の	束疋					
			lee,							
<u> </u>		企画政策課記入	.欄)	-1.24						
□ 現状:	通り	□ 拡充	닏	改善		□ 統合				
□ 休止		□ 廃止		完了	:択					
1										

1	事業の概要	战里	日	輝

1 事業	の概要	・成果目標										
	基本目標	票(章) 4暮らし	こ安	心幸せを感じるまち(都	市基盤)							
施策	基本施第	策(節) 4-2都	市基	盤の充実		担当課	都市建設部	建設課				
区分	個別施領	€(項) 4-2-1	道路	盛の元天 交通ネットワークの整値 新病院東西線)整備事業	 出 用							
	事終国	事業名 市道5371	 号 (新病院東西線)整備事業	" と	事業	平成	22	年度	\sim		
区分	1 新	規 2継 続	.5 (<u>、</u> 送続	期間	平成	24	年度			
			引上幺							伝記がり	た (迷	
目的 及び	車がとの	統合に上り移転し	シュニック シェング	*。 を 過ぶ こ し、 旧 ポ ユ とに 新 市 立 病 院 の 移 設 先	ル人が同り	又で心ふこ 設が決定し	- ナる中垣へ	な備が進ま	100数 月 // p 都 击 計 ii	画成がり 前道窓	1 19年	
背景				し、アクセス機能の強化) [D] (1 4 D] F	3/5/11	_	
月月			_ , , ,					,				
事業		工事〔改良・舗装〕		上关 / 上/叫0								
内容	L=300m	W=9.5m(車道7.0	m, 즈	区坦/月1則2.5M)								
1 3 1												
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(ま)	での) 実績	H23(まて	:の)目標	票値	
	目標	L. SHA S PL L. L.		. Ma He (to to to He)		%		%			%	
H 45	設定	事業進捗率	(事	环業費/総事業費)×100	10	00	3			45		
成果 目標	事業	日45日軍										
日保	数値 目標	最終目標										
	以外	H22年度(までの)実績										
	事業	H23年度目標										
2 事業	実績	※採用篇定式: ①H93宝鑄值/H93日堙	値 勿仰	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの)目標値-H29すでのE	標値) (3)(H99キャ	*の実績値+H23宝績値\	/最終目標値 (A)H	23(主での)宝績量	「/最終日년値		
_ 1. /\		H23事業費	@/II	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		H23実施内		ALL PERSONS CONT.	(0. 4-2/天横旧	- 18-15 H IVIEL	\neg	
											-	
	41,	500	一部	以工事施工L=160m								
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	植	H23(までの)目標値	1	章定式	(1)		章定式			
施	設定				1木川 月	1 化八	Ū	1木川 5	产化八	(3)	,	
状 況	事業	30	%	45 %		67	%		33	3	%	
ÐL	数値		70									
	目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成点	度	
	以外											
	事業						%				%	
		病院敷地内の	道路	改良工事完了。			, , ,					
目標達成	戊状況の 評	福										
9 東敦	事業の記	亚年										
		土畑 の必要性が高い事詞	失る、									
			長//1									
評価	a 必要性		h 74 /	1. 西本 7 7. 平田. 27日上半	0~ 字)、							
判断	新巾丛汭	院への	区5虫1	とのため、必要性が非常	に高い。							
理由												
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべる	き事	業か.								
評価	a 市が主	E体的に実施すべき										
判断	新市立病	院関連の道路であり) 、 F	方が実施すべき事業であ	る。							
理由												
③ 有效	物性:期待	したとおりの成果な	ぶ上が	がっているか(新規事業	の場合は見	1込)				_		
評価		た通りの成果があ										
				っに、アクセス機能の強	化が図られ	れる。					-	
理由			•			~						
	■ 	:を変えずに、経費る	シ下に	ずる方策はかいか							-	
評価		は積算に基づく経費										
				る は、茨城県の補償基準や	不動産郷	定に ト m 垱	中宝 二十字	書の質り	-1/1 - 歩+	成単のチ	害笞	
		、 物圧価値の負用す づいて積算している		~、//シッ/バン/Ⅲ原坐午 \	1 3/1/31.35/	ここのソリ	、ベン、ユヨ	· 只 丷 开口	410 \ IND	ッペノハ Y Z 作	スプト	
-1.												
		に実施すべき事業が										
評価		医施しなければなら			出コッチュ							
判断	新巾	D元への アクセス 強作	<u> </u>	こめ、早急に整備する必	安かめる。							
理由	<u> </u>											
4 総合	評価及び	ゾ今後の事務事 簿	美の	<u>方向(総合評</u> 価に対	けする改善	善策等)						
総合評	価 →		Α									
今後の	古市州	H24年度事業完	成に	こ向けて、作業を進めて	行く。			<u></u>				
フ仮り	刀門生											
※ 二½	欠評価(企画政策課記入	欄)									
☑ 現状				改善	`	□ 統合						
		□ 廃止	同	完了								
<u> </u>												

1 事業	の概要	• 成果目標											
	基本目標			心幸せを感じるまち	(都市基盤)								
施策	基本施第	策(節) 4-2都	市基	盤の充実		担当課	都市建設部	建設課					
区分	個別施領	長(項) 4-2-1	直路?	交通ネットワークの 公井線)整備事業〔己	整備	→ Mc		0.1	F				
区分	事務 1 新		方 (1	公井梯)登伽事業(以	メ及・舗装」 継続	事業 期間	平成 平成	21 27	年度 ~ 年度				
			上郷 9:	期地区の整備に合わ					-				
目的 及び	改良を行	うものです。						E E	************************************				
背景	平成21	年に、改良工事の気	を施に こうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう	こ向けた要望書が区長	長名で提出され	1ています	۲,						
事業	道路改良	工事 L=200m W=7	.5m										
尹 夫 内容													
	数値	石 口	ı	<i>∞</i> ↔ +•	目幼	D +==	1100/F # / 2 **	(a) ###	1100(ナベの)口無は				
	製値 目標	項目	/ III	算定式	最終	日標 %	H22年度(まで	(の) 美領値 %	H23(までの)目標値 %				
成果	設定 事業	事業進捗率	(累 ×10	積事業費/総事業費) 0		00	1	70	,,0				
目標	数値	最終目標											
	目標 以外 H22年度(までの)実績												
	以外 事業 H23目標												
2 事業	事業												
		H23事業貿			I	123美施区	1谷						
		0 千円											
実	数値		: /=±-	1100(ナベの) 日標に	± H23	単年度達	成度	全体計画	画における達成度				
施	目標	H23(までの)実績	但	H23(までの)目標値	採用算	章定式	1	採用算	章定式 ③				
状	設定 事業		٠,	0	0/		0/		1 0/				
況	数値		%	**** DE LET	%		%	A 11.31-	- %				
	目標	H23実績		H23目標	H2;	3単年度達	成度	全体計	画における達成度				
	以外 事業						%		%				
目標達用	<u> </u>	 改良効果が期待 で価	され	ている。	I		/0		/0				
3 事務	事業の記	亚年											
		土皿 の必要性が高い事	業カ1										
評価	a 必要性												
判断	農免道路	中郷2期地区の整備	に合	わせ、松井地区内の	交通環境の改	善を図る	ため必要性	が高い。					
理由													
		主体的に実施すべ											
評価 判断		E体的に実施するこ り、市が実施すべき											
理由	117,22 (0.7		_ (0,	<i>,</i> 0									
③ 有效		したとおりの成果	が上れ	ぶっているか(新規事	業の場合は見	L込)							
評価		た通りの成果があ											
判断	車両の通	行が円滑になり、ろ	で通環	環境の改善につながる	5.								
理由		:を変えずに、経費:	を下り	ギス 古筈 けわいか									
評価		:で変えりに、経賃/ よ積算に基づく経費											
				☑ Ĕにより決定し、工事	事費の算出は、	茨城県0	う積算基準に	こ基づいて	て行っている。				
理由					<u> </u>								
		に実施すべき事業											
評価		に応しなければなら は 日の思えに入れば	-	田間もなり口もとよい	カばかさかい								
判断 理由	中郷2期月	M区の開理に合わせ	に供	用開始を目指さなけ	れはならない	0							
	<u>.</u> ∵評価及7	で今後の事務事	業の	方向(総合評価に	こ対する改	姜策筌)							
総合評		<u> </u>	A	<u> 22 1.3 - Дир Н Н ІЩ (</u>	-/1 / 25以1	コンドゥナノ							
今後の		H25年度の供用	開開始	iに向けて事業を推進	する。								
			擱/										
※ 二〉		<u> </u>		改善□ 約		□ 統合							
		廃止	_		下採択								

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

1 事業	事業の概要・成果目標													
	基本目標(章) 4暮らしに安心幸せを感じるまち(都市基盤)													
施策	基本施第	後(節) 4-2都	市基準	盤の充実		担当課	都市建設部	8 都市計	画課					
区分	個別施第	毎(項) 4-2-1	首路2	5番ネットワークの慗	備	1								
	事務事		起始に	盛の光美 交通ネットワークの整 牧良事業	VITS	事業	平成	19	年度	~				
ラハ	1 新	# 表名 並れ・大 規 2継 続	桃桃	以尺爭未	継続	事業 期間		19 25		\sim				
区分			1 ナングマン	→ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			平成		年度	☆ 沙平 屯只 日	나사다			
目的	農業の近年	「化と晨州坂現の以書 X備車業由郷9期州区	に負うの終さ	「るにめ、次珈県局秋工 京は、都市計画道路「金	型以艮事務別 付•矢茲總∂	Tか平成16年)起占である	ド度かり施行 スポー胆治「	中の、晨4	↑偲兼用博 b郷値亩担	発 田祝り	り。 およっと およっと			
及び	すでの約1	50mの区間は 未整値	量であ	るため農道の公用開始に	合せて改良	かにぶくめる を行うよう	求められてい	主先・用・	广州行平勿		上灬			
背景	S (12 //131	OVIII O E MITOL ONE	m (w)	のため及題の四川川市	-1 - () (211767	7,000 340 00	Φ0						
-1- -2114-	改良・舗	装 L=150m	W=8n	n										
事業														
内容														
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	での)実績値	H23(まで	の) 日村	西値			
	目標	- A H		光ルス	月又小〇	н лж %		0 ₆	1120 (& C	· V2/ H1/5	・ ド 旧戸			
	設定	進捗率	(事	業費/総事業費) ×10) ,			70		0.1	/0			
成果	事業				1	00	47			31				
目標	数值	最終目標												
	目標	H22年度(までの)実績												
	以外	L/A												
0 単紙	中生													
2 事業			値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23ま~				/最終目標値 ④I	H23(までの)実績値	/最終目標値				
	H23事業費 H23実施内容													
		12, 106	用地	買収 一式 改良工事	↓ (十丁. 計	8般工.排	i水丁) —	·式						
		千円	717	AN A SKE				•						
宔	数值	H23(までの)実績	活	H23(までの)目標値	H23	3単年度達	成度	全体計	画におけん	る達成原	芰			
実 施	目標	N23(までの) 美順	门巴	n23(までの) 自保旭	採用類	算定式	1	採用領	算定式	3	1			
状	設定	1.1		0.1		25)				
況	事業	11	%	31	%	35	%		58	3	%			
	数值	H23実績		H23目標	ЦO	3単年度達	:	全体 針						
	目標	1120天順		1120日休	112	0平十尺圧	:) (人) (人)	土件印	回(((401))		Z.			
	以外													
	事業	alla sitta di marena si	, ,	A11=11-21-12			%				%			
日煙凌日	戊状況の評	選価 農業の振興と	ともり	こ利便性が向上し、地	域の発展が	図られる。	0							
口尔进	1X4/\1/1c \2 p	ІШ												
3 事務	事業の記	平価												
		の必要性が高い事	業か											
評価	a 必要性													
判断		合せて供用開始をす	トる必	要がある。										
理由	71. 7 714.			. 54 5 - 50										
	とか・ 声が	主体的に実施すべ	を車式	★ 소 .										
			さずオ											
評価		E体的に実施すべき												
1.31001	市道事業	(める。												
理由	t tal			a										
				ゞっているか(新規事業	その場合は見	記込)								
評価		た通りの成果があ												
判断	渋滞緩和	、地域発展の効果は	ちり。											
理由														
④ 効率	怪:成果	:を変えずに、経費	を下り	ずる方策はないか										
評価	a 適正な	よ積算に基づく経費	であ	3						_				
判断	土木の積	算体系によって積算	算され	たものである。										
理由														
	上 負性・竪刍	に実施すべき事業	λ ₂											
評価		医施しなければなら												
		供用開始すべき	5, 1								-			
判断 理由	2071	MAININI 7 C												
	 新 <i> </i> フィ	マクダ マキガギュ	W ~ -	上台 (⟨W \ == /=)=	<u>しし</u> フ フ フ	子尔州								
		<u>リデ俊の事務事</u>		方向(総合評価に	対する政	音束等)								
総合評	価 →	III	A	4 Fal. 6 - Nr. 22-15 - 2	Ale III 2 % 2 · ·		٠١٠ ١١٠٠	-1. 占 2 ~	A 16: 22.2	-				
今後の	方向性	県で実施予定	の交易	差点改良事業が残る可	能性があり	それに合	せて市道の	改艮する	余地があ	る。				
1100														
<u>₩</u> _}	欠評価 (企画政策課記入	.欄)											
☑ 現状		□ 拡充		改善	小	□ 統合				_				
□ 休止		□ 廃止	=		采択									

<u> </u>	,,, 1	<u>・成果目標</u>													
	基本目標		に安心幸せを感じるまち												
施策	基本施第	策(節) 4-2都	市基盤の充実 道路交通ネットワークの		担当課	都市建設部	都市計i	画課							
区分	個別施領	毎(項) 4-2-1	道路交通ネットワークの	整備											
	事務事	事業名 建築基準	法指定道路台帳整備事業		事業	平成	2 3	年度	~						
区分	1 新	規 2継 続	\rightarrow	新規	期間	平成	2 8	年度							
目的	建築基		部を改正する省令 (平成)		通省第66		建築基準		づく指定道						
及び			るため、指定道路図及び記												
背景	道路は建	築確認事務の根幹。	となる重要なものであるカ	とめ、指定道!	路台帳の雪	を備を行うも	っのである	5.							
,,,,,,	都市計	画区域内の道路に、	ついて建築基準法に基づく	, 区分を行い	路線毎に	一批悉・延長	・ 幅 昌 オ	シ記載した	- 台帳と道						
事業		成を行う。	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(=) = 1,1	PHARTE		ТШУ	2 112 177 0 79	- 1 1 2 2						
内容		· / · · · · · · · ·													
	数値	項目	算定式		目標	H22年度(まで	の) 宝繕値	1100 (+ 7	の)日捶結						
	目標	スロ	新 足八	以小	口伝	1122-12 (3.0	♡/ 天順區	1123(3, 0	V/) 日/际胆						
	設定														
成果	事業														
目標	数值	最終目標	指定道路図及び指定道路	調書の作成											
	目標	H22年度(までの)実績	22年度(までの)実績												
	以外 事業	1 122年度(までの) 美額													
2 事業	実績			,			-								
		※採用算定式:QH23実績値/H23目標 - 123事業費	6値 ②(H23までの実績値−H22までの実績値)/(H23		H23実施内		/最終目標値 (4)H	23(までの)実績値/	/最終目標値						
		120 尹 禾貝			120 大ルビト	14.									
		2,899 千円	過去の確認申請台帳(約	月5000件)の	データ化る	を行った。									
	\K/ /→			поз	単年度達	出曲	会体料 i	画における	2. 法比庇						
実	数値 目標	H23(までの)実績	積値 H23(までの)目標付	白		以及			3 建灰皮						
施	設定			採用具	章定式		採用身	章定式	:						
状 況	事業					%			%						
ÐL	数値														
	目標	H23実績	H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画における	る達成度						
	以外	過去の確認申請台	帳の 過去の確認申請台帳	の	100			0.0							
	事業	データ化及び道路	の判 データ化及び道路の	判	100	%		20	%						
口抽法口	14年2月の封		i台帳(約15000件)のデータ	'化を目標数行	った。										
日保廷	戊状況の 評	-1 Щ													
3 事務	事業の記	平価													
, .,	. , ,	の必要性が高い事	業か												
評価	la 必要性	生が高い こうしゅう													
評価 判断	a 必要性 建築確		必要不可欠な事業である												
判断			必要不可欠な事業である	5 .											
判断 理由	建築確	認事務を行うに際り		S .											
判断 理由 ② 主体	建築確 体性:市が	認事務を行うに際 主体的に実施すべ	き事業か	5.											
判断 理由 ② 主体 評価	建築確 k性:市が a 市がi	認事務を行うに際 主体的に実施すべ E体的に実施すべき	き事業か												
判断 理由 ② 主体	建築確 k性:市が a 市がi	認事務を行うに際 主体的に実施すべ E体的に実施すべき	き事業か												
判断 理由 ② 主体 評価 判断 理由	建築確 *性:市が a 市が 本市は	認事務を行うに際 主体的に実施すべ E体的に実施すべき 特定行政庁であるが	き事業か こめ、市が実施すべきでな	かる。] (入)										
判断 理由 ② 主体 評価 判断 理由 ③ 有效	建築確 *性:市が a 市が 本市は が性:期待	認事務を行うに際 主体的に実施すべ 生体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果	き事業か こめ、市が実施すべきでな が上がっているか(新規事	かる。	1込)										
判断 理由 ② 主体 評価 判断 理 有 ③ 有 ? 評価	建築確 本性: 市が a 市が自 本市は か性: 期待 a 期待し	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果 したとおりの成果があ	き事業か ため、市が実施すべきでも が上がっているか(新規事 る	きる。		更性の向 ト友	ン図ろこり	- ができ <i>ス</i>							
判理 ② 主体 評価 判理 有 ③ 評価 判断	建築確 本性: 市が a 市が自 本市は か性: 期待 a 期待し	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果 したとおりの成果があ	き事業か こめ、市が実施すべきでな が上がっているか(新規事	きる。		更性の向上を	と図ること	こができる							
判理② 主体評判理③ 評判由3 評判由	建築確 注性:市が a 市が自 本市は が性:期待し 加性:期待し 指定道	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 性体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果があ いた通りの成果があ 路台帳を整備する、	き事業か ため、市が実施すべきでお が上がっているか(新規事 る ことにより、情報把握の近	きる。		更性の向上を	と図ること	こができる) ₀						
 判理 ② 主体 料理 ③ 不 評判 申 有 が 利理 分率 	建築確 建築確 a 市が a 市市は が性:期待は 期定道 ※性:成果	認事務を行うに際主体的に実施すべき体的に実施すべき特定行政庁であるがしたとおりの成果がある。 したとおりの成果があるがある。 ことがあるがは、というであるが、これでは、これでは、これである。 これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事 る ことにより、情報把握の を下げる方策はないか	きる。		更性の向上を	全図るこ と	こができる	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
判理 ② 割 主価 期 理 3 評 期 理 4 評	建築確 注性:市が a 市が a 市市は が性:期待は 期定道 が性:成果	認事務を行うに際 主体的に実施すべ 生体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果 た通りの成果があ 路台帳を整備する、 を変えずに、経費 は積算に基づく経費	き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である	きる。		更性の向上を	と図ること	こができる							
判理 ② 割 車 (2) 評 期理 ③ 部 期理 (4) 評 (4) 評 (5) 計 (6) 計 (7) 計 (8) 計 (9) 計 (10) 計 </td <td>建築確 注性:市が a 市が a 市市は が性:期待は 期定道 が性:成果</td> <td>認事務を行うに際主体的に実施すべき体的に実施すべき特定行政庁であるがしたとおりの成果がある。 したとおりの成果があるがある。 ことがあるがは、というであるが、これでは、これでは、これである。 これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、</td> <td>き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である</td> <td>きる。</td> <td></td> <td>更性の向上を</td> <td>≿図ること</td> <td>こができる</td> <td></td>	建築確 注性:市が a 市が a 市市は が性:期待は 期定道 が性:成果	認事務を行うに際主体的に実施すべき体的に実施すべき特定行政庁であるがしたとおりの成果がある。 したとおりの成果があるがある。 ことがあるがは、というであるが、これでは、これでは、これである。 これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である	きる。		更性の向上を	≿図ること	こができる							
判理 ② 割 車 1 1 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 2 1 4 1 3 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 5 1 6 1 7 1 8 1 9 1 1 1 2 1 2 1 2<	建築 確 主性: 市が計 本本 : 期定 本 : 適要 は : 適要 は : 適要 は : で また は	認事務を行うに際 主体的に実施すべき体的に実施すべき特定行政庁であるが したとおりの成果がある。 これであるがであるがであるが になる。 これでは、というである。 は、ないである。 は、ないである。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	き事業か ため、市が実施すべきでお が上がっているか(新規事 る ことにより、情報把握の近 を下げる方策はないか である	きる。		更性の向上を	を図ること	とができる	ò.						
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤	建築確 建築確 本 市が引 本 ・	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 性体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果が した過りの成果があ 路台帳を整備する、 を変えずに、経費 低限の経費である。 に実施すべき事業	き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である	きる。		更性の向上を	子図ること	こができる) ₀						
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評	建築 確	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 性体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果が したとおりの成果があ 路台帳を整備する。 を変えずに、経費 低限の経費である。 に実施すべき事業 人内に実施する必要	き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事 る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である	ある。 業の場合は身 B速化や申請	者等の利値										
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判 ⑤ 評判 ○ 評判 ○	建築 本 は : 市が は は : 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 期 定 成 正 成 正 張 監 性 : 適 要 緊 年 に し 3 路 に し 道 と い 道 と い 道 と い 道 と い 道 と い 道 と い に い に い に い に い に い に い に い に い に い	認事務を行うに際 主体的に実施すべき体的に実施すべき特定行政庁であるが したとおりの成果がある。 と変えずに、経費 は積算に基づく経費 低限の経費である。 に実施すべき事業 以内に実施する必関する情報は、個	き事業か とめ、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である か がある 人の権利等に関係し、特別	がる。 業の場合は見 R速化や申請を を行政庁や指	者等の利値										
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理	建築 (本性: 市が計は ない は がは がは がは がは がま	認事務を行うに際 主体的に実施すべ 主体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果があい。 た通りの成果があい。 を変えずに、経費 は積算に基づく経費 低限の経費である。 に実施すべき事業。 人内に実施する必要 大力に実施する必要 大力に実施する必要 大な情報であるため	き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事 る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である か がある 人の権利等に関係し、特別 か、早急な整備が求められ	うる。 業の場合は身 迅速化や申請 でで変庁や指 れている。	者等の利値										
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 4 財由 主価断由 有価断由 郊価断由 繁価断由 名 本 4 正 日本 日本 <td< td=""><td>建 ・性: 市市市 期定 成正表 急性に可で は 一次では 一次では 一次では 一次では 一次では 一次では 一次では 一</td><td>認事務を行うに際 主体的に実施すべ 主体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果があい。 た通りの成果があい。 を変えずに、経費 は積算に基づく経費 低限の経費である。 に実施すべき事業。 人内に実施する必要 大力に実施する必要 大力に実施する必要 大な情報であるため</td><td>き事業か ため、市が実施すべきであるが上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変を下げる方策はないかである かがある 人の権利等に関係し、特別があるか、早急な整備が求められ</td><td>うる。 業の場合は身 迅速化や申請 でで変庁や指 れている。</td><td>者等の利値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	建 ・性: 市市市 期定 成正表 急性に可で は 一次では 一次では 一次では 一次では 一次では 一次では 一次では 一	認事務を行うに際 主体的に実施すべ 主体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果があい。 た通りの成果があい。 を変えずに、経費 は積算に基づく経費 低限の経費である。 に実施すべき事業。 人内に実施する必要 大力に実施する必要 大力に実施する必要 大な情報であるため	き事業か ため、市が実施すべきであるが上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変を下げる方策はないかである かがある 人の権利等に関係し、特別があるか、早急な整備が求められ	うる。 業の場合は身 迅速化や申請 でで変庁や指 れている。	者等の利値										
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理	建 ・性: 市市市 期定 成正 3 路不 及 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 性体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果がある。 とを変えずに、経費。 は積算に基づく経費 低限の経費である。 に実施すべき事業。 人内に実施する必要 欠な情報であるため。 が今後の事務事。	き事業か ため、市が実施すべきであるが上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変を下げる方策はないかである かがある 人の権利等に関係し、特別があるか、早急な整備が求められます。	かる。 業の場合は B速化や申請 ででいる。 に対する改	者等の利値										
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ④ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評別理 ○ 評別理 ○ 評別理 ○ 計算 ○ 計算<	建 生 は は は は は は は は は は は は は	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 性体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果がある。 とを変えずに、経費。 は積算に基づく経費 低限の経費である。 に実施すべき事業。 人内に実施する必要 欠な情報であるため。 が今後の事務事。	き事業か ため、市が実施すべきであるが上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変を下げる方策はないかである かがある 人の権利等に関係し、特別があるか、早急な整備が求められ	かる。 業の場合は B速化や申請 ででいる。 に対する改	者等の利値										
判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 4 総 今断由主価断由有価断由効価断由緊価断由総合後	建 : t : a 本 :	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 性体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果がある。 た通りの成果がある。 を変えずに、経費 低限の経費である。 に実施すべき事業 人内に実施するは、のは 関する情報である。 が今後の事務事 指定道路台	き事業か ため、市が実施すべきであるが上がっているか(新規事るとにより、情報把握の変を下げる方策はないかであるがある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の権利等に関係し、特別がある人の方向(総合評価がある人の方向(総合評価がある人の方向(総合評価がある人の方向)を表する人の方向(総合評価がある人の方向)を表する人の方向(総合評価がある人の方向)を表する人の方向(総合評価がある人の方向)を表する人の方向。	かる。 業の場合は B速化や申請 ででいる。 に対する改	者等の利値										
判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 評判理⑤評判理 (4) 評判理⑤評判理 (5) 評判理 (6) 深 (6) 深	性 a 本 : 期定 成 要 緊 年 に 可 で か な で は は で は で で で で で で で で で で で で で で	認事務を行うに際 主体的に実施すべき体的に実施すべき、 性体的に実施すべき、 特定行政庁であるが したとおりの成果がある。 た通りの成果がある。 を変えずに、経費 低限の経費である。 に実施するととなりのは果がある。 を変えずに、経費 低限の経費である。 に実施するとの事務事 指定道路台 企画政策課記入	き事業か ため、市が実施すべきである が上がっているか(新規事る ことにより、情報把握の変 を下げる方策はないか である いがある 人の権利等に関係し、特別 がある 人の権利等に関係し、特別 ない方向(総合計画がある 人の権利等に関係し、特別 ない方向(総合計画がある 人の権利等に関係し、特別 ない方向 は、対別 ない方向 は、対	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	者等の利値 定確認検査 善策等)										
判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 4 総 今断由主価断由有価断由効価断由緊価断由総合後	性 a 本 : 期定 成	認事務を行うに際 主体的に実施すべき 性体的に実施すべき 特定行政庁であるが したとおりの成果がある。 た通りの成果がある。 を変えずに、経費 低限の経費である。 に実施すべき事業 人内に実施するは、のは 関する情報である。 が今後の事務事 指定道路台	き事業か ため、市が実施すべきであ が上がっているか(新規事 る ことにより、情報把握ので を下げる方策はないか である いがある 人の権利等に関係し、特別 か、早急な整備が求められ 業の方向(総合評価に A 帳整備を積極的に進める 欄)	かる。 業の場合は B速化や申請 ででいる。 に対する改	者等の利値										

_1 事業	の概要	・成果目標											
施策 区分		票(章) 4暮らし 策(節) 4-2都 策(項) 4-2-2	市基		『市基盤)	担当課	都市建設部	3 都市計	画課				
E //				キングロード整備事業	r 1.0	事業	平成	23	年度	\sim			
区分	1新	170 170		→ 第 ✓グ・ジョギングに対す	所規 ころ更求が	期間	平成	23	年度				
目的 及び 背景	本事業に	より、市民の要求は	ここだ	こえ安全で健全な健康堆	創進の場を	提供する。							
事業内容	て市民の	健康増進ゾーンを新	折設し	<園を中心に、隣接の布 √ます。 延長=1,800m 幅員		理用道路を	利用したり	ウォーキ	ングロー	ドを整備し			
	数值	項目		算定式	最終	[目標	H22年度(ま	での)実績	₹ H23 (まて				
成果	目標 設定 事業	進捗率		業費/総事業費)×100	1	00	0			% 100			
目標	数値 目標	最終目標		者数100人/日									
	以外												
O #-3A	以外												
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23まで		^{目標値) ③(H22まで)} H23実施内		/最終目標値 ④	H23(までの)実績値	包/最終目標値			
		7,387	ウォ	ーキングロード整備L=			120						
実施	数値目標		績値	H23 (までの) 目標値		3単年度達 算定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④			
状 況	設定 事業	100	%	100 %)	100	%		100	0 %			
	数値目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度			
	以外 事業	50人/日	1	50人/日	# / D	100	% la 日子/百	1 / E+	50	%			
目標達成	成状況の評	デ価 得ている。	いって	め認知度が低い割には、	、多くの人	に利用され	ル、足に変	しく歩き	マッハと	の評判を			
3 重殺	事業の												
		ロー画 直の必要性が高い事	業か										
評価	a 必要性	生が高い											
判断 理由	車両交通	と隔離された、安全	全に禾	川用できる歩行者専用道	道路が必要	である。							
② 主体		主体的に実施すべ		養か									
評価		主体的に実施すべき				1- 22 + 24	4						
判断理由				であるが、原因者である			きでめる。						
				バっているか(新規事業	の場合は見	見込)							
判断 理由		<u>」</u> た通りの成果があ が利用している。	<u>න</u>										
④ 効率		とを変えずに、経費											
割断		な積算に基づく経費 積算基準による積質											
理由	上	ルマセトッキュギ	۸.										
5 緊急 評価		に実施すべき事業 実施しなければなら											
判断理由		の高まりにより、「											
		び今後の事務事	-	方向(総合評価に対	対する改	善策等)							
一総合評						花園川の	上・下流の	河川改修	が実施さ	れれば、			
<u>* _}</u>	欠評価 (
□ 現状	通り	□ 拡充		改善回編以		□ 統合							
休止			<u> </u>	完了	※ 択								

_1 事業		・成果目標											
	基本目標	票(章) 4暮らし	に安	心幸せを感じるまち(都	市基盤)								
施策	基本施第	新(節) 4 — 2 都	市基	盤の充実		担当課	都市建設部	都市計画					
区分	個別施領	兼(項) 4−2−2	公園	・緑地の整備									
		事業名 磯原地区	公園	再整備事業		事業	平成	23	年度	\sim			
区分		規 2継 続		→ 新	規	期間	平成	26	年度				
目的			員大 ℓ)公園である。駐車場の						等により北			
及び				みんなが集い利便性の						,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
背景													
	磯原地区な	公園南側駐車場整備	30台										
事業	大型複合過	姓具設置 1台	оод										
内容	公園トイル												
	モニュメン		1	<i>b</i> * <i>→</i> →	E 46	, m 1m:	waste to the	n) 中体(+	1100 / h	(0)日年 (1)			
	★値目標	項目		算定式	取於	· 目標 %	H22年度(まじ	の) 夫頼他	H23(X	での)目標値 %			
	設定	進捗率	(事	業費/総事業費)×100		•		70		, -			
成果	事業	ZD T	(3-	术员/师·尹·术员/ /\100	1	00				100			
目標	数値	最終目標											
	目標	H22年度(までの)実績								-			
	以外												
0 車業	事業 H23目標 H23目標 B23目標 B23目												
2 事業	美実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 2(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				最終目標値 ④H2	3(までの)実績(値/最終目標値			
		日23争来貨			_	H23実施内	一						
		36, 215	駐車	場整備30台、大型遊り	製置1	表							
		千円			***	.))/ - - - - - - - - - - 	N	A 71.31=		~ .+			
実	数值	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		3単年度達	灭 度		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	る達成度			
施	目標			(=: :) (:: : : : : : : : : : : : : : : :	採用領	算定式	(1)	採用算	定式	(4)			
状	設定 事業	59	0/	100		59	0/		5	59			
況			%	100 %			%			%			
	数値 目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画	重におけ	る達成度			
	以外												
	事業						%			%			
	to recover and	H23年の大型遊	4具の)整備によって多くの利力	者が来	園している							
目標達用	成状況の評	光仙											
3 事務	事業の記												
_ , ,,,	, , , , , ,	ロ 岡 『の必要性が高い事』	業力										
評価	a 必要性		~ / ·										
判断			名く	の利用者(特に子ども通	[わ) がり	・園に 本園	している	さらに子	どもに言	えげれる 公			
理由	園とした		<i>></i> \		=40) % =	四八〇八四		C 3(C)	C 010E	104007			
		主体的に実施すべ	を車⇒	学 み、									
評価		主体的に実施すべき		₹ <i>IJ</i> *									
	市の公園												
判断 理由	山10万四国	Cara											
	4.44 . 40.44	ことしわりの出用。	AS 1. 5	ジュアレフュン(年刊事業/	7相 V VF F	3 '1)							
				がっているか(新規事業の	ノ場合はタ	え込)							
評価		ンた通りの成果があ 用者が利用者を呼ん		\7									
判断 理由	前題と利	用有が利用有を呼ん	vev	' 5.									
	5 U. A. H	マボンツ 欠曲	<i>ک</i> ہے۔	ドフナがルル									
		を変えずに、経費											
評価		が減を検討する余地			7								
判断	さらに価	格調査をして経費を	と洛と	ナす努力をする必要があ	る 。								
理由		S = 11. S = 1											
		に実施すべき事業											
評価		実施しなければなら											
判断	去年の整	備なので時期を離る	さない	いで実施した方が効果が	ある。								
理由													
4 総合	評価及で	び今後の事務事	業の	<u>方向(総合評</u> 価に対	する改	善策等)		_	_				
総合評	- 価 →		Α										
A.W.O.	卡白州												
一一一一一	方向性												
<u>* _ ;</u>	次評価 (企画政策課記入	.欄)										
現状		□ 拡充		改善 編小		□ 統合							
		□ 廃止		完了									
H													

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

↓ 事業	がここと	・成果目標											
施策	基本目標	票(章) 4暮らし 策(節) 4-2都	市基礎	○幸せを感じるまち(都 盤の充実	市基盤)	担当課	都市建設音	『 都市計	画課				
区分	個別施第	策(項) 4-2-2	公園	・緑地の整備		1							
	事務事	事業名 きめ細か	な交付	寸金事業		事業	平成	22	年度	\sim			
区分	1 新	., ., ., ., .,		\rightarrow		期間	平成	23	年度				
目的	中央街区	区公園については、平 № かまっい思がわる。	成16年	Fに区画整理事業が完了し 急に整備することが求めら	、周辺は良	好な住宅は	也となってい	るが、住民	その交流や	で憩いの空間			
及び	及の防炎が	&肥を持つ公園かなく 夏広場公衆トイレにつ	、平にいてに	āに登佣することが求めら は、JR磯原駅舎の橋梁化	なんている。 こに伴い、り	マ東口に設置	置されていた	公衆トイリ	∠が新設⊄)駅西口へ移			
背景	設されたた	とめ、「ふれあい公園	利月	目者等、内外の来訪者が不	便をきたし								
事業	機原駅東	に公衆トイレ1棟、	機原	中央公園整備A=13,019) mí								
内容													
	数値	項目	1	算定式	具效	·目標	1199年度/ま	での) 宝徳	1100 (3: -	での)目標値			
	目標	供日	+1. /-		取形	96		%		<u> </u>			
l> m	設定	進捗率	()	「済事業費/総事業費× 100	1	00	76.	, -		100			
成果 目標	事業 数値	目如口槽		100	1		10.			100			
口伝	数値 目標	最終目標											
	以外												
0 年紙													
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 - 123事業費	値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		標値 ③(H22まで) 日23実施内		/最終目標値 ④H	23(までの)実績(值/最終目標值			
	25,	²⁰⁷ 千円	磯原	駅東公衆トイレ1棟整備	前、磯原中	央公園A=1	13,019 m² (‡	繰越分)					
/ - / -	数値		1		H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度			
実施	目標	H23(までの)実績	責値	H23(までの)目標値		章定式	2		算定式	4			
状	設定	100		100		100		·	10				
況	事業	100	%	100 %		100	%		10	%			
	数値 目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画における達成					
	以外												
	事業						%			%			
日梅泽	成状況の割	東日本大震災	の発生	生によりH22年度中の供	用開始が、	H23, 6, 1	になった。						
	事業の語												
		の必要性が高い事	業か										
評価	a 必要性		ケノキ	せられているため必要	はなった								
判断 理由	川氏の登	畑に刈りる安全かる	夕く司	でもなくいるため必多	当生が高い。								
	 k性・吉が	主体的に実施すべ	を重さ	き カン									
評価		上体的に実施するこ											
判断		すべき事業。		<u> </u>									
理由													
③ 有效	动性:期待	したとおりの成果	が上カ	ぶっているか(新規事業	の場合は見	見込)							
評価		た通りの成果があ											
判断	供用開始	後多くの人に利用る	され期	待どうりの成果があっ	た。			_	_				
理由	bu bm	1	·	1) we 1 . holes , 2									
-		を変えずに、経費											
評価		よ積算に基づく経費 積算基準による積質		<u>ි</u>									
判断 理由	/人列 州 (7)	惧界巫牛による傾身	卆₀										
	┃ 負性・竪急	に実施すべき事業	ትኔ										
評価		に											
判断		民の利用に供すべる		である。									
理由													
		び今後の事務事	業の	方向(総合評価に対	付する改	善策等)							
総合評	価 ⇒	115 Ab - 75 E)	A		-t			the A A	ere vie in	H			
今後の	方向性			したが、車道と独立した のほか駅東地区の活1									
				vノはが駅界地区Vノ石1	エ1日Vノ/こめ	又週ハリ	, ノッ一寺	い旭界で	口用快的	」y * ^ さ。 			
※ 二次 現状		<u>企画政策課記入</u> □ 拡充		改善	`	□ 統合							
□ 現状 □ 休止		□ 松元 □ 廃止		以善 □ 稲7 完了 □ 不扬									
		山 冼北	<u>Ľ</u>	<u> </u>	\J/\								

_1 事業	の概要	・成果目標												
	基本目標			心幸せを感じるまち (都 [*]	市基盤)	I may be some	tona I and and I	t-n-m						
施策 区分		度(節) 4 — 2 都		盤の充実		担当課	都市建設部	化 建設課						
四刀	- 個別 胞 夕 事務 事	策(項) 4-2-4 転業名 古労住宅		階段補修事業		事業	平成	14	年度 ~					
区分	1 新	•	クト市	1	続	期間	平成平成	30	年度					
目的)屋夕	ト非常用階段について、	., -					の安全				
及び	性を確保	し、入居者の快適で	で安心	いした生活を確保するた	め改修を行	行う。								
背景						/ I I I I I I I I I I I I I I I I I I I								
事業				新たな非常用階段の設 角り場の部分改修工事を			也、臼場住写	芒)						
内容	2Fm711FE	校 少 王田 けい 3 至 表 //	C O I	17%00的月0000五年6	וו ל לודוי	m) [고] 노다)								
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度 (まて	での)実績値	H23(までの)	月標値				
	目標			団地15棟+	20,113	棟		棟	1120 (01 (12))	棟				
成果	設定 事業	非常階段補修棟数		住宅1棟+ 団地4棟	2	0.0	11	1	2					
目標	数值	最終目標	1116	T1 > C 1 / N										
	目標	標 外 H22年度(までの)実績												
	以外 事業 H23目標													
2 事業	実績		値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの)/最終目標値 ④ H2	23(までの)実績値/最終目	標値				
]	H23事業費			I	H23実施内	內容							
		5, 702		中妻団地 1棟	日場団地1	棟								
	数値	5,102 千円 1			Н23	単年度達	成度	全休計画	画における達)	成度				
実 施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		章定式	(1)	採用算		(3)				
状	設定	2		2		100			65					
況	事業数値	2	棟	棟			%			%				
	製値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計画	画における達	成度				
	以外													
	事業	年次計画のとお	りみ	 修工事を行っている。			%			%				
目標達成	戊状況の評	酒	76											
3 事務	事業の語													
1 1/1	7 / 1 7	 の必要性が高い事	業か							\neg				
評価	a 必要性													
1.31-31	安全の面	から改修する												
理由	とは、土が	`子 从 的医字坛子。"	と事	些 み、										
評価		主体的に実施すべき	2 尹 🤃	表 <i>川</i> ・										
判断		であるため実施する	5											
理由														
	•			がっているか(新規事業の	り場合は見	見込)								
評価	//*.*	」た通りの成果があ 及び早期声においる	_	まがな ス										
判断 理由	女王の囲	及び景観面において	、八人う	< N + Ø) < O										
		:を変えずに、経費:	を下げ	 げる方策はないか										
評価	a 適正な	よ積算に基づく経費	であ	る										
1 4777			设置。	^ト ることによるコストの	減があっ7	た。またス	ナールステン	レスのた	め塗装等の値	修繕費				
	が発生し		7 .											
評価	•	に実施すべき事業を しなければなら												
		が全体に及んでいる												
理由														
4 総合	·評価及で	び今後の事務事	美の	方向 (総合評価に対	する改	善策等)								
総合評	価 ⇒		Α											
今後の	方向性													
<u>₩</u> _}			1指/											
		<u> </u>	·/[閉 <i>]</i>	改善		□ 統合				$\overline{}$				
一休止		□ 廃止		完了										

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

1 事業	事業の概要・成果目標													
	基本目標(章) 4暮らしに安心幸せを感じるまち(都市基盤)													
施策	基本施領	後(節) 4-2都	市基盤	との充実		担当課	都市建設部	建設課						
区分	個別施第		住宅											
	事務事	に、ハ/ - 1 - 1 主業名 - 古受住字	デート 答理す	事業 (解体工事)		事業	平成	1 2	年度	\sim				
区分	1 新		日生日		続	期間	T-)3X	1 4	十尺					
			み てドヨ [揚者住宅は、築46年		. ,	 しんとマスキ	はなんしゃ ぶつ	生たでいる	ス 2日	1:17			
目的				物率な運営と環境悪化 効率な運営と環境悪化					些ん くいく	り。 1R.2	Z(C			
及び	みる王体		T-[0/	が 中は 医白 こ 然 免心 口	Z 101 / 100	94X 9 4X (ンが必安くす	0						
背景)))	/!	-l-) -l- (/)										
事業	空き棟	になり次第、順次角	解体工	事を実施する。										
争来 内容														
L 1/4														
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(まて	での) 目標	票値			
Į.	目標		下桜井	‡団地、小野矢指団地、		棟		棟			棟			
,	設定	解体棟数		首住宅木造50棟、簡易耐	7	0	15			1				
成果	事業		火造2	0棟	'		10			1				
目標	数値	最終目標												
ļ	目標 以外	H22年度(までの)実績												
	事業 H23目標 H23目													
2 事業				V										
<u> 4</u>	美実績 ※採用算定式: ①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ④H23(までの)実績値/最終目標値													
	H23事業費 H23実施内容													
ļ		3, 486	-	下桜井南木造住宅 6棟	į									
ļ		千円												
実	数值	H23(までの)実績	結	H23(までの)目標値	H23	単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成点	度			
実 施	目標	1123(よくり)大順		1123(よくの) 日 示 [採用算	草定式	1	採用算	章定式	3)			
状	設定	C		1		600			30	1				
況	事業	6	棟	1 棟		600	%		3(J	%			
ļ	数值	H23実績		H23目標	Н99	3単年度達	:	全休針i	画におけ	ス達成」	庇			
	目標	1120天順		112.0 日 1示	1120) 平十尺足	: 八人/文	土件町	囲(これつ()	るほ派	又			
ļ	以外													
	事業						%				%			
日捶滓□	お出るの割		ないと	:取壊しができないため目	標達成は入	、居者の状況	兄による。							
日保廷用	成状況の評	-1IIII												
3 事務	事業の記	平価												
		の必要性が高い事	業か											
評価	a 必要性		710.77											
判断			要 曾 晋	化や事故を防止する										
理由	土水ツル		ベンセルい											
	- Lul. → 2 ×		ン 士 米	2.7.										
		主体的に実施すべる		₹ 刀 ³										
評価		E体的に実施すべき												
1.21-21	市営住宅	であるため実施する	5											
理由														
③ 有交	物性:期待	したとおりの成果を	が上が	いているか(新規事業の	の場合は見	L込)								
評価	a 期待し	た通りの成果があ	る											
判断	防犯及び	環境衛生が向上して	ている											
理由														
	を性・成里	を変えずに、経費を	を下げ	る方策はないか										
評価		よ 積算に基づく経費												
		から取壊し費用はで												
判断 理由		ル [・] り収依し賃用は「	ر ط لك	v · (0) 00										
	7 [r] Edg 4		,											
		に実施すべき事業												
評価		を施しなければなら	ない											
判断	環境悪化	や事故を防止する												
理由														
4 総合	・評価及で	ブ今後の事務事	業のフ	方向(総合評価に対	する改装	善策等)								
総合評			A	<u></u>	. , 🐷 🔿 📢									
				ı							\neg			
	方向性													
今後の														
		<u></u> 人面政签細和 7	1間/											
<u>* </u>	欠評価(· 安. 1		□ 休∧								
	<u>欠評価(</u> 通り			改善 ☐ 縮小 完了		□ 統合								

1 事業	の概要	・成果目	標											
	基本目標	票 (章)	4暮ら	しに安	心幸せる	を感じる	まち(都	市基盤)						
施策	基本施第	(節)	4 - 2	都市基	盤の充	実			担当課	都市建設部	都市計	画課		
区分	個別施領	も (項)	4-2-	4 住宅	<u> </u>									
	事務事		木造住	宅耐震	診断士	派遣事業			事業	平成	2 1	年度	\sim	
区分	1 新		2継 編			\rightarrow	継	続	期間	平成	2 7	年度		
目的					こされた	建築物				法律(平成			と) に 基	ごづ
及び	き、北茨	城市耐震	改修促	生計画	を作成し	、ており、	その中	で既存建	築物の耐湿	慢性能を確保	よするため	り、耐震	診断と	その
背景										津築物の耐 層				
14,741	オート	其淮 (昭	和 5 6 年	E 5 日	3 1 FD	1前)に	トり建筑	された	在来工注()一戸建てオ	て告住字を	シ対象に	所有:	そ カゝ
事業	ら耐震診									· / / / (/)	·ÆE 0	年間2		
内容	とする。	.,, .,,	<i>y</i> (,)(,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			- 112//		•			1 11.3 =	- /	
	数値	T2	頁目		,	算定式		旦、幼	·	H22年度(まで	の)字集値	1100 (3-	50) H	番店
	目標	ち ち	2 1					取形	<u> </u>	1122十及(よく	%	Π23(≭ ((107) 目1	宗旭
	設定	診断済住	主宅の割	=		宅/対象	住宅)		•	0.0	, -		50	/0
成果	事業			$\times 1$	00			1	.00	38			50	
目標	数值	最終	冬目標											
	目標	H22年度(までの)実	績										
	以外 事業	H23目標												
2 事業	事表 1120 177 17													
<u> </u>		123事業		口标吧	(1120よ くり天順	<u> </u>	(直)/ (H23よ (V)		H23実施内		/ 政府で口信他 受力	23(よくの)大横川	旦/ 収 杯ぐ口 切出	
										· H				
	700 千円 20戸の耐震診断を実施した。													
-	数値							H2:	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成	度
実 施	目標	H23(ま	(での)実	績値	H23 (までの)	目標値		算定式	(1)		章定式	4	
ル 状	設定							1/1/11			DK/113			
況	事業			50 %			50 %		100	%		5	0	%
	数值	Т	H23実績	, -		H23目標	·	цо	3単年度達		全体 計	画におけ	る達成	
	目標	1	140天順			1123日 保	ξ.	112	3年十及廷	: 以 交	土平川	型(こなり)	つ连灰	泛
	以外									0/				0/
	事業	2周十	: 9 年期7	日捶三	おの診り	折を行って	1.17			%				%
目標達成	戊状況の評		、3十间(口1示/	・女人 0 7 日夕 四	1を11つく	. v · 🎝 o							
1 1/1	事業の記		33-4-	- NIC >										
	厚性:実施		が高い	事業か										
評価	a 必要性			4-	2011 d att 2	·	<u> </u>	_ &=	> \/ 	» <u></u> .				
判断	震災が	発生し、	市民の	大解	消や暑り	うしの安心	心・安全	の観点か	ら必要性が	7 唱い。				
理由														
	体性:市が				業か									
評価	a 市が主				1. 33 11		- 1							
判断	市民の	生命財産	を守るだ	こめ、	市が実施	重すべき	である。							
理由														
	协性:期待				がってい	ハるか(親	が規事業の	り場合はり	見込)					
評価	a 期待し					1 11.	S 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
判断	耐震診	断を行う	ことに。	こり、 3	建て替え	てや改修7	が促進さ	れる。						
理由	→ Lil.	٠٠ - ساب ير	*	ш э. —-	, n 1 '	** 11 ?	,							
	区性:成果					末はない:	カュ							
評価	a 適正な					- L h /-								
判断	診断質	用は、茨	城県建築	会士会	の単価に	こより行っ	っている							
理由	. III. 1859 5) - H (L 2		114.)										
	急性:緊急													
評価	a 至急第					3 1, 444 200	ナカフェ	~ D b	\$\\L\ \ -\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	/ 亜ベナッ				
判断	市内の	小 垣任宅	(V)43.6%	o スン゙mf)	展性 个人	上と推測る	されるの	の、早急	は対応かず	公要である。				
理由	<u> </u>	10 A 44	\ 	구 시1/A ·	L/	(A) A ==	G /mt) - /]_ ₩ →/	- Africa fortion hadra \					
	評価及び	<u> 予学後の</u>)事務)万同	(総合計	ド価に対	する改	善策等)					
総合評	価 →		コムシェデ	A	: z #	ルルナル	光上ッ・	7 <u> + 2</u> 11	4) - ± - 1	7				
今後の	方向性	F	2.思に耐	長診断	「・耐震」	次修を促	進するた	.め、事業	きに着手す.	ఏ 。				
		<u> </u>	<i>h</i>	→ 1mm'										
<u> </u>		企画政		人欄)										
現状:		拡充		F] 改善		縮小		□ 統合					
□ 休止			Ε		完了		□ 不採	灯						
i e														

<u>1 事業</u>	の概要	・成果目標										
	基本目標			安心幸せを愿								
施策	基本施第	ઈ (節) 4 -	2都市	基盤の充実 資源の確保				担当課	水道部 施	 投課		
区分	個別施領	策(項) 4−2	2-5水	資源の確保	・上水道の	整備						
	事務事	事業名 関本	中郷	簡水基幹施調	设改良事業			事業	平成	14	年度 ~	,
区分	1 新	•			→	継続		期間	平成	25	年度	
目的		郷簡水は(S46		E度) 建設か	ら30年に		品 1. · · · ·					定供給
及び		るには施設を見										/L
背景	2,12,7	J. 10/20/20	20,0100	X1,12,17,1 C 1,1	a,,., a,a,				<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		- 0	
日水	エルタナ	設工事(老朽 ⁹	公田 近									
事業		政工事(名竹) 浄水場電気計			1式							
内容	以小小勿、	17/10/2017	₹X U 1)	交/队 区 /用	1 14							
)// /	T		fata			· ·		1			
	数值	項目			定式		最終	目標	H22年度 (まで		H23(までの)	目標値
	目標 設定	66日 小学 专业		21年度の上・簡				%		%		%
成果	事業	簡易水道有収		84.62%を最終 簡水有収率73			84.	. 62	71.	32	80. 11	L
目標	数値	最終目標		.18771 17 17 17 17	31.00/014 3.12	' !			ı		1	
	目標	H22年度(までの										
	以外) 天順									
	事業	H23目標										
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績個	直/H23目標値	②(H23までの実績値-H2	22までの実績値)/(H2	3までの目標値				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終	目標値
	I	H23事業費					I	H23実施内	容			
		46,000	Z	過装置(1基	.)							
		40,000	千円 ~) 過表色 (1条)							
寉	数値	1100 (+ ~0)) 安建は	1100/3	ズの) 口挿	击	H23	単年度達	成度	全体計	画における達	 成度
実 施	目標	H23(までの))	H23(x	での)目標(旦	採用算	章定式	1	採用算	算定式	4
状	設定	設定 00.00								70		
況	事業	б	06.86	%	80.11	%		83	%	79		
	数值	H23実	結	П	23目標		Н2'	3単年度達	战度	全休計i	画における達	金出度
	目標	1123天	小貝	114	20日1示	112.	9年十尺足	队反	土件川	国におりるほ	沙人之	
	以外	1.50										
	事業	1. 火土水	- 	- 1.1× 1.05	÷÷₩«Λ	如五二万	/sla de	7 - 1 2	% > 	F0 050/d	- 1 -> 1 - 	% 1 ++=n
月標達fi	成状況の評			て水道水の3 んでいるが、						牛2. 25% =	可上を目標と	し他設
		\$X,410	-4ХУ \	70 ((1 3 2 7 1	,口际连风	2 4 (は土り	(, , , , , ,)			
	事業の記	, .										
① 必要		の必要性が高	い事業	うゝ								
評価	a 必要性	生が高い										
判断	経年劣化	した施設、設備	備は改良	き、更新の実	を施により糸	継続性る	を維持で	する必要か	ぶある。			
理由												
② 主体	*性:市が	主体的に実施	すべき!	事業か								
評価	a 市が主	上体的に実施す	~べき									
	水道事業	者は自己責任の	の範囲に	こおいて、使	見用者のニー	ーズ等る	を勘案	し、事業規	模、財政規	見模に応し	こてより高い	水準の
理由		を目標としなり										
	・ か性・期待	じたとおりの	成果が	上がっている	ろか(新担重	業の増	場合け 目	見込)				
評価		は少ないが、今				- / N ~ / ~ //	, _Ц (Ф)	u~_/				
判断		定供給を成果「				での実理	退が困る	誰かこレカ	1ら右巾 恋さ	> 数值日料	画レーでいる	ため向
刊 理由		上げが期待ど			// 、	< v / 1X *	ノロイター KIN ヺ	∠π.φ ⊂ ⊂ \(\(\)	ショ水子で	- 9A IE F 15	~ C C (1. Q	/こ ^/ [¹]
		エリックの (*): :を変えずに、;		-	+ <i>t</i> al.\ <i>t</i> \							
					ナ(ナハ,1),							
評価		よ積算に基づく	,—,		ジェンティンフ							
判断	傾昇は厚	生労働省・茨場		早 本 年 に 基 へ	いいくいる。							
理由												
		に実施すべき										
評価		を施しなければ								- I		
1 41//1		たって給水の気	安定性、	安全性を維	Ě持していく	くためり	こは、	計画的に加	西設の改良勇	見新を実施	色していくこ	とが重
理由	要である	0										
4 総合	評価及び	び今後の事務	务事業	の方向(約	総合評価に	こ対す	る改	善策等)				
総合評				A		•						
A.W. A.	+	現状を維	持しつ	つ、平成25年	再度完了を	目標と	する。					
今後の	力问性											
<u>* </u>	欠評価 (企画政策課	記入榻	割)								
☑ 現状:		拡充		改善改善	m á	宿小		統合				
		廃止	Ī	□ 完了		不採択						
					<u>L</u>	. 4/11/1						

1	事業の概要	成果	目	煙

<u>l 事</u> 美	その概要	・成果目標									
施策 区分	基本目標 基本施第 個別施第			幸せを感じるまち の充実 「の確保・上水道の		担当課	水道部 施	設課			
	事務事	事業名 老朽施設	更新事	業		事業	平成	18	年度	\sim	
区分	- 101	規 2継 続		\rightarrow	継続	期間	平成	38	年度		
目的 及び 背景		の整備をすることに 年次計画的に実施っ		、将来にわたり持	続可能な水道	を確立し、	安全で安心	いな水を値	共給する	ため、	施設
事業内容		石綿セメント管)の 36km)を約20年でれ						ている約4	13km (234	年度完	了時
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まで	ごの) 実績値	H23(まで	ごの) 目	標値
成果	目標 設定 事業	上水道有収率	収率3%=9	平目標95%-県全体の平均4 92%を最終目標に、H20上水 ら年0.4%の向上を目指す。	有収率	2. 00	82.	50		5. 90	%
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業		※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23)	までの実績値-H22までの実績値)/(I			での実績値+H23実績値	/最終目標値 ④	H23(までの)実績値	直/最終目標	値
		H23事業費				H23実施P	竹谷				
		69,920 千円	石綿さ	アメント管布設替	L=608m						
実施	数値目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標	! 佰	3単年度達 算定式	成度 ①		画におけ 算定式		t度 ④
状 況	設定 事業	73. 65	%	85. 90	%	86	%	80			%
	数値 目標	数値 目標 以外		H23目標	H2	3単年度達	並成度	全体計画における達成度			
	事業						%				%
目標達用	成状況の評			傾向にあることだ 業の進捗が率向」			漏水水量等	を減少さ	せること	が有り	又率
	等業の記	·									
		の必要性が高い事	業か								
評価	a 必要性	Eか高い 進んだ管路の強度 <i>D</i>	みてビ糸座	手並公の改善は	右辺麸う凹め	の方法はき	とうにくい				
判断 理由	7E111602	E/U/C 目 四 ♥ J (R/文 /)	文 〇 州西	于即为少以音传、	和政日 んめ/	V) // 14/4°	7 / C (V °				
	▲ 本性:市が	主体的に実施すべ	き事業	か							
評価	a 市が主	E体的に実施すべき									
判断理由	施設整備	者は自己責任の範囲を目標としなければ	ばなら	ない。			規模、財政規	見模に応う	じてより	高い水	.準の
		したとおりの成果			事業の場合は	見込)					
評価 判断		は少ないが、今後向 数値目標としている			期待どおりい	かない。					
理由				and I felter - S							
		を変えずに、経費									
評価 判断 理由		☆積算に基づく経費 生労働省・茨城県₹			0						
	<u>l</u> 急性:緊急	に実施すべき事業	<i>λ</i> ,								
評価		ミ施しなければなら									
判断 理由	要である						施設の改良	更新を実力	をしてい!	くこと	が重
4 総合 総合評		バ今後の事務事	<u>業のナ</u> A	5向(総合評価 1	に対する改	善策等)					
	方向性		期であ					の見極め	を行い、	経営場	犬況
<u>* _;</u>	<u> 次評価(</u>	企画政策課記入	.欄)								
☑ 現状	:通り	□ 拡充	<u></u> <u></u>	女善 □	縮小	□ 統合					
休止		□ 廃止	<u> </u>	官了 🗌	不採択						
I											

1 事業	の概要	• 成果目標										
	基本目標			心幸せを感じるまち(都	市基盤)							
施策	基本施領					担当課	都市建設部	下水道語	果			
区分	個別施領	策(項) 4-2-6	下水:	道の整備								
	事務事	•	道事	業の推進		事業	平成	4	年度	\sim		
区分	1 新	., ., ., ., .,		→ 継	- 17 -	期間	平成	3 2	年度			
目的				水質保全のため、平成								
及び				処理場及び管渠整備の 事業を推進している。	促進を図	ってきた。	平成22年	と度からに	、 血整位	備の拡え	大を	
背景			以 ひノヨ	●果を推進している。								
事業	第2期認可	事業 度 平成22~28年度(7カ年)								
内容	②計画地I ③計画面類		磯原町	駅西・駅東・松が丘団地地区								
	④計画人	口 1,509 (人)					•					
	数値	項目		算定式	最終	·目標	H22年度(まで		H23(まて	ごの) 目れ		
	目標 設定	水洗化率		接続済人口/②供用区		%		%			%	
成果	事業	7N-70-11-4-	域人	.□) ×100	8	32	69			67		
目標	数值	最終目標					•	•				
	目標	H22年度(までの)実績										
	以外 事業	H23目標										
2 事業	事業実績 ※採用算定式: ①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ④H23(までの)実績値/最終目標値											
		※採用算定式:(DH23美額値/H23目標 H23事業費	uel (2) (H	20ま い天順他-1122までの夫頼他//(H23までの		H23実施内		#X終日孫祖 ④H2	いま いの 夫額制	3/ 收於日標値	$\overline{}$	
				医自动性 经有力 医乳儿 经基础 …		2 4 7 6 1	-				\dashv	
	485,609											
中	数値		: /	1100 (A = =) = (= 11)	H23	単年度達	成度	全体計画	画におけ	る達成	度	
実 施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値)	
状	設定	71		67		106	7	1	-			
況	事業	71	%	67 %		106	%	71			%	
	数値	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達	成度	全体計画	画におけ	る達成	度	
	目標	2 1.01		7 - 74			., , 1.2 2					
	以外 事業						%				%	
	目標達成に向けて、順調に進んでいる。											
目標達成	成状況の評	価										
3 事務	事業の記	平 価										
		の必要性が高い事	美か									
評価	a 必要性											
判断			も用オ	く域の水質保全を図る必	要がある。)						
理由												
② 主体	体性:市が	主体的に実施すべ	き事	美 カ・								
評価	a 市が主	E体的に実施すべき										
判断	市の施設	であり、市が取り約	且む~	ヾきである。								
理由	<u> </u>											
③ 有效	動性:期待	したとおりの成果	が上れ	がっているか(新規事業の	り場合は見	見込)						
評価	,,,,,	した通りの成果があ	る									
判断	順調に進	んでいる。										
理由												
		:を変えずに、経費:										
評価		は積算に基づく経費		る								
判断	茨城県積	算基準に基づいてい	いる。									
理由												
		に実施すべき事業										
評価		に施しなければなら に関係の34 ぎょひ		はないに際加入できる	65 1 Hn === -		11 2.64 2 66 ~	#0 == 7>>>	r₩) - -	T.) -	7 市6	
1.40		店埬兎の改善と公∋ 促進を図る必要が♪		く域の水質保全のため、	界Ⅰ 期総	り 争業に5	さ続さ第2	期認可事	*兼に看	手し、[田 整	
理由				十百 (纵入部屋)===	トファルー	子かかい						
		ノ <u>今俊の事務事</u>	-	方向(総合評価に対	する改	善束等)						
総合評	価 →	密の 脚却 司事	A 类1~	より、管渠の整備を推進	主コル連ル	お伊准士	Z					
今後の	方向性	- 男 ∠ 規 総 刊 争	未に	より、 目呆の登開を推進	: レ <i>小和</i> 1化	な ル延り	る。					
<u> </u>	炉砂缸 (/ 小画砂築細和コス	1間/									
※ 二次 現状		<u>企画政策課記入</u>		改善		□ 統合					 1	
_		□ 拡充 □ 廃止	님	完了								
□ 休止		<u> </u> <u> </u>										

1	事業の概要・		出出	Ħ	抽
	# = //////	•	$\Pi V \rightarrow K^{-}$	н	$\Lambda =$

<u> </u>												
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	新(飾) 4 — 9 都	古其般	幸せを感じるまち(蚤の充実 五の敷借	都市基盤)	担当課	都市建設部	下水道	課			
·	個別施芽 事務事			重の起発 重の整備 		事業	平成	1 0	年度 ~			
区分	1新	規 2継 続		\rightarrow	継続	期間		·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
目的 及び 背景	める。			地区漁業集落排水施								
事業内容		の適正な維持管理を	· 促進	するため、排水施設			舌動(戸別記 	方問等) を 	と積極的に進める。 			
	数値 目標	項目		算定式	最終	· 目標	H22年度(まて		(0. 4 .)			
成果	設定 事業	接続率	(接級 数) >	烷戸数/接続対象戸 ×100	1	00	55	5	60			
目標	数値 目標	最終目標	<u> </u>									
	以外	H22年度(までの)実績	<u> </u>									
の事業	事業 H23目標 実実績 ※採用菓店式: ①H23実績値/H23ま様値/H23までの実績値-H22までの実績値/H23までの目標値-H22までの目標値)③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ④(H23までの)実績値/最終目標値											
		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 (2)(H233	までの実績値-H22までの実績値)/(H23ま		^{目標値) ③ (H22まで)} H23実施内		/最終目標値 (4)H	[23(までの)実績値/最終日標値			
		47,365 千円	快適な行った	な生活環境の改善とな	公共用水域の)水質保全	<u>・</u> を図るべく	施設の適	正な維持管理を			
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	·	H23(までの)目標値	5 I	3単年度達 算定式	成度 ①	L	画における達成度 算定式 ④			
状 況	事業	56	%	60	%	94	%	<u> </u>	56 %			
	数値目標	H23実績		H23目標	H22	3単年度達	成度	全体計	画における達成度			
	以外 事業						%		9/			
目標達用	成状況の評	目標達成に向	けて、	わずかではあるが進ん	している。							
	8事業の記											
	要性:実施 a 必要性	iの必要性が高い事業 性が高い。	業か									
評価 判断 理由			共用水均	域の水質保全を図る	必要がある。)						
② 主体		主体的に実施すべる		:לי								
評価		主体的に実施すべき		ナデナフ								
判断 理由		であり、市が取り糸			₩の担 △ は Ε	= \1 \						
③ 有效 評価	,	fしにとおりの成果/ は少ないが、今後向		っているか(新規事 <u>)</u> 見込みがある	美い場合は7	1201						
判断理由				、震災の影響で接続	件数が少し	ずつ増えて	てきている。					
	<u>┃</u> 壑性:成果	を変えずに、経費	を下げ	ろ方策はないか								
評価		な積算に基づく経費										
判断理由	施設の維	持管理委託を3ヵ年	∓契約 ℓ	にするなど経費の圧	縮に努めてい	いる。						
		に実施すべき事業が										
評価		実施しなければなら 活環境の改美レク+		世の北西伊仝のたみ	、 塩匙の効	-	田海骨を図し	n taがらた	サナイル洗ルを促え			
理由	する必要	がある。		域の水質保全のため			里連呂で凶:	リなからぃ	肝ゼ(水が16で12cm			
4 総合 総合評		び今後の事務事	業の力 A	5向(総合評価に ┃	対する改	善策等)						
	方向性			5環境の改善と公共用 5安定的な施設の維持					あるため、水洗化			
<u>* _}</u>		企画政策課記入										
現状		□拡充		=	a □ 150 ±10	□ 統合						
休止		□ 廃止		完了	採択							

1	事業の概要		成果目標	
1		-		

施策区分	基本目標 基本施第 個別施第 事務事	度(節) 5 − 1 環5 度(項) 5 − 1 − 1	^{近元気な潤いのあるます} 竟保全・循環型社 自然環境・生態系 業滅対策事業	:会の実現		担当課事業	環境産業部 昭和	54	産課 年度	~		
区分		# 規 2継 続	大阪八水 事未	継	.続	事業 期間	<u> </u>	54	十戌			
目的 及び 背景	(空中散	虫による被害を防止 布・地上散布)、伐	対圏駆除を実施す	る。					ついて、予	·防散布		
事業 内容		布・地上散布により					は倒駆除の実 余、樹幹注ル					
	数値 目標	項目	算定式	ı	最終	目標	H22年度(まで	の) 実績値	H23(まで	の)目標値		
成果	設定 事業				7 (1.)	o le le o	kik ok zk /II					
目標	数値 目標		市内(五浦地区、	-								
	以外	H22年度(までの)実績										
9	事業 H23目標 市内(五浦地区、関本地区、その他)の松林の機能確保 事業実績 ※採用算定式: ①H23実績値/H23までの実績値/H22までの実績値/H22までの実績値/H22までの目標値(H22までの目標値)の(H22までの実績値/H23までの)実績値/H23までの目標値(H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの目標値(H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの目標値(H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの目標値(H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)実績値/H23までの)までの)までの (H23までの)実績値/H23までの)までの)までの)までの)までの)までの)までの)までの)までの)までの)											
	####################################											
2,061 空中散布1,629千円、市単伐倒282千円、樹幹注入150千円 実施												
実	施 目標 120、5、5、7、7、7、7、1 120、5、5、7、7、7、7、1 採用算定式 採用算定式 採用算定式 1											
状	設定				1/K/113	+/L-1/		1/1/119	+/	-		
況	事業 数値		H23 E		%					%		
	目標	H23実績	H23	3単年度達	成度	全体計	画における	達成度				
	以外 市内(五浦地区、関本 市内(五浦地区、関本 事業 地区、その他)の松林 地区、その他)の松林 地区、その他)の松林											
	機能確保できている											
目標達用	目標達成状況の評価											
	事業の記		Vo. 2									
① 必要 評価	e性: 実施 a 必要性	の必要性が高い事業 tが高い	そ カ・									
判断		<u> </u>	大勝地としての松	林保全のた	めの松くい	ハ虫対策で	であり必要で	ぶある。				
理由												
-		主体的に実施すべき	き事業か							-		
評価 判断		エリアが7haの五	正浦地区であるが、	、断崖絶壁	でありへ!	リコプター	-の使用が不	「可欠です	費用が嵩む	ため、市		
理由	が実施し											
		したとおりの成果が		(新規事業)	の場合は見	L込)						
評価 判断		」た通りの成果があ _り による被害の予防及		機能を確保	されている	<u>る。</u>						
理由	, ,			.,,,,= = .,=		- 0						
		を変えずに、経費を		いか								
評価 判断		よ積算に基づく経費∵ 単価で決定。	である									
理由	水 •>基中	十										
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業が),									
評価		医施しなければなら		ナルケゴが	体上フナン	上が出土)						
判断 理由	(被告の予	防法としては、その	年の東良の時期	ど迎さ り継	紀9 0万代	太か 呈まし	~ V \ ₀					
	評価及で	び今後の事務事業	<u> 美の方向 (総</u> 合	許価に対	する改善	善策等)						
総合評	総合評価 ⇒ A 継続して予防を行う必要があるため、県の補助金が年々縮小されているので予算の確保が必要。											
今後の				ため、県の	が開助金が	牛々縮小	されているの	ルで予算	の催保が必	公安。		
		企画政策課記入		一碗工		一仗人						
□ 休止		□ 拡充 □ 廃止	□ 改善□ 完了	☐ 縮小☐ 不採		□ 統合						
					•							

1 事業		• 成果目標								
施策区分	基本目標 基本施第			のあるまち(自然環境 循環型社会の実現 ・生態系の保護、		担当課	環境産業部	『 生活環	境課	
	事務	事業名 净化槽設	置整備事	美賀等補助金 		事業	平成	10	年度	~
区分		規 2継 続	田太仲田ュ		迷続・エ	期間	L SEC 江 VE P+ 1	1.)上位 1	1807	ア甘べも
目的 及び 背景	市内全体に、生活め事業を	年度の公共用水域記 が生活排水対策重点 排水対策推進計画を 実施する	点地域に打 を策定した	旨定された。この指 た。これにより、2	旨定を受け 公共用水域	て、生活技 の水質汚済	非水対策を。 蜀防止対策及	より効率的 及び汚水御	りに実施 新生処理	するため 率向上のた
事業内容	る。また	水域の水質汚濁を 、平成20年度より 速度を加速させてい) 単独処理							
	数值	項目		算定式	最終	· 目標		での)実績値	H23(まっ	での) 目標値
成果	目標 設定 事業	净化槽普及率	区域外浄化	処理開始公示済)と槽処理人口/コ×100	1	00	44	% !		47
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
0 車型	事業	H23目標								
∠ 争業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23までの	実績値-H22までの実績値)/(H23まで		^{目標値)③(H22ま・} H23実施戍		/最終目標値 ④H	23(までの)実績(直/最終目標値
	-	36,717	1 1 9 甘			1123天旭7	14			
		- 50,717 千円	112至	N						
実施状	数値 目標 設定	H23(までの)実績	f値 H2	3(までの)目標値		3単年度達 算定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④
況	事業	47	%	47 %		99	%		4	7 %
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画における達		る達成度
	事業						%			%
目標達用	成状況の評	浄化槽の普 呼価 実に図れる。	及率はま	だまだ低いが、この	の補助を続	記けること	により水質	保全・生	活環境の	改善が確
	中米のヨ									
	5事業の記 医性・宝施	汗1回 [の必要性が高い事]	坐力							
評価	a 必要性		~ ~ ~							
判断理由	水質汚濁	防止法に基づく生活	舌排水重点	京地域の指定を受け	けているた	め。				
② 主体		主体的に実施すべる								
評価		i 体的に実施すべき				L. SilvHe f.f. I	D = 1			
判断 理由	いるため						雨 助金補助毀	要綱に基~	うき事業	を実施して
		・したとおりの成果: した通りの成果があ		ているか(新規事業	の場合は見	見込)				
判断 理由		域の水質測定結果に		3調査地点において	C, BOD	(生物的配	俊素要求量)	の環境基	基準を全:	地点で基準
	▲ 率性:成果	を変えずに、経費	を下げるこ	方策はないか						
評価		節減を検討する余地								
判断 理由		ロ・土地の利用形態 とにより、経費削減			†政面を勘	案し、下四	水道及び農業	美集落排7	k処理施	設との調整
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業	ð,							
評価		実施しなければなら	-							
判断理由		5年間の承認を得て								
4 総合 総合評		び今後の事務事	業の方向 A] (総合評価に	付する改	善策等)				
	方向性		業集落排	▲ 水処理施設・浄化 より効果的な方策:			水質汚濁防	止法を目	的とする	計画の調
<u>* - ; </u>	次評価 (.欄)							
□ 現状	通り	□ 拡充 □ 廃止	□ 改善 □ 完了			□ 統合				

1	事業の概要	成果	目	樰

	<u> (の </u>	・成果目標									
	基本目標	票 (章) 5人と自然を	び元気な潤いのある	るまち(自然環境・	生活環境)						
施策	基本施第	兼(節) 5-1環	境保全・循環 環境保全・公	型社会の実現		担当課	都市建設部	祁 建設課			
区分	個別施第	兼(項) 5-1-2	環境保全・公	害防止							
	事務事	事業名 急傾斜地	崩壊対策事業			事業	平成	15	年度	\sim	
区分	1 新	規 2継 続	-	→ 継	 捻続	期間	平成	53	年度		
目的		の崩壊による災害な				斜地の崩り	裏を防止す?	るために必	公要な措置	置を講じ、	
及び	もって民	生の安定と国土の伊	R全とに資する	うことを目的と	する。						
背景											
-는 개·	茨城県が	施行する急傾斜地原	崩落防止工事 <i>σ</i>)工事費を一部	負担する	ものです。					
事業 内容											
L 1/4											
	数值	項目	算第	定式	最終	目標	H22年度(まっ	での)実績値	H23(まで	の)目標値	
	目標	**********	(累計事業費	'/総事業費)		%		%		%	
成果	設定 事業	事業進捗率	×100		1	00	14	4		3	
目標	数値	最終目標									
	目標	H22年度(までの)実績									
	以外										
o 本 业	事業	H23目標									
2 事業	美実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H2	22までの実績値)/(H23までの			での実績値+H23実績値)/最終目標値 ④H	23(までの)実績値	/最終目標値	
	-	H23事業費			J	H23実施内	1谷				
		14, 680	平潟地区、湯	網地区の急傾然	斜地崩壊対	対策工事の	一部負担金	之。			
)k/. /	千円 1	<u> </u>		1103	出年由法	- 	会体 計画	面リアナンリナン	ス基出度	
実	数値 目標	数値 目標 H23(までの)実績値 H23(までの)目標値 採用算定式 全体計画における達成度 採用算定式 全体計画における達成度									
施	設定				休用事	早	1)	休用身	早 化 八	3	
状 況	事業	3	%	3 %		100	%		17	7 %	
νu	数値	1100年生			110			^ <i>H</i> -∃1;	표) > 소기나 '		
	目標	目標				3甲午及廷		至仲訂	画における	3 達成及	
	以外						0.4				
	事業	十二東の歩工	ファトル 各個会	 地からの突発的	14、忠孝ナ、土	- 分)ァけ. ル	%	上江が沿っ	トルファル	<u> </u>	
目標達用	式状況の 評		.により、心臓が	地がりの大光川	ルよ朋俗でオ	/火パに 別止	し、女足した	- 工作が各。	4100 C C	に貝服り	
		Ť									
	事業の										
		の必要性が高い事	業か ニューニー								
評価	a 必要性		7 - 1 A 3 10 st	# 1 w 1		Nr. v					
判断	急傾斜地	崩壊の災害から国民	氏の生命を保護	隻するため、必	要性が非常	ドに 品い。					
理由	[. [r] =) \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\								
		主体的に実施すべ		国体体) バンル	1-1-1-1- ×	n 2-					
評価		トの団体 (国・県・ 株分えたしなる	NPO・住民	団体寺) か土1	平的に行う	へさ					
判断 理由	次州州	施行主体となる。									
	하사 : #미/#	ことしわりの子田。	は [. よ) - デェッ	フょく年 中世	の担人はE	1 ' 1 '					
3 有多		したとおりの成果だ した通りの成果があ		」パい(い場合はタ	上心丿					
		」に通りの放来があ 崩落防止施設の設置			確保され	<u>ス</u>					
判断 理由	心识析地	//// 11471/J 114 //巴収 Vノ収售	ュにより圧成り	/工門2/4/五円	THE IT C 4 U	୰ ୦					
		と変えずに、経費	を下げる方等に								
評価		な積算に基づく経費		5.01 17							
判断		積算基準に基づいて		 							
理由	100/90/100	以开出于10 22 7 1	CIRST O CC a	, 0							
	 急性 : 竪 <i>急</i>	に実施すべき事業	<u></u>								
評価		実施しなければなら									
		の災害防止の観点な		急務が求められ	<i>、</i> る。						
理由		2	> . / . / .								
	<u></u> 評価及7	び今後の事務事	業の方向(絲	総合評価にま	するみ	善策等)					
総合評		<u> </u>	A		, , 55	ロッ ト す/					
		急傾斜地を整		未然に防止する	ることを目	的として	、民生と国	土の安全	に寄与す	る。	
今後の	方向性						. –		-		
<u>* _ ;</u>	次評価 ((企画政策課記入	.欄)								
✓ 現状		<u>□</u> 拡充	改善改善	□ 縮小	`	□ 統合					
休止		□ 廃止	□ 完了	□ 不採	択	-					

1 事業の概要・成果日標

1 尹未	1	-										
	基本目標	票(章) 5人と自然が	バ元気な潤いのあるまち (自然環境	・生活環境)								
施策	基本施領	後(節) 5-1環	境保全・循環型社会の実現		担当課	市長公室	企画政策	課				
区分	個別施領	毎(項) 5-1-2	環境保全・公害防止									
	事務事		策事業		事業	平成	23	年度 ~				
区分	1 新			折規	期間	平成	26	年度				
目的	東京電力	7福島第一原子力発電	所の事故に伴う放射能漏れによ	る汚染を除	去する等の	の方針を示し	た北茨城市	7除染計画を策定	し、			
及び	除染計画対 す。	対象区域の詳細な放射	線量を測定して、平均0.23μS	w/hを超える	区域につい	いては除染を	*実施、放射	付能の低減を凶り	ま			
背景		学校等については、	0.19 μ Sv/hを超える施設につい	、ては除染作	業を実施っ	する。 (補助]金交付対象	9外)				
- 사	富士ヶ丘地	也区について、平成24	年度に実施した詳細測定の結り	具に基づき、	戸建ての🏻	余染作業を進						
事業 内容	市除染実施	函計画で定めた上記以 ☑ ★ ・ 富士・ 丘	外の除染実施区域については、 、華川町小豆畑(山下・内城台	除染の対象	及び方法等	等を確定させ	こるための記	⊭細測定を実施す ₩区)	`る。			
门谷		△呶:畠エケ丘、小川 ↑大塚(足田内地区)	、 華川町小豆畑 (田下・円城市	7地区を除く)、華川『	11 上小净田	(骨川・暦5	以地区/、機原門	, P3			
	数值	項目	算定式	最終	目標	H22年度(ま	での)実績値	H23(までの)目	標値			
	目標											
ш.4.	設定											
成果 目標	<u>事業</u> 数値	日が日本	た明治もかがため目よるこ	11.3. 8.2	1 4 1 1	1- 7						
日际	目標	最終目標	年間追加被ばく線量を1ミ	リシーベル	下木両と	: 9 So						
	以外	H22年度(までの)実績										
	事業 H23目標 公共施設での除染作業を完了させる											
2 事業	_ 1,710,500											
	I	H23事業費		H	[23実施内	內容						
69,566 学校、公園等の除染作業												
		千円	子仅、									
実	数值	H23(までの)実績	値 H23(までの)目標値	L	単年度達	成度		画における達成	度			
施	目標	1123(よくり) 天順		採用算	定式		採用算	草定式				
状	設定											
況	事業					%			%			
	数值	H23実績	H23目標	H23	単年度達	成度	全体計画	画における達成	速			
	目標 以外	一部の公共施設で	 除染 公共施設での除染作業									
	事業	作業が完了	を完了させる		27	%		6	%			
						/-						
目標達用	成状況の 評	益価										
3 事務	多事業の記											
		 の必要性が高い事業	坐力									
評価	a 必要性		~ 77									
判断			シーベルト以下にするため	には必要か	事業であ	ろ.						
理由	20/10/100	(水重と下内1()		101021 2 10	F/K (0)	2 0						
	<u> </u> 	主体的に実施すべる	き事業か									
評価		三体的に実施すべき	C + /K//									
			こより、除染業務は自治事務	ミンされてい	い ろ。							
理由			余き、除染の主体は市町村と									
	L h性・期待	1.たとおりの成果/	が上がっているか(新規事業	の場合け見	i入)							
評価		は少ないが、今後向		·//// [] (&/[1201							
判断			ついては、放射線量の低減が	「図られてい	いる。							
理由	1/4//(11//(ш э,, с с .	3 0							
	L 玄性・成果	を変えずに 経費を	を下げる方策はないか									
評価		が減を検討する余地										
判断			るり、適正な積算だと考える。 このではある。									
理由			いては、自治会等に実施していただ	くことが可能で	あれば、よ	り安価に、早	く除染作業を	·終了させることが ⁻	でき			
	るかもしれた	<u>ょい。</u> に実施すべき事業だ	ጎጓ									
評価		を施しなければなら										
判断			-& V F8月までに、平成23年8月ほ	比して放射	線量を5	0%低減さ	せること」	となってるこ	とか			
理由		実施する必要がある		10,54		, . , _ , , , _			,			
	<u>·</u> · 評価 乃 7	び今後の事務事業	業の方向(総合評価に対	けするみき	医第空)							
総合評		<u>ノーバスマンザリカザフ</u>	B		コンドサノ							
		環境省のガイ	 ドライン等に基づき、各地	区の同意を	得ながら	作業を進め	る。					
今後の	方向性	>N-20 E -2 /4		— . ≥ 1.4157 G.]	1, 000	/k c /= //	3 ∪					
<u>* _7</u>	次評価 (企画政策課記入	棩)									
		<u>正画以从床记八</u> 一拡充	√㈱/ □ 改善 □ 縮/	\	統合							
□休止		□ 廃止	完了									
	•			1-1/ 3								
I												

	の概要・	・成果目標												
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	き(節) 5-2生 き(項) 5-2-1	活環:	な潤いのあるまち(自然環境・ 竟の向上 、し尿等の処理体制の方 施設整備事業			環境産業部							
区分	事務事 1 新		ダー)	他段整 備事業 → 継	続	事業 期間	平成	1 5	年度 ~					
目的 及び 背景	昭和54年に中に含まれる器の劣化進行	こ稼働を開始した焼却施記 る有害物質を低減させる。 テ速度が早まり焼却炉の記	ことが 重転停	平成13・14年度にごみ焼却 出来た一方、平成15年度から 止する頻度が高まっているので 画を進めなければならない。	施設のダイス 廃プラスチッ	トキシン類特 ック類の混焼	による焼却炉	への負荷が増	曽大し炉内耐火物や各機					
事業内容	1・2号灰出 養生コンベア ガス冷却室耐	コンベアー及び付帯設備、 一、煙突更新、1・2号炉 火物、ガス冷却ポンプ、剤	1 号洞 可耐火物 を生コン	友温槽伝熱管、各送風機、1・2≒	ーバーホール 6燥帯)、2 [‡]	、ガス冷却ホ 号火格子、コ	ポンプ、 1 号減温 ンプレッサーオ	a.槽伝熱管、	1号バグフィルター、1号					
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	での)実績値	H23(までの)目標値					
成果	目標 設定 事業	ごみ処理率	ごみ 10	処理量/ごみ受入量× O	10	% 00	10	0	100					
目標	数値	最終目標					•							
	目標 以外	H22年度(までの)実績												
0 1 2 2	事業	H23目標												
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 -123事業費	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		標値 ③(H22まで H23実施内		/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値					
			1号	誘引送風機設備・破砕板				気圧縮機						
	千円 管機械・2号ノーズ部耐火材・1号ガス滞留室耐火材修繕、他													
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23 採用算	単年度達 算定式	成度 ①		画における達成度 算定式 ④					
状 況	設定 事業	100	%	100 %		100	%		100 %					
72	数値 目標	事業 % % % % 数値 H23 日標 H23 日標 H23 日標 今休計画における達成度												
	以外 事業						0/		0/					
			理実	施により安定稼働ができ、	市民の生活	環境に支障	% 章がでなかっ	た。	%					
目標達成	成状況の 評	価												
	事業の詩													
		の必要性が高い事	業か											
評価 判断	a 必要性 老朽化が		テレハ	機能を維持しなければ	佐 却炉のi	電転が停口	トーたキキル	こ ナン り	でみの受入が出来た					
理由		市民生活に重大なう			/yu=1+// -> x	T 1210 11 T	2072551		/ ·/ 2/ · / · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべ	き事業	美か										
評価		E体的に実施すべき	1 V	the at a a a lead to the	~ = 2 1	<u> </u>	,							
判断理由				は律第6条の2により市			Ď 。							
				ぶっているか(新規事業の	り場合は見	L込)								
評価 判断		ンた通りの成果があ 収集したごみを、次		く処理することができ	t									
理由					. =0									
④ 効率		を変えずに、経費												
評価		は積算に基づく経費		る おお消耗が激しいため	佐凯の「	□ 占上△ル	女理の仕用さ	ジ ムナー	での生空や無のツ亜					
理由	不可欠な	経費である。)谷部相札が像しいため	、飑段の	コタ 尽快事	多理の結果/	ア、デエ・	ごの女足修働の必要					
5 緊急 評価		に実施すべき事業 E施しなければなら												
判断	清掃セン		上経過	過し、各部位全体が老朽 び必要である。	化しており	0、各部位	立いずれか真	汝障して も	っごみ処理に支障が					
.4.				方向(総合評価に対	する改	善策等)								
総合評			Α											
今後の				計画も同時に進めながら	、状況を 	見極めて何	修繕を行っ	て行く必	要がある。 					
		企画政策課記入		71 344										
☑ 現状☑ 休止		□拡充□廃止	님	改善 ☐ 縮小 完了 ☐ 不採		□ 統合								
		□ 冼业			ν<									

_1 事業	の概要	· 成果	目標									
	基本目標				:潤いのあるまち							
施策	基本施筑	策(節)	5-2生	活環境	の向上 し尿等の処理			担当課	環境産業部	生活環	境課	
区分	個別施第	・ (項)	5-2-1	ごみ、	し尿等の処理	単体制の充乳	夷					
	事務	事業名	一般廃棄物	勿処理:	基本計画策定、	精密機能検	査実施	事業	平成	2 3	年度	\sim
区分		規	2継 続		\rightarrow	継続	ŧ	期間	平成	2 7	年度	
目的				処理計	・画の策定義務だ			- ●化槽汚泥の		非水処理。	基本計画の	更新時期に
及び	きていまっ											
背景			₹5条に基づ ススあります。	き 3 年	に一度精密機能	能検査を行う	義務があ	っり、清掃~	センターは 2	7年度、	環境センタ	ーは26年
				更新す	るとともに、	清掃センタ	'ー・環!	境センタ-	一精密機能模	査を実	施する。	
事業												
内容												
	数値	J	項目		算定式		最終	·目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(まで	での) 目標値
	目標		,,,,		31701		770,11	1.124				/ 1 - / / / / / / / /
ЬШ	設定											
成果	事業		%4 → 1 =	An			المساحة المساحة	1/ //s / s 	- I.V.			
目標	数値 目標		終目標		廃棄物処理基			-				
	以外		(までの)実績	一般	廃棄物処理基 定	本計画策定	、精密機	幾能検査等	ミ施 ニーニー			
	事業	H2	3目標	環境~	センター精密	幾能検査実	施					
2 事業	実績			値 ②(H23	までの実績値-H22までの実	(横値)/(H23までの目				撮終目標値 ④	H23(までの)実績値	直/最終目標値
		H23事業	費				I	H23実施内	内容			
		91	Δ	環倍~	センター精密	继能給杏宝	旃					
			千円	28.90	- 7 ARIEN	从而火五人						
実	数值	H23(=	までの) 実績	値	H23(までの)	日煙値		単年度達	成度		画におけ	る達成度
施	目標	1120 (6		, III	1120 (\$ (0))	口际吧	採用算	章定式		採用	算定式	
状	設定 事業											- 1
況									%			%
	数値 目標		H23実績		H23目札	票	H2	3単年度達	E成度	全体計	画におけ	る達成度
	以外	環境セン	ンター精密	機能 J	環境センター	精密機能		100				
	事業	検査実			贪查実施			100	%			%
日種達品	戊状況の評	義	務付けられ	た期間	引内に精密機能	是検査を実力	をしてい	る。				
日保廷	以小儿少計	Г 1Щ										
3 事務	事業の	评価										
① 必要	要性:実施	の必要性	生が高い事業	業か								
評価	a 必要性	生が高い										
判断	法律で	義務付け	けられている	5事業	です。							
理由												
② 主体		主体的に	こ実施すべる	き事業	カゝ							
評価	a 市がi	主体的に	実施すべき									
判断	市所管	施設です	١.									
理由												
③ 有效	カ性:期待	すしたとは	おりの成果だ	が上が	っているか(乳	新規事業の	場合は見	見込)				
評価	a 期待	した 通り	の成果があ	る								
判断	茨城県	による立	Zち入り検査	上があ	ります。							
理由												
4 効率	內性:成果	を変えて	ずに、経費る	を下げ	る方策はない	か						
評価			基づく経費									
判断	市職員	ができる	5範疇になく	、專	門コンサルタ	ントに業務	委託する	ることが旨	最良と思われ	します。		
理由												
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施っ	すべき事業7	ζ,								
評価			ければなら									
判断	法律に	基づくま	ミ施義務が あ	ありま	す。							
理由			-									
		び今後の	の事務事業	業のフ	5向(総合記	平価に対	する改	善策等)				
総合評	価 ⇒			Α		,						
今後の	方向性				: 年ごとに実施 : ぬまま	E、基本計画	動は15	年間の間	に見直しする	る事項が	発生すれ	ば見直し
			実施するこ		こります。							
<u>* } </u>			策課記入									
1 3 現状		拡		=	炎善	編小	-	□ 統合	•			
休止		廃_	IĽ.		完了	□ 不採护	7					
I												

1	事業の概要	成果	目	樰

_ 1 争	の概要	・成果目標								
施策区分	基本目標基本施第個別施第	(章) 5人と自然を (節) 5-2生 (項) 5-2-1	活環境 ごみ、	潤いのあるまち(自然環境・ 色の向上 し尿等の処理体制の方		担当課	環境産業部	3 生活環	竟課	
区分	事務 1 新	事業名ごみ収集規2継	事業	→ 継		事業 期間	平成	2 1	年度	~
			自禾釭	していた1社が、水戸			┃ 『生の由立☆	(四田ナ)	ュキァレ・	かた同4日
目的 及び 背景	から、燃	やせるごみの一部及	及び資	源ごみの収集を急きょ	直営で実施	奄している	る状況である	ó.		
事業内容	内全域を <i>0</i> 燃やせるこ)収集を行っている。	埋立ご ること	芥車で、臨時職員2名で みの収集は2t塵芥車で から交代要員も必要なの いろ	、市職員2	名で市内会	全域の収集を	行っている	。土曜日	一や祝祭日も
	数値	項目	.6 , (算定式	最終		H22年度(まで		H23(まで	
成果	目標 設定 事業	ごみ収集体制の確 保	ごみ! 維持	仅集車運行台数9台の	Ç	台)	9	台		台 9
目標	数値	最終目標					<u> </u>			
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外 事業	H23目標								
2 事業		※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23	までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの目	標値) ③(H22まっ	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④H	23(までの)実績(直/最終目標値
		H23事業費				123実施内				
		37,006 千円	直営化	とによる臨時職員15々	名に対する	ごみ収集	賃金の支払	·V·。		
実施	数値目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23 採用算	単年度達. 記定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④
状 況	設定事業	9	千円	9 千円		100	%		10	0 %
	数値 目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	以外 事業						%			%
目標達用	成状況の割			ごみを遅滞なく収集されて 「村が主体であるという廃						
3 重該	事業の記	亚価								
		の必要性が高い事業	業か							
評価	a 必要性									
判断 理由	収集を行	わなければ市民生活	舌に支	障をきたすため。						
② 主体	_ 本性:市が	主体的に実施すべる	き事業	: か						
評価		E体的に実施すべき								
判断 理由	廃棄物の	処理及び清掃に関す	トる法	律第4条第1項による	、国及び均	也方公共因	団体の責務に	こ基づき行	うってい.	る。
				っているか(新規事業の	り場合は見	L込)				
評価		た通りの成果があ		NHI I. I II II II I						
判断 理由	市民の毎	日出されるごみ収集	長を遅	滞なく収集している。						
④ 効率		を変えずに、経費を								
評価		は積算に基づく経費								
判断 理由	直宮化に 	よる臨時職員15名	台で収:	集連搬等を実施。 						
⑤ 緊急評価		に実施すべき事業ス ξ施しなければなら								
判断				は必要不可欠なため。						
理由 4 総合	<u> </u> 評価及で	バ今後の事務事績	業の力	方向(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評			A	法・直営・委託先も含			木古の生桂	アムート	古足の	たみの団
	方向性	集方針を決定	してい	- 伝・恒宮・安託先もさいく必要がある。	妙心快酌	∠11 / '\ , ,	平川の夫情!	に古つた	、甲氏の	//こØJVJ収
*		企画政策課記入								
☑ 現状☑ 休止		□ 拡充□ 廃止		牧善		□ 統合				
		□ 疣业	<u> </u>		JV.					

1	事業の概要・	F	t	果	目	樗

<u> 1 争</u> 業	が、大学	・成果目標							
	基本目標	票 (章) 5人と自然な	が元気	な潤いのあるまち(自然環境・	生活環境)				
施策	基本施第	ラ (節) 5-2生	活環	境の向上		担当課	環境産業部	生活環:	境課
区分	個別施第	毎(項) 5−2−1	ごみ	、し尿等の処理体制の充	芝実				
	事務事	事業名 資源物類	リサ	イクル事業		事業	平成	1 6	年度 ~
区分	1 新	規 2継 続		→ 継	続	期間			
目的	ごみ処理基	基本計画及び北茨城市	分別	収集計画に基づき、家庭か	ら一般廃棄	物として排	出されるご	みを容器包	豆装リサイクル法に対
及び	応した処理	里をし、資源物の有効 ♪なの済エルた図♪	利用	を図るものです。また、容 な生活環境の保全と公衆衛	器包装リサ	イクル法を	と踏まえたご	みの分別、	保管、収集、運搬、
背景		す寺の週正化を図り、 と目指すものです。	大週	は生佔界現の休主と公外側	生の同工に	- 毎の、この	大処理の取除	日保じめる	3個界空社会のシスプ
1	容器包装	リサイクル法に規定	とする	る飲料容器のうち、ペッ	トボトル	・ビン類・	スチール名	浮器・ア /	レミ製容器類を委託
事業	処理して	いる。							
内容									
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まで	の) 実績値	H23(までの)目標値
	目標	ペットボトル中間	平点	20年度実績119 t ×		t		t	t
成果	設定 事業	処理	1100		10	00	122	2	130
日標	事 業 数値	最終目標							
HW	目標	取 ボ ロ 伝 H22年度(までの)実績							
	以外	7 3 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7							
	事業	H23目標							
2 事業	実績		値 ②(H	123までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	123(までの)実績値/最終目標値
	ŀ	H23事業費			ŀ	H23実施内	7谷		
		9, 828	ペッ	トボトル中間処理業務	委託料				
		千円		T	1100	ツケーウンナ	A #	A 44-31-	T)= 10 1 2 2 A A B
実	数値	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達			画における達成度
施	目標 設定				採用算	早 正八	1)	採用導	章定式 ④
状 況	事業		_	130			%		0/
1)L	数値		t	tt					%
	目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成度
	以外								
	事業						%	S. L	%
日煙達品	成状況の評		、市	民から収集した資源物を沈	滞なく中間	別処理し、₽	与処理先へ迅	速に処理値	衣頼することができ
T IN Z	W-0/(DE-> 1)	/Со							
	事業の記								
① 必要	要性:実施	の必要性が高い事	業か						
評価	a 必要性								
判断	容器包装	リサイクル法による	5.						
理由									
		主体的に実施すべる	き事	業か					
評価		E体的に実施すべき							
判断	廃棄物処	理及び清掃に関する	5法律	津第4条第1項による、	国及び地方	方公共団体	本の責務に基	きづき行っ	っている。
理由									
				がっているか(新規事業の	り場合は見	見込)			
評価		た通りの成果があ							
判断	資源化効	率の向上も1つの目	3安と	こなる。					
理由		과 규수 > 12 t · 스코르트	L	Ny John L.					
		を変えずに、経費を							
評価	1,347	高減を検討する余地 1、中間加囲な、2		<u> </u>	次派ルム	しょ、ロギン	加加古沙	SHAR OLL	1 理佐凯ナ 幺幺 1ヶ4
判断	ペットボ討中。	Γル中間処埋を、省	■略し	一売却する方法も含め、	貞 源化同 ₋	上 を目指し	/、他の目指	714等やタ	心理肔設を参考に検
理由		17 中长上 パキ 古半	۲.						
		に実施すべき事業が							
評価		E施しなければなら 理及び連掃に関する		津第4条第1項による、	スッパルー	七八十四月	大の害致に‡	エズキケ	っている
判断 理由	() () () () () ()	座以い仴押に関りる	ひ伝作	≠−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−	国以 い地/	7万米凹14	Pツ貝伤に左	ヹ ソラ 11 (ノ (V ' 公。
L	コーフ・マ	で公公の古沙古子	出か	七百 (外入部/年)ヶ上	トナフコム:	主体於			
		<u>バデ仮の争務争</u> 		方向(総合評価に対	19 る以	晋 東 寺)			
総合評	- Щ →	デム加理協塾	A の敷		直 た今	まる加押士	注笙の検針	を行いか	がら さらに容酒
今後の	方向性			哺町画と併せて分別の兄 るごみの減量化を図るた					~り、こりに貝伽
<u>,, -,</u>	欠評価 (企画政策課記入		/ · // <u>- / - / - / - / - / - / - / - / - /</u>	- > 17/11/2	_ / 5.77	5 2 5	•	
※ 二〉 ② 現状		<u> </u>	/ 閉 <i> </i>	改善		□ 統合			
□ 休止		□ 城元 □ 廃止	님	完了		☐ ŊL □			
L rivit					<i>*</i> \				
i									

_ 1 事 美	*************************************	・成果目標								
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	票(章) 5人と自然を		☆潤いのあるまち(自然環境・ 竟の向上 し尿等の処理体制のす		担当課	環境産業部	『 生活環	境課	
	事務事	事業名 ごみの出	し方領	等案内、相談窓口の開設	ζ	事業	平成	2 3	年度	~
区分	- 101	規 2継 続	- 1 7 · T	<u>・ </u>	続くなって	期間の公別がも	平成のなりにくく	26	年度	おりみよう
目的 及び 背景	苦慮して	いる状況で、住民コ	ニーズ	「に対する対応を迫られ	ているの	が現状です	.			
事業内容				ルセンターを設置しご 一時的に雇用場所の確						サービスの
	数値	項目		算定式	最終			ごの) 実績値	H23(まっ	での)目標値
成果	目標 設定 事業	コールセンターのお ける問合せ処理割合	た問合	レセンターにおいて処理し 合せ件数/清掃センターに られた問合せ件数×100	10	00	_			100
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 -123事業費	M値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までのE T	1標値 ③(H22ま) 123実施内	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④	123(までの)実績(直/最終目標値
	<u> </u>	1140尹耒賞				, ,,,_,				
		3,687 千円	住民	がスムーズにごみを分り	別し、決め	られた日	に収集場所	「に集積し	、収集で	ける。
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達 算定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④
状 況	事業	100	%	100 %		100	%		10	0 %
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	事業						%			%
目標達用	成状況の割			ごみの受入もあり、年間 いら出された廃棄物を清						
	事業の記									
<u> </u>		の必要性が高い事	業か							
評価 判断	a 必要性		不命や	、資源化増につながる	ものであ	n 会後も	、出上方指述	重の継続!	r F N	全後さらに
理由		る分別に対応するだ		C Almidiate 2 8% D	0 12 (02)	, , , ,	3 m 6 /3 10 4	4 -> VEV	-0()(7000
	体性:市が	主体的に実施すべ	き事業	きか						
評価		上体的に実施すべき 中	⊒) ~ /m	いい、一旦ニュケー・ム	11 2 th	1 1 7	VAN DA 11	Dn &	T41-1	かにより。仏
理由	民サービ	スが可能である。		近にいて助言を行いな			が態のため、	即各かり	刊能でめ	り迅速に任
3) 有多 評価		:したとおりの成果? した通りの成果があ		ぶっているか(新規事業の	// 場合は見	上1八)				
判断理由				を住民が出すことが少	なくなり、	収集に対	対する苦情	申し立てな	や不満が	減少であ
	- 	を変えずに、経費	を下に	「る方策はないか						
評価	a 適正な	な積算に基づく経費								
判断 理由		者で対応								
		に実施すべき事業								
評価 判断		ミ施しなければなら せは、現在仕分やこ		しの最中の問合せが多	۷۱°					
理由	<u> </u>	· N A A ター・マケー・ハ	ALL -~		L 노 ㅋ ㅋ! -	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				
4 総合 総合評		♪今後の事務事員 	業の了 A	方向(総合評価に対	「する改	善東等)				
今後の				売することにより、住 で でに役立てていく。	に分別・	資源化を	周知・啓蒙	し、また	問合せの	傾向も見
<u>* _}</u>		企画政策課記入								
☑ 現状 □ 休止		□ 拡充 □ 廃止		改善 □ 縮小 完了 □ 不採		□ 統合		_		
		□ /元址			.1/\					
1										

<u>1 事業</u>	の概要	・成果目標							
	基本目標	票(章) 5人と自然な	ぶ元気	な潤いのあるまち(自然環境・	生活環境)				
施策	基本施第	新(節) 5-1環	境保	全・循環型社会の実現 、し尿等の処理体制の充		担当課	環境産業部	『 生活環場	竟課
区分	個別施第	策(項) 5−2−1	ごみ	、し尿等の処理体制の充	连実				
	事務事	事業名 指定ごみ	袋配	送業務委託事業		事業	平成	1 7	年度 ~
区分	1 新	•			続	期間	1 //-		
目的			排〕	ていくうえで、ごみ袋	- 17 -		配送業務	までの業務	を行う必要がある
及び	ため。	ACC D HTHEEN	T1.1		17 * 2 MX 7 L	X114 51		× (•) /(1)	1 E 11 7 2 9 W W
背景									
	配送生か	た	《行	納入通知書の発行と2	同の久眠	吉庁紬への	これ、光学教	までお行っ	、アルス
事業		り文刊、州田青の第	511,	州八旭州青の光刊こと	四07行舰:	儿白丽* (0.	加込未物。	* (411.) (V.2)
内容									
	¥/. / - -	-T H		folio L. IV.	H //	H 17			
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度 (まて		H23(までの)目標値
	目標 設定	市民1人1日あたり	亚品	20年度実績990g×90%		g		g	g
成果	事業	ごみ排出量	十八人	20 千尺天順350 g <50 /0	9	00	97	2	900
目標	数値	最終目標							
	目標	H22年度(までの)実績							
	以外								
	事業	H23目標							
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの)/最終目標値 ④H2	23(までの)実績値/最終目標値
]	H23事業費]	H23実施内	7容		
		8, 789	指定	ごみ袋等配送業務委託料	學 指定》	でみ袋粗大	ごみ処理者	能力表系	手数料
		<u> </u>	1117	(2) 级 (1 配 起 来 仍 发 配)					
宔	数值	H23(までの)実績	估	H23(までの)目標値	Н23	3単年度達	成度	全体計画	画における達成度
実 施	目標	1123(よくり)大順	胆	1123(よくの) 自信値	採用算	算定式	1)	採用算	章定式 ④
状	設定			900					
況	事業		g	g			%		%
	数值	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	:成度	全体計画	画における達成度
	目標						.,,		
	以外 事業						0/.		%
	尹术	市内約150	古舗	L 以上で販売されており、	市民の購	入が必要		直近に迅流	
目標達成	戊状況の評			間に店舗配送も委託して					
0 + 76	· 								
	事業の		ША Э						1
		の必要性が高い事	をかっ						
評価	a 必要性			4	- 1. w				
判断	指定こみ	袋等による有料化を	く維持	持していくためには必要	である。				
理由									
② 主体		主体的に実施すべる	き事	業か					
評価		E体的に実施すべき							
1.4001	料金を徴	収するため、市が言	三体的	りに行う必要がある。					
理由									
③ 有效	物性:期待	したとおりの成果を	が上フ	びっているか(新規事業の	の場合は見	見込)			
評価	a 期待し	した通りの成果があ	る						
判断	民間に委	託することにより、	経費	費の節減・スリム化が図	られた。				
理由									
4 効率	M性:成果	を変えずに、経費	を下り	げる方策はないか					
評価		ょ積算に基づく経費							
判断		市の実情にあった力							
理由				- •					
	<u> </u> 性・竪刍	に実施すべき事業が	7.7						
評価		に							
			-	芽していくためには必要	である				
判断 理由	当たっか	双寸による月代167	_ 小田子	,していてに切には必安	(W) Wo				
	. 新 <i>仁</i> T ~	で人公の古が古る	4.0	十占 (外人部/=)	レーフュ	主体(*)			
		<u> プデ俊の事務事</u>		方向(総合評価に対	19 る欧	音束等)			
総合評	価 ⇒	+ 101 /1. ~	A	四人をありましょう。	\=\+\/- >	~ 1 1 A ·	₩ ₽ == ==	+ 7	
今後の	方向性	有料化の甲の	処埋:	料金等の見直しも含む検	討を行う	ことも今後	俊の課題で	める。	
		/ A ==== :	/ ed1						
<u>* _}</u>		企画政策課記入	<u>欄)</u>						
現状		□ 拡充	닏	改善 編小		□ 統合			
□ 休止		□ 廃止		完了	択				
Ī									

1 事業	美の概要	<u>・成果目標</u>									
施策	基本目標			ハのあるまち(↓ ·向 ┣			担当課	環境産業部	(生活環	境課	
区分	個別施第	策(節) 5-2生 策(項) 5-2-1	ごみ、し	尿等の処理	体制の充実	美	33360	>K 20/31/K PI	- 11190	JUN 1	
	事務	事業名 環境セン	ター設備	点検整備事	業		事業	平成	23	年度	~
区分		規 2継 続		\rightarrow	継続		期間	平成	26	年度	
目的 及び 背景		ノターは、平成13 備の老朽化が著しく									
事業内容	焼却設備	留施設、一次・二次 、脱臭設備、給排力 別紙のとおり。					備、活性局	炭処理設備、	消毒設備	莆、汚泥	処理設備、
	数值	項目		算定式		最終	目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(ま	での)目標値
成果	目標設定事業	し尿処理率	し尿処理 し尿収集	里量/ ミ量×100		10	00	100	9		100
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業	美実績 一	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23までの	の実績値-H22までの実績	値)/(H23までの目4		1標値 ③(H22まで 日23実施内		/最終目標値 ④H	ł23(までの)実績	値/最終目標値
		14,648 千円	タッラ	Fパネル劣化	、流量計		•				
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値 H2	23(までの) 目	■標値		単年度達 算定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④
状 況	事業	100	%	1	.00 %		100	%		10	00 %
	数値目標以外	H23実績		H23目標		H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	事業							%			%
目標達用	成状況の評	計画的に修繕 る。大震災・									られてい
3 事務	事業の										
		iの必要性が高い事	業か								
評価	a 必要怕										
判断 理由	竣工以 る。	来27年を経過し、	老朽化力	施設であるこ	ことから、	精密機能	能検査結果	果等をもとに	こ計画的に	こ交換す	る必要があ
② 主作		ご主体的に実施すべる	き事業か								
評価		主体的に実施すべき									
判断 理由	市が管	理している。									
		ましたとおりの成果が		ているか(新	規事業の	場合は見	1込)				
評価 判断		した通りの成果があ 運転管理ができてい									
理由			-								
		とを変えずに、経費を な積算に基づく経費		万策はないな),						
判断		ら見積りを取り、乙		料等で処理し	ている。						
理由 ⑤ 緊急	】 急性:緊 <i>急</i>	に実施すべき事業が),								
評価		実施しなければなら									
判断理由	修繕箇	所は、点検設備計画	国及び精築	密機能検査等	学で判断し	ている。	1				
		び今後の事務事	業の方向 A	句(総合評	価に対	する改善	善策等)				
	<u>価 →</u> 方向性	各設備に故 正に処理した	障がない	よう運転管理	理に注意	ン、法令	で義務付	けられてい	る精密機	能検査を	行い、適
<u></u>	次評価((企画政策課記入									
☑ 現状	:通り	□ 拡充	改善		編小		□ 統合				
休止		□ 廃止	□ 完丁	7	□ 不採掛	7					

1 事業	の概要	・成果目標								
	基本目標			聞いのあるまち(自然環境・	生活環境)					
施策	基本施第	新(節) 5-2生	活環境	の向上		担当課	環境産業部	生活環	竟課	
区分	個別施第	兼(項) 5−2−2	市営斎	場・霊園の活用						
	事務事	事業名 葬祭場火	葬炉修;	善		事業	平成	1 6	年度	\sim
区分	1 新	規 2継 続		→ 総	続	期間				
目的				女百度で燃焼し、収骨						
及び	り返すこ	とから、炉内の劣化	とが激し	い。火葬件数の増加	及び施設の	の老朽化な	が進む中で加	施設の安全	と性を保	ちながら円
背景	滑な施設	連宮を図るために、	一定年	E度(2,3年程度)	毎に炉の1	修繕が必要	要である。			
事業	葬祭場火	葬炉設備保守点検約	吉果に碁	長づく火葬炉(1・2	・ 3 号炉)	の定期値	多繕			
事業 内容										
L 1/4										
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	の) 実績値	H23(まで	での) 目標値
	目標	1. #41 仕田本	火葬数	:/		%		%		%
成果	設定 事業	火葬場使用率	申請数		10	00	99)		100
目標	数値	最終目標			l					
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外	H23目標								
2 事業	事業									
4 事未		※採用算定式:①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23ま	での実績値-H22までの実績値)/(H23までの		H23実施内		/最終目標値 (4)H	23(までの)実績値	I/最終目標値
	-	1120爭未貝								
		5,125	火葬炉	内部修繕・断熱扉修繕	繕等の他、	ホール・	控室の塗装	を実施し	た。	
-	数値		<u> </u>		Н23	単年度達	成度	全体計i	画におけ	る達成度
実施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	1	,,,	(1)		章定式	(4)
状	設定	100		100	\$117.143			\$10,143		
況	事業	100	%	100 %		100	%		10	%
	数値	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	目標 以外						.,,			
	事業						%			%
		火葬炉電気系	統の故	章により点火できな か	いたため	、急遽勿		1件火葬的	マ頼した2	2年度以
目標達用	成状況の評	┡価 外、全件火葬	できて	いる。						
3 事務	事業の記									
		iの必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性	生が高い								
判断	施設の	安全保持に修繕工具	事が不同	丁欠である。						
理由										
② 主体		主体的に実施すべ),						
評価		主体的に実施すべき								
判断	市単独	で管理運営している	る施設の)ため。						
理由				A Chiadra Livilla						
				っているか(新規事業)	の場合は見	违 达)				
評価		した通りの成果があ		/ 悪子司を必まり						
判断 理由	トノノ	ルなく運転するため	ひには火	5安小円久である。						
		と変えずに、経費	た下げ	る古筆はないか						
評価		な積算に基づく経費		リカ水はないが						
判断				た上で、必要経費を	算出してい	<u> </u>				
理由	9211 %2		111777777		лдос	. 20				
	魚性:緊急	に実施すべき事業	カ ^ュ							
評価		実施しなければなら								
判断	施設の	安全保持に修繕工事	事が不可	「欠である。						
理由										
4 総合	評価及で	び今後の事務事	業の方	向(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評			Α							
今後の	<u>——</u> 方向性	事前の設備	点検、	交換・修繕を行い、ク	く葬場利用	者に迷惑	をかけない	ようにす	る。	
			Tues 1							
<u>* _}</u>		企画政策課記入								
□ 現状		□ 拡充		善		□ 統合				
休止			□完	了	:状					
1										

	が、概要	・成果目標								
	基本目標	票 (章) 5人と自然	が元気	な潤いのあるまち(自然環境・	生活環境)					
施策	基本施第					担当課	環境産業部	3 生活環均	竟課	
区分		6(項) 5-2-2	古党	竟の向上 斎場・霊園の活用		7— — 1011	71(70/33)1(7		24,11	
	個別施第	事業名 泉沢霊園	ᄩᆉ	救借		車光	平成	1 6	年度 ~	
ΗΛ	事務事		191-70-3		/ d=:	事業 期間	平成	1 0	平度 ~	
区分	1新		\ \ _		続				l. l. 1 v y . 1	4-4 (
目的	霊園内	の屋所区画連路は、	アラグロ オーナー	を性の高いアスファルト	台材を使り	刊して 舗装	として、雨刀	ドを浸透す	F水しているカ	は、舗
及び	装面に砂	か唯積して目詰まり	りを起	己こし浸透排水できず、	路面か水	留り状態に	こなるため、	排水工事	∮ど実施して↓	いる。
背景										
-1-5116	長尺U	字溝240型の敷詞	没 1 5	im、排水溝切り250	mを行う。					
事業										
内容										
	数値	項目		算定式	最終	日橝	H22年度 (まて	での)実績値	H23(までの)] 樗値
	目標			<i>37/C-1</i>	70.11	m	1,04 (1)	m	1120 (5. (1))	m
	設定	実施距離数	墓所	区画内通路距離	4 -		1 5		950	111
成果	事業	(m)			4, 1	155	1, 5	03	250	
目標	数值	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外	H23目標								
O 丰业	事業	Π23日 保								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	禁値 ②(H2	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H2	23(までの)実績値/最終目標	緊値
]	H23事業費			I	H23実施内	容			
		千円								
寉	数値	1100 (ナベの) 安健	三/六	1100(ナベの) 日無は	H23	単年度達成		全体計画	画における達 店	龙度
実 施	目標	H23(までの)実績	旭	H23(までの)目標値	採用算	章定式	(1)	採用算	草定式	(3)
状	設定			050					<u> </u>	
況	事業		m	250 m			%			%
	数值	H23実績		H23目標	110	3単年度達	出曲	今 休到证	画における達 _店	北庫
	目標	口20天旗		Π23日 (宗	П	9年十段 匡		土作司四	当にわけるほ	以 及
	以外									
	事業						%			%
口裡净	ほのに出る			は、震災による霊園内σ	亀裂や陥	没を修繕。	することを	優先した7	ため、排水溝	工事
日保建四	成状況の割	™ を見送ってい	る。							
3 事務	事業の語	平価								
		の必要性が高い事	業か							
評価	b必要性		// //							
判断			h i i i o)苦情が多い状況である	ため					
理由	かしてハバ田	ラ //- シ / 、 小山/山/日 /	J.•J ♥.		1000					
	- Lul. → 2×	· (4-4-) (2+4-) (ンキャ	14.)						
	T	主体的に実施すべ		美刀 3						
評価		E体的に実施すべき								
判断	市単独	で管理する施設であ	ある。							
理由										
③ 有效	効性:期待	:したとおりの成果:	が上た	ぶっているか(新規事業の	の場合は見	<u>—</u> [込)				
評価	b 成果に	は少ないが、今後向	上の	見込みがある						
判断	工事を	開始した16年度り	以降、	雨水が適切に排出され	、工事完	了区間のオ	(溜りは解?	肖されてレ	いる。しかしな	よがら
理由	震災によ	り地面の凸凹もある	るため	大雨の状況をみなが	ら工事して	ていく。				
(4) 効 3	- 	:を変えずに、経費	を下に	げる方策はないか						
評価		よ 積算に基づく経費								
判断		積算基礎に基づいる								
理由	//\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	IN THE WEIGHT OF THE	· ' 'a	• 0						
	】	17字歩子 ごと声楽	ት እ							
		に実施すべき事業								
評価		に施しなければなら		5 1 3 V 7 10 E 3						
本日本C	最終的	には、5年間事業を	ど継続	でする必要がある。						
判断										
理由			类の	方向 (総合評価に対	する改	善策等)				
理由	<u> </u> `評価及で	び今後の事務事	<u>未</u> りり							
理由		び今後の事務事	来り B							
理由 4 総合 総合評	価 ⇒	震災により、こ	B れまで	実施した工事のうち、長尺U割	P溝には異常	はない。しか	しながら、溝	切り部分は、	わずかな隆起陥済	ひによ
理由 4 総合	価 ⇒	震災により、こ り水はけが悪いと	B れまで ころが	実施した工事のうち、長尺US				切り部分は、	わずかな隆起陥落	受によ
理由 4 総合 総合評 今後の	価 → 方向性	震災により、こ り水はけが悪いと 測量、工事を取	B れまで ころが り入れ	実施した工事のうち、長尺U割				切り部分は、	わずかな隆起陥泊	少によ
理由 4 総合 総合評 今後の ※ 二	価 → 方向性 欠評価 (震災により、こり水はけが悪いと 測量、工事を取 企画政策課記入	B れまで ころが り入れ 人欄)	実施した工事のうち、長尺U写ある。 ないと、不具合は完ぺきにはむ	女善されない!	が、膨大な費		切り部分は、	わずかな隆起陥泊	受によ
理由 4 総合 総合評 今後の	価 ⇒ 方向性 欠評価 (通り	震災により、こ り水はけが悪いと 測量、工事を取	B れまで ころが り入れ 【欄】	実施した工事のうち、長尺US	女善されない.			切り部分は、	わずかな隆起陥泊	受によ

1 事業	の概要	• 成果目標								
	基本目標	iiiiii		な潤いのあるまち(自然環境・	生活環境)					
施策	1	策(節) 5−2生	活環	境の向上		担当課	消防本部	総務課		
区分	個別施第	策(項) 5-2-5	消防	・救急の充実						
	事務事	事業名 防火衣の	整備			事業	平成	22	年度 ~	
区分	1 新	., ., ., ., ., .,		→ 継	.,,, =	期間	平成	25	年度	
目的				2年度に石油貯蔵施設立	地対策等為	交付金事業	美で整備して	ております	一が、老朽化か	ぶ著し
及び	いため年	次計画に基づき整備	用を区	当り7こい。						
背景	NE HE ON	点儿 化环状 类点	두 // .) -	- 1 一一一一一一一一一一	1 1 1	<u> </u>	,)1 (((- AV 士 上 2		AV
事業				こよって年々複雑多様化 養性及び活動性に優れた) 隊員の防火な	くど使
内容	水の一	1.7.4.7.9.6.101	. ISO 113	を止及し行動 正に関わた	L / . V	1.7.1.7 •	ノ P/1 / C なく (C エ	EIMI 7 Wo		
	数値	項目		算定式	最終	口抽	1199年度 (オッ	の)字集値	H23(までの)	コ 抽 広
	目標	供日		异 化八	取於	日 保 着	TI22 年及 (ま (着	H23(\$ CO)	1保他
	設定	防火衣整備数	最大	人数分	5		16	•	14	/ 目
成果	事業				υ	9	10)	14	
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業	実績		値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標	景値
	I	H23事業費			I	H23実施内	习容			
		2, 558	消防	隊の防火衣14着を整備	した。					
	N/ / I -	<u> </u>			1100	出左库法	-	<u> </u>	豆 アナハナフ 法に	44
実	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	п23 採用算	単年度達	y	至仲訂。 採用算	画における達♬ ぎ安⇒	
施 状	設定				1木川 昇	7. 上八	(1)	1木川 5	4 比八	3
況	事業	14	着	14 着		100	%		51	%
	数值	H23実績		H23目標	Н23	3単年度達		全 休 計 に	画における達 _月	
	目標	1120天順		加力は	1120	一个人	: 八八尺	土件印刷	国(に401) の注)	(人)支
	以外 事業						%			%
		消防隊員の災害	時に.	おける消防活動の強化と安	全が図られ	る。	/0			
目標達用	成状況の評	「価」								
3 事務	事業の記	平価								
		の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性	生が高い								
判断	消防隊員	の災害時におけるネ	肖防活	5動の強化と安全が図ら	れる。					
理由										
		主体的に実施すべ	き事	巻か						
評価		上体的に実施すべき 1								
判断	市が土体	となって実施する。								
理由	1. h.k	ことしわりの仕用。	28 I. d	ジュナいフょく年刊事業/	2相 (7 17 日	1,1)				
評価		- したとおりの成果が - た通りの成果があ		がっているか(新規事業の	ソ物 百 は兄	1221				
判断		時、消防活動の強化		ぶられる。						——
理由	八口印到	1110/11 3/1 V/JE	⊔ <i>∾</i> - ⊠	1 74 V W O						
		:を変えずに、経費:	を下り	 げる方策はないか						
評価		は 積算に基づく経費								
判断				- 事業及び一般財源で整備	を図る。					$\neg \neg$
理由										
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業	J,							
評価		尾施しなければなら								
判断	消防隊員	の安全が図られる。								
理由			II.	I. / // A		to late 1:1:				
		<u>ブ今後の事務事</u>		方向(総合評価に対	する改善	善策等)				
総合評	価 →		Α							
今後の	方向性									
<u>* _}</u>	炉缸油	<u></u>	爛/]
<u>~</u>		<u> </u>		改善		□ 統合				
		□ 旅儿 □ 廃止	H	完了						

1	事業の概要	战里	日	擂

1 事業	医の概要 -	・成果目標								
	基本目標		が元気	な潤いのあるまち(自然環境・	生活環境)					
施策	基本施第					担当課	総務部 総	※ 課		
区分	個別施第	左(宿) F04	TTP NT	防災の推進		177 71 HVK	777 477 776	1) H/K		
	L	R (頃) 3-2-4	地坝	り 火 V / 1 住 八 生 、		1	→ 5			
	事務事		無線:	设置整備事業		事業	平成	2 3	年度	\sim
区分	1 新				規	期間	平成	2 5	年度	
目的	東日本大	震災の状況を踏まえ	え、市	が災計画の見直しの中	で、防災征	行政無線 ∅	り設置整備は	ま必要不同	可欠であ	り、非常時
及び	の住民広	報の迅速化と、その	つ他の)情報伝達手段として、	早急に整備	備する必要	要がある。			
背景										
17.21	土口で沿	仕未がなける日とた	几里)	、市内各地域へ屋外ス	1-° +1]	요ㅋド금미교	び / ⇒ ∤帐 ナ、⇒爪 □	型一フ 一	-1700	9.4年亩
事業										
内容		て設直を行うた、暦 強化を図る。	主クトか	広声子局の設置で、更に	効未を快	正し、個別	可文信機の記	汉旦と古4	プゼ (、)	系忌时の広
1 3.11	ギ収14年市リック	畑化を凶る。								
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度 (まつ	での)実績値	H23(まで	での) 目標値
	目標		ᄲᄆ			基		基		基
	設定			3基+屋外拡声子局5	E					
成果	事業	子局設置数	8基		Э	0	_	•		30
目標	数值	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外	1 34 (1) 7 7 3 3 4								
	事業	H23目標								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H:	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの			での実績値+H23実績値)/最終目標値 ④H	23(までの)実績値	直/最終目標値
]	H23事業費			I	H23実施内	7容	-		
		100.000	親局	及び遠隔制御装置(消除	方本部 出	上部分署)	の設置工事	耳及び沿岸	部を中心	いに12基の
		190,000		拡声子局を設置した。	, 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ロロトノス 個丿	小队但上于	- 人 U 1口片	HP G TIVE	_ (C12/45v)
	No. 1.1.	円	/ - E/	#5/ 1/3ckpに0/C0	1100	単年度達	-	<i>△₩</i> ⇒1:	亜リテ チン)ナ	る達成度
実	数値	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値						
施	目標				採用第	章定式	(1)	採用第	章定式	(3)
状	設定	15		30		50			3	0
況	事業	10	基	基		00	%			%
	数值	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達	最度	全休計ī	画におけ	る達成度
	目標	1120人順		1120 日 100	1120	一个一人还	19012	IT-HIF	J(C401)	3 注/从及
	以外									
	事業						%			%
目標達成状況の評価										
日標達用		4恤								
0 車郊	事業の語	₩ /III								
			Щ4).							
		の必要性が高い事	美刀3							
評価	a 必要性									
判断	東日本大	震災の状況から判断	折し、	緊急性を要するため早	急に設置っ	する必要な	がある。			
理由										
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべ	き事業	をか.						
評価		E体的に実施すべき								
1 31//1	叩奶火缸	画に関連するため。								
理由	<u> </u>									
③ 有效				バっているか(新規事業の	り場合は見	L込)				
評価	a 期待し	た通りの成果があ	る							
判断	これまで	有効的な住民への力	り法手	段がなかっため。						
理由			,	*						
	k性・战里	を変えずに、経費	を下心	ずる方筈けかいか						
評価	a 週上な	は積算に基づく経費	じめ	ବ						
判断										
理由										
⑤ 緊急	急性:緊急	、に実施すべき事業	j,							
評価		尾施しなければなら								
判断		災害対策のため								
理由	1100	J \ □ /J /K \ / / (\ \ \ \)								
	<u> </u> ===: /==: ==	· 10 A // ~	Ш	L.L. (40 A == 1= 1	1 11 -1	arta finfin kata \				
		び今後の事務事	乗の.	<u>方向(総合評</u> 価に対	する改	善策等)				
総合評	価 ⇒		Α							
A.W. T	+	今後は設置後	、状态	兄を調査すると同時に改	善し最良	なシステ	ムを整備す	る。		
今後の	刀미性									
<u>* _7</u>	火証価 (爛)							
☑現状		<u>正回以从床记入</u> □ 拡充		改善		統合				
_	地ソ	=	H	_						
休止		□ 廃止	Ш	完了						
Ī										

平成24年度事務事業評価書 事業)

					(対象:平成23年度実施計画	
1	事業	の概要・	・成果	目標		
		基本目標	栗 (章)	5人	と自然が元気な潤いのあるまち(自然環境・生活環境)	

施策区分	基本施第 個別施第	接(節) 5-2生活 を(項) 5-2-5 消	肖防・救急の充実	担	担当課	消防本部		左座			
区分	事務 1 新		幾器更新事業 →		事業 期間	平成 平成	23 23	年度 ~ 年度			
目的 及び 背景	指令装置	の耐用年数を経過し	ている機器等を更新する。		,,,,,,,,	1 /9%	20	TIX			
事業 内容	指令装置	の耐用年数を経過し	ている機器等を更新する。								
	数値 目標	項目	算定式	最終目標	標	H22年度(ま	での) 実績	H23 (までの) 目標値			
成果	設定 事業										
目標	数値 目標		指令装置機器の更新								
	以外	H22年度までの実績 H23年度目標	た 人 大 男 様 即 の 再 並								
2 事業	事業		指令装置機器の更新		A @ (max. b -	an an attracte lake a voca attracte lake					
△ 尹未		※採用算定式:①H23実績値/H23目標値 - H23事業費	②(H23までの実績値−H22までの実績値)/(H23まで		3実施内)/ 寂於日標値 ④l	123(までの)美績値/最終目標値			
		1,686 千円	指令装置機器の更新								
実施	数値 H23 実績値 H23 目標値 H23 単年度達成度 全体計画における達成度 事業 採用算定式 採用算定式										
状 況	設定 事業 %										
	数値 目標	H23実績	H23目標	H23単	i年度達		全体計	% 画における達成度			
	以外 事業	指令装置機器の更	新 指令装置機器の更新		100	%		100 %			
	成状況の評	価	身体及び財産を守り消	防活動の強化	が図ら			,,,			
1 1/1	等 事業の 要性:実施	<u>半価</u> の必要性が高い事業	金カュ								
評価	a 必要性		<u> </u>								
•шп	産を	74 0 14 // V (等があり、いつ故障する。	か分からないお	犬況でま	あるため、ナ	地域住民の	の生命、身体及び財			
-		主体的に実施すべき	事業か								
評価 判断		E体的に実施すべき 的に実施すべき									
理由	11177										
③ 有效			「上がっているか(新規事業	(の場合は見込	<u>(</u>)						
評価		た通りの成果がある		धिवार किस							
判断 理由	地坝仕氏	い生叩、身体及び則	産を守る消防活動の強化な	ド凶り私だ。							
	▲ 	を変えずに、経費を	:下げる方策はないか								
評価		よ積算に基づく経費で では 									
理由			、機器等に精通なため適」	Eな経費である	5 。						
		に実施すべき事業が									
評価 判断		ミ施しなければなら7 の生命 身体及び財	ょい 産を守るため至急に実施	, t-							
理由	20.2/12/20	O ZERO A HIXO M		0,00							
		バ今後の事務事業	をの方向 (総合評価に	対する改善領	策等)						
総合評	価 →	新田年粉学な	A ┃ ┃ ┃ 見極めて更新を進めていく								
今後の				0							
※ 二次 現状		企画政策課記入 □ 拡充	懶 <i>)</i> □ 改善 □ 縮	<u>.</u> Г	統合						
		□ 廃止	= =	采択							

<u>l 事業</u>	やの概要	<u>・成果目標</u>									
	基本目標	票 (章) 5人と自然な	ぶ元気	な潤いのあるまち(自然環境・	生活環境)						
施策	基本施第	後(節) 5-2生	活環	境の向上		担当課	消防本部	総務課			
区分	個別施第	策(項) 5−2−5	消防	・救急の充実 動車CD-1型整備(消防団							
	事務事	事業名 消防ポン	プ自	動車CD-1型整備(消防団])	事業	平成	19	年度 ~		
区分	1 新				············ 続	期間	平成	33	年度		
		防施設の適正配置		THE	1196	7941114	1 /3%	00	<u> </u>		
目的 及び	相的国相	別心以り過止出し									
背景											
日尽	ケッシュ	こせ シェステをして	,								
事業		に基づいて更新する		プロサキャンサイルか	11-	₩7++ ~ †	ま逃れれてて、	シルフェー		€T T T8	
内容				√プ積載車の台数を少な Ľ変更する。消防団と最					こなく、小堂!	到力が	
			カキャ								
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まっ	での)実績値	H23(までの)	目標値	
	目標	消防ポンプ車の更		i団適正配置に基づ		台		台		台	
成果	設定	新数		式の古い車両から	1	9	6	;	2		
日標	事業 数値		审新	する.					<u> </u>		
口伝	日標 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	値 ②(4	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	日搏信-H99キでのE	1搏信) ②(H29+	での宝績値+1193宝績値) / 悬 終 日 搏 値 (()	193(までの) 宝繕値/最終E	持 信	
<u> </u>	*/ *///	H23事業費	E WI	20までの大根色 1122までの大根色//(1120までの		123実施内		77 MX N C D TOTAL SEC. SEC.	20(よでの) 天顔區/ 取れ口	TOTAL	
	-	.1100千八兵				, ,,,_,					
		28,350 千円	第11	.分団1部及び第13分団に	消防ポン	プ自動車	(CD-1) 2 €	おを整備し	た。		
	N// / / .				1100	単年度達	4 座	<i>∧ 1</i> +:1.:	亜ルマナハナフ 法	中中	
実	数值	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値			ğ		画における達		
施	目標										
状	設定 事業	2	,	2 ,	100 42						
況			台	台		%					
	数値	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達	成度	
	目標 以外										
	事業						%			%	
	チバ	目標が達成され	てい	る。			/0			70	
目標達用	成状況の評			- 0							
- 	- 	T /m									
	事業の記										
① 必要		[の必要性が高い事]	をか.								
評価	a 必要性										
判断) 分[団を統合し、消防ポンプ	自動車に	更新をして	て消防力の位	氐下をさせ	せることなく:	最も効	
理由	率的な消	防体制を構築する。									
② 主体	体性:市が	主体的に実施すべる	き事	業か.							
評価	a 市が主	E体的に実施すべき									
判断	消防力の	基準に基づき、市な	3整備	青するものである。							
理由											
	・	したとおりの成果。	55 F 7	がっているか(新規事業の	り場合けり	1.i入)					
評価		た通りの成果があ		, - C, O, (//////// 7 /K)	- /// LITS/I	/					
				*体及び財産を守る消防	防災活動の	刀強化が区	対られ ス				
判断 理由		······································	1 =	コログロガ注でする11月別	レィンく1口 おり	· > JAN LI 1/1 - L	· シャト・ト				
	 	:を変えずに、経費	シエ)	ギス七竿/せわいか							
評価		は積算に基づく経費の実数ながあります。			તારે \ . ⊶ ન ≃	乱士 ホ ハギ	ルナ. ロ ナ 1 -				
判断	併炒団貝	₩比級を減少しない	, C,	分団の統合により消防	ルノノ目	助単の台類	以ど兄旦す。				
理由											
		に実施すべき事業が									
評価		 									
判断				こめには事業の実施は必	要であり、	災害に対	対応する消息	坊団員の多	そ全確保も必	要であ	
理由	るため至	急実施しなければな	よらな	たい 。							
4 総合	・評価及で	び今後の事務事	巻の	方向(総合評価に対	する改	善策等)					
総合評			A	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	, 2 ->(/ I+ ·4 /					
		消防団施設適	正配:	置に基づき整備を実施す	⁻ る。						
今後の	方向性				- 0						
<u>* _}</u>	欠評価 (擱/								
☑現状		<u>企画以来保証人</u> □拡充	/1 財 <i>人</i>	改善		統合					
_		=	님			אער ב					
□ 休止		□ 廃止	<u> </u>	完了	1/1						

1	事業の概要	成果	目	煙

<u></u>	が一概安									
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第			な潤いのあるまち(自然環境・ 竟の向上 ・ 救急の充実		担当課	消防本部	総務課		
		事業名 消防団詰	所ト~	 イレ整備		事業	平成	23	年度	\sim
区分		規 2継 続			続	期間	平成	25	年度	
目的 及び 背景	に配慮す	る。		を考慮に、消防団詰所	にトイレを	を設置して		建康管理》		周辺の環境
事業 内容	トイレ未	設置の消防団詰所に	こ年間	[3個所づつ設置する。						
	数値	項目		算定式	最終			での)実績値	H23(まで	での)目標値
成果目標	目標 設定 事業	簡易トイレ設置個 所数		レ未設置消防団詰所の トイレ設置要望個所	1	個所 1				個所 5
日悰	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業	実績		値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④I	H23(までの)実績値	直/最終目標値
		H23事業費			I	H23実施内	7容			
	261 - 1 -1-	777 千円	分団	詰所5個所に設置した。	поэ	出年庇法	라	全 休卦	面におけ	ス接成度
実施	実施 H23(までの)実績値 H23(までの)目標値 H23単年度達成度 全体計画における達成度 採用算定式 「 採用算定式								3) 建成及	
状 況	事業	5	個所	5 個所		100	%	4	5 %	
	数値目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	以外 事業	WITH B o Mark	· /:h= /				%			%
目標達成	戊状況の評	消防団貝の健康 	、軍	生管理面の改善が図られる	0					
	事業の		Ш4 э							1
		近の必要性が高い事章 ************************************	美か							
評価	a 必要性		ELTI OT)環境に配慮ができる。						
判断 理由	伯奶凹貝	の健康自生と印別が	1) X7 (>	/妖児に印思かてさる。						
	<u> </u> 	主体的に実施すべる	き事業	きか						
評価		主体的に実施すべき		<u></u>						
判断理由	市が実施	すべきである。								
③ 有效				ぶっているか(新規事業の	り場合は見	L込)				
判断		」た通りの成果があ の健康管理と詰所原		環境に配慮ができる。						
理由 ④ 効率	<u>┃</u> ጆ性:成果	とを変えずに、経費を	を下に	ずる方策はないか						
評価判断	a 適正力	な積算に基づく経費	であ		ある					
理由					w). o					
<u>⑤</u> 緊急 評価		はに実施すべき事業だ 以内に実施する必要		<u></u> る						
判断理由	消防団員	の健康管理と詰所周	周辺の	環境に配慮ができるた	め3年以内	に実施す	る必要があ	る。		
4 総合		び今後の事務事		方向(総合評価に対	する改善	善策等)				
総合評 一 会後の		計画通り消防	A 団員の	 	環境に配	慮のため	トイレを設	置する。		
<u>₩</u> =}			爛/							
☑現状		<u>(正画以泉珠記入</u>		改善		□ 統合				
		□ 成元 □ 廃止	=	完了						

1 事業	をの概要	<u>・成果目標</u>									
施策	基本目標基本施定			聞いのあるまち(自然環 の向上	境・生	活環境)	担当課	総務部 総	務課		
区分	個別施第	兼(項) 5-2-6	防犯体(制の充実							
	事務	事業名 防犯灯・	封路灯!	整備事業	4.1.4		事業	平成	20	年度	~
区分		規 2継 続	- 17++ .1. ì	→ ま見が な としゃ	継続	_	期間	一 安田 ナフリ	とよ生状と	トフ	
目的 及び 背景	(を) (に)	ける犯罪等を未然に	- 汐上し	ン、 市民が安心し	(春ら	せるよ	つつくりも	ビ表現する/	この美施り) S.	
事業		㈱より寄贈の10灯、	市単独	は20灯、合わせて3	0灯の	防犯灯》	支び20灯の	つ街路灯を均	也域住民な	いらの設け	置要望等に
内容	より設置	する。 域が設置する街路灯	ひとつい	いてけ 設置費 氰	官宗彩	に対しれ	甫助金をズ	が付する			
	数値	項目	,,,,	算定式		最終			での) 宝徳	1100 (3:5	での)目標値
	目標	防犯灯・街路灯設		异化八		取形	灯	1122十尺(よ	灯	1123 (3.	灯
成果	設定事業	置数		年50灯×5年		25	50	54	1		50
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
0 車型	事業 美実績	H23年度目標									
∠ 事系		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	直 ②(H23ま	での実績値-H22までの実績値)/(H23	までの目		#@ ③(H22まで 123実施内		/最終目標値 ④H	123(までの)実績値	直/最終目標値
		1 106	防犯灯	47箇所設置、 電気料補助268	路灯	4 灯設置	Ī.		ш		
, ,,	数値						3単年度達			画におけ	る達成度
実施	目標	H23 (までの) 実	漬値 日	[23 (までの) 目標	!値	採用算		1		章定式	3
状況	設定 事業	47	灯	50	灯		6	9 %			
	数値 目標	H23実績		H23目標		H23	3単年度達	画におけ	る達成度		
	以外 事業							%			%
日標達	成状況の評	新たに開通し	に幹線	道路等の防犯対策 定したが、補正予	として	て、防犯	灯の新規	設置を行っ	たことに	より、当	初予算で
		0 0 圣任及故	■℃ 」//	としたが、 補上 デ	异(て	020, 000F	7年領し政	(世を1)つん	-0		
7 7/1	事業の	泮伽 iの必要性が高い事業	と ろく								
評価	b 必要h		E/J [*]								
判断理由		からの設置要望に対	が応する	ため必要である。							
	<u>┃</u> 本性:市か	ぶ主体的に実施すべる	*事業/),							
評価		主体的に実施すべき									
判断理由	公共性が	高いため市が実施す	゙ べき。								
③ 有刻	効性:期待	ましたとおりの成果だ	ぶ上がっ	っているか(新規事	業の	場合は見	L込)				
評価		した通りの成果があ	る								
判断 理由	夜間の防	犯に成果がある。									
	▲ 率性:成果	とを変えずに、経費を	ト下げる	る方策はないか							
評価		前減を検討する余地		2777101 01 17							
判断理由	LEDによる	る維持費削減の検討	の余地	がある。							
	<u></u> 急性 : 緊急	*に実施すべき事業な) 7								
評価		実施しなければなら									
判断 理由	継続して	いくことが重要な事	業でも	っるため。							
4 総合 総合評		び今後の事務事業	<u>美の方</u> B	向(総合評価)	こ対で	する改	善策等)				
	方向性		ちづく								
<u> </u>	次評価	(企画政策課記入		- XC C C 7	r^/X (- AKC	H * > 7 HE > 5			_ ~ 土 か	· · ·
☑現状		<u>(正國政衆味記八</u> □ 拡充		善	宿小		統合				
休止		□ 廃止			 下採护	5					

施策

区分

区分

目的

平成24年度事務事業評価書 (対象:平成23年度実施計画事業)

継続

松井地区、粟野地区、日棚地区の農村環境の改善、農業の活性化を図ることが目的で農林漁業用揮発油税財源身

担当課

事業

期間

環境産業部 農林水産課

11

25

年度

年度

平成

平成

6 未来を支える個性と活力のまち(地域産業の振興) 6 - 1 産業の振興 6 - 1 - 1 農業の振興 中郷地区農免道路整備事業

1	事業の概要		出出	\Box	輝
		•	$\Pi V \rightarrow K^{\bullet}$	\mathbf{H}	$\Lambda =$

基本目標(章) 基本施策(節)

個別施策 (項)

事務事業名

1新 規

2継 続

及び背景			と道を新設し、地域の農産物 E活環境や利便性も向上され		至性の合理化を図る。	また、3地区を結						
事業内容	成予定。 0235線の	事業量については中 松井配水場付近から	□期は中郷1期が平成11年か □郷1期が710m、中郷2期; □栗野を経て日棚地区の都市 効幅員5.5mの舗装道路で	が1,610mとなってレ i計画道路久保ノ内・	います。路線ルートは	こついては2級市道						
	数值	項目	算定式	最終目標	H22年度 (までの) 実績値	H23(までの)目標値						
成果	目標 設定 事業	進捗率	(執行済み事業費) /(全体事業費)	100	% 86	70						
目標	数值	最終目標										
	目標 以外	H22年度(までの)実績										
	事業	H23目標										
2 事業			値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの)目標値-H22までの目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)/最終目標値 ④	H23(までの)実績値/最終目標値						
	I	H23事業費		H23実施内	9容							
		11,112 千円	土 工 1式 法面工 1式									
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値 H23(までの)目標値	H23単年度達 採用算定式	成度 全体計 ① 採用2	画における達成度 算定式 ④						
状 況	事業	90 % 70 % 129 % 90 %										
		数値 目標 H23実績 H23目標 H23単年度達成度 全体計画における達成度										
	以外 事業 % % %											
目標達成	目標達成状況の評価 1 期地区の710mについては平成16年度に供用開始しており、2 期地区の1,610mについては平成 25年度の完成予定。											
3 事務	事業の記	平価										
		[の必要性が高い事業	業か									
評価	a 必要性) B B 1 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	z (1)-t-)-z							
判断 理由		区から粟野を経て⊧ しても事業効果はナ	日棚地区へ通じる農免道路が こきいと思われる。	開連されれは、農産	生物流通、宮農の改善	・ 地域の生活環境						
		主体的に実施すべる										
評価			- + ペペ NPO・住民団体等)が主(本的に行うべき								
判断理由	事業主	体は茨城県が施工す	rるが、事業の負担金として	支出している。								
③ 有刻	协性:期待	したとおりの成果だ	が上がっているか(新規事業	の場合は見込)								
評価	a 期待し	た通りの成果があ	る									
判断 理由	中郷1	期地区の710mは平	成16年度に完了し、その区[間の営農の改善等が	図られた。							
			を下げる方策はないか									
評価		は積算に基づく経費		中 シー・マー (井)	1 = 2 + 3 + 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	T) - 1 + 1/2 (-)						
判断理由	る。		E鑑定を実施するなどして決	だにしている。槓算に	は国の基準により適」	上に槓算されてい						
		に実施すべき事業な										
評価 判断		を施しなければなら マ 悪野地区 日間	ない 胴地区の農産物流通の効率化	・レ圧産性の今理ルな	ン図る生活道敷レして	ても住民の生活環境						
理由	や利便性	も向上される事業で	である。		[凶る生佔坦路とし	(1) 住民の生商垛場						
4 総合 総合評		び今後の事務事業	養の方向(総合評価に対 ─A	けする改善策等)								
今後の		平成25年度の成を要望してい	の完成を目指し、事業主体の	の茨城県(高萩土地は	改良事務所)に予算	の確保と早期の完						
<u></u>	欠評価 (企画政策課記入	欄)									
☑ 現状:	通り	□ 拡充 □ 廃止	□ 改善	_								

_1 事業	美の概要	<u>・成果目標</u>								
施策 区分	基本目标 基本施货 個別施賃	票(章) 6 未来を支		と活力のまち(地域産業 関 長興	の振興)	担当課	環境産業部	『農林水	産課	
E /\	事務事	事業名 農業団体	等支援事	事業 	佐	事業 期間	昭和	46	年度	~
区分 目的		規 2継 続 量の低下 豊作等	アよろ米	<u>→</u> 継 余りを解消するため	続 米の生産		<u> </u> 〒う.また.	平成 2 5	2年度上	り「戸別所
及び背景				し、平成23年度か						
事業内容	市内の和	産調整協力者に対し、 6作農家が稲発酵粗飼 2で再び田に戻す、「	料 (WC	·支払う。 S)を生産し、それを音 「循環型農業」の構築を	畜産農家に信 目指す耕畜	共給し、牛 連携推進協	から排出さ 協議会へ助成			
	数值	項目		算定式	最終		H22年度(まて		H23(まっ	での)目標値
成果	目標 設定	生産数量目標達成率	配分面和	積/作付面積×100	10	%	87.	18		100
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績 H23目標								
2 事業	事業 美実績	7.04.	値 の(H23まで	・の実績値-H22までの実績値)/(H23までの	日搏信-1199までの日	拇値) ② (H99 まっ	*の宝績値+H22宝績値)	/最終日搏値 (不)	193 (までの) 宝績	值/县終日搏值
1 7 /		H23事業費	E @(1123 x C	ッ/大横 III II22よ € ッ/大横 III // (II23よ € ッ/		H23実施内		/政府口标画 法/	123(よくの) 天順	巨/政府口係但
		21,900 千円		水田利活用自給力向」 とWCSにそれぞれ	3万円を上	:乗せし、	循環型農業	をの確立を	図った。	
実施	A									る達成度
況	事業	93. 17	%	100 %						3 %
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H23単年度達成度 全体計画によ					る達成度
	事業						%			%
目標達用	生産数量目標の達成									
3 東敦	(事業の									
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	業か							
評価	a 必要性									
判断 理由		・指導であり、市場								
		主体的に実施すべ	き事業が	7						
評価 判断		ik体的に実施すべき 策改革で生産者団の	木自らが	実施することで、平	成20年度	ト N I A 刍	会へ移行した	· [.//\	個人	情報保護で
理由				いまだ関与を要する		, , , j 11 ·	1 151101	C ₀		THINNIN C
				ているか(新規事業の	の場合は見	L込)				
評価 判断		」たほどの成果がみ 調整は、いまだに ⁵								
理由	/ドッ/ 工/主	明正は、 く みたに	区上从(w). 2 0						
④ 効率		を変えずに、経費		方策はないか						
評価		な積算に基づく経費		ては助成金を上乗せ] ブロンフェ	泪(比)≯. 助(□	上之 上立	とよい言田市を一	Lm <i>k</i> ta.	ट माणिस्ट
判断理由				に推奨していきたい		兄仏で蹈る	にん、土座1	ヨが調金/	八田寺か	り切り換え
⑤ 緊急		に実施すべき事業	ð,							
1 4171	国の施策	を施しなければならであり、市単独では、継続性を持って	5、特に	飼料米・WCSにつ べきである	いては助原	成金を上痢	乗せし推奨し	しているこ	ことから	、緊急性と
	_ `評価及で		業の方	句(総合評価に対	する改善	善策等)				
総合評 今後の	価 → 方向性			<u> </u>			る現状を踏	まえ、耕	畜連携に	よる循環
<u></u>	次評価 (企画政策課記入								
□ 現状	通り	□ 拡充 □ 廃止	改 定 完	· <u>—</u> ·		□ 統合				

1	事業の概要	成果	目	樰

	がが大	*									
施策	基本目標(章) 6未来を支える個性と活力のまち(地域産業の振興) 基本施策(節) 6-1産業の振興					担当課	環境産業部 農林水産課				
区分	個別施策(項) 6-1-1農業の振興										
A	事務事		がい	排水整備事業	, / ₂ -t-	事業	平成		年度 ~		
区分	1 新 規 2 継 続 → 継続				期間	- 古陪むきも	シー アルン	スため 燃能の同復			
目的 及び 背景	山間急傾斜地帯に広がる水田は用排水路の未整備地域が多く、水路機能に支障をきたしているため、機能の回復と維持管理の軽減を図るためU字溝等にて整備を行い農作業の合理化を推進する。										
事業内容	用排水路の機能回復と維持管理の軽減を図るために、U字溝の布設、柵渠の底張りコンクリート等の改良工事を 実施して、水路機能に支障をきたしているかんかい排水路を整備する。										
	数値	項目		算定式	最終目標		H22年度 (までの) 実績値 H23(H23(までの)目標値		
成果目標	目標 設定 事業	整備要望地区 (単年度)			全地区	区整備	11	地区	地区 2		
	数値 目標	最終目標				<u> </u>					
		H22年度(までの)実績	支 績								
	以外 事業	H23目標	H23目標								
2 事業	2 事業実績 ※採用算定式:①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値/H22までの実績値/(H23までの目標値/H22までの目標値) ③(H22までの実績値/H23実績値)/最終目標値 ④H23(までの)実績値/最終目標値										
	H23事業費			H23実施内容							
	16,450 千円			排水路改良工事 L=1,277m 4地区							
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23 採用算	3単年度達成度 算定式 ①		全体計画における達成度 採用算定式 ④			
状 況	事業数値		地区	2 地区		200 %					
	目標 以外	H23実績 		H23目標	H25	3単年度達成度		全体計画における達成度			
	事業 % %										
用排水施設の整備による維持管理の労力の軽減が目標であり、単年度で地区毎に整備しているため、事業完成すれば目的は達成する。											
3 事務	等業の語	平価									
		の必要性が高い事業	能か								
評価 判断	a 必要性		ノロ 夕)・	こより土砂流出及び法面	出体ない	ト い →し ログド	松化テ士院	・、キャー・	ていてため 日学選		
理由		小崎は硼化水、エル する必要がある。	へぱい	-より工砂伽山及い伝面	朋塚守に。	より小崎が	対形に 入降で	とさたし	こいるため、0十件		
② 主体	本性:市が	主体的に実施すべる	き事	業か							
評価		E体的に実施すべき	ه علاد ط		<i>≯ /</i> □ - <i>→</i> \	1)-1 +2	× / / / / / / / / /-	b#- 1- %	・古帯できる		
判断 理由				の振興、水田の維持管理			14年的にま	を施すべる	き事業でめる。		
				がっているか(新規事業の	の場合は見	[込]					
評価 判断	//414 4	ンた通りの成果があ の軽減、生産性の向	•	ぶ図られ、確実に事業効	果の成果で	が現れてい	<u> </u>				
理由					> - > PM > \		v 0				
		:を変えずに、経費を									
評価		☆積算に基づく経費 農林省の土地改良↑									
判断 積算は農林省の土地改良工事積算基準に基づいている。 理由											
⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か											
評価		E施しなければなら い排水の改良は悪//			けかスたい	<i>わに</i> す コ	4白が刍致!	レカーブ	\ X		
判断 かんがい排水の改良は農作業の軽減、生産性の向上をはかるためにも、改良が急務となっている。 理由 理由											
4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等)											
総合評価 ⇒ A 確実に市内各所のかんがい排水路は整備され事業効果はあがっているが、いまだに未整備箇所が多く、地元住民の要望に対応し											
今後の方向性 されない状態です。また、土地改良法に基づく法手続きが必要になったこと及び県事業費の削減により業効果の低い地区について は、事業として採択されなくなるため事業地区を絞込む必要がある。											
※ 二次評価(企画政策課記入欄)☑ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合											
□ 妖術											

1	事業の概要	成果目標	
1			

<u>」 </u>	が成安	*								
施策	基本目標(章) 6未来を支える個性と活力のまち(地域産業の振興) 基本施策(節) 6 - 1 産業の振興					環境産業部 農林水産課				
区分	基本地界 (即)					VK JUZZ ZK FF	12(11/11)			
		事業名 中山間地	展系2005年 域等直接支払事業		事業	平成	1 3	年度 ~		
区分	1 新		\rightarrow	継続	期間	平成	2 6	年度		
目的	中山間地域等は、水源の涵養、洪水の防止に大きな役割を果たして									
及び	棄地が生じ、水土保全の大きな損失が懸念されるため、地域の共同取組や農作業を通じ耕作放棄地の発生を防止									
背景										
事業内容										
	数值	項目	算定式	最終	目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(までの)	目標値	
成果	目標 設定	対象地域における	214ha×10%		ha	a ha			ha	
	事業	取組の割合	214fla ^ 10 70	2	21		20			
目標	数值	最終目標		•						
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外 事業	H23目標								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)	/(H23までの目標値-H22までの	目標値) ③(H22ま*	での実績値+H23実績値)/	最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目	標値	
]	H23事業費		-	H23実施卢	內容				
		2,285 千円	内野地区 94,003㎡=1,136,023円、小木板谷地区 108,539㎡=1,148,151円合計 2,284,174円							
実	数値	H23(までの)実績	H23(までの)目標	画店 H23	H23単年度達用		全体計	計画における達成度		
施	目標	1123(よくの) 天順	1123(よくの) 日本	採用領	算定式	1	採用算	算定式 ④		
状	設定 事業	20	. 2	1 ,	95	0/		95	0/	
況	数値		ha	ha	%				%	
	目標	H23実績	H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画における達	成度	
	以外									
	事業									
目標達成	成状況の評	平価 共同位勤取組を	迪し、心関科寺辰米工圧	木件に作りな展す	匠 Vノ 朴田 1寸 日 メ	生がずか上げ ごねし	് ം			
0 車效	事業の記	50 /元								
		土畑 の必要性が高い事	坐 力。							
評価	a 必要性		***							
判断	高齢化に	よる耕作放棄地防」	上、水田の持つ多面的村	幾能の発揮のた	め必要では	ある。				
理由										
② 主体	体性:市が	主体的に実施すべ	き事業か							
評価		E体的に実施すべき								
1.41-21	農業生産	活動に対する助成な	こので市が適当と思われ	13.						
理由	 #1 /4	ことしたりの出田。	スジ L スジ _ ・デ 1 、フ み、/ ☆に H	1車坐の担合は	3 : 1)					
③ 有刻 評価		- したこねりの成来/ - た通りの成果があ	が上がっているか(新規 ス	は手来り場 口はり	七尺)					
判断			る Rされ、担い手による	受託面積が増え	た。					
理由					~					
4 効率		:を変えずに、経費	を下げる方策はないか							
評価		な積算に基づく経費								
判断 中山間地域等直接支払交付金実施要項に基づいている 理由										
⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か										
評価 a 至急実施しなければならない										
判断 高齢化等による耕作放棄地を防止するため、急がれる事業である。										
理由										
4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等)										
総合評価 ⇒ A 中山間地域等の持つ国土の保全、水源の涵養、良好な景観の形成等、多面的機能の確保が目的であ										
今後の方向性 るので、集落における生産活動が低下しないよう不断の見直しが必要。										
※ 二次評価(企画政策課記入欄) 「日間はほか」 日本本 日 な 日 な 日 な 日 な 日 な 日 な 日 な 日 な 日 な										
□ 団										
□ 休止 □ 廃止 □ 完了 □ 不採択 □ 示採択 □ □ 元採択 □ □ 元採択 □ □ 元 □ 元 □ □ 元 □ □ 元 □ □ 元 □ □ □ □ □										

1 事業	の概要	• 成果目標										
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第		業の排	国性と活力のまち(地域産業 辰興 ひ振興	の振興)	担当課	環境産業部	『 農林水』	産課			
EA	事務事		域活	生化推進事業	∕≠	事業 期間	平成	20	年度	~		
区分 目的	1新中山間	770 11 100	ろため		続への助成	朔间	<u> </u>					
及び背景												
事業内容				3議会による農産物収穫 の助成によりグリーン								
	数値	項目		算定式	最終	目標			H23(まて	での)目標値		
成果	目標 設定 事業	田舎ぐらし体験参 加者数	平成	20年度158名×120%	19	90	14	0	-	190		
目標	数値 最終目標 目標 1995年度は3700 実体											
	以外 102年度(までの)美瀬											
2 事業	事業											
7 7	 手来夫額 ※採用算定式:①H23集績値/H23目標値 ②(H23までの実績値+H22までの実績値)/(H23までの目標値-H23までの目標値・H23実施)/最終目標値 ④(H23(までの)実績値/最終目標値 H23事業費 H23実施内容 											
	850											
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		単年度達 算定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④		
状 況	事業	215	人	190 人		113	%	113		3 %		
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画における達成度		る達成度		
	事業						%			%		
	成状況の割	^Z 価	を増 ³	やし、体験参加者数目標	県の達成に	取り組ん	でいる。					
	事業の記	平価 の必要性が高い事	失み、									
評価	a 必要性		未//*									
判断理由	中山間地	域の活性化を図るた	とめ必	要である。								
		主体的に実施すべ		美か								
評価 判断		E体的に実施すべき や農業休騒受入組織)補助事業なので市が扱	٦							
理由			HV -11>		<i>7</i> °							
				ぶっているか(新規事業の	の場合は見	违 込)						
評価 判断	,,,,,,	ンた通りの成果があ 織の育成が見られる	-	- 一も増えてきている。								
理由	73. (=7,22	11/94/0 20 24 02		0.476 (6 (1 %)								
		を変えずに、経費										
評価 判断		よ積算に基づく経費 性化には、組織の↑		る ぶ必要であり、メニュー	も増えてき	きており.	経費は不足	11している	る状況でき	ある。		
理由			-,-,419									
-		に実施すべき事業										
評価 判断		E施しなければなら 域の最新のニーズに		るためにも必要である	^							
理由	1 5414156	211	-//		·							
4 総合 総合評			Α	方向(総合評価に対								
今後の	方向性	組織の育成や	イベ	ントを継続して育成する	必要があ	る。						
<u>* _}</u>		企画政策課記入										
✓ 現状✓ 休止		□ 拡充 □ 廃止	=	改善 ☐ 縮小 完了 ☐ 不採		□ 統合						

_1 事業	をの概要	<u>・成果</u>	目標										
	基本目標	票(章)	6 未来を3	支える(固性と	活力のまち(地域産業	の振興)					
施策	基本施策	乗(節)	6 - 1 産	業の	振興				担当課	環境産業部	3 農林水	.産課	
区分	個別施領	乗(項)	6 — 1 産 6 – 1 – 1	農業	の振り								
	事務	事業名	農業経営	(体質)	強化す	· 計第事業			事業	平成	1 5	年度	\sim
区分	1 新		2継続)3X L1 /	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	継	結	期間	T-74,X	1 0	十/又	
		, ,,=			,去卍					1	7 曲 杂 拝	生のた	ナルナッフェ
目的	外半的 みが	かつ女は	上的な辰来 *孝の典学	性呂の	2 月 灰	、し、 辰耒暀 ・両法はのた	・ おに !	果生性の 単状海棠	作ヨ郡汀で	を担うようた 資金等を借り	(長耒伸)	世界者に:	とはかるに 到之曲よる
及び	の交付を		そ日の辰未	以音》	5. 色 口	画達成のた	. W) (C,)	支 你怎未	並附乙熚身	並守を旧!	/ / \	录未有 (□/	門」列派金
背景													
事業					ゔき、	認定農業者	が借り	入れた資	金の利子即				
尹未 内容			h成(公庫										
1.1/ []	・近代化	貸金利力	产助成(農	協負金	全)								
	数値	J	項目			算定式		最終	· 目標	H22年度 (まて	での) 実績値	i H23(まっ	での)目標値
	目標											1	
	設定												
成果	事業												
目標	数值	最為	終目標	農業	経営	の安定							
	目標	H22年度	(までの)実績	借入	.者15	名に対し、	1,580千	円の利子	助成がな	された。			
	以外			_									
り事業	事業 H23目標 農業資金借入者の利子負担軽減 実実績 ※採用第定式: ①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値/H23までの実績値/H23までの実績値/H23までの実績値/H23までの実績値/H23までの実績値/最終目標値 ②H23はでの実績値/最終目標値 ③H23はでの)実績値/最終目標値												
∠ 事未		* ^{採用算定式:} H23事業		摽値 ②(H	23までの3	収積値−H22までの実績値	直)/(H23までのE				/最終目標値 ④	H23(までの) 実績値	直/最終目標値
		日23争亲	:負						H23実施内	竹谷			
		1, 18	0	対象	者は	、農協資金	3名で約	54万円。	公庫資金	は8名で約	11147	5円助成。	
		1, 10	千円] [/1] = 1	. ц то	()及伽英亚	о д сл						
実	数值	поэ (д	とでの) 宝糸	患/ 估	пос	3(までの)目		H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
施	目標	П23 (8	までの)実績	貝但	ПΖι	3(\$ (0))	1 徐旭	採用第	算定式		採用	算定式	
状	設定												-
況	事業									%			%
	数値		H23実績			H23目標	ĺ		3単年度達	成度	全体計画における		て海出産
	目標		口23天順			П23日 信		(H2	3実績/H23	目標)	土平司	画におり	る厓灰及
	以外	借入者11/	名に対し、1,	180千		資金借入者	の利子		100			3	0
	事業		助成がなされ		負担					%			%
	خم صدالط	f /Tr	昔入者の利力	子負担	の軽洞	杖にはなって い	ハるが、	経営の安定	定に寄与す?	るところまで	ではない	0	
日際達用	成状況の 評	片1曲											
3 車数	事業の	亚											
		,, .	生が高い事	歩み、									
			エハ・一回・一手	***									
評価	a 必要性		\	n 2- 13	. N III	· ベナフ							
判断	辰耒貞金	借八有 0)負担軽減	0) / E &	ノ业安	と でめる。							
理由													
② 主体	本性:市が	主体的に	こ実施すべ	き事	美か								
評価	a 市が i	主体的に	実施すべき	Ś									
判断	資金借入	者の負担	1軽減を図	る助尿	見であ	るので市が	行う。						
理由													
③ 有效	5件:期待	iしたとは	おりの成果	がトス	がって	こいるか(新	規事業の)場合は	見込)				
評価			の成果があ					1-12					
判断			型軽減が図		「いス) -							
理由	二十八		- IT-1/2/14 · [C]	J 4 U (٠٠٠ ما	. 0							
	 	まかき-	半/ァ (マ曲	オーエハ	ギフユ	二年ルナハ、ユ	`						
-						5策はないか	-						
評価			基づく経費			7							
判断	県の利子	助成要领	頁・要項に	垦づレ	いてい	る。							
理由													
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施っ	ナベき事業	カュ									
評価	a 至急第	実施しな	ければなら	ない									
判断	利子助成	なので、	年に2回	上・1	「期に	実施してい	る。						
理由		•					-						
<u> </u>		(1)	の重数重	業の	声 曲	(総合評	価にも	するみ	姜箬笙 \				
4 祝日 総合評		リー 1夕し	ッず効手		ノノ [円		国でと	7 公以	古水 守/				
松百計	- ш →	曲 -	坐次 	A	カチリー	7.助比べまり	O	651 × 114 H	:ナスァ 1.	がひ囲べき	Z		
今後の	方向性	辰	未貝並借力	4 (1)	ノノ不りつ	」別以 じめり	ノ、が胚がて	ロハに的り	いりのこと	が必要であ	る。		
		1	Masm →										
<u> </u>			策課記入										
☑ 現状		□ 拡き			改善		縮小		□ 統合	•			
□ 休止		廃_	止		完了		不採	択					

1 事業	美の概要 しんしょう しょうしん しょうしん しょう しょう しょう しょう かんしん しょう かんしん しょう	• 成果目標									
	基本目標	票(章) 6 未来を支	える(固性と活力のまち(地域産業	の振興)						
施策	基本施第	策(節) 6-1産	業の	振興		担当課	環境産業部	農林水	産課		
区分	個別施第	策(項) 6−1−1,	農業	の振興							
	事務事		産地	化支援事業		事業	平成	21	年度	~	
区分	1 新	77- 17-		→ 継		期間	平成	23	年度		
目的	遊休農地	の効果的な発生防」	上・角	Z 消対策を図るため、遊	休農地や	荒廃地にタ	具樹を作付す	~る農家を	と支援す	る。	
及び											
背景	-tta (BHr →	th = 0 / 1 } [An]			4.347	4 13 - Ha Jahr -	V) 1	. hele)		Halbar .	
事業				上限を1人5万円とする。 □ ス	, 甲請及	び苗木等の	り受圧・配布	5等につい	いては、	茨城ひたち	
内容	辰耒肠问	組合北茨城支店へ勢	そばり	る。							
)k/. /	T	1	haba i I i Iv		- 1-		\$ 11.45			
	数値 目標	項目	40. (算定式	最終	·目標	H22年度(ま [~]		H23 (ま		
	設定	耕作放棄地・遊休		000㎡(耕作放棄畑÷10 (1本あたり面積)=		本		本		本	
成果	果 事業 農地の産地化面積 11 (1) (3) (4) (000 3,444 4,000 3,444 4,000 4,000 3,444 4,000 4,000 3,444 4,000 4,000 4,000 3,444 4,000 4,0										
目標	票数值 最終目標										
	目標 以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23年度目標									
2 事業	美実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標	値 ②(H	23主での実績値-H22主での実績値)/(H23主での	目標値-H22までの F	目標値) (3)(H22主	での実績値+H23実績値)/	√最終目標値 ④H	23(までの) 宝績・	値/最終目標値	
		H23事業費		The state of the s		H23実施内		THE PERSON NAMED OF THE PERSON NAMED IN COLUMN		HALF PARTY OF BUILDING	
		007	'+/- /_	曲原と利田よっとはず、	811	++- +4-	: //: A H H44-11-	-	₩ #7 ₩ 1	<i></i>	
		837	近怀	:農地を利用するためブ/	レーベリー	一・忡・饵	等の果樹苗	不を898/	本配行 し	·12。	
実	数値	1100 (ナズの) 中	(± /±	1100 (ナベの) 口無は	H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度	
施	目標	H23 (までの) 美	領他	H23 (までの) 目標値	採用算	章定式	2	採用算	章定式	4	
状	設定	4, 342		4,000		161.5			108.	5	
況	事業	1, 012	本	本,000		101. 0	%		100.	%	
	数値 目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度	
	以外										
	事業						%			%	
口無法	E A DULLA	目標の本数が	配付	でき耕作放棄地解消に繋	がるとと	もに果樹	の産地化が	すすめら;	れた。		
日倧達	成状況の割	台曲									
3 事務	多事業の記	平価									
① 必	要性:実施	の必要性が高い事	美か								
評価	b 必要性	生がある									
判断	特産品の	産地化を図るため必	公要で	である。							
理由											
② 主任	本性:市が	主体的に実施すべる	き事	業 か							
評価		E体的に実施するこ									
判断	特産品の	開発を支援するため	う市が	ぶ助成しているので主体	となる。						
理由											
		, , ,		がっているか(新規事業の	り場合は見	見込)					
評価		は少ないが、今後向			1117						
判断	すぐには	できないか、果樹の)場合	3年ほどで結果として	出るので、	見守つてい	,< °				
理由	№₩. ₽ =	ナ、亦らぶっ か曲・	٠, ㅜ,	ギス七年はよいい							
-		:を変えずに、経費を対する会地									
評価		が減を検討する余地 概算に特通し 東野		 る &を有している者がいな	ハので	典协业装+	ま古古に禾割	こ ている	ろので	典切かたま	
判断 理由		個号に相通し、号F ないか検討の余地が			(10)(,)	表 励 4L/入り	以入/白(こ安司			長 励かり も	
		に実施すべき事業が									
評価		に									
判断				と見据えなければならな	ハため						
理由	/心型 寸()	>1 Cla, 0 + 1a C	- / - (2 761/676 (347) 4 0(3/3 (3/3	(/C V/)						
	▶ 証価及7	バ合後の重数重き	生の	方向(総合評価に対	するみ	盖第笙)					
総合評		ノ <u>フスツザ物サラ</u> 	₽ B	<u>/フ 1º1 (心) ロ b</u> 井 叫(こ <i>)</i> () 	y (J 以)	古水守厂					
	·	耕作放棄地の		 を把握しながら、状況に	応じた未	然防止と	解消に向ける	た新たか	施策を行	řō.	
今後の	方向性	D. 11 /// ZK- L-7					., / 41//				
<u>*</u>	次評価(欄)								
現状		<u>□</u> 拡充	[mi]	改善		統合					
		□ 廃止	$[\checkmark]$	完了 不採							
		× ·									

1	事業の概要	战里	日	擂

<u> </u>		14/4/	N H W									
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	き (節			個性と活力のまち(地域産業 振興 の振興 業直接支援対策事業	きの振興)	担当課	環境産業部	『 農林水	産課		
	事務事		環境保全	支末 型農	業直接支援対策事業		事業	平成	23	年度 ~		
区分	1 新	//-	2継 続		→ 新	規	期間	and the Valet.	able alle a a l			
事業 内容	維持・増進 農村の環境 境保全に効	すること 呆全活動 果の高い	とが必要である。 助と環境にやさしい い営農活動の普及を	\営農 ≥図る		ぶげるとともに	こ地球温暖化	防止や生物多村	様性保全に積	種的に貢献し、より環		
事業内容	グマルチ	の実施		実力	或の慣行から原則として 塩・冬期湛水管理のいず							
	数值		項目		算定式	最終	·目標	H22年度(まて	での) 実績値	H23(までの)目標値		
成果	目標 設定		施面積		₹23年度実施面積 Эа×120%	7.	ha . 7		ha	ha 7. 7		
目標	数値 目標		最終目標									
	以外		度(までの)実績									
2 事業	事業 H23目標 事業実績 ※採用算定式: ①H23実績値/H23までの実績値-H22までの実績値-H22までの目標値-H22までの目標値)③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ②H23(までの)実績値/最終目標値											
1.7	H23事業費 H23実施内容											
		1,	003 千円		を者は4名、実施面積6 市2,000)の支給	となる。			•			
実施	数値 目標 設定	Н23	3(までの)実績	値	H23(までの)目標値	L	単年度達 章定式	成度 ①		画における達成度 算定式 ④		
状 況	事業		6. 39	ha	7. 7 ha		83	%		83 %		
	数値 目標		H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成度		
	以外 事業							%		%		
目標達	成状況の割	平 価										
	8事業の											
① 必要評価	要性: 実施 ■ a 必要性		要性が高い事刻	をかっ								
判断理由				意記	哉が進んでおり、関心が	高いため。)					
	体性:市が	主体的	的に実施すべる	き事	業か							
評価	-		に実施するこ		望ましい 妾支払制度のため、地元	の古が宝	施士ス					
理由												
評価			りの成果があ		がっているか(新規事業)	//場合はケ	2达)					
判断理由	農業者自	身にネ	おいても環境に	_対 🤊	する意識が進み、関心が	高くなった	た。					
④ 効	× 性:成果	:を変:	えずに、経費る	を下げ	げる方策はないか							
評価			に基づく経費		る 対策事業実施要領による	六八出江						
判断 理由						父刊 単価						
5 緊f 評価			施すべき事業/ なければなら									
判断理由		もちろ	ろんのこと、鳥		農業者が一体となって	取り組ん	でおり世話	命の環境に対	対する意識	微が高い時期に実施		
		び今往	後の事務事美	美の A	方向(総合評価に対	けする改	善策等)					
	方向性		環境保全に効 高い点が課題	果の	 高い営農活動の普及に貢 る。	献してい	る点は良い	いが、農業	者が対象	となるため敷居の		
* =	次評価 (政策課記入									
☑ 現状	(通り		拡充		改善		□ 統合					
		/	廃止	Ш	完了	:択						

平成24年度事務事業評価書 (対象:平成23年度実施計画事業)

1	事業の概要		出出	日村	Щ
		•	$\Pi V \rightarrow K^{\bullet}$	H /1-	=

施策区分	個別施領	ଚ (節) 6 − 1 産 ଚ (項) 6 − 1 − 1 ∫	農業の振興			環境産業部	農林水				
F- /\	事務事	F業名 関南地区!	具営一般農道整備事業		事業	平成	元	1 1	\sim		
区分	1新		→ → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	継続	期間	平成	26	年度	労事業)で		
目的 及び 背景	て農道を方面へ通	整備し、生産の基盤 ずる農道で、市北部	を高め営農の合理化 なお中心部を結ぶ幹	、農村の環境を 線道路としての	整える。まの役割も担ぐ	またこの農道 っております	は関本、	関南方面	から磯原		
事業 内容	県道山 設道路で		し、市道高萩磯原線	を終点とする延	長約4,000	m、全幅員7	7.0m、 	可効幅員5.0	0mの新		
	数値	項目	算定式	最終	8目標	H22年度(まで		H23(までの			
成果	目標 設定 事業	進捗率	(執行済み事業費 /(全体事業費		% 100	86	%	90	%		
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業	実実績 ※採用算定式:①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ①H23(までの)実績値/最終目標値										
	H23事業費 F 000 土 工 1式										
		5,000 千円	法面保護工 1式								
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値 H23(までの)目	十曲 石石	3単年度達 算定式	成度 ①	全体計画 採用算	画における 算定式			
状 況	事業	87	%	90 %	97	%		87	%		
	数値 目標	H23実績	H23目標		23単年度達		全体計画	画における			
	以外 事業					%			%		
	成状況の評	で価 となったためい あったが効果。	並の整備完了期間をま こ、実績及び目標値ℓ として表れている。			まで延長した			費増額		
	事業の記	<u>半価</u> の必要性が高い事業	生力 3						1		
評価	a 必要性		<u> </u>								
判断理由		地区と市中部地区を 通環境が整う。	·結ぶ幹線道路として	の役割は大きく	、国道6号	線、北部幹線	泉道路と	平行する路	路線が確		
		主体的に実施すべき									
評価			NPO・住民団体等) の負担金として支出		うべき						
判断 理由					- · · · ·						
評価		したとおりの放果が した通りの成果があ	ぶ上がっているか(新 る	児争業の場合は.	見込)						
判断	現在一	般農道から北部幹線	。 見道路に行き来する交 I両の往来が可能にな				里根神區	別上線の交流	通量が緩		
			と下げる方策はないか	7							
評価 判断 理由		ὰ積算に基づく経費 準により適正に積算									
	┃ 負性・竪急	に実施すべき事業な	7								
評価		を施しなければなら									
判断理由		は、農業振興の目的 機能も期待されてV]はもちろんのこと、 `る。	北部地域と市の	中心部を約	吉ぶ路線とし	て生活に	【密着した!	幹線道路		
4 総合 総合評		ブ今後の事務事業	との方向 (総合評	価に対する改	(善策等)						
今後の		当事業は茨地	A ┃ 成県が事業主体で施□ 兄である。	こしていますが、	県の財政	状況も厳しく	〈、事業	計画どおり	に進捗		
<u>* = 7</u>	欠評価 (企画政策課記入	欄)								
□ 現状		」拡充□ 廃止	□ 改善 [□ 完了 [☐ 縮小☐ 不採択	□ 統合						

1 事業の概要・成果目標 基本目標(章) 6未来を支える個性と活力のまち(地域産業の振興)

施策 区分	基本施5 個四数	杖 (即) 6 — 奔 (西) C	- 1 産業の	仮興 の 作 母	担当課		農外水區	生硃		
	個別施第 事務事	R (頃) 0- 事業名 農地	1-1農業	の派典 境保全向上対策事業	事業	平成	19	年度	\sim	
区分		•	· 続			平成平成	28	年度	-	
目的	国が閣	議決定した新	たな「食料	斗・農業・農村基本計画	i」において、その。		として、			
及び	「農地・	水・環境保全	向上対策」	を新たに導入し、本施典はのは、名声的機能	「策の実施により、? 「の雑誌」 ※摆につき	食料の安定供	給にほか	、自然	環境の保	
背景				農村の持つ多面的機能						
事業				ιどのまとまりで、活動 カての参加組織とし、支						
内容	共同活動	で水路や農道	の補修、草	草刈り、生き物調査など	の活動を実施する	ものである。	市町村と			
			に応じて即	 成金を交付するもので						
	数値 目標	項目		算定式	最終目標	H22年度(まで		H23(まっ		
	設定	活動実施面	1 大音	5.93ha×9年(2団体)	ha 552, 69	200. 6	ha 27	7	ha 2. 37	
成果 目標	<u>事業</u> 数値	目.幼口+冊		6.44ha×3年(1団体)	332.09	200. 0	51		2. 51	
日保	目標	最終目標 H22年度(までの								
	以外 (12年度(までの) 美瀬									
2 事業	事業		1							
2 事末		※採用算定式:①H23実績(H23事業費	値/H23目標値 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	□ F F F F F F F F F F F F F F F F F F F		最終目標値 ④H2	23(までの)実績(直/最終目標値	
			2	地区(富士ヶ丘、小野・			ムレーア	抽		
		794	千円 3	地区(畠工ケエ、小野)						
実	数值	H23(までの) 実績値	H23(までの)目標値	H23単年度達	成度			る達成度	
施	目標 設定		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	採用算定式	(1)	採用算	定式	(3)	
状 況	事業	7	72. 37 ha	72.37 ha	100	%		4	.9 %	
	数値	H23実		H23目標	H23単年度遺		全休計画	面におけ	る達成度	
	目標 以外		C/154	ingo H M	1130+122		32,11.B1.E	3(2,01)		
	事業					%			%	
口無法				エリア内の用排水路や農		への補助事業				
日標達用	成状況の 評	┡畑 宜のチェ	ニックと 1:	年間の地区毎の活動報告	告の内容を確認し、	完了すれば目	目標は達用	戎する。		
	多事業の									
① 必要	要性:実施	iの必要性が高	い事業か							
① 必§ 評価	要性:実施 a 必要性	の必要性が高 性が高い) 豊安だけでけ水毀の	泥上げや豊道の砂汁	別補 去 か ど 曹	地の保存	* が難1	くかってキ	
① 必要 評価 判断	要性:実施 a 必要性 農家の ていまし	の必要性が高 性が高い 兼業化や高齢 た。これまで	化等により 守ってきた)、農家だけでは水路の と自然豊かな農村環境を	泥上げや農道の砂を適切に守っていくだ	利補充など農 ためにも、農	 地の保全 家、非農	全が難し 表家の枠	くなってき を超え地域	
① 必要 評価 判断 理由	要性:実施 a 必要性 農家の ていまし が一丸と	iの必要性が高 性が高い 兼業化や高齢 た。これまでなって取り組	化等により 守ってきた む必要がま	た自然豊かな農村環境を うる。	泥上げや農道の砂? 適切に守っていく?	利補充など農 ためにも、農	地の保全 家、非農	≧が難し ≹家の枠	くなってき を超え地域	
① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	要性:実施 a 必要性 農家の ていまし が一丸と 本性:市が	の必要性が高 性が高い 兼業化や高齢 た。これまで なって取り組 主体的に実施	化等により 守ってきた む必要があ すべき事刻	こ自然豊かな農村環境を ある。 業か	適切に守っていくだ	利補充など農 ためにも、農	地の保全家、非農	全が難し 縁家の枠	くなってき を超え地域	
① 必要 評価 判断 理由 ② 主体 評価	要性:実施 a 必要性 農家のし でいれた が一丸と 本性:市が c 市以ダ	の必要性が高 性が高い 兼業化や高齢 た。これまで なって取り組 主体的に実施 トの団体(国・	化等により 守ってきた む必要があ すべき事 ・県・NP	: 自然豊かな農村環境を うる。 業か O・住民団体等)が主(:適切に守っていく; 	利補充など農 ためにも、農	地の保全	≧が難し 縁家の枠	くなってき を超え地域	
① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	要性:実施 a 必要性 農家のし でいれた が一丸と 本性:市が c 市以ダ	の必要性が高 性が高い 兼業化や高齢 た。これまで なって取り組 主体的に実施 トの団体(国・	化等により 守ってきた む必要があ すべき事 ・県・NP	こ自然豊かな農村環境を ある。 業か	:適切に守っていく; 	利補充など農 ためにも、農	地の保全家、非農	≧が難し 縁家の枠	くなってき を超え地域	
① 必要 評価 判理 ② 主体 評価 判理由	要性:実施 a 必要性 と と で で 地域活	の必要性が高性が高い 業業化や高齢 た。これまでなって取り組 を対して実施 を対して実施 を対しては を対して をがして をがし をがして をがし をがして をがして をがして をがして をがして をがして をがして をがして をがして をがし をがし をがし をがし をがし をがし をがし をがし	化等により 守ってきた む必要があ すべき事 ・県・NP 活動に対し	: 自然豊かな農村環境を うる。 業か O・住民団体等)が主(・適切に守っていくだ。 本的に行うべき	利補充など農 ためにも、農	地の保全家、非農	全が難し 養家の枠	くなってきを超え地域	
① 必	要性:実施 a 単 で と を と を と を 性: 市域 c 地域活 か性: 期待 a 期待	の必要性が高性が高い 業化や高齢 た。これまではなって取り組 主体的に実施 トの団体(国・動組織の共同 したとおりの したとおりの した過りの成界	化等により 守ってきた む必要がま すべき事 ・県・NP 活動に対し の成果が上っ とがある	: 自然豊かな農村環境を : 自然豊かな農村環境を さる。 ※か 〇・住民団体等)が主体 して支援するものである がっているか(新規事業)	適切に守っていくだ。 本的に行うべき。 の場合は見込)	ためにも、農	家、非農	表 - - - - - - - - - - - - -	を超え地域	
① 必 判 理 主体 平 期 由 有 有 到 所 面 所 由 有 有 到 而 所 由 有 有 到 而 而 所 更 有 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而 而	要性:実施 a 単 で で 地 は 期待 で 地 は 期待 で は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	で必要性が高性が高い 業業化や高齢ではいまで、 た。こて取り組 主体的に実施 上の団体(国・動組織の共同 したとおりの した通りの成界 の実施により	化等により では、 ででである ででき事 では、 ・県・NP がよる では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	こ自然豊かな農村環境を ある。 業か 〇・住民団体等)が主体 こて支援するものであるがっているか(新規事業 しとなって活動を行うな	適切に守っていくだ。 本的に行うべき。 の場合は見込)	ためにも、農	家、非農	表 - - - - - - - - - - - - -	を超え地域	
① 評 判理 ② 評 判理 ③ 評 判理 ③ 評 判理 1	要性:実施 名 と と と を と と と と と と	の必要性が高 性が高い 兼業化や高齢でなって取り組 をなって取りに実施 ・本の団体(国 ・本の団体の共の ・大の団織の共の ・大の更施によりの ・大の更施によりの ・大の実施によりの ・大の実施により、 ・大の大りに住民の交流	化等により により でででである でいる事 では、NP 活動に対し がある 、地域しまり の場にもな	: 自然豊かな農村環境を ちる。 業か 〇・住民団体等)が主体 で支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな よっている。	適切に守っていくだ。 本的に行うべき。 の場合は見込)	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 必 判 理 ② 評 断 由 主 何 平 1	要性:実施性 実施性 まま 要性 のしとが 本性: 市域 期待に 地 期対と 成 は 期待に 乗り は 乗り は ままれる は まな は ままれる は まままれる は ままれる は ままれる は ままれる は まままれる は ままれる は ままれる は ままれる は まままない は まままない は ままれる は まままない は ままない は まままない は ままない は まままない は まままない は まままない は まままない は まままない まままない は まままない は まままない ままない	の必要性が高い を変し、 を変し、 をないで、 をないで、 をないで、 をないで、 をないで、 をのは、 をのない、 をのな、 を、 をのな、 をのな、 をのな、	化等によりた。 によった。 にっというでは、 いっかでは、 いっかでは、 に対し が、 は、 の場ででする。 を を になった。 は、 に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し と と の で ある。 と の で が、 の と の と の と の を の を の と の を の を の を の を	こ自然豊かな農村環境を ちる。 業か 〇・住民団体等)が主化 て支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな はっている。 げる方策はないか	適切に守っていくだ。 本的に行うべき。 の場合は見込)	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 評 判理 ② 評 判理 ③ 評 判理 ③ 評 判理 1	要性:実施 a 選性:実施 では、一点では、 を性に変更のしたが、 では、一点では、 な性に対して、 な性に対して、 な性に対して、 は、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	の必要性が高生が高い を変性が高い を変にない。 をではいれまりは、 をではいたのでは、 をではいたのは、 を変えが、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	化守むがます。 にて要がます。 にて要がます。 ・「活動に対した。 ・「はいか、地場をしている。 ・「ないない。」 ・「ないない。 ・「ないない。」 ・「ないないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。」 ・「ないない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ と。 ・ ・ ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	こ自然豊かな農村環境を ちる。 業か 〇・住民団体等)が主化 て支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな はっている。 げる方策はないか	・適切に守っていくだかの場合は見込) ・ど、これまで以上に	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 評 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	要性 2 実施性 2 と 2 を 2 を 4 と 2 を 4 と 3 と 5 を 5 を 5 を 6 を 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	の必要性が高 性が高い 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では	化守むがまた。 にこれがある。 にこれがいでは、NP にこれがいでは、NP にこれがいできます。 にこれがいできます。 にこれがいできます。 にこれがいる。 にこれがいる。 にこれがいる。 には、の 経費費積 にいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は	こ自然豊かな農村環境を ちる。 業か 〇・住民団体等)が主化 て支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな よっている。 ずる方策はないか る	・適切に守っていくだかの場合は見込) ・ど、これまで以上に	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 評 判理 ② 評 判理 ③ 評 判理 ④ 評 判理 ④ 評 判理 ⑤	要性 : 実 要性 : 実 要性 : 実 要性 : 必 要性 : 必 要性 : 必 要 を は : 必 を は : 必 を	の必要性が高いの必要性が高いが表にいいる。 主が業にいいる。 主が業にいいる。 主が、主体のはに、 主体のは、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	化守むがすりに にて要き事を にてで要き事を ・にがる ・にがる ・にがる ・は、の経程費 である。 ・は、の経程である。 ・は、の経程である。 ・は、のとは、のといる。 ・は、のといる。 ・は、のといる。 ・は、のといる。 ・は、いる。 ・し。 ・し。 ・し。 ・し。 ・し。 ・し。 ・し。 ・し。 ・し。 ・し	こ自然豊かな農村環境を する。 業か 〇・住民団体等)が主体 て支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな よっている。 ずる方策はないか る 合で算定された助成金で	・適切に守っていくだかの場合は見込) ・ど、これまで以上に	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 評 判理 ② 評 判理 ② 評 判理 ③ 評 判理 ④ 評 判理 ④ 評 判理 ⑤ 評 価 断由 繁	要性・選要性・必要性・必要性・必要性・必要は、一生・市域・期対とのでは、対して、地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の必要性が高いの必要性が高いを高いであります。 主が業にこて取りにこれのには、 主体団は、は、 主体団は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	化守むべきを にてきる。 にてきる。 でで要き事。 ・、、の経、との経、といるである。 ・、の経経費である。 ・、の経経費である。 ・、の経経費である。 ・、、の経経費である。 ・、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	こ自然豊かな農村環境を する。 業か 〇・住民団体等)が主体 て支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな よっている。 ずる方策はないか る 合で算定された助成金で	・適切に守っていくだかの場合は見込) ・ど、これまで以上に	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 評 判理 ② 評 判理 ③ 評 判理 ④ 評 判理 ④ 評 判理 ⑤	要性・選要性・必要性・必要性・必要性・必要は、一生・市域・期対とのでは、対して、地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の必要性が高いの必要性が高いが表にいいる。 主が業にいいる。 主が業にいいる。 主が、主体のはに、 主体のは、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	化守むべきを にてきる。 にてきる。 でで要き事。 ・、、の経、との経、といるである。 ・、の経経費である。 ・、の経経費である。 ・、の経経費である。 ・、、の経経費である。 ・、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	こ自然豊かな農村環境を する。 業か 〇・住民団体等)が主体 て支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな よっている。 ずる方策はないか る 合で算定された助成金で	・適切に守っていくだかの場合は見込) ・ど、これまで以上に	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 評 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理	要性aaとととな性ととなとはとななはとななはとななはとなななとなななとなななとなななとなななとなななとなななとなななとなななとなななとなななとな<	の必要性が 悪いの必要性が 悪いのでである。 主が業にいる。 主が、主ななのでは、 主のの組織をはいる。 をでは、 をのは、といるでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、 になってのは、 になってのは、 になってのは、 になってのは、 になってのは、 になってのは、 になっている。 になってい。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になってい。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になっている。 になってい。 になって、 になって、 になって、 になっな。 になっな。 になっな。 になっな。 になっな。	化守むが事事にはきれる。 にて要きNPは、の経費費積 かなる。 を登録しているである。 は、の経費費積 かなるである。	こ自然豊かな農村環境を する。 業か 〇・住民団体等)が主体 て支援するものである がっているか(新規事業 しとなって活動を行うな よっている。 ずる方策はないか る 合で算定された助成金で	本的に行うべき。の場合は見込)	ためにも、農	家、非農	表 	を超え地域	
① 評 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理	要性 : 実施	の必要性が高いという。 一次の必要性が悪た。 では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	化守むが 事 P L が る 一	上自然豊かな農村環境をある。 業か 〇・住民団体等)が主化 て支援するものであるがっているか(新規事業 しとなって活動を行うないっている。 ずる方策はないかる。 する方策はないかる。 すで算定された助成金で	が適切に守っていくだ。 本的に行うべき の場合は見込) だ、これまで以上に あり難しい。 対する改善策等)	ためにも、農	りや水路		を超え地域と実施さ	
① 評 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ④ 評判理 4 総合	要性 : 実施	の必要性が 悪性が 悪性が 悪性が 悪いやれいで にこて的体の は、主が、 は、主が、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	 化守むす・活 成水の経経地 水の経経地 本なで なる なる なる ない なる ない なる ない なる ない なる ない ない<	上自然豊かな農村環境をある。 業か 〇・住民団体等)が主化 て支援するものであるがっているか(新規事業) しとなって活動を行うないっている。 ずる方策はないかる。 する方策はないかる。 すで算定された助成金で 大向(総合評価に交換を主体のである。	が参画することを で適切に守っていくだ 本的に行うべき の場合は見込) さど、これまで以上に で以上に でする改善策等)	ためにも、農	りや水路		を超え地域と実施さ	
① 評 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 診許 のののののののののののののののののののののののののののののののののの	要性 a てが 本 c 性 a 本 c 地 : 期対と 成 a 新 を a 下 の しとが が a れ 性 a 活 : 至 成 か は : 類 す と 成 直動 「緊急 28 で 人 で は ま 要 の しとが が 活 特 i 策 共 果 正 組 一 急 a を a で 体 は す で は こ で は こ で で は こ で で で は こ で で で で で	の必要性が 悪いのでは 悪いのでは 悪いのでは 悪いのにとなる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	化守むす事 1 大きなまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	上自然豊かな農村環境をある。 業か 〇・住民団体等)が主化 て支援するものであるがっているか(新規事業 しとなって活動を行うないっている。 ずる方策はないかる。 する方策はないかる。 すで算定された助成金で	が参画することを で適切に守っていくだ 本的に行うべき の場合は見込) さど、これまで以上に で以上に でする改善策等)	ためにも、農	りや水路		を超え地域と実施さ	
① 評 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ④ 評判理 4 総合	要性 a てが性 c 性 a 本し c 地 は 期対と 成 画動 繁急 28 で	の必要性が 悪性が 悪性が 悪性が 悪いやれいで にこて的体の は、主が、 は、主が、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	化守むす・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上自然豊かな農村環境をある。 業か 〇・住民団体等)が主化 て支援するものであるがっているか(新規事業) しとなって活動を行うないっている。 ずる方策はないかる。 する方策はないかる。 すで算定された助成金で 大向(総合評価に交換を主体のである。	本的に行うべき の場合は見込) ど、これまで以上に あり難しい。 対する改善策等) 本が参画することを ないか。	とめにも、農産の草刈り	りや水路		を超え地域と実施さ	
① 評 判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 計算 の ~ ※	要	の必事に対する。 一次のにを積に、は、 一次のに、 一次の	化守むす・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上となって活動を行うないのではないからる。 「おっているか(新規事業」 しとなって活動を行うないっている。 「おう策はないかる」 「おう策はないかる」 「なう策にされた助成金で 「大向(総合評価に変しなど多様な主体を必ず増えていくのではない。」	*適切に守っていくだ。 本的に行うべき の場合は見込) *ど、これまで以上に **あり難しい。 *する改善策等) *が参画することをないか。 「 統合	とめにも、農産の草刈り	りや水路		を超え地域と実施さ	

1	事業の概要	•	成果	日起	H

施策区分	基本目標 基本施第 個別施第 事務事	ଚ (節) 6 − 1 産 ଚ (項) 6 − 1 − 1 ƒ	業の振 農業の	振興	の振興)	担当課事業	環境産業部	祁 農林水	産課年度~	,	
区分	1 新				続	期間					
目的 及び 背景	道につい	て改良工事を実施す	⁻ る。	作業の軽減、効率化、							
事業 内容				の荒廃が著しく、農耕 し農耕車両の運行を円						負の拡	
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(ま [~]		H23(までの)		
成果	目標 設定 事業	整備要望地区 (単年度)			全地区	区整備	3	地区	1	地区	
目標	数値	最終目標									
	目標 以外	H22年度(までの)実績									
0 + W	事業	H23目標									
2 事業	業実績 ※採用算定式: ①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ④H23(までの)実績値/最終目標値										
		8,862 千円	農道	道整備工事 L = 792m	2地区						
実 施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	H23 採用算	単年度達 算定式	成度 ①		画における達 算定式	試度 ④	
状 況	設定事業	2	地区	1 地区		200	%		100	%	
	数値目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達	試度	
	以外 事業						%			%	
目標達成	成状況の評			よる作物の運搬の効率 了すれば目的は達成す		み防止が	目標であり	、単年度	で地区毎に鏨		
, .,	事業の記		K 7								
① 必要 評価	a 必要性	の必要性が高い事業 ‡が高い	色刀 3								
判断理由	> \		持管理	理の軽減、幅員の有効	利用が図り	うれ農作業	美の合理化:	をはかるフ	こめにも 必	要であ	
		主体的に実施すべき	き事業	カ							
評価 判断		E体的に実施すべき 改良は 農業の振り	1 7/1	田の維持管理を保つた	めにも古え	が主体的に	宇宙すべ	き重業でき	ふ る		
理由								C 7 * C	0.00		
				っているか(新規事業の	の場合は見	L込)					
評価 判断		た通りの成果があっ の軽減 効率化の向		図られ、確実に事業効	里の成果は	†現れてい	<u> </u>				
理由	及日末	*2 在 1%、 <i>分</i> 干 [] *2 [] *	1	四月10、惟天に事未勿	7K*7/3K7K1	29L40 C V	.∿°				
		を変えずに、経費を									
評価 判断 理由		よ積算に基づく経費` 農林省の土地改良Ⅰ		算基準に基づいている	0						
		に実施すべき事業が) 7								
評価		ミ施しなければなら									
判断理由	も早急な	対応が必要である。		、農耕車両の通行が確			上し農作業の	の軽減、多	効率化を図る	ために	
		<u>ブ今後の事務事</u> 第	<u>美のナ</u> A	<u>方向(総合評価に対</u>	する改善	善策等)					
総合評金の		住民の要望に対	<u></u> 各所の 対応し	 農道は整備され事業効 きれない状態である。 により事業効果の低い	また、土	地改良法	に基づく法	手続きが	必要になった	ここと	
<u>× y</u>	欠評価 (地区を絞込む。		ある。							
※ 二次 現状		<u>企画収束採記入</u>		女善		□ 統合					
休止		廃止		完了 不採							

1	事業の概要	成果	目	樰

_ 事 美	その概要	・成果目標										
施策 区分		雲(章) 6未来を支 き(節) 6-1産 ラ(項) 6-1-1 事業名 県営土地		固性と活力のまち(地域産業 振興 の振興	色の振興)	担当課	環境産業部	農林水	産課			
	事務事	F業名 県営土地) 良	事業調査・計画		事業	平成	22	年度	~		
区分	1 新	規 2継 続		→ 斜	終続	期間	平成	25	年度			
目的 及び 背景	て取組む	ための調査・計画事	業で			よび用排力	×路の整備も	含めて、	土地改良	事業とし		
事業内容	事業主	体は茨城県であり、	当市	&道・用排水路整備 A: 可は事業費の50%を負担 とけて、県営の国補事業	する。							
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まで	の) 実績値	H23(までの))目標値		
成果目標										%		
H 155	目標				画の築立	五十七の	(七日辛)	準 座: エ σ	· 汝 🕁			
	以外	H22年度(までの)実績		備方針の決定、事業計)仮问思、倧	华斯田())			
0 4 7	事業 H23目標 構造物等の検討、平面線形・配水機場の計画											
2 事業	子 美 実 績 ※採用算定式:①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値-H22までの目標値) ③(H23までの実績値+H23実績値)/最終目標値 ①H23(までの)実績値/最終目標値											
	H23事業費 H23実施内容 現地調査測量 1 式											
)V/ /	750 千円		地調査測量 1式 造物等の検討 1式	1100	単年度達	-	스 <i>H</i> -린.i	画における	法比由		
実施状	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	採用算		以 泛		画における. 算定式	建		
況	事業数値		%	%		-)// [- - - - - - - - - -	%	A /1.=1=		%		
	目標	H23実績		H23目標	H23	3単年度達		全体計	画における	達成度		
	以外 事業	構造物等の検討		構造物等の検討、平面線形・配水機場の計画		33	%		39	%		
目標達成	 成状況の評			け、整備事業に着手するこ ぶ減額となったことを受け				尺申請の目	標年度も1年	年遅らせ		
	多事業の記											
		の必要性が高い事業	美か									
評価	a 必要性		etul. a	77 W A 78 (海点曲 III.	2 74/II 1 1 1	~10+~ //~ h/h) -	- 1 - 7 L F	0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	191 5 1 5 1.		
判断 理由	る。)解消や発生を防止し、	愛 艮晨地	ど帷保わる	くい転作寺に	-よる水に	日の利店用が	い図りれ		
		主体的に実施すべる										
評価 判断		トの団体(国・県・ 模から県営事業とし		〇・住民団体等)が主作 対組む。	本的に行う	べき						
理由 ③ 有刻	┃ 効性:期待	したとおりの成果だ	ぶ上だ	がっているか(新規事業	の場合は見	見込)						
評価		た通りの成果があ		·								
判断 理由	排水機	場も必要となる可能	1性が	ぶあるが、完成すれば期	待通りの	田畑の有効	が利活用が図	コ れる。				
④ 効率	率性:成果	を変えずに、経費る	を下げ	げる方策はないか								
評価		は積算に基づく経費										
判断 理由	国・県	の規準により適正な	: 積算	〕がされている。								
⑤ 緊急 評価		に実施すべき事業ス ξ施しなければなら										
判断理由				âな整備を求められてV	る。							
<u> </u>	<u>.</u> :評価及で	バ今後の事務事業	をの		する改	善策等)						
総合評			Α				×	- 144L -	len a de d	山) : 庄		
今後の	方向性	力しながら事	業を達	画概要書を取りまとめ、 進める。	地元の同	意を得た	うえで、国の	の補助採	択に向けて	県に協		
<u> </u>		企画政策課記入										
☑ 現状Ⅲ 休止		□拡充□廃止		改善 ☐ 縮小 完了 ☐ 不掬		□ 統合						
		二	<u> </u>	元」 口 个例	J/C							

1	事業の概要	战里	日	擂

1	が、「大学」									
施策	基本目標基本施定	票(章) 6 未来を支 策(節) 6 - 1 産 策(項) 6 - 1 - 1		個性と活力のまち(地域産業 振興	きの振興)	担当課	環境産業部	『農林水	産課	
区分	個別施第	新(項) 6-1-1 _.	農業	の振興			7.5			
して	事務事	事業名 東日本大	震災	農業用施設災害復旧事業		事業 期間	平成	23	1 /2	~
区分	1 新		+. <i>σ</i>)	→ 新 東日本大震災にて被災し	f規 た農業用格		平成	23	年度	
目的 及び 背景					/ 反 木 / 1 / 1	<u> </u>				
事業内容	農業用	施設災害復旧工事	1 1	2 箇所						
	数值	項目		算定式	最終		H22年度(ま	での) 実績	H23(までの	
成果	目標 設定 事業	復旧箇所			11	箇所 2			112	箇所 2
目標	数値	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23年度目標								
2 事業	実績		.値 ②(H	123までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	123(までの)実績値/最紅	終目標値
]	H23事業費	Ĺ			123実施内				_
		131,347 千円		排水路・ため池・農道等 害査定設計・実施設計	委託 1式	、災害征	复旧用原材料		1式	
実施状況	数値 目標 歌宮	H23(までの)実績	锺	H23(までの)目標値	H23 採用算	単年度達 定式	成度 ①		画における 算定式	達成度 ④
状 況	設定 事業	112	箇所	112 箇所		100	%		100	%
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H23	H23単年度達成度 全体計画に				達成度
	事業						%			%
目標達成	成状況の割	平低 23年	度内(に復旧工事が完了し、目	標が達成	された。				
	等業の記									
		の必要性が高い事業	美か							
評価	a 必要性) N H							
判断理由	·	復旧を図るためにも								
		主体的に実施すべる		<u> </u> 業か						
		主体的に実施すべき								
判断 理由		体は市である。	201	`` / - / - /	10 A 1.2 D	· · · · ·				
③ 有		∮したとおりの成果ス した通りの成果があ		がっているか(新規事業の	の場合は兄	.达)				
判断理由				果の成果は表れている。						
	<u> </u> 	とを変えずに、経費	を下し	 ギス古笛けかいか						
評価		な積算に基づく経費								
判断理由				っている。また、少額随	意契約に基	まづき適り	刀に見積りの	り徴収をし	している。	
⑤ 緊急		はに実施すべき事業7	дъ							
評価		実施しなければなら								
判断 理由	早期の	復旧を図るためにも)緊急	急に実施する必要がある	Ó					
4 総合 総合評		び今後の事務事績	業の A	方向(総合評価に対	する改善	季策等)				
今後の				生に対して、復旧予算の み早期の復旧を図る。	つ確保が必	要である	ため、財政	課等関係	各課と調整	しなが
<u>* _7</u>	欠評価 ((企画政策課記入								
現状		<u>□</u> 拡充		改善 編小	`	□ 統合				
休止		□ 廃止	$\overline{\checkmark}$	完了	択					

1	事業の概要	战里	日	擂

	ミの燃安						
	基本目標	票(章) 6 未来を支え	える個性と活力のまち(地域産業	と とり とく			
施策	基本施策	新(節) 6-1産業	きの振興	担当課	環境産業部	『 農林水	産課
区分	個別協会	策(節) 6 − 1 産業 策(項) 6 − 1 − 1 農	臭業の振嗣			, ,	
<u> </u>	個別施第	女 大	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	4-17	00	左曲
			長災農地災害復旧事業	事業	平成	23	年度 ~
区分	1 新			f規 期間	平成	23	年度
目的	平成 2	3年3月11日発生	の東日本大震災にて被災し	た農地の復旧。			
及び							
背景							
HM	# 116.77	皮佐田子書 6 16日					
事業	農地災	害復旧工事 2地区					
内容							
四台							
	数値	項目	算定式	最終目標	1199年度/ま	での) 宝結	H23(までの)目標値
	目標	グロ	并 足入			(7)天順	
	設定	復旧地区		地区			地区
成果	事業	1及1111000		2			2
目標	数値	最終目標					
日本	目標						
	以外	H22年度(までの)実績					
	事業	H23年度目標					
0 単沿		,					
2 事業	美実績		②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの			/最終目標値 ④H	H23(までの)実績値/最終目標値
		H23事業費		H23実施内	习容		
		7 040	田子 1.7小排除工事 0.44	₩ (A1—0 C11	A 0 — 0 OC1)	
		7,942	田面土砂排除工事 2地	区 (A1=0.61ha、.	A2=0.06n	a <i>)</i>	
	*** (古	<u> </u>		H23単年度達	武市	全 休計	画における達成度
実施	数値	H23(までの)実績	値 H23(までの)目標値				
施	目標		採用算定式	(1)	採用具	算定式 ④	
状	設定	2	2	100			100
況	事業		地区 地区	100	%		9/
	数值	H23実績	H23目標	H23単年度達	おお	全休計	画における達成度
	目標	1120天順	1125日/示	1123年十及廷	以反	土件印	囲における足成反
	以外						
	事業				%		9/
	•	平成23年度	E内に復旧工事が完了し、目	目標が達成された。			
目標達用	成状況の評	平価		771 = 1			
/	·	· /					
	事業の						
		評価 近の必要性が高い事業	Ēħ				
① 必要	要性:実施	西の必要性が高い事業	iλ				
① 必§ 評価	要性:実施 a 必要性	近の必要性が高い事業 生が高い	•				
① 必§ 評価 判断	要性:実施 a 必要性	西の必要性が高い事業	•				
① 必§ 評価 判断 理由	要性:実施 a 必要性 早期の	近の必要性が高い事業 生が高い 復旧を図るためにも	必要性が高い。				
① 必§ 評価 判断 理由	要性:実施 a 必要性 早期の	近の必要性が高い事業 生が高い	必要性が高い。				
① 必§ 評価 判断 理由 ② 主体	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が	近の必要性が高い事業 生が高い 復旧を図るためにも	必要性が高い。				
① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が	回必要性が高い事業生が高い 生が高い 復旧を図るためにも ぎ主体的に実施すべき 主体的に実施すべき	必要性が高い。				
① 必要 評価 判断 理由 ② 主体 評価 判断	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が	iの必要性が高い事業 生が高い 復旧を図るためにも ぶ主体的に実施すべき	必要性が高い。				
① 必§ 評価 判断 理由 ② 主任 判断 理由	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主	近の必要性が高い事業生が高い 生が高い 復旧を図るためにも が主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。	必要性が高い。	o H V V B M			
① 必至 評価 判断由 ② 主任 評価 判明由 ③ 有分	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも 第主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。	必要性が高い。 事業か ぶ上がっているか(新規事業	の場合は見込)			
① 必 評価 判断 理 主何 評価 判断 理由	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主 効性:期待	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも ぎ主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 手したとおりの成果がある。	必要性が高い。 事業か ぶ上がっているか(新規事業	の場合は見込)			
① 必§ 評価 判明由 ② 主何 判明由 ② 主何 判明由 ③ 弃何 那	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主 効性:期待	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも ぎ主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 手したとおりの成果がある。	必要性が高い。 事業か ぶ上がっているか(新規事業	の場合は見込)			
① 必§ 評価 判理 主何 評価 有	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主 効性:期待	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも ぎ主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 手したとおりの成果がある。	必要性が高い。 事業か ぶ上がっているか(新規事業	の場合は見込)			
① 必 評判理 主信 評判理 主信 判理 有 評別由 有 評別由 有 評別由 有 評別由 有	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 事業主 効性:期待 a 期待に	近の必要性が高い事業生が高い 生が高い 復旧を図るためにも が主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果がある。 達成されており事業	必要性が高い。 事業か (上がっているか(新規事業) 効果の成果は表れている。	の場合は見込)			
① 必 評	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主 効性:期待は 取標は な果した。	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも ご主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 にたとおりの成果が したとおりの成果がある。 達成されており事業	必要性が高い。 事業か 3 上がっているか(新規事業 3 効果の成果は表れている。 ・下げる方策はないか	の場合は見込)			
① 必 評価 判理 主信 評価 判理 有 評価 別 評価 判理 由	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主 効性:期待は a 期標は a 適にが 和 では、 ないでは、 はいでは、 ないでは	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも ご主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 上体は市である。 したとおりの成果が 上た通りの成果がある。 達成されており事業 とを変えずに、経費を な積算に基づく経費で	必要性が高い。 事業か 3 上がっているか(新規事業 3 効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である	の場合は見込)			
① 必 評	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主 効性:期待は a 期標は a 適にが 和 では、 ないでは、 はいでは、 ないでは	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも ご主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 にたとおりの成果が したとおりの成果がある。 達成されており事業	必要性が高い。 事業か 3 上がっているか(新規事業 3 効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である	の場合は見込)			
① 必 評	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が a 市が 事業主 効性:期待は a 期標は a 適にが 和 では、 ないでは、 はいでは、 ないでは	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも ご主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 上体は市である。 したとおりの成果が 上た通りの成果がある。 達成されており事業 とを変えずに、経費を な積算に基づく経費で	必要性が高い。 事業か 3 上がっているか(新規事業 3 効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である	の場合は見込)			
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理	要性:実施 a 必要性 早期の 本性:市が。 a 市が。 a 事業主 効性:期待は 軽性:成果な a 積算基	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも 第主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果が した通りの成果がある。 達成されており事業 と変えずに、経費を は積算に基づく経費で 準により適正に算定	必要性が高い。 事業か 5上がっているか(新規事業 5 効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である されている。	の場合は見込)			
① 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平	要性:実施 a 早期の 本性:心期 本性:市業 期待は a 目標は、適算 を性:適算 を性:適算 を性: を表 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも で主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果が 定成されており事業 と変えずに、経費を は積算に基づく経費で 準により適正に算定	必要性が高い。 事業か 「上がっているか(新規事業を がある。 を下げる方策はないかである。 されている。	の場合は見込)			
① 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平	要性:実施 a 単	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも を主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき を体は市である。 したとおりの成果が した過りの成果が 達成されており事業 を変えずに、経費を は積算により適正に算定 は、実施すべき事業が 実施しなければなられ	必要性が高い。 事業か 「上がっているか(新規事業) 「効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である されている。				
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判 例	要性:実施 a 単	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも を主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき を体は市である。 したとおりの成果が した過りの成果が 達成されており事業 を変えずに、経費を は積算により適正に算定 は、実施すべき事業が 実施しなければなられ	必要性が高い。 事業か 「上がっているか(新規事業を がある。 を下げる方策はないかである。 されている。				
① 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平	要性:実施 a 単	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも を主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき を体は市である。 したとおりの成果が した過りの成果が 達成されており事業 を変えずに、経費を は積算により適正に算定 は、実施すべき事業が 実施しなければなられ	必要性が高い。 事業か 「上がっているか(新規事業) 「効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である されている。				
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理	要性:実施 a 型期の 本性: 中期の 本性: 市が言 本性: 前が言 動性: 期待は 本性: 五種 な 重算 急性: 至期の 会性: 至期の	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも で主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果がある。 達成されており事業 とを変えずに、経費を な積算に基づく経費を 準により適正に算定 はに実施すべき事業か 実施しなければなられ 復旧を図るためにも	必要性が高い。 事業か 3上がっているか(新規事業 3 効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である されている。 ない 緊急に実施する必要がある	0			
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 計算 卷	要性:実施 a 早期の 本性:市が言 本性:市が言 本性:市が言 本性:市が言 は 期標に 成算 な は 選算 な は 至期の る は 至期の る は 至期の る は 至期の る は で で がられる。	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも で主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果がある。 達成されており事業 とを変えずに、経費を な積算に基づく経費を 準により適正に算定 はに実施すべき事業か 実施しなければなられ 復旧を図るためにも	必要性が高い。 事業か (5上がっているか(新規事業) (5) 効果の成果は表れている。 (下げる方策はないかである) されている。 (ない) 緊急に実施する必要がある (6) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (7) (8) (9) (7) (8) (8) (7) (8) (8) (9) (8) (8) (8) (9) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	0			
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理	要性:実施 a 早期の 本性:市が言 本性:市が言 本性:市が言 本性:前が言 は 期標に 成算 な は 選算 な は 発見の な は 変質 な は で で が に で が に で が に で が に で が に で が に が に	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも 第主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果がある。 きしたとおりの成果がある。 き成されており事業 を変えずに、経費を は積算により適正に算定 に実施すべき事業が 実施しなければなられ 復旧を図るためにも び今後の事務事業	必要性が高い。 事業か (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	・	ک یا اللہ	ēm A⁄v B□ I···	<i>Ar</i> ≈ 1
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 卷 合評	要性:実施 a 早	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも 第主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 性体は市である。 したとおりの成果が した通りの成果がある。 と変えずに、経費を は積算により適正に算定 と変えずに、経費を は積算により適正に算定 とに実施すべき事業が 後に実施すればなられておりまま	必要性が高い。 事業か S上がっているか(新規事業 る 効果の成果は表れている。 下げる方策はないか である されている。 なれている。 ない 緊急に実施する必要がある をの方向(総合評価に対 A 野発生に対して、復旧予算 6	・	ため、財政	課等関係	各課と調整しなが
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 卷 合評	要性:実施 a 早期の 本性:市が言 本性:市が言 本性:市が言 本性:前が言 は 期標に 成算 な は 選算 な は 発見の な は 変質 な は で で が に で が に で が に で が に で が に で が に が に	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも 第主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 性体は市である。 したとおりの成果が した通りの成果がある。 と変えずに、経費を は積算により適正に算定 と変えずに、経費を は積算により適正に算定 とに実施すべき事業が 後に実施すればなられておりまま	必要性が高い。 事業か (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	・	ため、財政	課等関係	各課と調整しなが
① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 総合 後 4 総 今 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	要性: 必期 市が主 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも を主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 性は市である。 したとおりの成果が したとおりの成果が した過りの成果が と変えずに、経費を な積算により適正に算定 はに実施すべき事業が 後に実施すべき事業が 復旧を図るためにも で今後の事務事業 と復旧事業に取	必要性が高い。 事業か (上がっているか(新規事業) (効果の成果は表れている。) (下げる方策はないか) (である) されている。 (ない) 緊急に実施する必要がある (この方向(総合評価に対 A (発生に対して、復旧予算の 対組み早期の復旧を図る。	・	ため、財政	課等関係	各課と調整しなが
① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理④ 評判理 ④ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ ご言言 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	要性 a 早 : 市	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも が主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果がある。 した通りの成果がある。 と変えでは、経費を はでは、経費を はでは、経費を はではないでは、となりでは、 はでは、となりでは、 はでは、となりでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、	必要性が高い。 事業か ぶ上がっているか(新規事業 効果の成果は表れている。 ・下げる方策はないかである されている。 ・ 緊急に実施する必要がある ・ ない 緊急に実施する必要がある ・ ない 緊急に実施する必要がある ・ ない 素発生に対して、復旧予算の 対組み早期の復旧を図る。 欄)	けする改善策等) D確保が必要である		課等関係	各課と調整しなが
① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 言 表 会 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	要性: 東極: 実施 a 早 : 市が: 主 **	回必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも を変えために実施すべき を変えずに、経費を は、上た通りの成果がある。 を変えずに、経費を は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	必要性が高い。 事業か S上がっているか(新規事業 効果の成果は表れている。 下げる方策はないかである されている。 ない 緊急に実施する必要がある ない ストリースを 対象の方向(総合評価に対 ストリースを 対象の方向(総合評価に対 ストリースを 対象の手期の復旧を図る。 関) □ 改善 「縮り	かする改善策等) で で の で の 確保が必要である		課等関係	各課と調整しなが
① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理④ 評判理 ④ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ ご言言 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	要性: 東極: 実施 a 早 : 市が: 主 **	近の必要性が高い事業生が高い 復旧を図るためにも が主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 主体的に実施すべき 体は市である。 したとおりの成果がある。 した通りの成果がある。 と変えでは、経費を はでは、経費を はでは、経費を はではないでは、となりでは、 はでは、となりでは、 はでは、となりでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、	必要性が高い。 事業か ぶ上がっているか(新規事業 効果の成果は表れている。 ・下げる方策はないかである されている。 ・ 緊急に実施する必要がある ・ ない 緊急に実施する必要がある ・ ない 緊急に実施する必要がある ・ ない 素発生に対して、復旧予算の 対組み早期の復旧を図る。 欄)	かする改善策等) で で の で の 確保が必要である		課等関係	各課と調整しなが

1	事業の概要・	战里	日	煙

1 尹未	ツ城安	•								
施策	基本目標基本施第			固性と活力のまち(地域産業 振 <mark>風</mark>	の振興)	担当課	環境産業部	『 農林水』		
区分	個別施第		林業の	<u> </u>		15 J IV	水光/生米山	b 125/11/11/1	工 [八	
	事務事			活動支援交付金事業 活動支援交付金事業		事業	平成	20	年度 ~	
区分	1 新				続	期間	平成	23	年度	
目的				いる中で、水源涵養や地						
及び				こめ、森林所有者や林業	事業体に	よる森林の)現況調査	や歩道の整	修備、その他の活動	
背景		成を行い、その活動								
事業				活動に対し森林整備地域	活動支援	交付金を引	ど付する。			
サネ 内容		画の認定を受けた3		a以上の森林 §300ha 5,000円/ha	• 補目		/2 県1/4	市1/4		
			5 100 19							
	数値 目標	項目		算定式	東 終	目標 ha	H22年度(ま	での)美績 ha	H23(までの)目標値 ha	
	設定	森林整備活動実施		年75ha×4年	21)0	0		300	
成果	事業	面積			ان	J0	U		300	
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業									
2 事業	実績		値 ②(H2	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値	
	1	H23事業費	杰林	施業が適切におこなわれ		H23実施内		たな行い	収船は強め側達	
		1,405	林州の新	設、木製橋の架け替える	などを実施	- 小り入る	11条単の点 実施面積28	対象を11 v i 31ha 5,0	、路盤桶短で関係 000円/ha ・補	
-	数値	114	nı. 	750/		3単年度達			画における達成度	
実 施	目標	H23 (までの) 実	績値	H23 (までの) 目標値		章定式	(1)	採用算		
状	設定	281		300 .	2/14/14/2	94		417712	94	
況	事業	201	ha	ha		94	%		94 %	
	数値 目標	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画	画における達成度	
	以外									
	事業						%		%	
日煙達品	戊状況の評	対象エリアと 徳 きるようにな		人工林について、森林整	経備計画の	策定や環	境整備がな	され、適	切な森林管理がで	
		C 0 00 7 10 10	つた。	1						
	事業の記									
_		の必要性が高い事	そか							
	b 必要性 施業の実		上計え	- 支援するため必要であ	ス					
刊 理由	旭米の天	他に作り入れる地域作	1 #V) .G	. 大阪するため名安くの	رم _°					
	L 	主体的に実施すべる	き事業	 と か						
		E体的に実施すべき								
判断	地域活動	を支援するため市賃	ミ施カ	³ 望ましい。						
理由										
				がっているか(新規事業の	り場合は見	1込)				
評価		」た通りの成果があ オスタロ的機能や5		7個人が回されて						
判断 理由	林外の有	する多目的機能や国	aT.	水生が凶り私る。						
	 	を変えずに、経費	を下げ	ずる方策はないか						
評価		は 積算に基づく経費								
判断		活動支援交付金実施								
理由										
		に実施すべき事業が								
		を施しなければなら		and a large state of the second	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		. 10.			
1.31-51	国土の保	全、水源の涵養、均	2.球温	は暖化の防止等を考慮す	れは実施し	は早いほう	かよい。			
理由 4 総合	(新/エロ·マ	で公公の古沙古	¥π.	七台 (外入部年)5五	ナフル	主体が)				
4 総合 総合評			良り REF	方向(総合評価に対	19 る欧	晋 東 寺)				
				- <u> ##</u> 画や設備は適時修正・補	修が必要	となるこ	とから状況	を注視して	ていく。	
今後の	方向性	, Джин о /с	, HIF			_ 5.0 _	> /\/		- ' '	
※ =₹	欠評価 (企画政策課記入	欄)							
□ 現状		□ 拡充		改善 編小		□ 統合				
□ 休止		□ 廃止	✓	完了	択					

1	事業の概要	战里	日	擂

1 尹未	が、一次で	放朱日倧								
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	策(節) 6-1産 策(項) 6-1-2	業の振興		色の振興)	担当課	環境産業部			
17 八	事務事	•	※ 心凹復3		 送続	事業 期間	平成	20	年度	\sim
区分		規 2継 続召環境税を県内の荒廃	〕た杰林朗		**		平成	29	年度	デン 学成
目的 及び 背景	したA判別との連絡訓	官(3年以内に間伐を必 調整や間伐施工方法の	公要とする系 情報提供を	森林837haの森原受け、森林所有者と	木を間伐す 市の間で協	るため、市 S定を締結し	長が任命する した上で、施	間伐推進	員により森	林所有者
事業 内容	事業主体	林を団地的にまとぬ :市 :75ha	か、森林所	有者との協定に基	づき間伐る	を実施する	5.			
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(まで	の)目標値
成果	目標 設定 事業	間伐面積	年75ha	n×5年		h a 75		ha	7	ha
目標	数值	最終目標			1		II.		1	
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外 事業	H23目標								
2 事業		·	(# @ (Was) = = =	det like trans how we estate like / (trans how we	ra include many burst on the	time (de)	at an etalek lak . Ho o etalek lak l		noo (h) etalete (de (l	
	******	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	他 ②(H23までの実	頼他-H22までの実績他)/ (H23までの		H23実施内	での実績値+H23実績値) マ	/厳於日標恒 (4)E	23(までの)実績値/	收終日標 個
		18,890 千円	59.02 h a	18,890千円 実			7 H			
実 施	数値 目標 設定 H23(までの)実績値 H23(までの)目標値 H23単年度達成度 全体計画における達成度 採用算定式 ① 採用算定式 ③									
状 況	設定 事業	59	79	%		77	%			
	数値 目標	H23実績	ha	H23目標	H2:	3単年度達		全体計	画における	
	以外 事業						%			%
目標達成	成状況の割		大震災により	0、H23に事故繰越に	こなったが、	最終目標		捗している	5.	7.2
	事業の記		alle s							
		の必要性が高い事	業か ニュー							
評価	a 必要性			人。以后の定義	IIL코스의 mo	1.07+1 h	*	ユレッカ=	- 44 W 44 a	3/v 1/22 3 v 14·0
判断 理由		進されることにより ので必要がある。) 国土の保	至、水源の個套、	地球温暖1	との防止さ	手の無体の1	19つ多	町的機能の	発揮が别
			と事業な							
		主体的に実施すべき 主体的に実施すべき	き争業が							
評価 判断		算性が悪化している	スため 市	が重業主体におり	前有者と	カ 定 た 締 糸	生] 宝梅する	<u> </u>		
理由	THE WORLD	奔上が応信している	D1C 60 (1)	が 事未工件になり	<i>/</i> //	ᄴᄯᇰᆒᆒ		0		
	▲ 勃性:期待	したとおりの成果だ	が上がって	いるか(新規事業	の場合は見	L 込)				
評価		た通りの成果があ								
判断 理由	平成20年	度が初年度になるた	び、森林所	有者が関心を持つ	ようにな・	ってきた。				
④ 効率		を変えずに、経費		策はないか						
評価		な積算に基づく経費								
判断 理由	森林機能	緊急回復整備事業領	実施要領に	基づいている。						
-		に実施すべき事業								
評価		実施しなければなら								
判断 理由	至急実施	しないと森林回復だ	ド見込めな	ν _°						
		び今後の事務事業		(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評				欠なため、森林現況の						
今後の		大に取り組む必要	がある。	源の涵養、地球温暖化の	の防止等の森	林の有する多	る面的機能の発	軍が期待され	1る。対象森	林面積の拡
<u> </u>		企画政策課記入		[] ; d						1
現現状 日本北		□ 拡充	改善	□ 縮小		□ 統合				
			□ 完了		: 大					

_1 事業	美の概要	・成果目標								
	基本目標			と活力のまち(地域産	業の振興)					
施策	基本施第		業の振り	興		担当課	環境産業部	農林水	産課	
区分	個別施領	策(項) 6−1−2	林業の排	辰興		•••				
	事務事	事業名 森林機能	緊急回復	复間伐作業道開設事	業	事業	平成	2 0	年度	\sim
区分	1 新		<i>></i> \\\-		迷続	期間	平成	2 4	年度	
目的			した森林	*間伐事業にあて森林の						と元に、 荒廃
及び	したA判定	官(3年以内に間伐を	必要とす	る森林837haの森	林を間伐る	するため、市	長が任命する	間伐推進	員により	森林所有者
背景	との連絡調	間整や間伐施工方法の	情報提供	はを受け、森林所有者 る	と市の間で	協定を締結し	、た上で、施	工業者を選	選定し間付	えを行う。
HX	. 热索的)	r 即代を宝旋士スため :	は岩竿から	っ間伐推進団地に至る森林	及び即代 批	#団地内の本林	たわいて 敷維	1 通温本材の	武右孝/7	司音を担て誌
事業		行い、作業道を開設する。) 同民性医団地に主る株体	(X ()	E□1261107##//\	·(C-\$3 V · C 、 库)///	K.迪.迪***/小º/	//////////////////////////////////////	11息を付く明
内容	事業主体:									
	作業道:2,1		T	fata I I						
	数值	項目		算定式	最	終目標			H23(ま	での)目標値
	目標 設定	明从去往	年7日	1 ∨ 5 年		ha		ha		ha
成果	事業	間伐面積	平 / 5	ha×5年		375	231	l		75
目標	数値	最終目標			I		1			
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外									
	事業	H23目標								
2 事業	美実績 一		値 ②(H23ま	での実績値-H22までの実績値)/(H23まで	の目標値-H22まで			/最終目標値 ④H	23(までの)実績	直/最終目標値
]	H23事業費				H23実施内	习容			
		1,596	1, 110n	n						
		千円	1, 1101.	11						
実	数值	H23(までの)実績	結	H23(までの)目標値	H:	23単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
施	目標	IIZ3(までの) 天藤		1123(までの) 日保旭	採用	算定式	1	採用算	章定式	3
状	設定	59		75		79			7	77
況	事業	59	h a	h:	a	19	%			%
	数值	H23実績		H23目標	Н	23単年度達	成度	全体計ī	画におけ	る達成度
	目標						.,,,,,,,			
	以外 事業						%			%
	尹未	H22分が東日本-	大電災に	より、H23に事故繰越!	こたったが	最終日標/				70
目標達用	成状況の評		(/20)01-	or a C man (= 1, Bellion	- 34 - 72 14	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1.310 = 0			
0 + 7		F. /m								
	事業の記	. ,, .	NIG 7							
		の必要性が高い事	美か							
評価	a 必要性		. 		tit ab me	511 - PL 14	to _ 	. 1 ~ 5 -	→ 11 1/1/ //le	- 30 kg 3 3 Hg
判断			り国土の	保全、水源の涵養、	地球温暖	覚化の防止 領	学の森林の有	する多値	旧的機能	の発揮が期
理由		ので必要がある。								
② 主作		主体的に実施すべ		7						
評価		E体的に実施すべき								
判断	林業の採	算性が悪化している	るため、	市が事業主体になり)所有者と	:協定を締約	吉し実施する)。		
理由										
③ 有刻	効性:期待	したとおりの成果	が上がっ	っているか(新規事業	の場合は	:見込)				
評価	. ,	、た通りの成果があ								
判断	平成20年	度が初年度になるな	び、森材	、所有者が関心を持つ	つようにな	よってきた。				
理由										
④ 効率	率性:成果	:を変えずに、経費:	を下げる	る方策はないか						
評価	a 適正な	な積算に基づく経費	である							
判断		緊急回復整備事業等		頁に基づいている。						
理由										
		に実施すべき事業	カa							
評価		医施しなければなら								
判断		しないと森林回復な		ない。						
理由			71	· · · ·						
	▶ 証価及7	バク後の重数重	生の 士	向(総合評価に対	けするご	7 亲笨盆)				
4 総合評		ノフタツ尹伤事	表り <u>万</u> A	「	ゴック点	(古水守)				
心口計	ш →	森林所有者と培思		┃ 不可欠なため、森林現況の	押握が重更	にかる 而右き	その明確化 作	業道の敷備 雪	草の活動で	間伐が推准さ
今後の	方向性	れることにより国	土の保全、	水源の涵養、地球温暖化						
√ →	を到する	大に取り組む必要								
*		(企画政策課記入		本 口 傑	ſ.	□ 4+ ^				
1 現状		□拡充	日改	· <u>—</u> ·		□ 統合				
		廃止	二 完	」	采択					

1	事業の概要	战里	日	擂

1 事業	ミの概要	・成果目標										
	基本目標		支える個	固性と活力のまち (地)	域産業の振	興)						
施策	基本施第	後 (節) 6-1 産	業の		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		担当課	環境産業部	農林水	産課		
区分	個別施第		林業		••••••		•		, F 4 1 1 1 4 7			
	事務事	其業名 本林継能		回復間伐推進指導事	主 業		事業	平成	2 0	年度	\sim	
区分	1 新	-			継続		期間	平成平成	2 4	年度		
<u> </u>				本林間伐事業にあて森		敷供					·二/r	华皮
目的	未外側で した A 判に	日現現況を県内の元度 2(3年以内に間代を	もしたst 必要と	米が间以事業にめて米 する森林837ha	*体の休主 の森林を間	、発佣 引伐する	を推進りる	3。 平成18年1 長が任命する	LTF成しん 間伐推進	- 無外凶を 員により:	な林所者	元焼 ₹者
及び				是供を受け、森林所有								
背景												
事業		員を雇用するとともに、 締結などを行う。	A判定	の森林所有者を特定し、	北茨城市森	林機能緊	《急回復整備	事業計画の策定	、間伐推進	員を活用し	て森林所	ī有
内容			整を行	い、施業集約化のための	団地化(間	伐推進団	地)や間伐	実施個所ごとの	間伐施工力	法の情報提	是供、協定	ご締
L 1.44	結の仲介等	を行う。										
	数値	項目		算定式		最終	目標	H22年度 (まで	の)実績値	H23(まっ	での) 目札	漂値
	目標						ha		hа			hа
ЬШ	設定	間伐面積	年 7	5 ha×5年		37	5	231			75	
成果	事業		-				0	201			10	
目標	数値	最終目標										
	目標 以外	H22年度(までの)実績	Ę									
	事業 H23目標											
2 事業	<u> </u>	※採用算定式:①H23実績値/H23目	int like (a) (1)	and on a strict like Hand on a strict like 1//		1100 t at at E	im (ir) @ /lion ir s	での実績値+H23実績値)/		00 (dr ws en) street (*/8 ** 0 **	
		H23事業費	原恒 ②(H)	3までの夫頼他-H22までの夫頼他)/(I	H23までの日保恒-1		H23実施内		阪於日保恒 ④H	23(までの)実績(旦/ 取於日保阻	
	<u> </u>	1110年末長					120/\/\!	171				
		2, 190	推進	員4名分								
)// /-la	T F:	1			1100	出左座法	-	△₩⇒≒	画におけ	ス学氏	庄
実施	数值	H23(までの)実績	責値	H23(までの)目標	﴿値		単年度達					
施	目標					採用算	正八	(1)	採用導	草定式	3)
状	設定事業	59) .	75			79	0/		7	7	0./
況	* /.*		ha		ha			%				%
	数値 目標	H23実績		H23目標		H23	単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成	度
	以外									-		
	事業							%				%
	1.714	H22分が東日本	大震災	により、H23に事故総	鼻越になっ	たが、	最終目標~					70
目標達用	式状況の 割	呼価 進捗している										
0 43	古光の言	ST /TT										
	事業の記		د خالد ۰									
		の必要性が高い事	・美か									
評価	a 必要性		⊢ .	(E. A. DET.)=	•)/: 1:1 -15		HI. 1 4			- 11 DB 61-	ate from	> > 11 m
判断			り国土	この保全、水源の液	養、地塚	温暖们	どの防止等	学の森林の有	する多面	『的機能	の発揮で	が期
理由	符される	ので必要がある。										
② 主体	本性:市が	主体的に実施すべ	き事業	養か								
評価	a 市が主	上体的に実施すべき	Š									
判断	林業の採	算性が悪化してい	るため	、市が事業主体に	なり所有	者と協	協定を締約	吉し実施する	0			
理由												
3 有刻	动性:期待	したとおりの成果	が上な	ぶっているか(新規)	事業の場	合は見	,込)					
評価		た通りの成果があ		001/90	//4							$\neg \neg$
判断				森林所有者が関心を	·持つよう	にかっ	ってきた					-
理由	1,4220	~ MIXICAS	\ 10		., - 5)	,	, , , , , ,					
	▲ 	:を変えずに、経費	を下!	ずる 方筈 けかいか								\dashv
-		:で変んりに、程賃 よ積算に基づく経賃										
評価				っ を領に基づいている								-
判断	林小戏形	采 忌凹復	夫肔多	で限に基づいている	0							
理由	5. [r]. P*** *-)-## 1 . \ · · ·										
		に実施すべき事業										
評価		に施しなければなり										
判断	至急実施	しないと森林回復	が見込	しめない。								
理由												
4 総合	評価及7	び今後の事務事	業の	方向(総合評価	に対す	る改善	身策等)				_	
総合評			A		. • /	- / • -						
				が不可欠なため、森林珍								
今後の	方向性			全、水源の涵養、地球温	温暖化の防止	:等の森林	木の有する多	る面的機能の発揮	『が期待され	いる。対象	森林面積の	の拡
<u>*</u>	次評価(0								
☑ 現状		<u> </u>		改善□	縮小		□ 統合					$\overline{}$
□ 休止		□ 拡元 □ 廃止		完了 🗌	和小 不採択		☐ MC ☐					
	•	二		元】 □	小水扒							

_1 事業	の概要	・成果目標							
+/ /-/	基本目標 基本施第			上と活力のまち(地域産業 軸	の振興) 担当課	環境産業部	17 典林水	杂	
施策 区分	個別施第	,	未い派り	だ	担当味	垛 堤 座 未 p	1) 展州小	生味	
' '	事務事	、、〈^ <u> </u>	どり整	備推進事業	事業	平成	2 1	年度	~
区分	1 新				続期間	平成	2 4	年度	
目的				也林や里山林について	、地域住民等が主体	本となった新	森林の整備	青と保全を:	進め、快
及び 背景	適で豊か	な森林環境づくりる	と推進。						
日水	1444A	ワの担告よいたと	7 Lih-kd	Pの動性口的1230~よ	本社ぶくりに出土				
事業	地域往	氏の促棄なとによる	0、地場	成の整備目的に沿った	米州・フト りに助成。				
内容									
	数値	項目		算定式	最終目標	H22年度(まつ	での)実績値	H23(までの	り)目標値
	目標	平地林、里山林整	F 1.1		ha	ı	ha		ha
成果	設定 事業	備面積 (年)	年1 ha		1			1	
目標	数值	最終目標						L	
	目標 以外	H22年度(までの)実績							
	事業	H23目標							
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23ま ⁻	での実績値-H22までの実績値)/(H23までの)/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最	於目標値
	I	H23事業費			H23実施P	勺容			
		1,963 千円	中郷町	汐見ヶ丘地区のマツ	改損木伐倒及び植樹	材、遊歩道改	女修整備を	実施した。	
実	数値	H23(までの)実績	庙	H23(までの)目標値	H23単年度達	成度	全体計画	画における	達成度
施	目標	1120(よくの) 天藤		1123(よくの) 日保恒	採用算定式	1	採用算	章定式	4
状 況	設定 事業	1	%		88	%			
<i>D</i> L	数値	 H23実績	ha	ha H23目標	H23単年度達		- 全体針i	<u></u> 画における	
	目標	1120天順		1120日/示	1125平平反5	三八尺	土件印	回(に401) の	上 从及
	以外								
目標達品	- 戊状況の評	単年目標は、毎 2価	年達成し	している					
3 事務	事業の記	√ (ボ							
		┮価 の必要性が高い事	業か						
評価	a 必要性		1017						
判断	平地林や	里山林の荒廃が急返	恵に進ん	Jでいるため。					
理由									
		主体的に実施すべ	き事業な),					
評価 判断		E体的に実施すべき の提案などによるも	÷ xh = ‡	ことめは市となってし	<u></u> すら				
理由	地域正尺	ッルを未なこれよう!	C 6/2 \ A	Container	<i>م</i> ک ه				
③ 有效) 性:期待	したとおりの成果	が上がっ	っているか(新規事業の	の場合は見込)				
評価		た通りの成果があ							
1 3121	地域の整	備目的に沿った森村	木づくり	が図られる。					
理由		を変えずに、経費	を下げる	る方等けわいか					
評価		で変えりに、経賃 は積算に基づく経費		リングペース・ハナ					
		効に使い、数を増え		にしている。					
理由									
		に実施すべき事業							
評価		を施しなければなら		女供口的ラッパー シオユ	3/ h 28+2 2 2 -	アレンフェーは			
判断 理由	地域仕氏	い促杀なとによる!	世域 少紫	修備目的に沿った森林	つくりか氷められ゛	にい るにめ。			
		び今後の事務事		向(総合評価に対	ける改善策等)				
総合評		憩いの場とし	A て整備		(住民が主体とかっ	て管理させ	る。		
今後の				- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 TILC 6	. ,,	J-0		
<u>* _}</u>		企画政策課記入							
現状		□拡充		善 編小		•			
□ 休止		□ 廃止	□ 完	了	が、				

1	事業の概要・	战里	日	煙

	が、一世界						
施策区分	基本目標基本施定	新(節) 6-1産業	える個性と活力のまち(地域産 类の振興 **業の振興	産業の振興) 担当	課環境産業	部 農林水	産課
	個別施第 事務事	事業名 親子木工者	文室	事弟		2 2	年度 ~
区分	1 新	規 2継 続	\rightarrow	継続期間	Ħ		
目的 及び 背景	なを深め	る。	をで使う学習机等を親子‡ まで使う学習机等を親子‡				
事業内容			イスのパーツを作成して 開催し参加してもらう。	もらい、組み立て	るだけの簡単	なものに	しておく。それを公
	数値	項目	算定式	最終目標	H22年度(ま	での)実績値	[H23(までの)目標値
成果	目標設業	人数(年)	小学校就学予定親子×1/4	160	人 16	50	. 人 160
目標	数値	最終目標					
	目標 以外	H22年度(までの)実績					
	事業	H23目標					
2 事業	美実績 (※採用算定式:①H23実績値/H23目標値	[②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23ま	での目標値-H22までの目標値) ③(H22までの実績値+H23実績値	i)/最終目標値 ④	H23(までの)実績値/最終目標値
		H23事業費		H23実	施内容		
		1,637 千円	2回開催(約70セット、)		and bula	1 41 -1	
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績(直 H23(までの)目標値	H23単年度 採用算定式	(達成度 (1)		画における達成度 算定式 ④
状 況	事業	158	人 160	人	99 %		99 %
	数値 目標 以外	H23実績	H23目標	H23単年原	度達成度	全体計	画における達成度
	事業				%		%
目標達用	式状況の 評	平価					
3 事務	多事業の						
		iの必要性が高い事業	きか				
評価	a 必要性						
判断 理由	地元産材	の良さを知ってもら	い、また親子等で作成す	ることにより、き	ずなが深まる	ため。	
		ご主体的に実施すべき	事業か				
評価		主体的に実施すべき					
判断理由			とめは市となってしまう				
			「上がっているか(新規事	業の場合は見込)			
評価		した通りの成果がある		よるまは知想供は	振ぶ す よ		
判断理由			でも報道され他公共団体	かりも肎報旋供似	粗がめつた。		
(4) 効 ² 評価		とを変えずに、経費を な積算に基づく経費で	:下げる方策はないか <u></u> である				
判断 理由	原材料単	価契約であり、経費	を有効に使いできるだけ	参加人数を増やす	ようにしてい	る。	
⑤ 緊急	急性:緊急	に実施すべき事業が	7				
評価	a 至急等	実施しなければならな	ない				
判断 理由	小学校就	学児童(新1年生)	は毎年(約350人)いるた	こめ、時期をみて包	5年開催する。		
4 総合 総合評		び今後の事務事業	Éの方向(総合評価に A ┃	対する改善策等		_	
	方向性		を知ってもらうのはもち さらにきずなを深めてV				
<u> </u>	次評価 ((企画政策課記入	攔)				
☑ 現状		□拡充		小	充合		
□ 休止	·	□ 廃止	完了	採択			

1	事業の概要	战里	日	擂

争業	: の 機要	・成果目標								
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	票(章) 6 未来を支	える個性と活力のま 業の振興 林業の振興		の振興)	担当課	環境産業部			
区分	事務 1 新	事業名 東日本大 規 2継 規	震災林業施設災害 ————————————————————————————————————	復旧事業 新	坦	事業 期間	平成 平成	23 23	年度 年度	\sim
目的		3年3月11日発生 3年3月11日発生	の東日本大震災に				平成	23	十段	
及び背景					-1171000	2 11 10				
事業内容	林道災	害復旧工事 5日	各線							
	数値	項目	算定式		最終		H22年度(まで	での) 実績	H23(まで	
成果	目標 設定 事業	復旧路線			5	路線				路線 5
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
0 年業	事業	H23年度目標								
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23までの実績値-H22までの)実績値)/(H23までの目		標値 ③(H22まで 123実施卢		最終目標値 ④H	23(までの)実績値	直/最終目標値
				7線. 保田派						
		2,120 千円	(路肩復旧工事					1式)		
実施	数値 目標	H23(までの)実績	f値 H23(までの	の)目標値 -	H23 採用算	単年度達 1定式	成度 ①		画におけ 算定式	る達成度 ④
状況	設定 事業	5	路線	5 路線		100	%		10	0 %
	数値 目標	H23実績	H23 F	目標	H23	単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	以外 事業						%			%
目標達成	龙状況の 割	平成23年		完了し、目	標が達成	された。	70			70
	事業の記									
	要性: 実施 a 必要性	[の必要性が高い事]	美か							
評価 判断		±か向い 復旧を図るためにも	必要性が高い。							
理由	1 //3	Z 2 H 3 1 - 3 1 .	22 24 120 144 0							
② 主体	•	主体的に実施すべる	き事業か							
評価		E体的に実施すべき								
判断 理由		体は市である。	10 L 20 7 2	/ ** 10 ** **		77.)				
(3) 有交 評価		したとおりの成果が した通りの成果があ		(新規事業の	り場合は見	.达)				
判断理由		達成されており事業		れている。						
		:を変えずに、経費	を下げる方策はな	いか						
評価		な積算に基づく経費								
判断 理由		意契約に基づき適り		をしている。						
		に実施すべき事業が								
判断 理点		€施しなければなら 復旧を図るために∜		必要がある。						
理由 4 総合	<u> </u> ·評価及で	び今後の事務事績	業の方向 (総合	・評価に対	する改善	季策等)				
総合評			A				b vi πl-√=	ш <i>k</i> к в в <i>к</i>	A =m l =m	本61 3- 18
今後の		ら復旧事業に	害発生に対して、 取組み早期の復旧		催保が必	要である]	にめ、財政記	果等関係	合課と調	整しなが
		(企画政策課記入 □ ###				□ 休∧				
現状	地 リ	□ 拡充	□ 改善☑ 完了	☐ 縮小☐ 不採	択	□ 統合				

1	事業の概要		成果	日輝
Τ.	世来 ツル女	•	NX.AC	口信

	基本目標		えるイ	固性と活力のまち(地域産業 	の振興)	les de em	and the second of the			
施策 区分	基本施第 個別施第		去 (/)	7点 96		担当課	環境産業部	農林水	産課	
四刀	個別 <i>地</i> 夕 事務事	R(頃) り‐1‐3 玄紫夕 国浦庁城	小 座 油洪	業の振興 整備負担金事業		事業	平成	1 4	年度	~
区分	1 新		信他		続	期間	平成平成	2 7	年度	
目的	大津漁港		急業を	マ小型船漁業等の沿岸漁					,	整備を推進
及び	する。	AL 축마나는 크다 오늘 나는 VIE	D 71.10	5 65 1 - 1 10 - 1 17 - 166 AF	44.45.45.W4r	四 (大 の かん)	7 1 .6 2 1 - m²	· \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	# 1	#: #LL L á n III as
背景	平潟漁港	図ス		修等により、良好で機能		泵現の雑り	未とさりに臨	港を登り	まし、 /供3	隻物搬出の
事業 内容	大津漁港平潟漁港			序復旧漁港整備負担金事 序復旧漁港整備負担金事						
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(まて	での)目標値
成果	目標 設定 事業									
目標	数値	最終目標	大津	は漁港・平潟漁港の整備						
	目標 以外	H22年度(までの)実績		は漁港・平潟漁港の整備						
	事業	H23目標	平為	は臨港道路の完成を図る	る。大津は	は災害復旧	工事と東部	地区の整	備を図る) ₀
2 事業	実績		値 2(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				最終目標値 ④H	23(までの)実績値	直/最終目標値
]	H23事業費	W rts	が クロース マングラ イン・マング マングラ マング マン・マング マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マ		123実施内		LGG 스타크스 71.	古光 1.1.7	7+L
	N/	千円	災害ず。	後旧工事が優先して実施 (災害復旧工事についる。	ては市負担	且なし。)				
実施	数値 目標 設定	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	採用算	単年度達 算定式	以 度	至体計! 採用算		る達成度
状 況	事業数値						%			%
	目標 以外	H23実績 大津漁港・平潟漁港の災害	复旧工.	H23目標 平潟は臨港道路の完成	H23	3単年度達		全体計画		る達成度
	事業	事を行った。		を図る。大津は災害復		20	%		5	8 %
目標達成	成状況の割	目標どおりに進 	捗し	ている。						
	事業の									
① 必要 評価	e性:美施 a 必要性	[の必要性が高い事]	乗か							
判断			布して	ているが、まだ未竣工の	箇所があり	り. 今後す	、進めて行く	必要有 V	。震災し	こより被災
理由		の復旧を進めなけれ			— /// -//	, , , , , , ,	J.C 7 111 1	2211	0 /2000	0.7
② 主体	体性:市が	主体的に実施すべ	き事	業か						
評価				O・住民団体等)が主体						
判断 理由	県が計	画し、国、県、市の	り補具	力及び負担により漁港整	備を行う。					
	 	ニたとおりの成果	がトッ	がっているか(新規事業の	の場合は長	177)				
評価		した 通りの成果があ			7 m L 14 J					
判断理由				を備を進めており、その	成果は顕著	箸である。				
4 効率	- 	を変えずに、経費	を下り	ずる方策はないか						
評価		な積算に基づく経費								
判断 理由	工事発	注は県が行っており	2、证	適正に設計、施工されて	いる。					
⑤ 緊急		に実施すべき事業								
評価		尾施しなければなら			. In the late E	÷ >+>++	h.c. ~ /4 (4)	PER A SIN D	F b - 7	
判断 理由	半潟臨	港追路、大准馮港」	見削り	也区整備は急がれている	。また地質	長、	受害の復旧が	、緊急課題	見である。	
	<u>I</u> ◆評価及7	で会後の重発車	生の	方向(総合評価に対	トするみ					
総合評			A							
今後の	方向性	漁港の老朽化	対策	が必要なため、事業の維	性続が求め	られる。				
<u>* _7</u>	欠評価 (企画政策課記入	.欄)							
✓ 現状	通り	□ 拡充		改善 編小		□ 統合				
休止		■ 廃止		完了	択					

1	事業の概要	成果目標	į
1			

基本日標 (章)
図別開催 (現) 6-1-3×産業の接換 事業 平成 1-4 年度 平成 平成 2年
図
平成 1 年 東東
国籍
日の
及び
書景 港内標識灯の補修、港内道路の補修、野済場補修、照明灯の設置等 大海 採売 大海 東京式 最終目標 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東
本美 港内等総灯の補修、港内道路の補修、野済場補修、照明灯の設置等 「
事業 内容 一次
事業 内容 一次
内容
日標 現代 東東 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東
日標 現
設定 事業 最終目標 大津・平潟漁港の整備及び維持管理を図る。 122年度は下の)実績 国相広域漁港整備事業に伴う付帯工事の実施 122年度は下の)実績 国相広域漁港整備事業に伴う付帯工事の実施 122年度は下の)実績 国相広域漁港整備事業に伴う付帯工事の実施 122年度は下の)実績 国相広域漁港整備事業が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない場所が(中野地)ない。 123年来費 当事業は国補広域漁港整備事業が(労働を先され機能強化事業が進まなかったため。 123年度 123年度達成度 全体計画における達成度 123年度達成度 123年度達成度 全体計画における達成度 123年度達成度 123年度達成度 全体計画における達成度 142年度達成度 142年度 14
展果 事業 日標 数値 目標 大津・平潟漁港の整備及び維持管理を図る。 日2季業実績 最終目標 大津・平潟漁港の整備及び維持管理を図る。 日2季業実績 田23目標 標識等・浮標灯の補修、港内限明灯の設置(平湖) 1123事業費 日3事業費 当事業は国補広城漁港整備事業で育う機能強化事業に付請する小規模な工事を行うであり、国権事業が後告され機能強化事業が検力のたため、単 123事業費 は 123事業 は 123事業を は 123事権を達成度 全体計画における達成度 は 123事権を達めた。 に 123事権を達めた に 123事権を達めた に 123事権を達めた に 123事権を達めた に 123事権を は 123事権を
最終目標 日標 以外 123年度(までの)末箱 国補広城漁港整備事業(件う付帯工事の実施 123年度(までの)末箱 国補広城漁港整備事業(件う付帯工事の実施 123末施内容 123事業費 123事業費 123事業費 123事業費 123事業費 123事業費 123事業性 123年度(全の)ま稿値(記述の)を選挙(選挙の)を 246年 147年
日標
1823 日標
事業 123 日標 標識等・浮標灯の補修、港内照明灯の設置 (平陽) 123 東流野東北 (1920年度 2023 **
2 事業実績
H23事業費
当事業は国補広城漁港整備事業で行う機能強化事業に付随する小規模な工事を行う。
接触 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日
実施 放け 設定 事業 事業 別 (別) 数値 製度 要業 要値 災害後旧工事を進めた。 開刊が回数度(平為) H23目標 (平為) H23単年度達成度 (採用算定式) 全体計画における達成度 (採用算定式) 1 標達成状況の評価 H23里年度達成度 (大力) 全体計画における達成度 (全体計画における達成度 (全体計画における達成度 (大力) 全体計画における達成度 (全体計画における達成度 (全体計画における達成度 (大力) 3 事務事業の評価 日標どおり進捗している。 54 3 事務事業の評価 国標どおり進捗している。 3 事務事業の評価 国補広域漁港整備事業の対象外の整備については、この県単整備で行うため必要性は高い。 2 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 こ 市以外の団体(国・県・NPO・住民団体等)が主体的に行うべき 申助 理由 3 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 事備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 4 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 事備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 9 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 事確した結果、利用しを下げる方策はないか 評価 9 数学性:緊急に実施すべき事業か 評価 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の
日標
施 日標
現
数値 目標 以外 事業 H23実績 果き復旧工事を進めた。 提際等・浮標灯の補修、港内 照別灯の設置(平陽) 4 目標達成状況の評価 1 3 事務事業の評価 1 ① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 国補広域漁港整備事業の対象外の整備については、この県単整備で行うため必要性は高い。 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 c 市以外の団体(国・県・NPO・住民団体等)が主体的に行うべき 市と地元漁協の要望調査を行い、県が計画し事業している。 割断 理由 3 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した過りの成果がある 判断 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 理由 事が設計、施工する中で適正に執行されている。 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
目標 以外
以外 事業
事業 本書館 本書館 本書館 大き館 日標 とおり進捗している。 評価 a 必要性 必要性 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本
1標達成状況の評価 3 事務事業の評価 ① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 a 必要性が高い 平期 国補広域漁港整備事業の対象外の整備については、この県単整備で行うため必要性は高い。 2 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 c 市以外の団体 (国・県・NPO・住民団体等) が主体的に行うべき 平市と地元漁協の要望調査を行い、県が計画し事業している。 1
3 事務事業の評価 ① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 a 必要性が高い 判断 国補広域漁港整備事業の対象外の整備については、この県単整備で行うため必要性は高い。 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 c 市以外の団体(国・県・NPO・住民団体等)が主体的に行うべき 判断
① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 a 必要性が高い 判断 理由 国補広域漁港整備事業の対象外の整備については、この県単整備で行うため必要性は高い。 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 c 市以外の団体(国・県・NPO・住民団体等)が主体的に行うべき 判断 理由 市と地元漁協の要望調査を行い、県が計画し事業している。 理由 a 期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 理由 整備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 理由 a 適正な積算に基づく経費である 判断 関係が設計、施工する中で適正に執行されている。 関係性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
① 必要性:実施の必要性が高い事業か 評価 a 必要性が高い 判断 理由 国補広域漁港整備事業の対象外の整備については、この県単整備で行うため必要性は高い。 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 c 市以外の団体(国・県・NPO・住民団体等)が主体的に行うべき 判断 理由 市と地元漁協の要望調査を行い、県が計画し事業している。 3 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 理由 整備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 理由 a 適正な積算に基づく経費である 判断 界が設計、施工する中で適正に執行されている。 関 類 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
評価 a 必要性が高い 判断 理由 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 c 市以外の団体 (国・県・NPO・住民団体等) が主体的に行うべき 判断 理由 ③ 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した過りの成果がある 判断 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
判断
理由 ② 主体性:市が主体的に実施すべき事業か 評価 c 市以外の団体(国・県・NPO・住民団体等)が主体的に行うべき 判断 理由 市と地元漁協の要望調査を行い、県が計画し事業している。 ③ 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 理由 整備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 理由 県が設計、施工する中で適正に執行されている。 ③ 緊急性:緊急に実施すべき事業か評価 a 至急実施しなければならない
② 主体性: 市が主体的に実施すべき事業か 評価
評価 c 市以外の団体 (国・県・NPO・住民団体等) が主体的に行うべき 判断 理由 ③ 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
判断 理由
判断 理由
理由 ③ 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 整備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 県が設計、施工する中で適正に執行されている。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
③ 有効性:期待したとおりの成果が上がっているか(新規事業の場合は見込) 評価 a 期待した通りの成果がある 判断 理由 整備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 理由 県が設計、施工する中で適正に執行されている。 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か評価 a 至急実施しなければならない
評価 a 期待した通りの成果がある 判断 整備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 県が設計、施工する中で適正に執行されている。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
判断 整備した結果、利用しやすい漁港となっている。漁港機能の回復が図れた。 理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 県が設計、施工する中で適正に執行されている。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
理由 ④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断
④ 効率性:成果を変えずに、経費を下げる方策はないか 評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断
評価 a 適正な積算に基づく経費である 判断 県が設計、施工する中で適正に執行されている。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
判断 県が設計、施工する中で適正に執行されている。 理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
理由 ⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か 評価 a 至急実施しなければならない
評価 a 至急実施しなければならない
評価 a 至急実施しなければならない
I NOME I 国海里等//)》(全海田 I 里坐 I / 伴って 竪台 I 双端 まる 笛 吹が なる
判断 国補事業の災害復旧工事等に伴って緊急に整備する箇所がある。
理由
4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等)
総合評価 ⇒ A
漁港の老朽化対策が必要なため、事業の継続が求められる。 今後の方向性
· 一次並仁 (人面中华部司) 期)
※ 二次計価(企画政界誅記入懶)
※ 二次評価(企画政策課記入欄)□ □ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合

1 事業	の概要	• 成果目標									
	基本目標	票(章) 6未来を支	てえる個	11性と活力のまち(地域産業	の振興)						
施策	基本施第	後(節) 6-1産	業の打	辰興		担当課	環境産業部	農林水	産課		
区分	個別施第	筍(項) 6-1-3	水産乳	業の振興							
	事務事			呆証料補給事業費補助金	È	事業	平成	2 3	年度	~	
区分	1 新	規 2継 続		→ 新	規	期間					
目的	水産業協	8同組合並びに漁業又	は水産	産加工業を営む法人、個人	及び漁業に	従事するも	の(被保証	人)の保管	ぎ金融の円	滑化を促	進
及び	するため、	茨城県漁業信用基金	:協会	(補助事業者) が被保証人	において納	付すべき得	R証料の一部	を軽減した	とときは、	北茨城市	水
背景	産業信用 符	於 計科]金父作	寸要項により、中小漁業の	振興を図る	ことを目出	りとして補助	争業者へ作	用助金を父	付する。	
	水産業	に従事する中小漁業	業者等	が借入れた資金に対し	て、貸付い	ナた漁業系	系統金融機関	関が必要 &	こする債務	め 保証	を
事業				て、市は保証によって	掛かる保	証料の一部	『を中小漁業	美者等の負	負担の軽減	載を図る:	た
内容	め水産業	信用保証料補給事業	業を行	¹ う。							
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	の)実績値	H23(まで	の)目標(値
	目標	近代化及び施設投), /C. (77271	件					件
5 H	設定	資件数(年あた	H21年	E度実績×120%	Δ	.6				46	
成果	事業	<u>n)</u>				.0				10	_
目標	数値 目標	最終目標									
	以外	H22年度(までの)実績									
	事業	H23目標									
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	₹値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの[目標値) ③(H22まで	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④F	23(までの)実績値	/最終目標値	
	I	H23事業費			I	H23実施内	习容				
		O.F.	中小	漁業者等が借入れた資金	金に対して	て、債務の	保証を承諾	する漁業	信用基金	協会に対	寸
		85 千円	して	、市は保証料の一部を「	中小漁業者	音等の負担	の軽減を図	った。			
実	数値	voo (.b) ++/-	± /	1100(11-1-10)日原仕	H23	単年度達	成度	全体計i	画における	る達成度	$\overline{}$
施	目標	H23(までの)実績	恒	H23(までの)目標値	採用算	章定式	1	採用算	章定式	4)	
状	設定			4.0			_				\exists
況	事業	5	件	46 件		11	%		11	L (%
	数値	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達	成度	全休計i	画における	ス達成度	
	目標	1120 人//貝		1120 H W	112	一个一人还	:19X1X	IT-HII	<u> </u>		,
	以外 事業										
	# *						0/				
	7 //4	H23年度は震災(の影響	で補助対象が少なく目標に	こ達しなか	ったが、全	% ・体的に目標の	つとおりに	進捗してい		%
目標達成	成状況の評	H23年度は震災の 近価	の影響	で補助対象が少なく目標に	こ達しなか	ったが、全	% 体的に目標の	つとおりに	進捗してい		
	成状況の評	価	の影響	で補助対象が少なく目標に	こ達しなか	ったが、全	% 体的に目標の	つとおりに	進捗してい		
3 事務	成状況の評	^{注価}		で補助対象が少なく目標に	こ達しなか	ったが、全	% 体的に目標の)とおりに	進捗してい		
3 事務	成状況の評 事業の記 要性:実施	を価 平価 の必要性が高い事		で補助対象が少なく目標に	こ達しなか	ったが、全	% 体的に目標の	つとおりに	進捗してい		
3 事務 ① 必要 評価	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性	を価 平価 の必要性が高い事 とが高い	業か							いる。	%
3 事務 ① 必要 評価	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性 水産業	を価 平価 の必要性が高い事 とが高い	業か	で補助対象が少なく目標に						いる。	%
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性 水産業 う。	準価 平価 の必要性が高い事 性が高い は当市の基幹産業-	業か	あることから、補完金						いる。	%
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性 水産業 う。 本性:市が	平価 の必要性が高い事 をが高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべ	業か 一つで き事業	あることから、補完金						いる。	%
3 事務 ① 必要 評価 判断 理由 ② 主体	成状況の評 事業の言 要性:実施 a 必要性 水産業 う。 本性:市が a 市が自	平価 平価 の必要性が高い事 主が高い は当市の基幹産業 主体的に実施すべき	業か 一つて き事業	があることから、補完金	融の円滑	比を促進す	ナるため水産	産業信用 値	录証料補 約	いる。	%
3 事務 ① 必要 評価 判明由 ② 主体 評価	成状況の評 事業の記 要性:実施 a 水産業 う。 本性:市が自 当市に	平価 の必要性が高い事 性が高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき を体的に実施すべき 所属する中小漁業者	業か 一つて き事業	あることから、補完金	融の円滑	比を促進す	ナるため水産	産業信用 値	录証料補 約	いる。	%
3 事務 ① 必要 評価 判理 主体 評 所由	成状況の評 事業の記 要性:実施 a 水産 う。 本性:市が自 の軽減を	平価 平価 の必要性が高い事態 が高い は当市の基幹産業 主体的に実施すべき にないに実施すべき である。	業か 一つで き事業 者等の	があることから、補完金	融の円滑の	化を促進す	ナるため水産	産業信用 値	录証料補 約	いる。	%
3 事務 ① 必要 評	成状況の評 事業の言 要性:実施 な産業 う。 本性:市市市域 の軽:期待	平価 の必要性が高い事 は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 所属する中小漁業を 図る。	業か 一つで き事業 が上か	があることから、補完金	融の円滑の	化を促進す	ナるため水産	産業信用 値	录証料補 約	いる。	%
3 事務 ① 必要 評判理由 ② 主体 判理由 ③ 有交 評価	成状況の評 事業の言 要性:必産業 う。 本性:市市市減 の計性:期待し の批性:期待し	平価 の必要性が高い事 は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 所属する中小漁業を 図る。 したとおりの成果があ	業か 一つで き事業 者等の が上か	があることから、補完金 終か)資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の	融の円滑が ため、市に の場合は見	化を促進す が保証料権 引込)	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 事務 ① 必要 判理 当 主体 判理 有 ② 評	成状況の評 事業の言 要性:必産業 う。 本性:市市市減 の計性:期待し の批性:期待し	平価 の必要性が高い事 は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 所属する中小漁業を 図る。 したとおりの成果があ	業か 一つで き事業 者等の が上か	があることから、補完金	融の円滑が ため、市に の場合は見	化を促進す が保証料権 引込)	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 事務 事必要 1 事必要 2 評判理 3 評判理 3 評判理 3 評判理 4 財理 3 計理 4	成状況の評 要性: 必産 を性: 必産 を性: 必産 ・性: 市が計にを がは: 期証 がは: 期待にを は、期間にを がはにを がはにを がはにを がはにを がはにを がはにを がはにを がはにを がはにを がは、 は、期間に がは、 は、おいまに がは、 は、おいまに がは、 は、おいまに がは、 は、おいまに がいまに がいまに は、おいまに がいまに は、おいまに がいまに は、おいまに がいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、おいまに は、まに は、まに は、 は、まに は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	平価 平価 の必要性が高い事態が高いは当市の基幹産業 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 図る。 したとおりの成果があれます。 は、	業か 一つで 事業 が上か るより、	があることから、補完金 をか 資金繰りを円滑にする べっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が	融の円滑が ため、市に の場合は見	化を促進す が保証料権 引込)	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 事務 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ③ 評判理 ④ 对	成 事業 実 を は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	平価 平価 の必要性が高い事態が高い は当市の基幹産業 主体的に実施すべき に体的に実施すべき の の 成果 で る。 こしたとおりの成果があれます。 本通りの成果があれます。 を変えずに、経費	業か 一つで 事業 が上か るより、 を下に	*あることから、補完金 *** ** ** ** ** ** ** ** **	融の円滑が ため、市に の場合は見	化を促進す が保証料権 引込)	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 事務 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ③ 評判理 ④ 評価	成状況の計算を 要性:必産 を性:必産 本性: 一の性: 期に のがは: がいにを は、期にでは、 は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が	平価 の必要性が高い事 が高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 所属する中小漁業利 図る。 したとおりの成果があ に、となりの成果があ は、一次である。 は、一次できる。 は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	業か 一つで き事業 者等の が上かる より、 を下に	があることから、補完金 等か 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる	融の円滑(ため、市; の場合は見 軽減され、	化を促進す が保証料権	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 事必要 事必要 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判	成状況の計算を 要性:必産 を性:必産 本性: 一の性: 期に のがは: がいにを は、期にでは、 は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、対してを は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が、は、が	平価 の必要性が高い事 が高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 所属する中小漁業利 図る。 したとおりの成果があ に、となりの成果があ は、一次である。 は、一次できる。 は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	業か 一つで き事業 者等の が上かる より、 を下に	*あることから、補完金 *** ** ** ** ** ** ** ** **	融の円滑(ため、市; の場合は見 軽減され、	化を促進す が保証料権	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 事必要 事必要 2 評判理 3 評判理 3 評判理 4 評判理 4 評判理 4	成状 (本)	平価 の必要性が高い事 きが高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき を体的に実施すべき の成果があい。 したとおりの成果があれました通りの成果があれました。 を変えずに、経費・ は積算に基づく経費 域果漁業信用基金を	業か 一つで 事業 がるり、 下で会が あるが	があることから、補完金 等か 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる	融の円滑(ため、市; の場合は見 軽減され、	化を促進す が保証料権	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 事必価断由主価断由有価断由効価断由繁 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤	成状 (本)	平価 の必要性が高い事 きが高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき を体的に実施すべき が属する中小漁業で 図る。 したとおりの成果があ 補助を行うことに。 を変えずに、経費 は積算に基づく経費 域県漁業信用基金を に実施すべき事業	業か 一つで 事業 がより、 をでみが か	があることから、補完金 等か 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる	融の円滑(ため、市; の場合は見 軽減され、	化を促進す が保証料権	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ ○ 評判理 ⑥ ○	成事性 a から に 本 a の 部 を 性 a の から を ま と で から は ま の がら は ま の がら は ま の がら は ま の がら に を 待 も 料 ま 正 茨 急 り ま しゅう は ま で ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	平価 の必要性が高い事 は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき に体的に実施すべき である。 したとおりの成果があいた通りの成果があれている。 を変えずに、経費に基づく経費は、は、経費に基づく経費に基づく経費に基づく経費をは、に実施すべき事業にある。	業か 一つで 事 が るり、 下で会が かない	*あることから、補完金 をか 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる 適正に積算等を行い処	融の円滑(ため、市; の場合は見 軽減され、	化を促進す が保証料権	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小?	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理⑥ 評判	成事性 a から に 本 a の 部 を 性 a の から を ま と で から は ま の がら は ま の がら は ま の がら は ま の がら に を 待 も 料 ま 正 茨 急 り ま しゅう は ま で ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	平価 の必要性が高い事 きが高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき を体的に実施すべき が属する中小漁業で 図る。 したとおりの成果があ 補助を行うことに。 を変えずに、経費 は積算に基づく経費 域県漁業信用基金を に実施すべき事業	業か 一つで 事 が るり、 下で会が かない	*あることから、補完金 をか 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる 適正に積算等を行い処	融の円滑(ため、市; の場合は見 軽減され、	化を促進す が保証料権	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理② 評判理② 評判理④ 評判理④ 評判理⑤ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 計算	成 事性 a か は a か は a 年 a 年 a 年 a 年 a 年 a 年 a 年 a 年 a 年 a	平価 の必要性が高い事 が高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 所属する中小漁業で 図る。 したとおりの成果があれた通りの成果があれて、経費に基づくとに、 を変えずに、経費 域県漁業信用基金が 域界漁業信用基金が に実施すべき事業。 に実施しなければなら 通じて保証料が必要	業か き事等の おるり、下で会が かなと	があることから、補完金 をか 変金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が がる方策はないかる 適正に積算等を行い処 れる。	融の円滑(ため、市; か場合は見 軽減され、 理されてい	化を促進す が保証料 を記込) ・漁業経営 ・ハる。	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 計算	成事業 が が にを 待 は 異 は 異 と な は ま 要 ま が が にを 待 は 男 証 が ま で い な ま で か は ま の か は ま の か は ま の か は ま の か は ま の か は ま の か は ま で が は に を 待 は ま で な こ で な き し で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で で か は ま で で か は ま で で で か は ま で で で で か は ま で で で で か は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	平価 の必要性が高い事 が高い は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき 体的に実施すべき 所属する中小漁業で 図る。 したとおりの成果があれた通りの成果があれて、経費に基づくとに、 を変えずに、経費 域県漁業信用基金が 域界漁業信用基金が に実施すべき事業。 に実施しなければなら 通じて保証料が必要	業か き事等がるり、下あがなととの。 なとので会がないさ	*あることから、補完金 をか 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる 適正に積算等を行い処	融の円滑(ため、市; か場合は見 軽減され、 理されてい	化を促進す が保証料 を記込) ・漁業経営 ・ハる。	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理② 評判理② 評判理④ 評判理④ 評判理⑤ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 計算	成事業 が が にを 待 は 異 は 異 と な は ま 要 ま が が にを 待 は 男 証 が ま で い な ま で か は ま の か は ま の か は ま の か は ま の か は ま の か は ま の か は ま で が は に を 待 は ま で な こ で な き し で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で か は ま で で で か は ま で で か は ま で で で か は ま で で で で か は ま で で で で か は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	平価 の必要性が高い事 は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき を体的に実施すべき に体的に実施すべき の成果があい。 したとおりの成果があれて、となりの成果があれて、となりの成果があれて、となりのは果があれて、となりのは果があれて、となりのは果がある。 を変えずに、経費・ は積算に基づく経費・ は、実施すべき事業。 に実施すべき事業。 に実施しなければなら 通じて保証料が必要	業か き事等がるり、下で会がいなと A	があることから、補完金 をか 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業) 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる 高直に積算等を行い処 れる。	融の円滑(ため、市; か場合は見 軽減され、 理されてい	化を促進す が保証料 を記込) ・漁業経営 ・ハる。	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 評判理⑥ 計算	大	平価 の必要性が高い事 は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき を体的に実施すべき に体的に実施すべき の成果があい。 したとおりの成果があれて、となりの成果があれて、となりの成果があれて、となりのは果があれて、となりのは果があれて、となりのは果がある。 を変えずに、経費・ は積算に基づく経費・ は、実施すべき事業。 に実施すべき事業。 に実施しなければなら 通じて保証料が必要	業か き事等がるり、下で会がいなと A	があることから、補完金 をか 変金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業の 中小漁業者等の負担が がる方策はないかる 適正に積算等を行い処 れる。	融の円滑(ため、市; か場合は見 軽減され、 理されてい	化を促進す が保証料 を記込) ・漁業経営 ・ハる。	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 4 総 今 務必要 4 の	成事性 本 本 本 本 本 本 本 本 本	平価 での必要性が高い事態が高いは当市の基幹産業 主体的に実施すべき は当市の基幹産業 を できる。 こたとおりの成果がある。 こたとおりの成果がある。 こたとおりの成果がある。 こたとおりの成果がある。 で変えずに、経費に基づくとに、 を変えずに、経費に基づくとに、 を変えずに、経費に基づくとに、 を変えずに、経費に基づくとなりの事務事態 は、 に変しなければなら、 できる は、	業かって 事等をより、下あがなとのA 和なとのA 和なとのA	があることから、補完金 をか 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業) 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる 高直に積算等を行い処 れる。	融の円滑(ため、市; か場合は見 軽減され、 理されてい	化を促進す が保証料 を記込) ・漁業経営 ・ハる。	トるため水産 非給事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 4 総 今※ 番必 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	成事性 本 の 性 本 本 本 の か 本 の か 本 の か 本 の か の の	平価 の必要性が高い事 は当市の基幹産業ー 主体的に実施すべき を体的に実施すべき に体的に実施すべき のの成果がある。 したとおりの成果がある。 を変えずに、経費費 域界漁業信用基金額 に実施すべればなら が見漁じて保証料が必要 が今後の事務事 継続して保 企画政策課記入	業かでするようでは、 事等をあるりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	があることから、補完金 をかかり資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業) 中小漁業者等の負担が がる方策はないかる 適正に積算等を行い処 れる。 方向(総合評価に交 雨給事業を行う。	融の円滑(ため、市; か場合は見 軽減され、 理されてい	化を促進すが保証料を担込) 漁業経営 (八る。	おお事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%
3 ① 評判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 4 総 今 務必要 4 の	成事性 本 の 大 本 の 大 本 の 大 本 の 大 本 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の か の の	平価 での必要性が高い事態が高いは当市の基幹産業 主体的に実施すべき は当市の基幹産業 を できる。 こたとおりの成果がある。 こたとおりの成果がある。 こたとおりの成果がある。 こたとおりの成果がある。 で変えずに、経費に基づくとに、 を変えずに、経費に基づくとに、 を変えずに、経費に基づくとに、 を変えずに、経費に基づくとなりの事務事態 は、 に変しなければなら、 できる は、	業一つき ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	があることから、補完金 をか 資金繰りを円滑にする ぶっているか(新規事業) 中小漁業者等の負担が ずる方策はないかる 高直に積算等を行い処 れる。	融の円滑(ため、市; か場合は見 軽減され、 理されてい	化を促進す が保証料 を記込) ・漁業経営 ・ハる。	おお事業を行	産業信用化 テい中小液	录証料補 約	いる。	%

1	事業の概要	成果	目	煙

<u>l 事</u> 身	真の概要_	・成果目標								
施策区分	基本施第 個別施第	휷(節) 6−1産 휷(項) 6−1−3	業の振 水産業	性と活力のまち(地域産業 興 の振興	の振興)	担当課	環境産業部	『 農林水	産課	
区分	事務事	事業名 市漁業共 規 2継 規 2	済掛金	:助成事業補助金	規	事業 期間	平成	2 3	年度 ~	
			シ促准	し、漁業経営の安定を				て海業	※宝法に其べく	海獲
目的 及び 背景	共済の一	部について補助事業	業を行	Ď.						
事業 内容		者が加入する、全国		定を図り、国民への水 漁業共済組合茨城事務						
	数值	項目		算定式	最終			での) 実績値	H23(までの)目	標値
目標 設定 漁業共済加入率 共済加入者数/漁業従事者 % 100 100								%		
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業	美実績 、	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 日23事業費	(値 ②(H23)	までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		標値 ③(H22まで 123実施内		/最終目標値 ④1	23(までの)実績値/最終目標値	É
		日23争来貨	海光红	Y 経営の安定を図るため、				(宝汁)に甘	づく海猫井汶の	\mathcal{D}
		773 千円		EBの女足を図るため、 Oいて補助事業をった。		単年度達			画における達成	
実 施 状	目標 設定	H23(までの)実績		H23(までの)目標値	採用算	定式	1		章定式 ④	
況	事業	100	%	100 %		100	%		100	%
	数値 目標 以外	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成	度
	事業						%			%
月標達	成状況の割	■ 目標どおりに進 革価 ■	捗して	いる。						
	务事業の記 悪性・実施	半価 [の必要性が高い事	学み、							
評価	a 必要性		未//*							
判断			ある水戸	産業の漁業経営の安定	を図る必要	要性がある	5.			
理由	H-111		ケキボ	7.						
② 主位 評価		主体的に実施すべ E体的に実施すべき		カ ・						
				策に取り組む中で、市	も必要と	する共済技	掛金の一部を	を補助する		
	<u>┃</u> 効性:期待	したとおりの成果	が上が	っているか(新規事業の	の場合は見	(込)				
評価		た通りの成果があ				/				
判断理由	共済加	入により所得補償等	等がされ	れるため、漁業経営者	は収入の気	安定化が図	図られる。			
④ 効	率性:成果	:を変えずに、経費:	を下げ	る方策はないか						
評価		よ積算に基づく経費								
判断 理由		項及び契約者負担額		り槓算される。						
		に実施すべき事業]
割断 理由		통施しなければなら 減少、燃油の高騰∜		り漁業経営者は漁獲共	済の加入を	が必要とな	なり、これに	こ伴い市に	は補助事業を実	施す
理由 4 総合		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	坐の‡	5向(総合評価に対	ナナスみ	主 等空)				
総合評		<u> </u>	A		ı / つ以]	コバザノ				
	方向性	漁獲の減少る。	、燃油	の高騰等により漁業組	営の安定	を図るた	め、補助事	業を継続	していく必要が	ふあ
<u>* -</u>	次評価(企画政策課記入	.欄)							
☑ 現状		□ 拡充 □ 広式		文善		□ 統合				
休止	<u> </u>		<u> </u>	官了	択					

_1 事業	の概要	・成果目標								
	基本目標			11性と活力のまち(地域産業						
施策	基本施第		業の打	辰興		担当課	環境産業部	『 農林水』	産課	
区分	個別施第		水産	業の振興 						
EZ /\	事務事		向上	支援事業補助金	1 17	事業 期間	平成	23	年度	\sim
区分	1新	770 110	立知な	→ 新 促進するため、漁船船			ハ休のト下が	リア 西土 2	ス奴弗にへ	ルケー 海
目的 及び	業協同組	際価値賃重削減の場 合が助成等を行う場	X組化 易合に	に はりるため、	広い信饰に する経費に	・少安なfi 対し、á	T体のエーラ #助金を交付	たに安りる けする。	3 胜賃につ	い、こ、孤
背景	>10031 411-	L	~	, •,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,		
	漁船の	燃油消費量削減の耳	文組を	促進するため、漁船船	底の清掃に	必要な船	公体の上下勢	とに要する	- 5経費につ	いて、漁
事業 内容	業協同組	合が助成等を行う場	易合に	おける当該助成等に要	する経費に	対し、神	前助金を交付	すする。		·
円谷										
	数值	項目		算定式	最終目		H22年度(まて	での)実績値	H23(まで	の)目標値
	目標 設定	船上架回数 (年	口つ3年	E度実績×120%		口				回
成果	事業	あたり)	11254	一尺大順 ^ 120/0	24				2	0
目標	数值	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業	実績		値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの	目標値-H22までの目標	「値」 ③ (H22まつ	での実績値+H23実績値)	/最終目標値 ④F	123(までの)実績値/』	最終目標値
]	H23事業費			Н	23実施内	內容			
		105	大津	漁協・平潟漁協の所属網	公のうち20%	隻につい	て補助を実	施した。		
)// /	千円	<u> </u>			単年度達			画における	法出床
実	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	п20年 採用算		双度 (1)		画にねける 算定式) <u></u> 建
施 状	設定				水川升			沐川寺		(4)
況	事業	20	口	20 回		100	%		83	%
	数値	H23実績		H23目標	H231	単年度達	成度	全体計i	画における	達成度
	目標 以外			·						
	事業						%			%
日標達日	成状況の割		が図り	られ漁船の燃費向上が図ら	れつつある。					
	事業の記	<u>半価</u> の必要性が高い事	Щ2 .							1
1 必要評価	a 必要性		表 // ・							
判断			 昼係日	体と協議した上で補助	事業の終了	を検討す	トる。			
理由	/////	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	971	711 0 100 100 0 100 70	7 214 - 714 4	2 000	• •			
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべ	き事業	巻か						
評価				〇・住民団体等)が主体		べき				
判断	市内漁	協の所属船を対照る	こして	いるため市が行う事業						
理由	d to the ca			9	- (0 4) 2 0	\ → \				
(3) 有效 評価		:したとおりの成果; .た通りの成果があ		ぶっているか(新規事業の	ソ場合は見	込)				
				の上架が促進され成果が	ことがってい	いる。				
理由	1120 2.11	3 7/20 2 7/1/20 7 2	7314	> II) ten pere e nongentin		Φ0				
④ 効率	× × 性:成果	を変えずに、経費	を下に	げる方策はないか						
評価	a 適正な	よ積算に基づく経費	であん	3						
判断	補助要	項に基づき積算され	いる							
理由										
		に実施すべき事業								
評価 判断		E施しなければなら して燃油価格が高値]であることから補助事	業の道入が	公菓とき	される			
理由	p/m c		E 15(1)		W. 12 + 12 / 14	2.20	- 400			
		バ今後の事務事	<u>業の</u>	方向(総合評価に対	する改善	(策等)				
総合評			Α							
今後の	方向性	燃油価格に	よって	て事業の存続を検討する	1					
			押1/							
※ 二次 現状		企画政策課記入 □ 拡充		改善 編小		□ 統合				-
□ 休止		□ 旅儿 □ 廃止	=	完了 □ 桶介完了 □ 不採						
]						

1	事業の概要	成果	目	樰

爭亲	が、一般安	•								
施策区分	基本目標 基本施第 個別施第	後(節) 6 − 1 産 後(項) 6 − 1 − 3 ;	業の 水産	業の振興	の振興)	担当課	環境産業部			
区分	事務 1 新		上物	新商品開発事業補助金 → 新	規	事業 期間	平成	2 3	年度 ~	~
目的 及び 背景	当市で生きた。近年の需要が高	E産される水産加工品 Fになり国内では水産 Bまっており、国内で	物の原の	くから、地元で水揚げされ 消費が低迷する傾向となり 魚の確保が心配されていま りに取り組む水産加工業者	た鮮魚を塩 、特に若い す。こうし	温蔵、干物、 い世代の魚腐 いた中で、当	惟れが顕著に ≦市の地魚で	表れている水揚げされ	る。世界的にい いた魚を活用	は水産物
事業内容	従来の	水産加工品に捉われ	しず、	北茨城市を代表する売品を作るための補助事業	れる製品	を作ること	を目的とし	して、試化	作品を検討し	て発表
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	ごの) 実績値	H23(までの	
成果	目標 設定 事業	開発新商品数(年 あたり)				品 1			1	品
目標	数値 目標	最終目標								
	以外	H22年度(までの)実績								
0 車級	事業	H23目標								
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 - 123事業費	直 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		^{目標値) ③(H22まで)} H23実施卢	での実績値+H23実績値) マ	/最終目標値 ④I	123(までの)実績値/最終	· 目標値
		400 千円	5 品	の試作品を作成し発表			7· H			
実施	数値 目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値		3単年度達 算定式	成度 ①		画における資 算定式	達成度 ④
状 況	設定 事業	0	品	1 品		0	%		0	%
,,,	数値 目標	H23実績	нн	H23目標	Н2	3単年度達		全体計	画における詞	
	以外 事業						%			%
日梗達日	成状況の割		発表	して新商品の開発が進んで	いる。		, - 1			, ,
	事業の記	半恤 [の必要性が高い事詞	どか							
評価	a 必要性		K 1/2							
判断理由			4作り) は今後の事業展開には	必要性が	高い。				
② 主体		主体的に実施すべる								
評価				O・住民団体等)が主体			- ユ× - 人 ※ 1	льки	コロば乱燃き	. 4-1 2 5
判断 理由	ととして	、研究費、販売促進	性活 重	くし、仕上げた製品を市 助において市が活動費及	びPRの	主となる~			ア K 店 期 寺 を	21T 9 C
③ 有家 評価		・したとおりの成果ス レた通りの成果があ		がっているか(新規事業の	り場合は見					
				試作品を作成するなど、	新商品σ	研究等が	促進されて	いる。		
	上 	を変えずに、経費を	と下り	ずる方策はないか						
評価 判断 理由		よ積算に基づく経費 発には、事業者は奪		る が掛かるが市はその一部	を補助す	ることとし	たい。			
	急性:緊急	に実施すべき事業な),							
評価		E施しなければなら								
判断理由	·	から開始した事業の								
		び今後の事務事業	<u>美の</u>	方向(総合評価に対	する改	善策等)				
総合評 今後の		新水産加工品 る。		 により、更に北茨城市の	名物とし	て販路拡	大のPRを	行える製	品作りを支持	援す
<u>* _}</u>	欠評価 (欄)							
☑ 現状	通り	□ 拡充		改善 編小		□ 統合				
休止			Ш	完了 不採	択					

1 事業	美の概要	• 成果目標	•••		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~					
	基本目標	票(章) 6未来を支	える個	国性と活力のまち(地域産業 	の振興)	I may be a mar	and take the Mile Lin		I. ====	
施策 区分	基本施第	我(節) 6 — 1 産 な(15) 6 1 4	業の打工業の	辰興 2)振興 広域工業用水道事業補助		担当課	環境産業部	商工観:	光課	
四刀	回別	R (頃) 0-1-4 11 12 12 13 14 14 15 15 15 15 15 15	上来は	ク派典 た城工業田永道重業補助	1全	事業	昭和	5 9	年度	~
区分	1 新		7) <u>\</u>	A 数		期間	平成	4 6	年度	
目的	石炭産業	を基幹とした北茨切		萩両市は、基幹産業の		、新たた			, , , ,	を目的とし
及び	た工業団	地の造成計画を策算	官した	-0						
背景	Millio Est Lui.	- M. D M. S M. E	L >-	#1512 22 44 2 4	II 11140 A B	H 3/4	() - 5 - 3	اال حال حال	//); ==================================
事業	上業団地 ている。	の造成に伴り上業月	打水を	、茨城県が実施する大	北川総合队	開発事業	(小山ダム)	に求め、	安定供	給を実施し
内容	(1 .0 .									
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まで	の) 実績値	H23(ま	での)目標値
	目標 設定	±π.γ.4. 	≠刀 ぐ⁄っ	사무/링교·상사무·V100		%		%		%
成果	事業	契約率	突剂	水量/計画給水量×100	10	0	38			37
目標	数值	最終目標					•			
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業			F値 ②(H2	3までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				最終目標値 ④H	23(までの)実績	値/最終目標値
]	H23事業費	1 <i>[H</i> -	費、ダム管理負担金、イ		I23実施内		.)		
		67,016 千円		貫、ダム官理負担金、1 債利息(建設利息)	E耒惧兀机	順退金	(尤1) 仅复分)		
実	数値	1	<u> </u>			単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
施	目標	H23(までの)実績	!但	H23(までの)目標値	採用算	定式	1)	採用算	章定式	4
状 況	設定 事業	37	0/	37 0/		100	0/		;	37
7年	数値	1100年年	%	% Hoo □ +#	1100	光と幸さ	%	스 (남원)	二十 ふいし	%
	目標	H23実績 ———		H23目標	H23	単年度達		全体計!	当におり	る達成度
	以外 事業						%			%
		現在は、最終目	標(記	計画給水量) までの需要は	無いが、契	約水量に		供給してい	いる。	70
日標達	成状況の割	名曲								
	8事業の記									
	_	の必要性が高い事	業か							
評価 判断	a 必要性 工業用水	±か高い の安定供給、企業D	用の経	受財政軽減のため						
理由	工术////	ッタだい帰く 正木に	국J 4 2 11년							
② 主体	本性:市が	主体的に実施すべ	き事業	きか:						
評価		E体的に実施すべき								
判断 理由	工業用水	の安定供給、企業団	団の経	営財政軽減のため						
	■	こをとなりの改里。	がトカ	ぶっているか(新規事業の	り担合け目	37.)				
評価		したともりの成果があ		- 2000000000000000000000000000000000000	<i>770</i> 0 ロ (み)に	(2)				
判断				営財政軽減がされてい	る					
理由										
		を変えずに、経費								
評価 判断		は積算に基づく経費 の間で負担割会が済		る ているため、経費削減	け難しいり	・思われる	ζ			
理由	回水バリン	V/同(只适可口 //-1/	八 ム っ	アイトのため、 社員日前人	A ARE OVER	_ 16542403	ע			
⑤ 緊急	_ 急性:緊急	に実施すべき事業	カゝ							
評価	a 至急夠	尾施しなければなら								
判断 理由	実施中									
4 総合 総合評		び今後の事務事	業の) A	<u>方向(総合</u> 評価に対	する改善	善策等)				
	方向性			•						
<u>* - :</u>	次評価((欄)							
		<u> □ 拡充</u>		改善		統合				
☑ 現状	、思り			Z-						l l

<u></u> 工	の概要	・成果目標						
	基本目標	票(章) 6未来をす	支える個性と活力のまち(地域産	業の振興)				
施策	基本施第	策(節) 6 - 1 産	業の振興	担当課	環境産業部	3 商工観分	と課	
区分	個別施第	策(項) 6−1−4						
	事務事	事業名 高萩・北	茨城広域工業用水道事業出	資金 事業	平成	8	年度	\sim
区分	1 新	規 2継 続	→ Á	継続 期間	平成	4 6	年度	
目的			城・高萩両市は、基幹産業の	O衰退に伴い、新た <i>た</i>	よ基幹産業と	こして工業	の導入を	目的とし
及び	た工業団	地の造成計画を策	定した。					
背景								
-1- 204	工業団地	の造成に伴う工業	用水を、茨城県が実施する大	て北川総合開発事業	(小山ダム)	に求め、	安定供給	を実施し
事業 内容	ている。							
F14								
	数値	項目	算定式	最終目標	H22年度 (まで	の)実績値	H23(まで	の)目標値
	目標	+n.// -+-		%		%		%
成果	設定 事業	契約率	契約水量/計画給水量×100	100	38	}	3	37
目標	数値	最終目標		<u>-1</u>				
1.04	目標	H22年度(までの)実績	3					
	以外	1 3 3 1 1 1 7 2 1 0	1					
0 = 1:314	事業	H23目標						
2 事業	実績		票値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの			/最終目標値 ④H2	3(までの)実績値/	最終目標値
	1	H23事業費		H23実施内	1谷			
		79, 350	企業債元金 (建設元金)					
)// /-t-	千円 T	<u> </u>	H23単年度達	- 上 庄	ᄉᄮᆋᇛ	ゴノア ナンノナン	大法出在
実	数値	H23(までの)実績	責値 H23(までの)目標値	_			町における 「☆→	
施	目標 設定			採用算定式	(1)	採用第	上 上 八	4
状 況	事業	37	7 % 37 %	100	%		37	%
<i>V</i> u	数値	110044				스 H	ニンテルンチュ	
	目標	H23実績	H23目標	H23単年度達		至仲計四	画における) 達成度
	以外							
	事業			┃ せ無いが - 契約水量にな	*************************************	供給してい	\ X	%
目標達用	成状況の評	华価	11次(日酉和小里)よくの冊安日	なぶ(7.、 大川小里に/	りしては主て		·20	
0 車物	事業の記	57 ET						
		<u>半畑</u> [の必要性が高い事	業も、					1
評価	a 必要性		未 <i>//</i> -					
判断			団の経営財政軽減のため					
理由		シタルバ州(並木)						
	L k性:市が		き事業か					
		主体的に実施すべ						
		主体的に実施すべ E体的に実施すべき						
評価	a 市が主	E体的に実施すべき						
	a 市が主	E体的に実施すべき	•					
評価 判断 理由	a 市が主 工業用水	主体的に実施すべき の安定供給、企業	•	の場合は見込)				
評価 判断 理由	a 市が主 工業用水 か性:期待 a 期待し	E体的に実施すべきの安定供給、企業 の安定供給、企業 したとおりの成果 した通りの成果があ	対の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業)					
評価 判断 理由 ③ 有效	a 市が主 工業用水 か性:期待 a 期待し	E体的に実施すべきの安定供給、企業 の安定供給、企業 したとおりの成果 した通りの成果があ	: 団の経営財政軽減のため が上がっているか(新規事業					
評価 判断 理由 ③ 有交 評価 判断 理由	a 市が3 工業用水 助性:期待 a 期待し 工業用水	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果した通りの成果があの安定供給、企業に	対の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業)る 団の経営財政軽減がされているの経営財					
評価 判断 理由 ③ 有效 評価 判断 理由	a 市がi 工業用水 h性:期待 a 期待し 工業用水	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果した通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費	対の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業する) 可の経営財政軽減がされているを下げる方策はないか					
評価 判断 理由 ③ 有交 評価 判断 理由	a 市が当 工業用水 か性:期待 a 期待し 工業用水 	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果した通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費は積算に基づく経費	対の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業 が上がっているか(新規事業 する 団の経営財政軽減がされてい を下げる方策はないか である	\S				
評価判明由 有效 評価 判明由 効率 理由 効率 評価 判断	a 市が当 工業用水 か性:期待 a 期待し 工業用水 	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果した通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費は積算に基づく経費	対の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業する) 可の経営財政軽減がされているを下げる方策はないか	\S	5			
評価判理由 3 有效 評価 判理由 4 分 価 判理由 4 分 価 判理由 4 分 価 判理由	a 市がヨ 工業用水 効性:期待 a 期待し 工業用水 呕性:成果 高萩市と	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果がある。 したとおりの成果がある。 の安定供給、企業に を変えずに、経費 な積算に基づく経費 の間で負担割合が	対の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業)る 団の経営財政軽減がされているを下げる方策はないかけである 決まっているため、経費削減	\S	5			
評価 判理 ③ 評 期由 ④ 評 期由 ④ 評 期由 ⑤ 聚 5	a 市が当 工業用水 効性:期待 は 期待し 工業用水 ^本 性:成果 高萩市と 高萩市と	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果があるの安定供給、企業にた通りの成果がある。 を変えずに、経費は、経費の間で負担割合が、に実施すべき事業	団の経営財政軽減のため が上がっているか(新規事業)る 団の経営財政軽減がされてい を下げる方策はないか である 快まっているため、経費削減	\S	5			
評価 判理 ③ 評価 判理 数 例 所由 数 平 判理 聚 ⑤ 評価	a 市が当 工業用水 加性:期待し 工業用水 本 期待し 工業用水 監性:成果 高 萩市と 高 萩市と 高 軽性:緊急	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果がある。 したとおりの成果がある。 の安定供給、企業に を変えずに、経費 な積算に基づく経費 の間で負担割合が	団の経営財政軽減のため が上がっているか(新規事業)る 団の経営財政軽減がされてい を下げる方策はないか である 快まっているため、経費削減	\S	5			
評価 判理 3 評価 判理 数価 則理 数価 則理 数価 則理 緊急 評判 類	a 市が当 工業用水 効性:期待 は 期待し 工業用水 ^本 性:成果 高萩市と 高萩市と	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果があるの安定供給、企業にた通りの成果がある。 を変えずに、経費は、経費の間で負担割合が、に実施すべき事業	団の経営財政軽減のため が上がっているか(新規事業)る 団の経営財政軽減がされてい を下げる方策はないか である 快まっているため、経費削減	\S	5			
評価	a 市が当 工業 期待 は 期用 成正が a 業 : 適市 を	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果があった通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費は積算に基づく経費の間で負担割合がはに実施すべき事業に施しなければなら	対の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業する) 可の経営財政軽減がされていを下げる方策はないかけである 決まっているため、経費削減かない	、 る 或は難しいと思われる	5			
評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 計算 卷	a 市が当 工業用水 は 期間 は 期間 は 期間 は ままままままままままままままままままままままま	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果があった通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費は積算に基づく経費の間で負担割合がはに実施すべき事業に施しなければなら	団の経営財政軽減のため が上がっているか(新規事業)る 団の経営財政軽減がされてい を下げる方策はないか である 快まっているため、経費削減	、 る 或は難しいと思われる	5			
評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 総合 4 総	a 市が当 工業 期待し	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果があった通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費は積算に基づく経費の間で負担割合がはに実施すべき事業に施しなければなら	・ 団の経営財政軽減のため が上がっているか(新規事業) る 団の経営財政軽減がされてい を下げる方策はないかけである 決まっているため、経費削減 か か ない	、 る 或は難しいと思われる	5			
評個 1 1 2 1 2 2 2 3 2 4 2 3 2 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4	a 市が当 工業 期待し	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果があった通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費は積算に基づく経費の間で負担割合がはに実施すべき事業に施しなければなら	・ 団の経営財政軽減のため が上がっているか(新規事業) る 団の経営財政軽減がされてい を下げる方策はないかけである 決まっているため、経費削減 か か ない	、 る 或は難しいと思われる	5			
評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 評判理 総合 4 総	a 市が引 本 市	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果があった通りの成果がある安定供給、企業にを変えずに、経費は積算に基づく経費の間で負担割合がはに実施すべき事業に施しなければなら	対しているか(新規事業)の経営財政軽減のためが上がっているか(新規事業)の経営財政軽減がされているを下げる方策はないからである。 決まっているため、経費削減がない。	いる 成は難しいと思われる 対する改善策等)	5			
平価 判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 4 総 今 4 会 後	a 市 市用 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	E体的に実施すべきの安定供給、企業にしたとおりの成果がある安定供給、企業の安定供給、企業の安定供給、企業の安定供給、企業を変えずに、経費の間で負担割合が、は実施すべき事業にあしなければなら、	対しがっているか(新規事業) である	vる 域は難しいと思われる 対する改善策等)	5			

	の概要	・成果目標							
	基本目標		える個性と活力のまち(地域産業	美の振興)					
施策	基本施第	後(節) 6-1産	業の振興		担当課	環境産業部	商工観	光課	
区分	個別施第	策(項) 6-1-4.	工業の振興						
	事務事	事業名 企業誘致	工業の振興 奨励金		事業	平成	1 7	年度	~
区分	1 新			 統	期間				
	市内のエ	業団地へ新設及び地	曾設した企業に対して、固定	資産税額村	目当分の数	受励金を交付	し、優月	良企業の3	立地促進を
及び	図るとと	もに、既存企業の記	g備投資の進展を促す。また						
背景	奨励金を	交付する。							
	課税対象	年度より3年間、固	固定資産税相当額を奨励金と	して交付し	ン、雇用等	€励金につい	へては1人	につき10	万円を交
事業	付する								
内容									
	数値	項目	算定式	最終	目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(まて	での)目標値
	目標	南中郷工業団地販	<i>3</i> 170: 3	TICH (区画		区画		区画
Ьш	設定	用 中級工業団地販 売区画数	全区画の完売	1:		4			1
成果 目標	事業 数値					1			1
日伝	数値 目標	最終目標							
	以外	H22年度(までの)実績							
	事業	H23目標							
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの				最終目標値 ④H	23(までの)実績値	直/最終目標値
	I	H23事業費		F	H23実施内	內容			
		99, 533	企業奨励金(寺岡製作所・	第一機電・	アイメタルテクノ	ハッジー増設分)		雇
		59, 555 千円	用奨励金 (寺岡製作所)						
実	数值	H23(までの)実績	値 H23(までの)目標値	H23	単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
施	目標	1123(よくり) 天順	直 1123(よくの) 自保値	採用算	定式	1	採用算	章定式	3
状	設定	1	1		100			4	1
況	事業	1	区画 区画		100	%			%
	数値	H23実績	H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画におけ	る達成度
	目標 以外								
	事業					%			%
	N.115 No. 55		においては、目標が達成されて			· ·			現年
日標達原	戈状況の 評	4価 度及び今後(目	標)においては、可能な限り目	標達成を目	指す。				
3 事務	事業の記	平価							
			11/2 3						
_	< 11 · /< //	の必要性が高い事業	まか,						
評価	a 必要性		美力 ・						
	a 必要性	上が高い	^{案か})、市勢の発展に貢献するた	め					
	a 必要性	上が高い		め					
判断理由	a 必要性 産業振興	上が高い)、市勢の発展に貢献するた	め					
判断 理由 ② 主体	a 必要性 産業振興本性:市が	生が高い と雇用の拡大を図り)、市勢の発展に貢献するた	8)					
判断 理由 ② 主体 評価	a 必要性 産業振興 K性:市が a 市が自	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき E体的に実施すべき)、市勢の発展に貢献するた						
判断 理由 ② 主体	a 必要性 産業振興 K性:市が a 市が自	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき E体的に実施すべき)、市勢の発展に貢献するた き事業か						
判断 理 主体 評価 判断 理由	a 必要性 産業振興 本性:市が a 市が自 産業振興	性が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき E体的に実施すべき と雇用の拡大を図り)、市勢の発展に貢献するた き事業か	め	L込)				
判断 理 主体 評価 判断 理由	a 必要性 産業振興 本性:市が a 市が当 産業振興 か性:期待	性が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき E体的に実施すべき と雇用の拡大を図り)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業	め	L込)				
判理 ② 主体 評断 判理 ③ 評価	a 必要性 産業振興 本性:市が a 市が自 産業振興 か性:期待 a 期待し	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業	めの場合は見	LiA)				
判理 主体 ② 主体 判理 有 ③ 評価	a 必要性 産業振興 本性:市が a 市が自 産業振興 か性:期待 a 期待し	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた び上がっているか(新規事業 る	めの場合は見	L込)				
判理② 評判理③ 評判明有项 例明	a 必要性 産業振興 本性:市が a 市が 産業 機性:期待 は 期待し 産業振興	上が高いと雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき 上体的に実施すべきと雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた び上がっているか(新規事業 る	めの場合は見	上込)				
判理② 評判理③ 評判明有项 例	a 必要性 産業振興 本性:市が当 産業期特に ま期持し を業期特し を要性:成果	上が高いと雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき 上体的に実施すべきと雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ	の、市勢の発展に貢献するた き事業か の、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい	めの場合は見	L込)				
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評 ○	a 必要性 産業 市が する 本生: 市 振 車 が は 期 振 を は ま 期 振 を と に 経費 を こと に と と と と と と と と と と と と と と と と と	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ と雇用の拡大がされ)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見	L込)				
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ④ 評判理 ④ 評 ○ 日本 ○ 日	a 必要性 産業 市が する 本生: 市 振 車 が は 期 振 を は ま 期 振 を と に 経費 を こと に と と と と と と と と と と と と と と と と と	生が高いと雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき を体的に実施すべきと雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見	上込)				
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 働 4 評判理 ④ 評判理	a 必振要性 産業 市が 本性:市振 期待 は 期振 保を を で 減ずる	生が高いと雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき を体的に実施すべきと雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費	り、市勢の発展に貢献するた き事業か り、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見	上込)				
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 働 4 評判理 ④ 評判理	a 必振興 本性:市振期 持し 東性 に 本業 期 振 は と と な ままま ままま は ままま ままま は ままままま まままま	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果が と雇用の拡大がされ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費を を変えずに、経費を を変えずに、経費を とが減できる ことは不可能である)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見	L込)				
判理②評判理③評判理④評判理⑤評 ③評判理④評判理⑤評	a 必振興 本性:市振期 持し 東性 に 本業 期 振 は と と な ままま ままま は ままま ままま は ままままま まままま	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費を できる ことは不可能である に実施すべき事業が)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見	上込)				
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評 断由主価断由有価断由効価断由緊価 ※ 虚析 ※ ※	a 必 産業 本性 a 業 市 振 車 第 1 ままままます。 本性 a 業 : 期 振 本性 : 期 振 本性 : 類 振 本性 : 類 振 を で が : 緊 急 ない。 こう。 こう。 こう。 こう。 こう。 こう。 こう。 こう。 こう。 こう	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費を できる ことは不可能である に実施すべき事業が)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見	上込)				
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 断由主価断由有価断由效価断由緊価断由 素 每 季	a 産本性a 産産性と本本生市ま本生主まま本生ままま本生ままま本生ままま	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費を できる ことは不可能である に実施すべき事業が	り、市勢の発展に貢献するた き事業か り、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見る					
判理 ② 評判理 ③ 評判理 ④ 評判理 ⑤ 評判理 断由主価断由有価断由效価断由緊価断由 素 每 季	a 産業 : 市振 期待 : 展生 : 産業 : 期振 : ・ 展生 : 産 ・ 大 の で ・ 大 の で の で ・ の で の で の で の で の で の で の で の	生が高いと雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と雇用の拡大を図り と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費さ を節減できる ことは不可能である に実施すべき事業が に実施すべき事業が	り、市勢の発展に貢献するた き事業か り、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか	めの場合は見る					
判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 飯由主価断由有価断由効価断由緊価断由総合 本 4	a 産 性 a 産 性 c 節 性 a 実 評価 必振 期振 成とす S を を を を を を を を を を を を を を を を を を	生が高いと雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と雇用の拡大を図り と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費さ を節減できる ことは不可能である に実施すべき事業が に実施すべき事業が	の、市勢の発展に貢献するた き事業かの表展に貢献するた が上がっているか(新規事業 るのでではないがある。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 できましている。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できまないか。 できます。 できまます。 とす。 とす。 とす。 とす。 とす。 とす。 とす。 とす。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	めの場合は見る					
判理②評判理③評判理④評判理⑤評判理 断由主価断由有価断由効価断由緊価断由総 4	a 産 性 a 産 性 a 産 性 a 実 評価 方 を は a 実 評価 方 で また。	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費さ である ことは不可能である に実施すべき事業が に実施すべき事業が に実施しなければなら)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか ない との方向(総合評価に文 A	めの場合は見る					
判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 事 判理⑥ 評判理⑥ 評判理 ⑥ 評判理 ⑥ 計	a 産 性 a 産 性 c 節 性 a 実 評価 方 欠 要興 が i 興 待 i 興 長 要	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費さ を変えずに、経費さ を変えずに、経費さ に実施すべき事業が に実施すべき事業が に実施しなければなら)、市勢の発展に貢献するたき事業か)、市勢の発展に貢献するたび上がっているか(新規事業をある。、市勢の発展に貢献している下げる方策はないからない。 と下げる方策はないからない。 との方向(総合評価に対 横の方向(総合評価に対	めの場合は見る	善策等)				
判理② 評判理③ 評判理④ 評判理⑤ 評判理 総合 後断由 主価断由 有価断由 効価断由 緊価断由 総合 後 合評の	a 産 性 a 産 性 c 節 性 a 実 評価 方 欠 要興 が i 興 待 i 興 長 要	生が高い と雇用の拡大を図り 主体的に実施すべき と体的に実施すべき と雇用の拡大を図り したとおりの成果があ と雇用の拡大がされ と雇用の拡大がされ を変えずに、経費さ である ことは不可能である に実施すべき事業が に実施すべき事業が に実施しなければなら)、市勢の発展に貢献するた き事業か)、市勢の発展に貢献するた が上がっているか(新規事業 る し、市勢の発展に貢献してい を下げる方策はないか ない との方向(総合評価に文 A	かの場合は見る					

1 事業	の概要	• 成果目標								
	基本目標			と活力のまち(地域産業	の振興)					
施策	基本施第		業の振り	<u> </u>		担当課	環境産業部	『 商工観	光課	
区分	個別施第	策(項) 6−1−4	工業の拡	長興						
	事務事	•	団地土地			事業	平成	19	年度 ~	
区分	1 新	770 11 170		→ 継		期間	平成	2 9	年度	
目的			1 1 年割	賦で土地を購入後、	進出企業	に貸付し賃	賃貸料を徴り	仅すること	こにより、土地の	有
及び	効利用を	凶る。								
背景										
事業			邓町日棚	644-82:13, 274. 52n	1)を東京	官電力(株) に10年	間貸付し	、賃貸料を徴収し	~
内容	土地の有	効利用を図る。								
	W. L.	T	ı	fate I is	H					
	数値 目標	項目		算定式	最終	· 目標			H23(までの)目標	
	設定	土地貸付収入	賃貸料:	8,550千円/年		千円		千円		·円
成果	事業	工程與17.6/八	AATI	3, 000 1 1 17 1	85,	500	34,	200	8, 550	
目標	数値	最終目標								
	目標 以外	H22年度(までの)実績								
	事業	H23目標								
2 事業	実績	※採用算定式:①H23実績値/H23目標	値 ②(H23まで	での実績値-H22までの実績値)/(H23までの	日標値-H22主での	日標値) ③ (H22 主 1	での実績値+H23実績値)/最終目標値 (2)H	23(までの)実績値/最終目標値	
		H23事業費	E & CILLOSE C	- PANCE HEES COANCE// (HEES CO		H23実施内		// ARIN II WILL OF	SO CO. C. ST. SCHOOLIES PARTY IN THE	
		6 070	I 1/4 D#	1 曲						
		6,279 千円	土地購	人質						
寉	数値	1100(ナベの) 安健	i/击 I	100 (ナベの) 日無は	Н23	3単年度達	成度	全体計画	画における達成度	Ę
実施	目標	H23(までの)実績		H23(までの)目標値	採用領	算定式	1	採用算	章定式 ③	
状	設定	8, 550		8 550		100			50	
況	事業	0,000	千円	8,550 千円		100	%		30	%
	数値	H23実績		H23目標	H2	3単年度達	成度	全体計画	画における達成度	Ę
	目標 以外									-
	事業						%			%
D 125 74 7	تخم صدال 4			ては、目標を達成してい						
日標達用	成状況の 割	「一年度及び今後(目標)に	においても賃貸料の収入	がある予え	Eなので、	目標達成が見	込まれる。		
3 事務	事業の記	平価								
① 必要	要性:実施	の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性	生が高い								
判断	土地購入	後、賃借料を徴収っ	けること	により、土地の有効	利用が図	られるため	り			
理由										
② 主体	体性:市が	主体的に実施すべ	き事業か	7						
評価	· ·	E体的に実施すべき								
判断	土地購入	後、賃借料を徴収っ	けること	により、土地の有効	利用が図	られるため	5			
理由										
				っているか(新規事業の	り場合は見	記込)				
評価		ンた通りの成果があ ※		17 - 10 1 1 1 1 1 m + 4	红田 20 55	۲ او ۱۰۰۰	<i>†</i>			_
判断	土地購入	俊、貞借料を徴収 で	いること	により、土地の有効	利用が凶	りれている	O .			
理由		た本と中に 何曲	ナ. マッドッ	十年はない。						_
		:を変えずに、経費:		カ東はないか						_
評価		は積算に基づく経費		費削減は難しいと思	わわて					_
判断 理由	大がバー生	ノ ▼14 V '並領の/	こり、砼	:貝別例は粃しいと思	47463					
	┃	に実施すべき事業	ሕ							_
評価		に								-
判断	実施中	NE いなりれがななり	· 4 4 .							\dashv
理由	/\/B									
	<u>.</u> -	(1) 合後の重発車	生の 方	向(総合評価に対	するみ	盖 第笙)				
総合評		<u>ノフ 以ツず幼ず;</u> 	表りカ <u>カ</u> A		7 公以	古水 寸/				
				<u> </u>						\neg
今後の	方向性									
<u>* _ ;</u>	次評価 (欄)							
		<u> □ 拡充</u>	· IRI/	善篇編小		□ 統合				\neg
一休止		□ 廃止	一完							
										_

1	事業の概要	成果目標	
1			

<u> </u>	マグル女	* <u> </u>									
施策 区分	基本目標基本施第	新(節) 6-1産	える個性と活力のまち(業の振興 観光の振興	地域産業の振興)	担当課	環境産業部	農林水產	 主課			
区分		事業名 北次城市	ブルー・ツーリズム →	進事業 継続	事業 期間	平成	1 4	年度 ~			
目的	産業の	振興策として、農業	き交流体験事業を進め	ているグリーン	・ツーリン	ベムと連携を	図り、海	兵の資源を利用し			
及び背景			食など、様々なメニュ	•				•			
事業 内容	平成15年月	度には、平潟地区にも	・ツーリズム推進協議会 推進協議会を設立し更な 、グリーン・ツーリズム	よる推進を図ってい	いる。また、	平成16年3月	には北茨	城市農産漁村促進交			
	数值	項目	算定式	最終	冬目標	H22年度(まで	の)実績値	H23(までの)目標値			
成果	目標 設定 事業	漁業体験イベント 参加者人数	平成20年度の参加人 人×120%		人 329	677	人	人 829			
目標	数値	最終目標									
	目標 以外	H22年度(までの)実績									
	事業 H23目標										
2 事業	美実績 :	※採用算定式:①H23実績値/H23目標 H23事業費	値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値		^{■標値} ③(H22まで H23実施内		最終目標値 ④H2	3(までの)実績値/最終目標値			
		200	震災の影響により漁	業体験事業は実	施しなかっ	た。					
	粉店	<u> </u>	<u> </u>	по	3単年度達	北 唐	全体 卦ī	画における達成度			
実施	数値目標	H23(までの)実績	値 H23(までの)目	大四 4 白	5年千反廷 算定式	1),/52	採用算				
状 況	設定 事業	0	人 8.	29 人	0	%		0 %			
	数値 目標	H23実績	H23目標	H2	23単年度達	成度	全体計画	画における達成度			
	以外 事業					%		%			
目標達	成状況の評		ムを実施することにより っている。	の、交流推進が図	られ、当市~	での滞在の長丸	朝化が可能	となり、観光の振			
3 事務	務事業の記	 评価									
	要性:実施	iの必要性が高い事	業か.								
評価	a 必要性		ı bi a yazı ayət yızı de yızı	- L - L - L - L - L - L - L - L - L - L) HIRE :	16 VIII (57 VI		No. 1			
判断 理由	無価のがる。	(は迷、燃油品騰の家)	対策として通常の操業	時以外に本事業	を展開し、	漁業経営の	安定と及	ご流人上の増加に繋			
		主体的に実施すべ									
評価			NPO・住民団体等)		うべき						
判断 理由	地元団	体が積極性をもつる	て行うことが望ましい	。市は事業							
			が上がっているか(新	関事業の場合は	見込)						
評価		ンた通りの成果があ									
判断 理由	体験争	業の経験者には評価	西は高いが、広報宣伝	の个足か合めな	() _°						
			を下げる方策はないカ	7							
評価		な積算に基づく経費									
判断 理由	事業 全	体を低経費で賄って	こいる。								
		に実施すべき事業だ									
評価		実施しなければなら アペンド 1802 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
判断 理由	各団体	及び地域住民により)、事業実施の意識の	向上があった。							
		び今後の事務事	業の方向 (総合評・	価に対する改	善策等)						
総合評	² 価 →)方向性		A L X X 要でまる	いては、地域文化	どの継承、	雇用の創出、	産業の担	辰興の面から地域			
× =			として必要である。 欄)								
✓ 現状		<u>正画以来味品入</u> □ 拡充		編小	□ 統合						
		□ 廃止	完了								

1	事業の概要	成果	目	樰

<u> </u>	が概要	・成果目標								
	基本目標			固性と活力のまち(地域産業	の振興)					
施策	基本施第	も(節) 6 − 1 産 も(項) 6 − 1 − 6	業の	振興		担当課	環境産業部	『 商工観』	光課	
区分	個別施領									
	事務事	事業名 雨情の里	港ま	つり		事業	平成	元	年度 ~	
区分	1 新	//C = / D ///C		→ 継	.,, =	期間	平成	2 7	年度	
目的				であり、産業の活性化や			官着している	る。今後に	こおいても、信	「報の
及び	交換、地	域の交流、市のPR等	笋、	産業の振興等を図るため	継続して劉	実施する。				
背景										
中米				京売、市内企業の製品紹						
事業 内容				対り等のイベント業務を	北茨城市	商工会へ第	養務委託し、	市内各科	重団体の協力を	:待
1.144	(、舞牛	11月の第一日曜日	一角作	隹している。						
	数値	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まっ	での)実績値	H23(までの) F]標値
	目標 設定	港まつり来場者数	平成	20年度来場者数		人		人		人
成果	事業	(年)	100,	000人×120%	120,	000	106,	666	100, 000	
目標	数値	最終目標								
	目標	H22年度(までの)実績								
	以外 事業	H23目標								
2 事業	実績									
			但 ②(H	23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの		H23実施内)/厳終日標値 (4)E	123(までの)美瀬恒/厳終日標	:1 <u>E</u>
			大油	漁港を会場に農林水産物				ト及び販売	多種市民団	休バ
		5,719 千円		、アンコウ吊るし切り						/ + */ ·
/ /	数値					単年度達			画における達成	戊度
実施	目標	H23(までの)実績	値	H23(までの)目標値	採用算		(1)		ete I . Is	(4)
状	設定	100,000		100,000	·	O.F.			•	
況	事業	100, 000	人	100,000		95	%		83	%
	数值	H23実績		H23目標	H23	3単年度達	成度	全体計	画における達成	戊度
	目標 以外						.,			
	事業						%			%
- 177 h		ほぼ来客目標	人数	を達成することが出来て	いる。		70			
目標達用	成状況の評	' 仙								
3 事務	事業の語									
- 7 7/7	7 / 1 7 1	の必要性が高い事	業か							
評価	a 必要性	生が高い								
判断	北茨城市	最大のイベントとし	して有	毎年市内外から10万人前	後の来場る	者があり、	地場産品の	の販売等を	と含め、地域沿	5性化
理由	の一助と	なるイベントである	5。							
② 主体	*性:市が	主体的に実施すべ	き事	能 か						
評価	a 市が主	E体的に実施すべき								
判断) 組絹	哉した雨情の里港まつり	実行委員:	会が事業主	E体ではあ	るが、主な	よ予算を市の補	前助金
理由	により連	営しているため。								
③ 有效				がっているか(新規事業の	り場合は見	L込)				
評価		た通りの成果があ		-1						
判断	毎年10万	人前後の来場者があ	あり 則	長わいを見せている。						
理由		2 - 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1	ı	1) of						
		を変えずに、経費								
評価		☆積算に基づく経費			オール・イ	主体)ァレル	古光ぶた	h.h. ~ 1	7	
判断	千度こと	のイベント内谷に。	トリダ	か果の大小があるものの	、週上なれ	貝昇により) 争業が行る	ロオレくかく	o.	
理由	5.44.167.45	ア中佐ナッキョッ	۸,							
		に実施すべき事業 E施しなければなら								
評価				季年市内外から10万人前	後の束埋き	きがあり	州坦産 県	の販売等を	を含め 抽量	ら作ん
判断 理由		取入のイベントである なるイベントである		★ 1.1141.171.14.10.1717/17/17 77 111	1.X × / /N */7071	ы <i>м - ш</i> у У 、	2四7万/王田八	ィ RAJL 寸で	・ロック、地域作	4 144 16
				方向(総合評価に対	するみ					
総合評		<u> </u>	<u>₹り</u> A	<u>/フ 1º1 (ハッハ ロ ロザ Щ (〜 タン)</u> 	17分以7	ゴバザノ				
		手作りによる		 自のイベントとして継続	きする。					$\overline{}$
今後の	方向性				- , - , 0					
<u>* _}</u>	欠評価 (企画政策課記入	欄)							
☑ 現状				改善		□ 統合				
		廃止		完了						

1	事業の概要	成果	目	煙

1 事業	の概要	・成果目標							
7.71	基本目標	票(章) 6未来を支	える個性	こと活力のまち(地域産業	(の振興)				
施策	基本施第		業の振り	興		担当課	環境産業部	『 商工観』	光課
区分	個別施第 事務事	栽(頃) 6-1-6 事業名 観光パン	観光の1	反興 ト及びポスター作成		事業	平成	1 8	年度 ~
区分	1 新		7 7 9		· 統	期間	十成	10	十段
目的			見光PRと	して、観光協会と共				ーを作成し	、観光キャンペー
及び	ン等を通	して配布する。							
背景			- 2a P	, D.J.					
事業	バンフレ	ット校正増刷、ポス	スター目]乕[
内容									
	数值	項目		算定式	最終	目標	H22年度(まて	ごの) 実績値	H23(までの)目標値
	目標 設定	入込観光客数	平成20	年度実績		人		人	,
成果	事業	(年あたり)	1, 240,	000人×120%	1, 488	8,000	1, 321	, 761	1, 360, 000
目標	数值	最終目標							
	目標 以外	H22年度(までの)実績							
	事業	H23目標							
2 事業	実績	※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	Mule (H23ま)	での実績値-H22までの実績値)/(H23までの		1標値 ③(H22ま) 123実施力	での実績値+H23実績値) 与 /穴	/最終目標値 ④H	23(までの)実績値/最終目標値
	-			> 11					
		489 千円	パンフ	レット校正増刷10,00)0部、ボク	スター印刷	川, 500枚		
実	数值	H23(までの)実績	f値 1	H23(までの)目標値	l	単年度達	成度		画における達成度
実施	目標 設定	1100 (50 (17))(1)			採用算	算定式	1)	採用第	章定式 ④
状 況	事業	507, 524	人	1,360,000		37	%		34
	数值	H23実績		H23目標	H2:	3単年度達		全体計	画における達成度
	目標 以外						-,,		
	事業						%		C
目標達用	成状況の評	- ┃ほぼ目標来客 平価 ┃	人数をi	達成することが出来で	こいたが、	震災後観	光客が激減	している。	
	事業の記録性・実施	<u>i半1回</u> iの必要性が高い事	業か						
評価	a 必要性		707						
判断	市を広域	的にPRするために刺	必要であ	っる。					
理由		* 子比奶,字长十二	ナ. 古光ユ						
② 主体 評価		ミ体的に実施すべ 主体的に実施すべき		14					
判断				ノフレット等である。					
理由									
				っているか(新規事業)	の場合は見	1込)			
評価 判断		した通りの成果があ ンペーン等による*		で、観光客数の増が	目込める				
理由	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4 410001	n TKIKLIV)LZ *> 0 0				
④ 効率		とを変えずに、経費		5方策はないか					
評価		な積算に基づく経費		My > >) - Joy	目が四の	ラクイン はっ	- + 7		
判断 理由	本巾を仏	専門にPKし、誘各の	り促進を	図るうえにおいて、	最低限の.	直伝手法	<i>C</i> める。		
	. 急性:緊急	は実施すべき事業	か						
評価	a 至急	実施しなければなら							
判断	年間20,0	00部前後配布							
理由 4 総合		((人仏の市辺古)	坐の十	点 (級 <u></u> 公証年)でも	+ナフコム:	主体ない			
4 総合 総合評		び今後の事務事	美の力 A	向(総合評価に対	19 つ以:	告 宋 寺)			
	方向性	観光地として			うため、継	続的に作	成し、本市	のPRと誘	客の促進を図る。
<u>* _ }</u>	欠評価 ((企画政策課記入	.欄)						
☑ 現状	通り	□ 拡充	改	_		□ 統合	•		
□ 休止		□ 廃止	□ 完	了	:択				

1 事業	の概要	• 成果目標									
	基本目標	票(章) 6未来を支	える個	国性と活力のまち (地域産業	医の振興)						
施策	基本施策(節) 6-1産業の振興					担当課	環境産業部 農林水産課				
区分	個別施策(項) 6-1-6観光の振興										
	事務事業名 茜平総合交流施設周辺環境整備事業					事業	平成	21	年度 ~		
区分	1 新	規 2継 続		→ 維	続	期間	平成	23	年度		
目的				ねの敷地を利用して果					習を通じて、自	然の	
及び	中で農業に触れるグリーン・ツーリズムを推進し、併せて新たな市の特産品の創出を図る。										
背景											
	茜平総合交流施設敷地30 a を利用してブルーベリーの苗木を植栽し、将来ジャム等の加工品として新たな地元特産										
	事業 品の創出を図る。 内容 ・ブルーベリー200木										
・ブルーベリー200本											
	数値	項目		算定式	最終	·目標	H22年度(ま	での)実績	f H23 (までの)	目標値	
	目標										
成果	設定 事業										
目標	数値	最終目標	ブルーベリーの収穫体験や加工品体験などを実施し、グリーンツールズムの推進を								
1. 53	目標		責品種の選定、圃場の土壌診断、管理団体の創設					ハムシ/旧座で囚	۰۵۰		
	以外		園場整備及び植栽を実施する。								
0 4 1/4	事業	H23年度目標	囲場	整個及び他栽を美胞する	్						
2 事業実績 **採用算定式: ①H23実績値/H23目標値 ②(H23までの実績値-H22までの実績値)/(H23までの目標値 -H22までの目標値 - ③(H22までの実績値-H23実施内容 H23事業費 H23実施内容											
		H23事業費				123夫肥口	1谷				
		3,632 千円	圃場	を整備し、植栽ボラン	ティアを原	なく市民に	呼び掛け	(180人参	加)実施した。		
	W/ /-	十円	<u> </u>		110						
実施	数値 目標	H23 (までの) 実	績値	H23 (までの) 目標値		3年午及厓 章定式	. 风及	全体計画における選 採用算定式		入/支	
施状	設定				休用身	早足八	:	1木川	异化八		
況	事業						%			%	
<i>V</i> L	数値	****		1100 🖂 🚟 1100		0 出 左 南 古					
	目標	H23実績			3単年度達成度		全体計画における達成度				
	以外		の実	実圃場整備及び植栽を実		100		100			
事業 施 施する。 100 % 100 % % % % 100 % % % 100 % % % % 100 % % % % 100 % % % % % % % % % % % % % % % % % %											
目標達成	戈状況の評	が図れた。	♥ノ/生♪		* (0 、10	·水(ハ) /	ノイノで夯		CTC 0203400	, V ()	
	中米の言	·									
	事業の記	半1曲 [の必要性が高い事]	光 よ、								
評価	a 必要性		未 // 1								
			新 <i>た ナ</i> る	:開発が必要である。							
判断 理由	ヨロルヤム	圧辰圧 田グラ はくれ	y / _ '	、開光が必安へのる。							
	とは、古が	主体的に実施すべ	を事業	쏘 사							
		E体的に実施すべき		₹ <i>1</i> ,1							
評価		上体的に美麗すべる 業であるため市が写		-スベキでなる							
判断 理由		米(めるにめ川かっ	₹/旭 9	2.19 (8)20							
	₩ · #174	こたしなりの成里。	がしゅ	ぶっているか(新規事業の	カ担合け目	17.7					
評価		ま少ないが、今後向			ンツ 口 (みケ	u <i>と)</i>					
		リーの収穫は植栽後								\longrightarrow	
判断 理由	<i>/ / V</i>	ノ */1人/1支(よ/1巴/X/)	χυ ⊤ 1	エ / こまに、4 の。							
	L 区性・成里	:を変えずに、経費	を下に	ずる方策はないか						—	
評価		は積算に基づく経費								—	
				<u>。</u> ∴壌診断に基づく圃場整	備や適正	な品種選品	字を行った.				
理由)	. ,	~ • -	- XD 511-22 - VE 30 E	VIII (X.2. 11.1	0 HI 12.62.74	2 2 14 - 720				
佐中											
評価		医施しなければなら									
				るため早急に実施する	必要があ	った。					
理由											
4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等)											
※合評価 ⇒ A											
ブルーベリー友の会(ボランティア団体)による圃場の管理と剪定を実施し、ブルーベリーの収穫を											
今後の方向性行い特産品の開発を行う。											
※ 二次評価(企画政策課記入欄)											
□ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合											
□ 休止 □ 廃止 □ 完了 □ 不採択 □ T											

1	事業の概要		出出	日起	щ
		•	$\Pi V \rightarrow K^{-}$	H /\`=	=

基本目標(章) 6未来を支える個性と活力のまち(地域産業の振興)												
施策	h	基本施策(節) 6-2労働環境の向上と消費者行政の推進					担当課 市長公室 企画政策課					
区分	分 ┃ 個別施策(項) 6 - 2 - 1 労働環境の向上											
n	事務事		雇用創造事業		事業	平成	2 2	年度	~			
区分	1新		女子学者の静障		続低い出れる	期間	平成	25	年度	創売せかた		
目的	唯用琛児 「重点分野	H環境の悪化により、高校新卒予定者の就職内定率が非常に低い状況の中で、平成21年度に国の補正予算によって創設 賃点分野雇用創造事業」を活用し、市では高校等の新卒者を中心とした雇用創出事業を展開したところであるが、雇用							削取された 雇用情勢の			
及び 背景	』 好転が見られない現状の中において、さらには東日本大震災の影響による雇用環境の悪化から、国の助成制度がない場合											
日从	「この極視して天旭していて必安がめる。								お土み出さ			
事業 内容	今後、成長分野として期待される介護、観光、環境分野などの事業所において、その分野における人材育成や未就職卒業生の社会人育成等を目的に失業者を雇用していただき、その必要経費を市が委託料として支払う。											
	数值	項目	算定式		最終	目標	H22年度(まて	での) 実績値	H23(まで	の)目標値		
	目標					人		人		人		
成果	設定 事業	雇用創出数				189		48				
目標	数値	最終目標				<u> </u>						
	目標	H22年度(までの)実績										
	以外	H23目標										
2 事業	事業 美実績											
4		※採用算定式: ①H23実績値/H23目標 H23事業費	■ (2)(H23までの実績値-H2	22までの実績値)/(H23までの		標値) ③(H22まで - 123実施内		/ 最終目標値 ④H2	3(までの)実績値	/ 嵌終目標値		
		154,796 千円	18事業所にお	いて43名の雇用	用創出(う	523名が	H24~継続	雇用)				
実	数値		H 1100 (3-	~ の) 口 	H23	単年度達成		全体計画	面におけ.	る達成度		
施	目標	H23(までの)実績	但 H23(ま	での)目標値	採用算	拿定式	1	採用算	定式	3		
状	設定	43		71 .		61			48	2		
況	事業	10	人	11 人		01	%		10	%		
	数値 目標	H23実績	H	23目標	H23	3単年度達	成度	全体計画	面における	る達成度		
	以外											
	事業											
H24目標値50名に対して、7/2現在の雇用数は27名と低調である。この要因としては、計画決定した事業所(事												
目標達成状況の評価 業分野)と求職者とのマッチングがなされないことが挙げられる。												
	5事業の語											
		の必要性が高い事業	美か									
評価	a 必要性			÷ ///	>1		/	-h 15th	1 2 /rf x .	(# +)		
判断 理由		勢が大変厳しく、す ーク管内)状況から				 射	「等者者の別	犹職 的 正 举	か低い	(特に局秋		
		主体的に実施すべる		温号石·艾 // 65	ν.							
	-	主体的に実施すべき E体的に実施すべき	き事業が									
評価 判断		は国の交付金が平成	794年度で終了	プレかる予定で	あるが T		然の影響	至から 1	げらくに	1展田瑨愔		
理由		見込まれないことが						47.0°	ハスワイト	3/年/11/水元		
		したとおりの成果な	ゴトがっている	ふか(新規事業の	の場合は見	1.认)						
評価		た通りの成果があ		0 10 (10) 179L 3- 21C -	<i>- 777</i> L 100 71	1~						
判断		年度には48名の雇用		つうちの23名	(48%)	平成23年	三度には43/	名の雇用を	・創出し、	そのうち		
理由	の23名(53%)が翌年度以降	降の継続雇用に	こ結びついてい	る。							
④ 効率		を変えずに、経費を	を下げる方策に	はないか								
評価 a 適正な積算に基づく経費である												
判断		書を精査した上です							0			
理由 ただし、交付金が廃止された場合は、上限額の設定などにより経費を抑えることも考えられる。												
⑤ 緊急性:緊急に実施すべき事業か												
評価 a 至急実施しなければならない												
判断 雇用情勢が大変厳しく、また東日本大震災の影響等から、高校新卒予定者等若者の就職内定率が低い(特に高萩												
理由 ハローワーク管内)状況から、緊急に取り組む必要がある。												
4 総合評価及び今後の事務事業の方向(総合評価に対する改善策等)												
総合評価 ⇒ A 現状では国の交付金が平成24年度で終了となる予定であるため、雇用枠数、上限額の設定の有無								宝の右無				
今後の方向性 現状では国の交付金が平成24年度で終了となる予定であるため、雇用作数、上版額の設定の有無 などについて検討していく必要がある。												
□ 新規採択 □ 現状通り □ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 統合												
		☑ 焼水通り	完了	□不採		□ \ull\1,						